

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 本文 内部火災影響評価について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>6.2. 隣接火災区画に影響を与える火災区画に対する火災影響評価</p> <p>隣接火災区画に影響を与える火災区画については、当該火災区画と隣接火災区画それぞれにおいてターゲットの有無を確認する。当該火災区画内及び隣接火災区画内に設置される全機器の機能喪失を想定しても、安全停止パスが少なくとも一つ確保される場合には、当該火災区画の火災発生により隣接火災区画に影響を与えることを想定しても、原子炉の安全停止に影響はない。</p> <p>一方、安全停止パスを一つも確保できない場合は、火災防護審査基準の「2.3 火災の影響軽減」に基づく火災防護対策の実施状況を確認する。次に詳細な火災影響評価を行い原子炉の安全停止への影響の有無を確認する。火災により原子炉の安全停止に影響を与える評価結果となった場合には、火災防護対策を実施する。</p> <p>原子炉の安全停止への影響については、以下の手順に従って評価する。（第10-4 図参照）</p> <p>6.2.1. 当該火災区画のターゲットの確認</p> <p>当該火災区画のターゲットの有無を確認する。当該火災区画にターゲットが存在しない場合、隣接火災区画の火災による安全停止パスの確保の可否を確認する。</p> <p>6.2.2. 隣接火災区画のターゲットの確認</p> <p>隣接火災区画にターゲットが存在する場合においては、改めて隣接火災区画のターゲットの有無を確認する。隣接火災区画にターゲットが存在しない場合、当該火災区画から隣接火災区画への延焼を想定しても、原子炉の安全停止に影響を与えないことから、当該火災区画の火災による安全停止パスの確保の可否を確認する。</p>	<p>6.2. 隣接火災区画に影響を与える火災区画に対する火災影響評価</p> <p>隣接火災区画に影響を与える火災区画については、当該火災区画と隣接火災区画それぞれにおいてターゲットの有無を確認する。当該火災区画内及び隣接火災区画内に設置される全機器の機能喪失を想定しても、安全停止パスが少なくとも一つ確保される場合には、当該火災区画の火災発生により隣接火災区画に影響を与えることを想定しても、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することに影響はない。</p> <p>一方、安全停止パスを一つも確保できない場合は、火災防護審査基準の「2.3 火災の影響軽減」に基づく火災防護対策の実施状況を確認する。次に詳細な火災影響評価を行い原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することへの影響の有無を確認する。火災により原子炉の安全停止に影響を与える評価結果となった場合には、火災防護対策を実施する。</p> <p>原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することへの影響については、以下の手順に従って評価する。（第10-4 図参照）</p> <p>6.2.1. 当該火災区画のターゲットの確認</p> <p>当該火災区画のターゲットの有無を確認する。当該火災区画にターゲットが存在しない場合、隣接火災区画の火災による安全停止パスの確保の可否を確認する。</p> <p>6.2.2. 隣接火災区画のターゲットの確認</p> <p>隣接火災区画にターゲットが存在する場合においては、改めて隣接火災区画のターゲットの有無を確認する。隣接火災区画にターゲットが存在しない場合、当該火災区画から隣接火災区画への延焼を想定しても、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することに影響を与えないことから、当該火災区画の火災による安全停止パスの確保の可否を確認する。</p>	<p>【大飯】 ■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違</p> <p>【大飯】 ■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】 ■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 本文 内部火災影響評価について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>5. 2. 2 成功パスの確認</p> <p>5. 2. 1で火災源があることを確認した火災区画を対象として、火災区画内に設置されている全機器が機能喪失すると保守的に仮定しても、5. 1. 4（1）の機能毎に原子炉の安全停止に必要な成功パスが成立するかを以下のとおり確認する。</p> <p>(1) 成功パス確認一覧表の作成</p> <p>対象とする火災区画に設置されている火災防護対象機器を抽出し、5. 1. 4(1)と同様の整理を行う。</p> <p>(2) 成功パスの確認</p> <p>(1)で作成した一覧表で、対象とする火災区画の機能喪失を仮定しても、5. 1. 4(1)に示す機能が喪失することなく、少なくとも1つの成功パスが成立するかを判定する。</p> <p>成功パスが成立する火災区画は、スクリーンアウトする。</p> <p>スクリーンアウトされない火災区画については、6項の火災影響評価に進む。</p> <p>6. 火災伝播評価</p> <p>6. 1 火災区画間の火災伝播評価</p> <p>5. でスクリーンアウトされなかった火災区画間については、系統分離対策の確認を行う。</p> <p>確認の結果、いずれの火災区画の組み合わせにおいても、火災の影響は軽減されており、火災区画間の火災伝播が原子炉の安全停止に影響を及ぼさないことを添付資料2に示すとおり、確認した。</p>	<p>6.2.3. 安全停止パスの確認</p> <p>当該火災区画及び隣接火災区画のターゲットの有無の組合せに応じて、安全停止パスが少なくとも一つ確保されるか否かを確認する。確認は、6.1.1. 項と同様に行う。</p> <p>6.2.4. スクリーンアウトされる火災区画</p> <p>当該火災区画及び隣接火災区画のターゲットの有無の組合せに応じて、安全停止パスが少なくとも一つ確保される火災区画は、当該及び隣接火災区画に火災を想定しても原子炉の安全停止に影響を与えない。</p> <p>6.2.5. スクリーンアウトされない火災区画</p> <p>安全停止パスが一つも確保されない火災区画は、その火災区画に火災を想定した場合、原子炉の安全停止に影響を与える可能性がある。</p> <p>この場合、当該火災区画及び隣接火災区画のターゲットの有無の組合せに応じて、火災の影響により安全停止パスが確保できない主要原因となった部屋に対して、「火災防護に係る審査基準」の「2.3 火災の影響軽減」に基づく火災防護対策の実施状況を確認する。次に詳細な火災影響評価を行い、安全停止パスが確保可能か否か確認する。詳細な火災影響評価の結果、火災の影響を受けて安全停止パスが確保できないと評価された場合は火災防護対策を行い、原子炉の安全停止パスを少なくとも一つ確保する。</p>	<p>6.2.3. 安全停止パスの確認</p> <p>当該火災区画及び隣接火災区画のターゲットの有無の組合せに応じて、安全停止パスが少なくとも一つ確保されるか否かを確認する。確認は、6.1.1. 項と同様に行う。</p> <p>6.2.4. スクリーンアウトされる火災区画</p> <p>当該火災区画及び隣接火災区画のターゲットの有無の組合せに応じて、安全停止パスが少なくとも一つ確保される火災区画は、当該及び隣接火災区画に火災を想定しても原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することに影響を与えない。</p> <p>6.2.5. スクリーンアウトされない火災区画</p> <p>安全停止パスが一つも確保されない火災区画は、その火災区画に火災を想定した場合、原子炉の安全停止に影響を与える可能性がある。</p> <p>この場合、当該火災区画及び隣接火災区画のターゲットの有無の組合せに応じて、火災の影響により安全停止パスが確保できない火災区画に対して、「火災防護に係る審査基準」の「2.3 火災の影響軽減」に基づく火災防護対策の実施状況を確認する。次に詳細な火災影響評価を行い、安全停止パスが確保可能か否か確認する。詳細な火災影響評価の結果、火災の影響を受けて安全停止パスが確保できないと評価された場合は火災防護対策を行い、原子炉の安全停止パスを少なくとも一つ確保する。</p>	<p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■記載表現の相違</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】 ■設計の相違 泊は火災区画を構成する各部屋毎ではなく、火災区画単位で確認する。 (大飯同様)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第10-4図：隣接火災区画に影響を与える火災区画に対する火災影響評価</p>	<p>第10-4図：隣接火災区画に影響を与える火災区画に対する火災影響評価</p>	<p>相違理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 【大飯】 <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 <ul style="list-style-type: none"> ■記載表現の相違
	<p>7. 内部火災影響評価結果</p> <p>7.1. 一次スクリーニング (隣接火災区画への火災伝播評価)</p> <p>5 項に基づき、当該火災区画に火災を想定した場合の隣接火災区画への影響の有無を評価した。その結果、火災防護対象設備が設置された隣接火災区画に影響を与える火災区画が存在することを確認した。(添付資料4)</p>	<p>7. 内部火災影響評価結果</p> <p>7.1. 一次スクリーニング (隣接火災区画への火災伝播評価)</p> <p>5 項に基づき、当該火災区画に火災を想定した場合の隣接火災区画への影響の有無を評価した。その結果、ターゲットが設置された隣接火災区画に影響を与える火災区画が存在することを確認した。(添付資料4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 【大飯】 <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 <ul style="list-style-type: none"> ■記載表現の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 本文 内部火災影響評価について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>7. まとめ</p> <p>原子炉施設内で火災を想定しても、原子炉を安全に停止するための成功パスが成立し、原子炉の高温停止、低温停止の達成、維持ができることを確認した。</p> <p><添付資料> 添付資料1：火災区画特性表の例 添付資料2：火災影響評価結果</p>	<p>7.2. 二次スクリーニング</p> <p>一次スクリーニングの結果をもとに、二次スクリーニングとして、 ①隣接火災区画に影響を与える火災区画に対する火災影響評価 ②隣接火災区画に影響を与えない火災区画に対する火災影響評価を行った。</p> <p>7.2.1. 隣接火災区画に影響を与える火災区画に対する火災影響評価</p> <p>隣接火災区画に影響を与える火災区画について、第10-4 図に示すフローに基づき評価を行った結果、火災防護対策により安全停止パスを少なくとも一つ確保可能であることを確認したことから、原子炉の安全停止に影響はない。（添付資料5）</p> <p>7.2.2. 隣接火災区画に影響を与えない火災区画に対する火災影響評価</p> <p>隣接火災区画に影響を与える火災区画について、第10-4 図に示すフローに基づき評価を行った結果、火災防護対策により安全停止パスを少なくとも一つ確保可能であることを確認したことから、原子炉の安全停止に影響はない。（添付資料6）</p> <p>8. 火災により想定される事象の確認結果</p> <p>7 項に示したとおり、各火災区画で火災発生を想定した場合において、安全停止が可能であることを確認した。</p> <p>あわせて、火災により原子炉に外乱が及ぶ場合について重畳事象も含め、どのような事象が起こる可能性があるかを分析し、火災を起因として発生する事象に対して、単一故障を想定した場合においても、影響緩和系により事象が収束可能であることを確認した。（参考資料1）</p>	<p>7.2. 二次スクリーニング</p> <p>一次スクリーニングの結果をもとに、二次スクリーニングとして、 ①隣接火災区画に影響を与える火災区画に対する火災影響評価 ②隣接火災区画に影響を与えない火災区画に対する火災影響評価を行った。</p> <p>7.2.1. 隣接火災区画に影響を与える火災区画に対する火災影響評価</p> <p>隣接火災区画に影響を与える火災区画について、第10-4 図に示すフローに基づき評価を行った結果、火災防護対策により安全停止パスを少なくとも一つ確保可能であることを確認したことから、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することに影響はない。（添付資料5）</p> <p>7.2.2. 隣接火災区画に影響を与えない火災区画に対する火災影響評価</p> <p>隣接火災区画に影響を与える火災区画について、第10-4 図に示すフローに基づき評価を行った結果、火災防護対策により安全停止パスを少なくとも一つ確保可能であることを確認したことから、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することに影響はない。（添付資料6）</p> <p>8. 火災により想定される事象の確認結果</p> <p>7 項に示したとおり、各火災区画で火災発生を想定した場合において、高温停止及び低温停止を達成し、維持することが可能であることを確認した。</p> <p>あわせて、火災により原子炉に外乱が及ぶ場合について重畳事象も含め、どのような事象が起こる可能性があるかを分析し、火災を起因として発生する事象に対して、単一故障を想定した場合においても、影響緩和系により事象が収束可能であることを確認した。（参考資料1）</p>	<p>【大飯】 ■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】 ■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違</p> <p>【大飯】 ■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉 添付資料1	泊発電所3号炉 添付資料1	相違理由
	<p data-bbox="871 220 1178 277">女川原子力発電所2号炉における 火災区画番号について</p> <div data-bbox="721 328 1323 1230" style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <div data-bbox="927 341 1308 363" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> 枠囲みの内容は商業秘密又は防護上の観点から公開できません。 </div> <div data-bbox="743 387 1308 1214" style="border: 1px solid black; height: 500px; margin-top: 10px;"></div> </div>	<p data-bbox="1541 220 1776 277">泊発電所3号炉における 火災区画番号について</p> <div data-bbox="1350 352 1975 1241" style="border: 2px solid black; padding: 10px; height: 500px; margin-top: 10px;"></div>	<p data-bbox="1991 156 2051 175">【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="1991 188 2128 245">■記載内容の相違 (女川実績の反映) <li data-bbox="1991 258 2051 277">【女川】 <li data-bbox="1991 290 2107 309">設備名称の相違 <li data-bbox="1991 322 2051 341">【大飯】 <li data-bbox="1991 354 2128 411">■記載内容の相違 (女川実績の反映) <li data-bbox="1991 424 2051 443">【女川】 <li data-bbox="1991 456 2092 475">■設備の相違 <li data-bbox="1991 488 2172 616">泊では区分ではなく、ト レンによる分離をして いるため、区分を記載し ていない。
		<div data-bbox="1350 1257 1975 1286" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <small>枠囲みの内容は商業秘密又は特許上の観点から公開できません。</small> </div> <div style="border: 1px solid black; height: 400px; margin-top: 10px;"></div> </div>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; height: 400px; margin-top: 10px;"></div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px; font-size: small;"> <small>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</small> </div>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備の相違 <p>泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <small>枠囲みの内容は産業機器又は防護上の観点から公開できません。</small> </div> <div style="border: 1px solid black; height: 400px; margin-top: 10px;"></div> </div>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; height: 400px; margin-top: 10px;"></div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px; text-align: center;"> <small>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</small> </div>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 （女川実績の反映） 【女川】 ■設備の相違 泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <small>枠囲みの内容は産業機器又は防護上の観点から公開できません。</small> </div> <div style="border: 1px solid black; height: 400px; margin-bottom: 5px;"></div>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <small>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</small> </div>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 （女川実績の反映） 【女川】 ■設備の相違 泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> <small>枠囲みの内容は機密情報又は防護上の観点から公開できません。</small> </div>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <small>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</small> </div>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備の相違 <p>泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="font-size: small;">枠囲みの内容は営業機密又は防護上の観点から公開できません。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 400px; margin: 10px auto; width: 90%;"></div> </div>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; height: 400px; margin: 10px auto; width: 90%;"></div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px; font-size: x-small;"> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 （女川実績の反映） 【女川】 ■設備の相違 <p>泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> <p>枠囲みの内容は商業機密又は防護上の観点から公開できません。</p> </div>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 （女川実績の反映） 【女川】 ■設備の相違 <p>泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="929 159 1321 183" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> 枠囲みの内容は産業機密又は防護上の観点から公開できません。 </div>	<div data-bbox="1355 1045 1960 1077" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 （女川実績の反映） 【女川】 ■設備の相違 <p>泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="font-size: small;">枠囲みの内容は原発機密又は防諜上の観点から公開できません。</p> </div>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="font-size: small;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備の相違 <p>泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <small>枠囲みの内容は商業機密又は防護上の観点から公開できません。</small> </div> <div style="border: 1px solid black; height: 400px; margin-bottom: 5px;"></div>	<div style="border: 2px solid black; height: 400px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <small>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</small> </div>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備の相違 <p>泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">枠囲みの内容は商業機密又は防護上の観点から公開できません。</p>	<p style="text-align: center;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 （女川実績の反映） 【女川】 ■設備の相違 <p>泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">枠囲みの内容は機密情報又は防護上の観点から公開できません。</p>	<p style="text-align: center;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】</p> <p>■設備の相違 泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="927 169 1312 193" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> 枠囲みの内容は機密情報又は防護上の観点から公開できません。 </div> <div data-bbox="741 213 1308 1043" style="border: 2px solid red; height: 500px; margin: 10px auto;"></div>	<div data-bbox="1368 1050 1944 1074" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 （女川実績の反映） 【女川】 ■設備の相違 <p>泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="font-size: small;">枠囲みの内容は商業秘密又は特許上の観点から公開できません。</p> </div>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="font-size: small;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備の相違 <p>泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">特種みの内容は廃棄機密又は防護上の観点から公開できません。</p> </div>		<p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 特記の内容は有実機能又は防護上の観点から公開できません。 </div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> </div>		<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 （女川実績の反映） 【女川】 ■設備の相違 <p>泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 特異みの内容は商業機密又は防護上の観点から公開できません。 </div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> </div>		<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 （女川実績の反映） 【女川】 ■設備の相違 <p>泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center;"> <p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">特種みの内容に商業秘密又は特種上の観点から公開できません。</p> </div>		<p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】</p> <p>■設備の相違 泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center;"> <p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">特種みの内容は営業機密又は防護上の観点から公開できません。</p> </div>		<p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】</p> <p>■設備の相違</p> <p>泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料1 火災区画番号について）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center;"> <p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">特種みの内容は発熱機密又は防護上の観点から公開できません。</p> </div>		<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 （女川実績の反映） 【女川】 ■設備の相違 <p>泊では区分ではなく、トレンによる分離をしているため、区分を記載していない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料2 内部火災影響評価に係る安全停止パスに必要な系統について）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉 添付資料2	泊発電所3号炉 添付資料2	相違理由
	<p data-bbox="757 181 1301 240">女川原子力発電所 2号炉における 内部火災影響評価に係る安全停止パスに必要な系統について</p> <p data-bbox="719 288 1330 687">1. 概要 火災防護対象機器には、多重性を有する安全上重要な以下の設備等がある。 a. 安全保護系 b. 原子炉停止系 c. 工学的安全施設（原子炉補給水機能をもつ系統） d. 非常用交流電源系 e. 直流電源系 f. 事故時監視計器 g. 残留熱除去系 h. 最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統 i. 補助設備</p> <p data-bbox="741 727 1319 786">これら設備等について、女川原子力発電所2号炉において原子炉の安全停止パスを確保するために必要な系統を整理した。</p> <p data-bbox="741 794 1319 922">火災影響評価において、当該火災区画内に設置される全機器の機能喪失を想定しても、安全停止パスが少なくとも一つ確保される場合には、当該火災区画の火災発生を想定しても、原子炉の安全停止に影響はない。</p> <p data-bbox="741 930 1330 1058">一方、安全停止パスを一つも確保できない場合は、火災防護審査基準の「2.3 火災の影響軽減」に基づく火災防護対策の実施状況確認や詳細な火災影響評価を行い、原子炉の安全停止パスが少なくとも一つ確保されるか否かを確認する。</p>	<p data-bbox="1391 181 1935 240">泊発電所 3号炉における 内部火災影響評価に係る安全停止パスに必要な系統について</p> <p data-bbox="1352 288 1964 687">1. 概要 火災防護対象機器には、多重性を有する安全上重要な以下の設備等がある。 a. 安全保護系 b. 原子炉停止系 c. 工学的安全施設 d. 非常用交流電源系 e. 直流電源系 f. 事故時監視計器 g. 余熱除去系 h. 最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統 i. 補助設備</p> <p data-bbox="1375 727 1953 786">これら設備等について、泊発電所3号炉において原子炉の安全停止パスを確保するために必要な系統を整理した。</p> <p data-bbox="1375 794 1953 922">火災影響評価において、当該火災区画内に設置される全機器の機能喪失を想定しても、安全停止パスが少なくとも一つ確保される場合には、当該火災区画の火災発生を想定しても、原子炉の安全停止に影響はない。</p> <p data-bbox="1375 930 1964 1058">一方、安全停止パスを一つも確保できない場合は、火災防護審査基準の「2.3 火災の影響軽減」に基づく火災防護対策の実施状況確認や詳細な火災影響評価を行い、原子炉の安全停止パスが少なくとも一つ確保されるか否かを確認する。</p>	<p data-bbox="1995 150 2047 169">【大飯】</p> <p data-bbox="1980 181 2130 309">■記載内容の相違 （女川実績の反映） 【女川】 ■設備名称の相違</p> <p data-bbox="1995 456 2047 475">【女川】</p> <p data-bbox="1980 488 2172 579">■系統の相違 炉型の違いによる系統の相違</p> <p data-bbox="1995 727 2047 746">【女川】</p> <p data-bbox="1980 759 2130 786">■設備名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
	<p>2. 安定停止パスを確保するために必要な系統一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>緩和系</th> <th>安全停止パス①</th> <th>安全停止パス②</th> <th>安全停止パス③</th> <th>安全停止パス④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a. 安全保護系</td> <td>原子炉保護系の安全保護回路 工学的安全監視の作動回路</td> <td>原子炉保護系の安全保護回路 工学的安全監視の作動回路</td> <td>原子炉保護系の安全保護回路 工学的安全監視の作動回路</td> <td>原子炉保護系の安全保護回路 工学的安全監視の作動回路</td> </tr> <tr> <td>b. 原子炉停止系</td> <td>原子炉停止系</td> <td>原子炉停止系</td> <td>原子炉停止系</td> <td>原子炉停止系</td> </tr> <tr> <td>c. 工学的安全監視 (原子炉種給水機能を有する系統)</td> <td>工学的安全監視 (原子炉種給水機能を有する系統)</td> <td>工学的安全監視 (原子炉種給水機能を有する系統)</td> <td>工学的安全監視 (原子炉種給水機能を有する系統)</td> <td>工学的安全監視 (原子炉種給水機能を有する系統)</td> </tr> <tr> <td>d. 非常用交流電源系</td> <td>非常用交流電源系</td> <td>非常用交流電源系</td> <td>非常用交流電源系</td> <td>非常用交流電源系</td> </tr> <tr> <td>e. 直流電源系</td> <td>直流電源系</td> <td>直流電源系</td> <td>直流電源系</td> <td>直流電源系</td> </tr> <tr> <td>f. 事故時監視計器</td> <td>事故時監視計器</td> <td>事故時監視計器</td> <td>事故時監視計器</td> <td>事故時監視計器</td> </tr> <tr> <td>g. 熱源除去系</td> <td>熱源除去系</td> <td>熱源除去系</td> <td>熱源除去系</td> <td>熱源除去系</td> </tr> <tr> <td>h. 最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統</td> <td>最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統</td> <td>最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統</td> <td>最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統</td> <td>最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統</td> </tr> <tr> <td>i. 補助設備</td> <td>補助設備</td> <td>補助設備</td> <td>補助設備</td> <td>補助設備</td> </tr> </tbody> </table>	緩和系	安全停止パス①	安全停止パス②	安全停止パス③	安全停止パス④	a. 安全保護系	原子炉保護系の安全保護回路 工学的安全監視の作動回路	原子炉保護系の安全保護回路 工学的安全監視の作動回路	原子炉保護系の安全保護回路 工学的安全監視の作動回路	原子炉保護系の安全保護回路 工学的安全監視の作動回路	b. 原子炉停止系	原子炉停止系	原子炉停止系	原子炉停止系	原子炉停止系	c. 工学的安全監視 (原子炉種給水機能を有する系統)	工学的安全監視 (原子炉種給水機能を有する系統)	工学的安全監視 (原子炉種給水機能を有する系統)	工学的安全監視 (原子炉種給水機能を有する系統)	工学的安全監視 (原子炉種給水機能を有する系統)	d. 非常用交流電源系	非常用交流電源系	非常用交流電源系	非常用交流電源系	非常用交流電源系	e. 直流電源系	直流電源系	直流電源系	直流電源系	直流電源系	f. 事故時監視計器	事故時監視計器	事故時監視計器	事故時監視計器	事故時監視計器	g. 熱源除去系	熱源除去系	熱源除去系	熱源除去系	熱源除去系	h. 最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統	最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統	最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統	最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統	最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統	i. 補助設備	補助設備	補助設備	補助設備	補助設備	<p>2. 安定停止パスを確保するために必要な系統一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>緩和系</th> <th>安全停止パスA</th> <th>安全停止パスB</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a. 安全保護系</td> <td>原子炉保護系の安全保護回路 工学的安全施設の作動回路</td> <td>原子炉保護系の安全保護回路 工学的安全施設の作動回路</td> </tr> <tr> <td>b. 原子炉停止系</td> <td>原子炉停止系</td> <td>原子炉停止系</td> </tr> <tr> <td>c. 工学的安全施設</td> <td>工学的安全施設</td> <td>工学的安全施設</td> </tr> <tr> <td>d. 非常用交流電源系</td> <td>非常用交流電源系</td> <td>非常用交流電源系</td> </tr> <tr> <td>e. 直流電源系</td> <td>直流電源系</td> <td>直流電源系</td> </tr> <tr> <td>f. 事故時監視計器</td> <td>事故時監視計器</td> <td>事故時監視計器</td> </tr> <tr> <td>g. 余熱除去系</td> <td>余熱除去系</td> <td>余熱除去系</td> </tr> <tr> <td>h. 最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統</td> <td>最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統</td> <td>最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統</td> </tr> <tr> <td>i. 補助設備</td> <td>補助設備</td> <td>補助設備</td> </tr> </tbody> </table>	緩和系	安全停止パスA	安全停止パスB	a. 安全保護系	原子炉保護系の安全保護回路 工学的安全施設の作動回路	原子炉保護系の安全保護回路 工学的安全施設の作動回路	b. 原子炉停止系	原子炉停止系	原子炉停止系	c. 工学的安全施設	工学的安全施設	工学的安全施設	d. 非常用交流電源系	非常用交流電源系	非常用交流電源系	e. 直流電源系	直流電源系	直流電源系	f. 事故時監視計器	事故時監視計器	事故時監視計器	g. 余熱除去系	余熱除去系	余熱除去系	h. 最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統	最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統	最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統	i. 補助設備	補助設備	補助設備	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 (女川実績の反映) <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■系統、設備の相違 (炉型の違いによる系統、設備構成の相違)
緩和系	安全停止パス①	安全停止パス②	安全停止パス③	安全停止パス④																																																																															
a. 安全保護系	原子炉保護系の安全保護回路 工学的安全監視の作動回路	原子炉保護系の安全保護回路 工学的安全監視の作動回路	原子炉保護系の安全保護回路 工学的安全監視の作動回路	原子炉保護系の安全保護回路 工学的安全監視の作動回路																																																																															
b. 原子炉停止系	原子炉停止系	原子炉停止系	原子炉停止系	原子炉停止系																																																																															
c. 工学的安全監視 (原子炉種給水機能を有する系統)	工学的安全監視 (原子炉種給水機能を有する系統)	工学的安全監視 (原子炉種給水機能を有する系統)	工学的安全監視 (原子炉種給水機能を有する系統)	工学的安全監視 (原子炉種給水機能を有する系統)																																																																															
d. 非常用交流電源系	非常用交流電源系	非常用交流電源系	非常用交流電源系	非常用交流電源系																																																																															
e. 直流電源系	直流電源系	直流電源系	直流電源系	直流電源系																																																																															
f. 事故時監視計器	事故時監視計器	事故時監視計器	事故時監視計器	事故時監視計器																																																																															
g. 熱源除去系	熱源除去系	熱源除去系	熱源除去系	熱源除去系																																																																															
h. 最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統	最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統	最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統	最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統	最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統																																																																															
i. 補助設備	補助設備	補助設備	補助設備	補助設備																																																																															
緩和系	安全停止パスA	安全停止パスB																																																																																	
a. 安全保護系	原子炉保護系の安全保護回路 工学的安全施設の作動回路	原子炉保護系の安全保護回路 工学的安全施設の作動回路																																																																																	
b. 原子炉停止系	原子炉停止系	原子炉停止系																																																																																	
c. 工学的安全施設	工学的安全施設	工学的安全施設																																																																																	
d. 非常用交流電源系	非常用交流電源系	非常用交流電源系																																																																																	
e. 直流電源系	直流電源系	直流電源系																																																																																	
f. 事故時監視計器	事故時監視計器	事故時監視計器																																																																																	
g. 余熱除去系	余熱除去系	余熱除去系																																																																																	
h. 最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統	最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統	最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統																																																																																	
i. 補助設備	補助設備	補助設備																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表 r.4.0

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料3 火災区画特性表の例)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料1</p> <p style="text-align: center;">火災区画特性表 (例)</p> <p>火災区画：R/B2-9</p> <p>1. 火災区画の説明</p> <p>火災区画名：ほう酸ポンプ・ほう酸タンク室 床面積 (㎡)：171.2</p> <p>2. 火災区画の火災シナリオの説明</p> <p>R/B2-9は原子炉建屋内の火災区画である。本区画には、Aトレン系及びBトレン系のほう酸ポンプ並びにBトレン系の電力/制御ケーブル等が設置されている。また、本区画では、Aトレン系及びBトレン系のほう酸ポンプ並びにBトレン系の電力/制御ケーブル等が主な火災源である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料3</p> <p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉の火災区画特性表の例</p> <p>1. 概要</p> <p>女川原子力発電所2号炉の内部火災影響評価では、8条-別添1-資料3において設定した火災区域（区画）毎の情報（部屋番号、床面積、等価時間、隣接の火災区域等）を火災区画特性表へ記載し整理する。</p> <p>また、火災区画特性表には当該火災区画内に設置される原子炉の安全停止に係る機器等（ケーブルを含む）を明確にする。その上で、当該火災区画にて最も厳しい単一火災を想定し、火災区画内の安全停止に係る機器等全てを機能喪失したと仮定した場合に影響を受ける緩和系を明確にし、残された緩和系において安全停止パスが少なくとも一つ確保されるか否かについて評価を行い、火災区画特性表のまとめ表として整理する。</p> <p>ここで、女川原子力発電所2号炉における火災区画の代表例として、火災区画番号「R1-A (RHR ポンプ室, RCIC ポンプ室等)」の火災区画特性表を下記のとおり示す。（ただし、火災区画特性表添付のケーブルリストや可燃物リスト（データシート）については省略する。）</p> <p>なお、その他火災区画も含めた火災区画特性表における評価結果の要約については添付資料6にて示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料3</p> <p style="text-align: center;">泊発電所3号炉の火災区画特性表の例</p> <p>1. 概要</p> <p>泊発電所3号炉の内部火災影響評価では、8条-別添1-資料3において設定した火災区域（区画）ごとの情報（床面積、等価時間、隣接の火災区域等）を火災区画特性表へ記載し整理する。</p> <p>また、火災区画特性表には当該火災区画内に設置される原子炉の安全停止に係る機器等（ケーブルを含む）を明確にする。その上で、当該火災区画にて最も厳しい単一火災を想定し、火災区画内の安全停止に係る機器等すべてを機能喪失したと仮定した場合に影響を受ける緩和系を明確にし、残された緩和系において安全停止パスが少なくとも一つ確保されるか否かについて評価を行い、火災区画特性表のまとめ表として整理する。</p> <p>ここで、泊発電所3号炉における火災区画の代表例として、火災区画番号「A/B 4-02-2 (B-ほう酸ポンプ室)」の火災区画特性表を下記のとおり示す。（ただし、火災区画特性表添付のケーブルリストや可燃物リスト（データシート）については省略する。）</p> <p>なお、その他火災区画も含めた火災区画特性表における評価結果の要約については添付資料6にて示す。</p>	<p>【女川】 ■設備名称の相違</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】 ■設備名称の相違</p> <p>【女川】 ■設計の相違 泊は火災区画単位で評価、対策を確認するため、部屋番号は記載していない。(大飯同様)</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違</p> <p>【女川】 ■設備名称の相違</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違 代表区画の相違 (大飯同様)</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料3 火災区画特性表の例）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
<p>また、本火災区画は両トレンの原子炉安全停止機能を喪失する可能性がある火災シナリオである。</p> <p>3. 火災区画にある火災ハザード</p> <table border="1" data-bbox="85 292 537 371"> <thead> <tr> <th>発熱量 (MJ)</th> <th>火災荷重 (MJ/m²)</th> <th>等価時間 (h) ※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>約739</td> <td>4.3</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※：等価火災時間は0.5h刻みで切り上げ表示した値を示す</p> <p>4. 火災区画にある防火設備</p> <p>(1) 火災感知・消火設備</p> <table border="1" data-bbox="85 542 521 643"> <thead> <tr> <th>火災感知の手段</th> <th>主要な消火設備</th> <th>消火方法</th> <th>消火設備のバックアップ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>煙感知器</td> <td>スプリンクラー</td> <td>自動</td> <td>粉末消火器</td> </tr> <tr> <td>熱感知器</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>炎感知器</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 耐火壁等</p> <table border="1" data-bbox="85 730 313 818"> <thead> <tr> <th>耐火壁</th> <th>開口部シール</th> </tr> <tr> <th>耐火時間 (h)</th> <th>耐火時間 (h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3以上</td> <td>3以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 各々のほう酸ポンプ間の影響軽減のため、1時間以上の耐火能力を有する隔壁等を設置</p> <p>5. 火災区画内の火災伝播評価 R/B2-9はA、Bトレン混在の区画であるため、本区画内の火災伝播評価は必要となる。</p> <p>6. 火災区画に隣接する火災区画と火災伝播経路 隣接火災区画への火災伝播評価は不要となる。</p> <p>7. 火災により影響を受ける火災防護対象設備 火災によりAトレン系及びBトレン系の機器並びにBトレン系のケーブルが影響を受ける可能性がある。</p> <p>8. 火災により影響を受ける緩和系 火災によりAトレン系及びBトレン系の緩和系が影響を受ける可能性がある。</p>	発熱量 (MJ)	火災荷重 (MJ/m ²)	等価時間 (h) ※	約739	4.3	0.5	火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ	煙感知器	スプリンクラー	自動	粉末消火器	熱感知器				炎感知器				耐火壁	開口部シール	耐火時間 (h)	耐火時間 (h)	3以上	3以上			<p>【大阪】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大阪】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大阪】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大阪】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大阪】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>
発熱量 (MJ)	火災荷重 (MJ/m ²)	等価時間 (h) ※																													
約739	4.3	0.5																													
火災感知の手段	主要な消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ																												
煙感知器	スプリンクラー	自動	粉末消火器																												
熱感知器																															
炎感知器																															
耐火壁	開口部シール																														
耐火時間 (h)	耐火時間 (h)																														
3以上	3以上																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料3 火災区画特性表の例）

大飯発電所3/4号炉

9. 火災による外乱と外乱を引き起こす設備
 本火災区画での火災により、保守的に外乱が発生するものと想定する。

10. 火災区画にある火災源機器数

火災源	機器数
ポンプ	2
電力ケーブル	有（低圧・制御）

女川原子力発電所2号炉

火災区画特性表 1			
火災区画特性表のまとめ			
フロント	0-2	建屋	1/1
床面積合計(m ²)	708		
危険量合計(MJ)	169510	火災シナリオの 説明	
火災荷重(MJ/m ²)	240		
等価時間(t)	0.27		
火災区画内の火災源及び防火設備 火災区画に設置する火災源(直撃・伝導・放射)と火災区画に設置する防火設備(消火器・消火栓・消火器)との関係を確認する。火災区画ごとに、全可燃物の種類、全機器の種類を確認する。 火災区画に設置する火災源(直撃・伝導・放射)と火災区画に設置する防火設備(消火器・消火栓・消火器)との関係を確認する。 火災区画に設置する火災源(直撃・伝導・放射)と火災区画に設置する防火設備(消火器・消火栓・消火器)との関係を確認する。			
火災区画内の火災源及び防火設備 火災区画に設置する火災源(直撃・伝導・放射)と火災区画に設置する防火設備(消火器・消火栓・消火器)との関係を確認する。火災区画ごとに、全可燃物の種類、全機器の種類を確認する。 火災区画に設置する火災源(直撃・伝導・放射)と火災区画に設置する防火設備(消火器・消火栓・消火器)との関係を確認する。 火災区画に設置する火災源(直撃・伝導・放射)と火災区画に設置する防火設備(消火器・消火栓・消火器)との関係を確認する。			
凡例 ○火災影響なし、×火災影響あり			
緩和系	安全停止バス1)	安全停止バス2)	安全停止バス3)
原子炉停止系	原子炉停止系1)	原子炉停止系2)	原子炉停止系3)
工学的安全施設 (原子炉停炉機能をもつ系統)	原子炉停止系1)	原子炉停止系2)	原子炉停止系3)
非常用交流電源系	非常用交流電源系1)	非常用交流電源系2)	非常用交流電源系3)
直流電源系	直流電源系1)	直流電源系2)	直流電源系3)
事故時監視計器	事故時監視計器1)	事故時監視計器2)	事故時監視計器3)
異常検出系	異常検出系1)	異常検出系2)	異常検出系3)
最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統	最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統1)	最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統2)	最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統3)
補助設備	補助設備1)	補助設備2)	補助設備3)
起回事象	起回事象は特定せず、以下の原子炉への影響を想定する。 1) 原子炉の起動 2) 原子炉の停止 3) 原子炉の運転 4) 原子炉の運転		
原子炉の高温停止	高温停止の要件は以下のとおりである。 1) 原子炉の起動 2) 原子炉の停止 3) 原子炉の運転 4) 原子炉の運転		
原子炉の低温停止	低温停止の要件は以下のとおりである。 1) 原子炉の起動 2) 原子炉の停止 3) 原子炉の運転 4) 原子炉の運転		
スクリーンアーク 火災伝播評価	スクリーンアーク火災伝播評価は、火災区画の火災伝播評価において安全停止バスを考慮し、かつ火災伝播評価を考慮して実施する。		

泊発電所3号炉

火災区画特性表 1			
火災区画特性表のまとめ			
フロント	0-2	建屋	1/1
床面積合計(m ²)	11.8		
危険量合計(MJ)	1389	火災シナリオの 説明	
火災荷重(MJ/m ²)	94		
等価時間(t)	0.11		
火災区画内の火災源及び防火設備 火災区画に設置する火災源(直撃・伝導・放射)と火災区画に設置する防火設備(消火器・消火栓・消火器)との関係を確認する。火災区画ごとに、全可燃物の種類、全機器の種類を確認する。 火災区画に設置する火災源(直撃・伝導・放射)と火災区画に設置する防火設備(消火器・消火栓・消火器)との関係を確認する。 火災区画に設置する火災源(直撃・伝導・放射)と火災区画に設置する防火設備(消火器・消火栓・消火器)との関係を確認する。			
凡例 ○火災影響なし、×火災影響あり			
緩和系	安全停止バス1)	安全停止バス2)	安全停止バス3)
原子炉停止系	原子炉停止系1)	原子炉停止系2)	原子炉停止系3)
工学的安全施設 (原子炉停炉機能をもつ系統)	原子炉停止系1)	原子炉停止系2)	原子炉停止系3)
非常用交流電源系	非常用交流電源系1)	非常用交流電源系2)	非常用交流電源系3)
直流電源系	直流電源系1)	直流電源系2)	直流電源系3)
事故時監視計器	事故時監視計器1)	事故時監視計器2)	事故時監視計器3)
異常検出系	異常検出系1)	異常検出系2)	異常検出系3)
最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統	最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統1)	最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統2)	最終ヒートシンクへ熱を輸送する系統3)
補助設備	補助設備1)	補助設備2)	補助設備3)
起回事象	起回事象は特定せず、以下の原子炉への影響を想定する。 1) 原子炉の起動 2) 原子炉の停止 3) 原子炉の運転 4) 原子炉の運転		
原子炉の高温停止	高温停止の要件は以下のとおりである。 1) 原子炉の起動 2) 原子炉の停止 3) 原子炉の運転 4) 原子炉の運転		
原子炉の低温停止	低温停止の要件は以下のとおりである。 1) 原子炉の起動 2) 原子炉の停止 3) 原子炉の運転 4) 原子炉の運転		
スクリーンアーク 火災伝播評価	スクリーンアーク火災伝播評価は、火災区画の火災伝播評価において安全停止バスを考慮し、かつ火災伝播評価を考慮して実施する。		

相違理由

【大飯】
 ■記載方針の相違
 (女川実績の反映)

【大飯】
 ■記載方針の相違
 (女川実績の反映)

【大飯】
 ■記載内容の相違
 (女川実績の反映)

【女川】
 ■系統、設備の相違
 炉型の違いによる系統、
 設備構成の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料3 火災区画特性表の例）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="10">火災区画特性表Ⅱ</th> </tr> <tr> <th colspan="10">火災区画内の火災発生及び防火設備</th> </tr> <tr> <th colspan="2">フロント</th> <th colspan="4">0-2</th> <th colspan="4">R1-A</th> <th>1/1</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">No.</th> <th>火災区画内の扉番号</th> <th colspan="4">火災源</th> <th colspan="4">防火設備</th> </tr> <tr> <th>火災区画内の扉番号</th> <th>床面積 (㎡)</th> <th>発熱量 (MJ/m²)</th> <th>火災荷重 (MJ/m²)</th> <th>等価時間 (分)</th> <th>火災検知器</th> <th>主要消火設備</th> <th>消火方法</th> <th>消火設備のバックアップ</th> <th>隔壁耐火時間 (h:min)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>01-110 01P 南側通路</td> <td>150</td> <td>47525</td> <td>305</td> <td>0.31</td> <td>熱感知器</td> <td>ハロゲン化炭素ガス設備</td> <td>自動</td> <td>粉末消火器</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>01-114 01D 水素ポンプ室</td> <td>118</td> <td>29443</td> <td>242</td> <td>0.27</td> <td>熱感知器</td> <td>ハロゲン化炭素ガス設備</td> <td>自動</td> <td>粉末消火器</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>01-113 01D 水素ポンプ室</td> <td>80</td> <td>10347</td> <td>130</td> <td>0.13</td> <td>熱感知器</td> <td>ハロゲン化炭素ガス設備</td> <td>自動</td> <td>粉末消火器</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>01-112 01D 水素ポンプ室</td> <td>43</td> <td>881</td> <td>14</td> <td>0.02</td> <td>熱感知器</td> <td>ハロゲン化炭素ガス設備</td> <td>自動</td> <td>粉末消火器</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>01-111 01P 南側通路</td> <td>300</td> <td>82548</td> <td>270</td> <td>0.30</td> <td>熱感知器</td> <td>ハロゲン化炭素ガス設備</td> <td>自動</td> <td>粉末消火器</td> <td>3</td> </tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>18</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>21</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>23</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>24</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>26</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>27</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>28</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>29</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td colspan="2">火災区画全体のまとめ</td> <td>(1)</td> <td>北</td> <td>南</td> <td>東</td> <td colspan="2">①=合計値、②=合計値</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>708</td> <td>18931.0</td> <td>145</td> <td>0.27</td> <td colspan="2">①=北+南+東、②=北+南+東+南</td> <td colspan="3">001.001MJ/m²/h</td> </tr> <tr> <td colspan="2">特記事項</td> <td colspan="9">*1：他の火災区画との境界の耐火時間を示す。</td> </tr> </tbody> </table>	火災区画特性表Ⅱ										火災区画内の火災発生及び防火設備										フロント		0-2				R1-A				1/1	No.	火災区画内の扉番号	火災源				防火設備				火災区画内の扉番号	床面積 (㎡)	発熱量 (MJ/m ²)	火災荷重 (MJ/m ²)	等価時間 (分)	火災検知器	主要消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ	隔壁耐火時間 (h:min)	1	01-110 01P 南側通路	150	47525	305	0.31	熱感知器	ハロゲン化炭素ガス設備	自動	粉末消火器	3	2	01-114 01D 水素ポンプ室	118	29443	242	0.27	熱感知器	ハロゲン化炭素ガス設備	自動	粉末消火器	3	3	01-113 01D 水素ポンプ室	80	10347	130	0.13	熱感知器	ハロゲン化炭素ガス設備	自動	粉末消火器	3	4	01-112 01D 水素ポンプ室	43	881	14	0.02	熱感知器	ハロゲン化炭素ガス設備	自動	粉末消火器	3	5	01-111 01P 南側通路	300	82548	270	0.30	熱感知器	ハロゲン化炭素ガス設備	自動	粉末消火器	3	6											7											8											9											10											11											12											13											14											15											16											17											18											19											20											21											22											23											24											25											26											27											28											29											火災区画全体のまとめ		(1)	北	南	東	①=合計値、②=合計値							708	18931.0	145	0.27	①=北+南+東、②=北+南+東+南		001.001MJ/m ² /h			特記事項		*1：他の火災区画との境界の耐火時間を示す。									<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="10">火災区画特性表Ⅱ</th> </tr> <tr> <th colspan="10">火災区画内の火災ハザード及び防火設備</th> </tr> <tr> <th colspan="2">フロント</th> <th colspan="4">泊3号機</th> <th colspan="4">火災区画番号</th> <th>1/1</th> </tr> <tr> <th colspan="2">火災区画名称</th> <th colspan="8">0-10 燃料ポンプ室</th> </tr> <tr> <th colspan="5">火災ハザード</th> <th colspan="5">防火設備</th> </tr> <tr> <th>床面積 (㎡)</th> <th>発熱量 (MJ)</th> <th>火災荷重 (MJ/m²)</th> <th>等価時間 (分)</th> <th>火災検知器</th> <th>主要消火設備</th> <th>消火方法</th> <th>消火設備のバックアップ</th> <th>隔壁耐火時間 (h:min)</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14.8</td> <td>1389</td> <td>94</td> <td>0.11</td> <td>熱感知器 煙感知器</td> <td>全域ハロゲン化物 消火設備</td> <td>自動</td> <td>粉末消火器 屋内消火栓</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="10"> 火災荷重 (MJ/m²) = 床面積 (㎡) / 発熱量 (MJ) 等価時間 (分) = 火災荷重 (MJ/m²) / 燃焼率 (MJ/m²/h) </td> </tr> <tr> <td colspan="10">*1：火災区画内の隔壁の耐火時間を示す。</td> </tr> <tr> <td colspan="10">特記事項</td> </tr> </tbody> </table>	火災区画特性表Ⅱ										火災区画内の火災ハザード及び防火設備										フロント		泊3号機				火災区画番号				1/1	火災区画名称		0-10 燃料ポンプ室								火災ハザード					防火設備					床面積 (㎡)	発熱量 (MJ)	火災荷重 (MJ/m ²)	等価時間 (分)	火災検知器	主要消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ	隔壁耐火時間 (h:min)		14.8	1389	94	0.11	熱感知器 煙感知器	全域ハロゲン化物 消火設備	自動	粉末消火器 屋内消火栓	-		火災荷重 (MJ/m ²) = 床面積 (㎡) / 発熱量 (MJ) 等価時間 (分) = 火災荷重 (MJ/m ²) / 燃焼率 (MJ/m ² /h)										*1：火災区画内の隔壁の耐火時間を示す。										特記事項										<p>【大飯】 ■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】 ■設計の相違</p> <p>泊は火災区画単位で評価、対策を確認するため、火災区画単位で記載し、火災区画内の隔壁情報を記載している。</p>
火災区画特性表Ⅱ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
火災区画内の火災発生及び防火設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
フロント		0-2				R1-A				1/1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
No.	火災区画内の扉番号	火災源				防火設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	火災区画内の扉番号	床面積 (㎡)	発熱量 (MJ/m ²)	火災荷重 (MJ/m ²)	等価時間 (分)	火災検知器	主要消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ	隔壁耐火時間 (h:min)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
1	01-110 01P 南側通路	150	47525	305	0.31	熱感知器	ハロゲン化炭素ガス設備	自動	粉末消火器	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
2	01-114 01D 水素ポンプ室	118	29443	242	0.27	熱感知器	ハロゲン化炭素ガス設備	自動	粉末消火器	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
3	01-113 01D 水素ポンプ室	80	10347	130	0.13	熱感知器	ハロゲン化炭素ガス設備	自動	粉末消火器	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
4	01-112 01D 水素ポンプ室	43	881	14	0.02	熱感知器	ハロゲン化炭素ガス設備	自動	粉末消火器	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
5	01-111 01P 南側通路	300	82548	270	0.30	熱感知器	ハロゲン化炭素ガス設備	自動	粉末消火器	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
13																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
17																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
18																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
19																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
21																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
22																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
23																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
24																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
26																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
27																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
28																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
29																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
火災区画全体のまとめ		(1)	北	南	東	①=合計値、②=合計値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		708	18931.0	145	0.27	①=北+南+東、②=北+南+東+南		001.001MJ/m ² /h																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
特記事項		*1：他の火災区画との境界の耐火時間を示す。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
火災区画特性表Ⅱ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
火災区画内の火災ハザード及び防火設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
フロント		泊3号機				火災区画番号				1/1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
火災区画名称		0-10 燃料ポンプ室																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
火災ハザード					防火設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
床面積 (㎡)	発熱量 (MJ)	火災荷重 (MJ/m ²)	等価時間 (分)	火災検知器	主要消火設備	消火方法	消火設備のバックアップ	隔壁耐火時間 (h:min)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
14.8	1389	94	0.11	熱感知器 煙感知器	全域ハロゲン化物 消火設備	自動	粉末消火器 屋内消火栓	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
火災荷重 (MJ/m ²) = 床面積 (㎡) / 発熱量 (MJ) 等価時間 (分) = 火災荷重 (MJ/m ²) / 燃焼率 (MJ/m ² /h)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
*1：火災区画内の隔壁の耐火時間を示す。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料3 火災区画特性表の例）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	<p style="text-align: center;">火災区画特性表Ⅲ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="6">火災区画に隣接する火災区画(区画)と伝播経路</th> <th>1/2</th> </tr> <tr> <th colspan="2">プラント</th> <th>0-2</th> <th>火災区画番号</th> <th>R1-A</th> <th></th> <th></th> </tr> <tr> <th>No.</th> <th>対象区画内の設備番号</th> <th>隣接火災区画内の扉扉番号</th> <th>隣接火災区画内の設備番号</th> <th>隣接の耐火能力 (0.0+1)</th> <th>隣接扉扉の耐火形式</th> <th>伝播の可能性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R-1-10</td><td>R-1-52</td><td>R-1-52</td><td>真鍮孔/扉</td><td>開放</td><td>放射状火災</td><td>有</td></tr> <tr><td>2</td><td>R-1-10</td><td>R-1-53</td><td>R-1-53</td><td>真鍮孔/扉</td><td>開放</td><td>放射状火災</td><td>有</td></tr> <tr><td>3</td><td>R-1-10</td><td>R1-A</td><td>RQWRシブシブ区画</td><td>真鍮孔</td><td>開放</td><td>ハロゲン化炭素系火災</td><td>有</td></tr> <tr><td>4</td><td>R-1-10</td><td>R1-B</td><td>RQWRシブシブの扉</td><td>真鍮孔</td><td>開放</td><td>ハロゲン化炭素系火災</td><td>有</td></tr> <tr><td>5</td><td>R-1-10</td><td>R1-28</td><td>MWRシブシブラック室</td><td>壁</td><td>3</td><td>放射状火災</td><td>無</td></tr> <tr><td>6</td><td>R-1-10</td><td>R1-31</td><td>区画</td><td>真鍮孔</td><td>開放</td><td>放射状火災</td><td>有</td></tr> <tr><td>7</td><td>R-1-10</td><td>R1-C</td><td>FRMWRシブシブ区画</td><td>真鍮孔</td><td>開放</td><td>放射状火災</td><td>有</td></tr> <tr><td>8</td><td>R-1-10</td><td>R1-C</td><td>R/A HCBM LOWシブシブ区画</td><td>真鍮孔/扉</td><td>開放</td><td>ハロゲン化炭素系火災</td><td>有</td></tr> <tr><td>9</td><td>R-1-10</td><td>R1-C</td><td>区画</td><td>真鍮孔</td><td>開放</td><td>放射状火災</td><td>有</td></tr> <tr><td>10</td><td>R-1-10</td><td>R1-C</td><td>R1-43</td><td>真鍮孔</td><td>開放</td><td>放射状火災</td><td>有</td></tr> <tr><td>11</td><td>R-1-10</td><td>R1-C</td><td>区画</td><td>真鍮孔</td><td>開放</td><td>放射状火災</td><td>有</td></tr> <tr><td>12</td><td>R-1-14</td><td>R1-53</td><td>区画</td><td>壁</td><td>3</td><td>放射状火災</td><td>無</td></tr> <tr><td>13</td><td>R-1-14</td><td>R1-1</td><td>区画</td><td>真鍮孔</td><td>開放</td><td>放射状火災</td><td>有</td></tr> <tr><td>14</td><td>R-1-14</td><td>R1-A</td><td>R1-13</td><td>真鍮孔</td><td>開放</td><td>放射状火災</td><td>有</td></tr> <tr><td>15</td><td>R-1-14</td><td>R1-A</td><td>R1-54</td><td>壁</td><td>3</td><td>放射状火災</td><td>無</td></tr> <tr><td>16</td><td>R-1-14</td><td>R1-C</td><td>区画</td><td>真鍮孔</td><td>開放</td><td>放射状火災</td><td>有</td></tr> <tr><td>17</td><td>R-1-14</td><td>R1-J</td><td>R1-29</td><td>真鍮孔</td><td>開放</td><td>放射状火災</td><td>有</td></tr> <tr><td>18</td><td>R-1-3</td><td>R1-1</td><td>区画</td><td>真鍮孔</td><td>開放</td><td>放射状火災</td><td>有</td></tr> <tr><td>19</td><td>R-1-3</td><td>R1-A</td><td>区画</td><td>壁</td><td>3</td><td>放射状火災</td><td>無</td></tr> <tr><td>20</td><td>R-1-3</td><td>R1-A</td><td>R1-20</td><td>真鍮孔</td><td>開放</td><td>放射状火災</td><td>有</td></tr> <tr><td>21</td><td>R-1-3</td><td>R1-A</td><td>区画</td><td>壁</td><td>3</td><td>放射状火災</td><td>無</td></tr> <tr><td>22</td><td>R-1-3</td><td>R1-A</td><td>R1-15</td><td>壁</td><td>3</td><td>放射状火災</td><td>無</td></tr> <tr><td>23</td><td>R-1-3</td><td>R1-A</td><td>R1-30</td><td>壁</td><td>3</td><td>放射状火災</td><td>無</td></tr> <tr><td>24</td><td>R-1-3</td><td>R1-J</td><td>R1-28</td><td>真鍮孔</td><td>開放</td><td>放射状火災</td><td>有</td></tr> <tr><td>25</td><td>R-3-2</td><td>R1-1</td><td>区画</td><td>真鍮孔</td><td>開放</td><td>放射状火災</td><td>有</td></tr> <tr><td>26</td><td>R-3-2</td><td>R1-K</td><td>R1-1</td><td>真鍮孔</td><td>開放</td><td>ハロゲン化炭素系火災</td><td>有</td></tr> <tr><td>27</td><td>R-3-2</td><td>R1-A</td><td>R1-25</td><td>壁</td><td>3</td><td>放射状火災</td><td>無</td></tr> <tr><td>28</td><td>R-3-2</td><td>R1-A</td><td>R1-30</td><td>壁</td><td>3</td><td>放射状火災</td><td>無</td></tr> <tr><td>29</td><td>R-3-2</td><td>R1-J</td><td>区画</td><td>真鍮孔</td><td>開放</td><td>放射状火災</td><td>有</td></tr> <tr><td>30</td><td>R-3-3</td><td>R1-52</td><td>R1-52</td><td>真鍮孔/扉</td><td>開放</td><td>放射状火災</td><td>有</td></tr> </tbody> </table> <p>*1: 他の火災区画との境界の耐火時間を示す。</p>	火災区画に隣接する火災区画(区画)と伝播経路						1/2	プラント		0-2	火災区画番号	R1-A			No.	対象区画内の設備番号	隣接火災区画内の扉扉番号	隣接火災区画内の設備番号	隣接の耐火能力 (0.0+1)	隣接扉扉の耐火形式	伝播の可能性	1	R-1-10	R-1-52	R-1-52	真鍮孔/扉	開放	放射状火災	有	2	R-1-10	R-1-53	R-1-53	真鍮孔/扉	開放	放射状火災	有	3	R-1-10	R1-A	RQWRシブシブ区画	真鍮孔	開放	ハロゲン化炭素系火災	有	4	R-1-10	R1-B	RQWRシブシブの扉	真鍮孔	開放	ハロゲン化炭素系火災	有	5	R-1-10	R1-28	MWRシブシブラック室	壁	3	放射状火災	無	6	R-1-10	R1-31	区画	真鍮孔	開放	放射状火災	有	7	R-1-10	R1-C	FRMWRシブシブ区画	真鍮孔	開放	放射状火災	有	8	R-1-10	R1-C	R/A HCBM LOWシブシブ区画	真鍮孔/扉	開放	ハロゲン化炭素系火災	有	9	R-1-10	R1-C	区画	真鍮孔	開放	放射状火災	有	10	R-1-10	R1-C	R1-43	真鍮孔	開放	放射状火災	有	11	R-1-10	R1-C	区画	真鍮孔	開放	放射状火災	有	12	R-1-14	R1-53	区画	壁	3	放射状火災	無	13	R-1-14	R1-1	区画	真鍮孔	開放	放射状火災	有	14	R-1-14	R1-A	R1-13	真鍮孔	開放	放射状火災	有	15	R-1-14	R1-A	R1-54	壁	3	放射状火災	無	16	R-1-14	R1-C	区画	真鍮孔	開放	放射状火災	有	17	R-1-14	R1-J	R1-29	真鍮孔	開放	放射状火災	有	18	R-1-3	R1-1	区画	真鍮孔	開放	放射状火災	有	19	R-1-3	R1-A	区画	壁	3	放射状火災	無	20	R-1-3	R1-A	R1-20	真鍮孔	開放	放射状火災	有	21	R-1-3	R1-A	区画	壁	3	放射状火災	無	22	R-1-3	R1-A	R1-15	壁	3	放射状火災	無	23	R-1-3	R1-A	R1-30	壁	3	放射状火災	無	24	R-1-3	R1-J	R1-28	真鍮孔	開放	放射状火災	有	25	R-3-2	R1-1	区画	真鍮孔	開放	放射状火災	有	26	R-3-2	R1-K	R1-1	真鍮孔	開放	ハロゲン化炭素系火災	有	27	R-3-2	R1-A	R1-25	壁	3	放射状火災	無	28	R-3-2	R1-A	R1-30	壁	3	放射状火災	無	29	R-3-2	R1-J	区画	真鍮孔	開放	放射状火災	有	30	R-3-3	R1-52	R1-52	真鍮孔/扉	開放	放射状火災	有	<p style="text-align: center;">火災区画特性表Ⅲ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="6">火災区画に隣接する火災区画(区画)と伝播経路</th> <th>1/1</th> </tr> <tr> <th colspan="2">プラント</th> <th>泊3号機</th> <th>火災区画番号</th> <th>A/B 1-02-2</th> <th></th> <th></th> </tr> <tr> <th>No.</th> <th>隣接火災区画区画番号</th> <th>隣接火災区画名称</th> <th>火災伝播経路</th> <th>隣接の耐火能力 (h) (耐火)</th> <th>隣接扉扉の耐火形式</th> <th>伝播の可能性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>A/B 3-01-1</td><td>原子炉補助建屋10.3m通路扉</td><td>壁</td><td>1</td><td>全域ハロゲン化炭素系火災</td><td>無</td></tr> <tr><td>2</td><td>A/B 4-01-1</td><td>原子炉補助建屋17.9m通路扉(管理区画)</td><td>壁</td><td>1</td><td>全域ハロゲン化炭素系火災</td><td>無</td></tr> <tr><td>3</td><td>A/B 4-02-1</td><td>原子炉補助建屋</td><td>壁</td><td>1</td><td>全域ハロゲン化炭素系火災</td><td>無</td></tr> <tr><td>4</td><td>A/B 4-03-3</td><td>プロセス制御機室</td><td>壁</td><td>1</td><td>全域ハロゲン化炭素系火災</td><td>無</td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>18</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>21</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>23</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>24</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>26</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>27</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>28</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>*1: 他の火災区画上の扉扉の耐火時間を示す。</p>	火災区画に隣接する火災区画(区画)と伝播経路						1/1	プラント		泊3号機	火災区画番号	A/B 1-02-2			No.	隣接火災区画区画番号	隣接火災区画名称	火災伝播経路	隣接の耐火能力 (h) (耐火)	隣接扉扉の耐火形式	伝播の可能性	1	A/B 3-01-1	原子炉補助建屋10.3m通路扉	壁	1	全域ハロゲン化炭素系火災	無	2	A/B 4-01-1	原子炉補助建屋17.9m通路扉(管理区画)	壁	1	全域ハロゲン化炭素系火災	無	3	A/B 4-02-1	原子炉補助建屋	壁	1	全域ハロゲン化炭素系火災	無	4	A/B 4-03-3	プロセス制御機室	壁	1	全域ハロゲン化炭素系火災	無	5							6							7							8							9							10							11							12							13							14							15							16							17							18							19							20							21							22							23							24							25							26							27							28							<p>【大飯】 ■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】 ■設計の相違</p> <p>泊は火災区画単位で評価、対策を確認するため、火災区画単位で記載している。</p>
火災区画に隣接する火災区画(区画)と伝播経路						1/2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
プラント		0-2	火災区画番号	R1-A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
No.	対象区画内の設備番号	隣接火災区画内の扉扉番号	隣接火災区画内の設備番号	隣接の耐火能力 (0.0+1)	隣接扉扉の耐火形式	伝播の可能性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
1	R-1-10	R-1-52	R-1-52	真鍮孔/扉	開放	放射状火災	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
2	R-1-10	R-1-53	R-1-53	真鍮孔/扉	開放	放射状火災	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
3	R-1-10	R1-A	RQWRシブシブ区画	真鍮孔	開放	ハロゲン化炭素系火災	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
4	R-1-10	R1-B	RQWRシブシブの扉	真鍮孔	開放	ハロゲン化炭素系火災	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
5	R-1-10	R1-28	MWRシブシブラック室	壁	3	放射状火災	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
6	R-1-10	R1-31	区画	真鍮孔	開放	放射状火災	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
7	R-1-10	R1-C	FRMWRシブシブ区画	真鍮孔	開放	放射状火災	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
8	R-1-10	R1-C	R/A HCBM LOWシブシブ区画	真鍮孔/扉	開放	ハロゲン化炭素系火災	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
9	R-1-10	R1-C	区画	真鍮孔	開放	放射状火災	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
10	R-1-10	R1-C	R1-43	真鍮孔	開放	放射状火災	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
11	R-1-10	R1-C	区画	真鍮孔	開放	放射状火災	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
12	R-1-14	R1-53	区画	壁	3	放射状火災	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
13	R-1-14	R1-1	区画	真鍮孔	開放	放射状火災	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
14	R-1-14	R1-A	R1-13	真鍮孔	開放	放射状火災	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
15	R-1-14	R1-A	R1-54	壁	3	放射状火災	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
16	R-1-14	R1-C	区画	真鍮孔	開放	放射状火災	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
17	R-1-14	R1-J	R1-29	真鍮孔	開放	放射状火災	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
18	R-1-3	R1-1	区画	真鍮孔	開放	放射状火災	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
19	R-1-3	R1-A	区画	壁	3	放射状火災	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
20	R-1-3	R1-A	R1-20	真鍮孔	開放	放射状火災	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
21	R-1-3	R1-A	区画	壁	3	放射状火災	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
22	R-1-3	R1-A	R1-15	壁	3	放射状火災	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
23	R-1-3	R1-A	R1-30	壁	3	放射状火災	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
24	R-1-3	R1-J	R1-28	真鍮孔	開放	放射状火災	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
25	R-3-2	R1-1	区画	真鍮孔	開放	放射状火災	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
26	R-3-2	R1-K	R1-1	真鍮孔	開放	ハロゲン化炭素系火災	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
27	R-3-2	R1-A	R1-25	壁	3	放射状火災	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
28	R-3-2	R1-A	R1-30	壁	3	放射状火災	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
29	R-3-2	R1-J	区画	真鍮孔	開放	放射状火災	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
30	R-3-3	R1-52	R1-52	真鍮孔/扉	開放	放射状火災	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
火災区画に隣接する火災区画(区画)と伝播経路						1/1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
プラント		泊3号機	火災区画番号	A/B 1-02-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
No.	隣接火災区画区画番号	隣接火災区画名称	火災伝播経路	隣接の耐火能力 (h) (耐火)	隣接扉扉の耐火形式	伝播の可能性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
1	A/B 3-01-1	原子炉補助建屋10.3m通路扉	壁	1	全域ハロゲン化炭素系火災	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
2	A/B 4-01-1	原子炉補助建屋17.9m通路扉(管理区画)	壁	1	全域ハロゲン化炭素系火災	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
3	A/B 4-02-1	原子炉補助建屋	壁	1	全域ハロゲン化炭素系火災	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
4	A/B 4-03-3	プロセス制御機室	壁	1	全域ハロゲン化炭素系火災	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
13																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
17																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
18																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
19																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
21																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
22																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
23																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
24																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
26																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
27																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
28																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料3 火災区画特性表の例）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">火災区画特性表</th> </tr> <tr> <th colspan="6">火災により影響を受ける設備</th> </tr> <tr> <th colspan="3">G-E</th> <th colspan="3">E-A</th> </tr> <tr> <th>プラント</th> <th>系統名</th> <th>機器番号</th> <th>機器名称</th> <th>重要区分</th> <th>影響を受ける種別名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R-1-3</td><td>RHR</td><td>E11-C001A</td><td>復旧機停止系統ポンプA</td><td>I</td><td>LPQ-A3HR-A (30C)ポンプ-A (15.0%)</td></tr> <tr><td>2</td><td>R-3-2</td><td>RHR</td><td>E11-FT006A</td><td>RHRポンプA出口流量</td><td>I</td><td>LPQ-A3HR-A (30C)ポンプ-A (15.0%)</td></tr> <tr><td>3</td><td>R-3-3</td><td>RHR</td><td>E11-FT006B</td><td>RHRポンプB出口流量</td><td>II</td><td>LPQ-A3HR-B (30C)ポンプ-B (15.0%)</td></tr> <tr><td>4</td><td>R-1-3</td><td>RHR</td><td>E11-MD-F001A</td><td>RHRポンプA出口配管弁</td><td>I</td><td>LPQ-A3HR-A (30C)ポンプ-A (15.0%)</td></tr> <tr><td>5</td><td>R-1-3</td><td>RHR</td><td>E11-MD-F001A</td><td>RHRポンプA停止時冷却設備弁</td><td>I</td><td>LPQ-A3HR-A (30C)ポンプ-A (15.0%)</td></tr> <tr><td>6</td><td>R-1-3</td><td>RHR</td><td>E11-MD-F000</td><td>代替循環冷却ポンプ吸込弁</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>R-1-3</td><td>RHR</td><td>E11-MD-F002</td><td>代替循環冷却ポンプ流量調整弁</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E51-AD-F010</td><td>RDCタービン人口蒸気ドレンライン第一弁</td><td>I</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E51-AD-F015</td><td>RDC真空ポンプ吐出ドレンライン第一弁</td><td></td><td>RDC</td></tr> <tr><td>10</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E51-AD-F016</td><td>RDC真空ポンプ吐出ドレンライン第二弁</td><td></td><td>RDC</td></tr> <tr><td>11</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E51-C001</td><td>原子炉隔離時冷却系ポンプ</td><td></td><td>RDC</td></tr> <tr><td>12</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E51-C002</td><td>原子炉隔離時冷却系タービン</td><td></td><td>RDC</td></tr> <tr><td>13</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E51-C003</td><td>原子炉隔離時冷却系復水ポンプ</td><td></td><td>RDC</td></tr> <tr><td>14</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E51-C004</td><td>原子炉隔離時冷却系真空ポンプ</td><td></td><td>RDC</td></tr> <tr><td>15</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E51-FT004</td><td>RDCポンプ出口流量</td><td>I</td><td>RDC</td></tr> <tr><td>16</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E51-HO-F012</td><td>RDC蒸気加熱弁</td><td></td><td>RDC</td></tr> <tr><td>17</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E51-LT026</td><td>RDC真空タンク水位</td><td>I</td><td>RDC</td></tr> <tr><td>18</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E51-MD-F001</td><td>RDCポンプ出口配管弁</td><td>I</td><td>RDC</td></tr> <tr><td>19</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E51-MD-F005</td><td>RDCポンプ出口配管弁</td><td>I</td><td>RDC</td></tr> <tr><td>20</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E51-MD-F009</td><td>RDCタービン止め弁</td><td>I</td><td>RDC</td></tr> <tr><td>21</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E51-MD-F013</td><td>RDC第一試験用調整弁</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E51-MD-F013</td><td>RDC第二試験用調整弁</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>23</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E51-MD-F017</td><td>RDC冷却水ライン止め弁</td><td>I</td><td>RDC</td></tr> <tr><td>24</td><td>R-1-14</td><td>RDC</td><td>E51-MD-F071</td><td>RDC主蒸気止め弁</td><td>I</td><td>RDC</td></tr> <tr><td>25</td><td>R-1-3</td><td>AC</td><td>T48-LT000</td><td>圧力制御水位</td><td>NON</td><td>その他監視対象 0</td></tr> <tr> <td colspan="6">特記事項</td> </tr> </tbody> </table>	火災区画特性表						火災により影響を受ける設備						G-E			E-A			プラント	系統名	機器番号	機器名称	重要区分	影響を受ける種別名	1	R-1-3	RHR	E11-C001A	復旧機停止系統ポンプA	I	LPQ-A3HR-A (30C)ポンプ-A (15.0%)	2	R-3-2	RHR	E11-FT006A	RHRポンプA出口流量	I	LPQ-A3HR-A (30C)ポンプ-A (15.0%)	3	R-3-3	RHR	E11-FT006B	RHRポンプB出口流量	II	LPQ-A3HR-B (30C)ポンプ-B (15.0%)	4	R-1-3	RHR	E11-MD-F001A	RHRポンプA出口配管弁	I	LPQ-A3HR-A (30C)ポンプ-A (15.0%)	5	R-1-3	RHR	E11-MD-F001A	RHRポンプA停止時冷却設備弁	I	LPQ-A3HR-A (30C)ポンプ-A (15.0%)	6	R-1-3	RHR	E11-MD-F000	代替循環冷却ポンプ吸込弁			7	R-1-3	RHR	E11-MD-F002	代替循環冷却ポンプ流量調整弁			8	R-1-14	RDC	E51-AD-F010	RDCタービン人口蒸気ドレンライン第一弁	I		9	R-1-14	RDC	E51-AD-F015	RDC真空ポンプ吐出ドレンライン第一弁		RDC	10	R-1-14	RDC	E51-AD-F016	RDC真空ポンプ吐出ドレンライン第二弁		RDC	11	R-1-14	RDC	E51-C001	原子炉隔離時冷却系ポンプ		RDC	12	R-1-14	RDC	E51-C002	原子炉隔離時冷却系タービン		RDC	13	R-1-14	RDC	E51-C003	原子炉隔離時冷却系復水ポンプ		RDC	14	R-1-14	RDC	E51-C004	原子炉隔離時冷却系真空ポンプ		RDC	15	R-1-14	RDC	E51-FT004	RDCポンプ出口流量	I	RDC	16	R-1-14	RDC	E51-HO-F012	RDC蒸気加熱弁		RDC	17	R-1-14	RDC	E51-LT026	RDC真空タンク水位	I	RDC	18	R-1-14	RDC	E51-MD-F001	RDCポンプ出口配管弁	I	RDC	19	R-1-14	RDC	E51-MD-F005	RDCポンプ出口配管弁	I	RDC	20	R-1-14	RDC	E51-MD-F009	RDCタービン止め弁	I	RDC	21	R-1-14	RDC	E51-MD-F013	RDC第一試験用調整弁			22	R-1-14	RDC	E51-MD-F013	RDC第二試験用調整弁			23	R-1-14	RDC	E51-MD-F017	RDC冷却水ライン止め弁	I	RDC	24	R-1-14	RDC	E51-MD-F071	RDC主蒸気止め弁	I	RDC	25	R-1-3	AC	T48-LT000	圧力制御水位	NON	その他監視対象 0	特記事項						<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">火災区画特性表</th> </tr> <tr> <th colspan="6">火災により影響を受ける設備</th> </tr> <tr> <th colspan="3">B-1</th> <th colspan="3">A 4-02-2</th> </tr> <tr> <th>プラント</th> <th>系統名</th> <th>機器番号</th> <th>機器名称</th> <th>重要区分</th> <th>影響を受ける種別名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>CVS</td><td>CVS2B</td><td>3B-ほう電ポンプ</td><td>B</td><td>CVS</td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>18</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>21</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>23</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>24</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td colspan="6">特記事項</td> </tr> </tbody> </table>	火災区画特性表						火災により影響を受ける設備						B-1			A 4-02-2			プラント	系統名	機器番号	機器名称	重要区分	影響を受ける種別名	1	CVS	CVS2B	3B-ほう電ポンプ	B	CVS	2						3						4						5						6						7						8						9						10						11						12						13						14						15						16						17						18						19						20						21						22						23						24						25						特記事項						<p>【大飯】 ■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】 ■設計の相違</p> <p>泊は火災区画単位で評価、対策を確認するため、火災区画単位で記載している。</p>
火災区画特性表																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
火災により影響を受ける設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
G-E			E-A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
プラント	系統名	機器番号	機器名称	重要区分	影響を受ける種別名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
1	R-1-3	RHR	E11-C001A	復旧機停止系統ポンプA	I	LPQ-A3HR-A (30C)ポンプ-A (15.0%)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
2	R-3-2	RHR	E11-FT006A	RHRポンプA出口流量	I	LPQ-A3HR-A (30C)ポンプ-A (15.0%)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
3	R-3-3	RHR	E11-FT006B	RHRポンプB出口流量	II	LPQ-A3HR-B (30C)ポンプ-B (15.0%)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
4	R-1-3	RHR	E11-MD-F001A	RHRポンプA出口配管弁	I	LPQ-A3HR-A (30C)ポンプ-A (15.0%)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
5	R-1-3	RHR	E11-MD-F001A	RHRポンプA停止時冷却設備弁	I	LPQ-A3HR-A (30C)ポンプ-A (15.0%)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
6	R-1-3	RHR	E11-MD-F000	代替循環冷却ポンプ吸込弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
7	R-1-3	RHR	E11-MD-F002	代替循環冷却ポンプ流量調整弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
8	R-1-14	RDC	E51-AD-F010	RDCタービン人口蒸気ドレンライン第一弁	I																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
9	R-1-14	RDC	E51-AD-F015	RDC真空ポンプ吐出ドレンライン第一弁		RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
10	R-1-14	RDC	E51-AD-F016	RDC真空ポンプ吐出ドレンライン第二弁		RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11	R-1-14	RDC	E51-C001	原子炉隔離時冷却系ポンプ		RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
12	R-1-14	RDC	E51-C002	原子炉隔離時冷却系タービン		RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
13	R-1-14	RDC	E51-C003	原子炉隔離時冷却系復水ポンプ		RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
14	R-1-14	RDC	E51-C004	原子炉隔離時冷却系真空ポンプ		RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
15	R-1-14	RDC	E51-FT004	RDCポンプ出口流量	I	RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
16	R-1-14	RDC	E51-HO-F012	RDC蒸気加熱弁		RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
17	R-1-14	RDC	E51-LT026	RDC真空タンク水位	I	RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
18	R-1-14	RDC	E51-MD-F001	RDCポンプ出口配管弁	I	RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
19	R-1-14	RDC	E51-MD-F005	RDCポンプ出口配管弁	I	RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
20	R-1-14	RDC	E51-MD-F009	RDCタービン止め弁	I	RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
21	R-1-14	RDC	E51-MD-F013	RDC第一試験用調整弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
22	R-1-14	RDC	E51-MD-F013	RDC第二試験用調整弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
23	R-1-14	RDC	E51-MD-F017	RDC冷却水ライン止め弁	I	RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
24	R-1-14	RDC	E51-MD-F071	RDC主蒸気止め弁	I	RDC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
25	R-1-3	AC	T48-LT000	圧力制御水位	NON	その他監視対象 0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
火災区画特性表																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
火災により影響を受ける設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
B-1			A 4-02-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
プラント	系統名	機器番号	機器名称	重要区分	影響を受ける種別名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
1	CVS	CVS2B	3B-ほう電ポンプ	B	CVS																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
13																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
17																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
18																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
19																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
21																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
22																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
23																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
24																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料3 火災区画特性表の例）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">火災区画特性表V</th> </tr> <tr> <th colspan="4">火災により影響を受けるケーブル</th> </tr> <tr> <th colspan="3"></th> <th>1/1</th> </tr> <tr> <th>フロント</th> <th>0-E</th> <th>火災区画番号</th> <th>R1-A</th> </tr> <tr> <th>No</th> <th>火災区画内の設備番号</th> <th>火災区画内の設備名称</th> <th>○：送付有 ×：送付無 備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R1-10</td><td>BZF 南側通路</td><td>○</td></tr> <tr><td>2</td><td>R1-14</td><td>RCBタービンポンプ室</td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td>R1-3</td><td>R4RポンプA室</td><td>○</td></tr> <tr><td>4</td><td>R3-2</td><td>R4RA計装ラック室</td><td>○</td></tr> <tr><td>5</td><td>R2-9</td><td>BZF 南側通路</td><td>○</td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>18</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>21</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>23</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>24</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>26</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>27</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>28</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>29</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>30</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td colspan="2">特記事項</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>	火災区画特性表V				火災により影響を受けるケーブル							1/1	フロント	0-E	火災区画番号	R1-A	No	火災区画内の設備番号	火災区画内の設備名称	○：送付有 ×：送付無 備考	1	R1-10	BZF 南側通路	○	2	R1-14	RCBタービンポンプ室	○	3	R1-3	R4RポンプA室	○	4	R3-2	R4RA計装ラック室	○	5	R2-9	BZF 南側通路	○	6				7				8				9				10				11				12				13				14				15				16				17				18				19				20				21				22				23				24				25				26				27				28				29				30				特記事項				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">火災区画特性表V</th> </tr> <tr> <th colspan="4">火災により影響を受けるケーブル</th> </tr> <tr> <th colspan="3"></th> <th>1/1</th> </tr> <tr> <th>フロント</th> <th>0-E</th> <th>火災区画番号</th> <th>R1-A</th> </tr> <tr> <th>No</th> <th>火災区画内の設備番号</th> <th>火災区画内の設備名称</th> <th>○：送付有 ×：送付無 備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R1-10</td><td>BZF 南側通路</td><td>○</td></tr> <tr><td>2</td><td>R1-14</td><td>RCBタービンポンプ室</td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td>R1-3</td><td>R4RポンプA室</td><td>○</td></tr> <tr><td>4</td><td>R3-2</td><td>R4RA計装ラック室</td><td>○</td></tr> <tr><td>5</td><td>R2-9</td><td>BZF 南側通路</td><td>○</td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>18</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>21</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>23</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>24</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>26</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>27</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>28</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>29</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>30</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td colspan="2">特記事項</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>	火災区画特性表V				火災により影響を受けるケーブル							1/1	フロント	0-E	火災区画番号	R1-A	No	火災区画内の設備番号	火災区画内の設備名称	○：送付有 ×：送付無 備考	1	R1-10	BZF 南側通路	○	2	R1-14	RCBタービンポンプ室	○	3	R1-3	R4RポンプA室	○	4	R3-2	R4RA計装ラック室	○	5	R2-9	BZF 南側通路	○	6				7				8				9				10				11				12				13				14				15				16				17				18				19				20				21				22				23				24				25				26				27				28				29				30				特記事項				<p>【大飯】 ■記載内容の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設計の相違 泊は火災区画単位で評価、対策を確認するため、火災区画単位で記載している。</p>
火災区画特性表V																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
火災により影響を受けるケーブル																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			1/1																																																																																																																																																																																																																																																																																																
フロント	0-E	火災区画番号	R1-A																																																																																																																																																																																																																																																																																																
No	火災区画内の設備番号	火災区画内の設備名称	○：送付有 ×：送付無 備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																
1	R1-10	BZF 南側通路	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																
2	R1-14	RCBタービンポンプ室	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																
3	R1-3	R4RポンプA室	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																
4	R3-2	R4RA計装ラック室	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																
5	R2-9	BZF 南側通路	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																
6																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
7																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
8																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
9																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
10																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
11																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
12																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
13																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
14																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
15																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
16																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
17																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
18																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
19																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
20																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
21																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
22																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
23																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
24																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
25																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
26																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
27																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
28																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
29																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
30																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
火災区画特性表V																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
火災により影響を受けるケーブル																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			1/1																																																																																																																																																																																																																																																																																																
フロント	0-E	火災区画番号	R1-A																																																																																																																																																																																																																																																																																																
No	火災区画内の設備番号	火災区画内の設備名称	○：送付有 ×：送付無 備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																
1	R1-10	BZF 南側通路	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																
2	R1-14	RCBタービンポンプ室	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																
3	R1-3	R4RポンプA室	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																
4	R3-2	R4RA計装ラック室	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																
5	R2-9	BZF 南側通路	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																
6																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
7																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
8																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
9																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
10																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
11																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
12																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
13																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
14																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
15																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
16																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
17																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
18																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
19																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
20																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
21																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
22																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
23																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
24																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
25																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
26																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
27																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
28																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
29																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
30																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料3 火災区画特性表の例)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																														
	<p style="text-align: center;">添付資料-1</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">火災影響評価のデータシート 目次</th> <th style="text-align: right;">1/1</th> </tr> <tr> <th style="width: 10%;">フロント</th> <th style="width: 10%;">O-2</th> <th style="width: 40%;">火災区画番号</th> <th style="width: 30%;">R1-A</th> <th></th> </tr> <tr> <th>No.</th> <th>火災区画内の設備番号</th> <th>火災区画内の設置名称</th> <th>○: 設け有 ×: 設け無</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R-1-10</td><td>BZF 南側通路</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>R-1-14</td><td>RDCOカーボンポンプ室</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>R-1-2</td><td>RHポンプA室</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>R-3-2</td><td>RH-A材料積ラック室</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>R-3-8</td><td>BZF 南側通路</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>18</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>21</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>23</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>24</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>26</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>27</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>28</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>29</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>30</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">特記事項</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>	火災影響評価のデータシート 目次				1/1	フロント	O-2	火災区画番号	R1-A		No.	火災区画内の設備番号	火災区画内の設置名称	○: 設け有 ×: 設け無	備考	1	R-1-10	BZF 南側通路	○		2	R-1-14	RDCOカーボンポンプ室	○		3	R-1-2	RHポンプA室	○		4	R-3-2	RH-A材料積ラック室	○		5	R-3-8	BZF 南側通路	○		6					7					8					9					10					11					12					13					14					15					16					17					18					19					20					21					22					23					24					25					26					27					28					29					30					特記事項					<p style="text-align: center;">添付資料-1</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">火災影響評価のデータシート 目次</th> <th style="text-align: right;">1/1</th> </tr> <tr> <th style="width: 10%;">フロント</th> <th style="width: 10%;">炉号</th> <th style="width: 40%;">火災区画番号</th> <th style="width: 30%;">R1-A</th> <th></th> </tr> <tr> <th>火災区画名称</th> <th>火災区画名称</th> <th>設け有</th> <th>設け無</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特記事項</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	火災影響評価のデータシート 目次				1/1	フロント	炉号	火災区画番号	R1-A		火災区画名称	火災区画名称	設け有	設け無		特記事項					<p>【大飯】</p> <p>■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊は火災区画単位で評価、対策を確認するため、火災区画単位で記載している。</p>
火災影響評価のデータシート 目次				1/1																																																																																																																																																																																													
フロント	O-2	火災区画番号	R1-A																																																																																																																																																																																														
No.	火災区画内の設備番号	火災区画内の設置名称	○: 設け有 ×: 設け無	備考																																																																																																																																																																																													
1	R-1-10	BZF 南側通路	○																																																																																																																																																																																														
2	R-1-14	RDCOカーボンポンプ室	○																																																																																																																																																																																														
3	R-1-2	RHポンプA室	○																																																																																																																																																																																														
4	R-3-2	RH-A材料積ラック室	○																																																																																																																																																																																														
5	R-3-8	BZF 南側通路	○																																																																																																																																																																																														
6																																																																																																																																																																																																	
7																																																																																																																																																																																																	
8																																																																																																																																																																																																	
9																																																																																																																																																																																																	
10																																																																																																																																																																																																	
11																																																																																																																																																																																																	
12																																																																																																																																																																																																	
13																																																																																																																																																																																																	
14																																																																																																																																																																																																	
15																																																																																																																																																																																																	
16																																																																																																																																																																																																	
17																																																																																																																																																																																																	
18																																																																																																																																																																																																	
19																																																																																																																																																																																																	
20																																																																																																																																																																																																	
21																																																																																																																																																																																																	
22																																																																																																																																																																																																	
23																																																																																																																																																																																																	
24																																																																																																																																																																																																	
25																																																																																																																																																																																																	
26																																																																																																																																																																																																	
27																																																																																																																																																																																																	
28																																																																																																																																																																																																	
29																																																																																																																																																																																																	
30																																																																																																																																																																																																	
特記事項																																																																																																																																																																																																	
火災影響評価のデータシート 目次				1/1																																																																																																																																																																																													
フロント	炉号	火災区画番号	R1-A																																																																																																																																																																																														
火災区画名称	火災区画名称	設け有	設け無																																																																																																																																																																																														
特記事項																																																																																																																																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">添付資料4</p> <p style="text-align: center;">女川原子力発電所 2号炉における 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <p>1. 概要 全ての火災区画について、隣接火災区画への火災影響の有無を確認するため火災伝播評価を実施した。</p> <p>2. 前提条件 火災伝播評価においては、火災の影響軽減対策の実施を前提として、火災の伝播の有無を評価する。（8条-別添1-資料7参照）</p> <p>3. 評価 全ての火災区画について、隣接する火災区画を抽出し、火災伝播評価手順の概要フローに従い、火災伝播評価を実施した。 火災伝播“無”となった火災区域については、火災影響評価で「隣接火災区画に影響を与えない火災区画の火災影響評価」を実施し、火災伝播“有”となった隣接火災区画については、火災影響評価で「隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価」を実施する。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料4</p> <p style="text-align: center;">泊発電所 3号炉における 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <p>1. 概要 すべての火災区画について、隣接火災区画への火災影響の有無を確認するため火災伝播評価を実施した。</p> <p>2. 前提条件 火災伝播評価においては、火災の影響軽減対策の実施を前提として、火災の伝播の有無を評価する。（8条-別添1-資料7参照）</p> <p>3. 評価 すべての火災区画について、隣接する火災区画を抽出し、火災伝播評価手順の概要フローに従い、火災伝播評価を実施した。 火災伝播“無”となった火災区域については、火災影響評価で「隣接火災区画に影響を与えない火災区画の火災影響評価」を実施し、火災伝播“有”となった隣接火災区画については、火災影響評価で「隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価」を実施する。</p>	<p>【女川】 ■設備名称の相違</p> <p>【大飯】 ■記載内容の相違 (女川実績の反映)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果)

大阪発電所 3 / 4号炉											女川原子力発電所 2号炉											泊発電所 3号炉											相違理由																																																																																																																																																																							
<p>図7-24 隣接火災区画への火災伝播評価結果 (火災伝播評価) (1/24)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>火災区画の面積 (㎡)</th> <th>火災区画の容積 (m³)</th> <th>火災区画の構造</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能 (h)</th> </tr> </thead> </table>																																	火災区画	火災区画名称	火災区画の面積 (㎡)	火災区画の容積 (m ³)	火災区画の構造	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	<p>女川原子力発電所 2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画内の主な装置名称</th> <th>等価火災時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RI-A</td> <td>BEERポンプ(A)室 他</td> <td>0.27h</td> <td>RI-D RI-E RI-F RI-G RI-H RI-I RI-K RI-L RI-M RI-N RI-O RI-P RI-Q RI-R RI-S RI-T RI-U RI-V RI-W RI-X RI-Y RI-Z</td> <td>3h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>																																	火災区画	火災区画内の主な装置名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	RI-A	BEERポンプ(A)室 他	0.27h	RI-D RI-E RI-F RI-G RI-H RI-I RI-K RI-L RI-M RI-N RI-O RI-P RI-Q RI-R RI-S RI-T RI-U RI-V RI-W RI-X RI-Y RI-Z	3h	無		<p>泊発電所 3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>等価時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A/B 1-01</td> <td>原子炉補助建屋-1.7m通路部</td> <td>0.11h</td> <td>A/B 1-03 A/B 1-04 A/B 2-01-2 A/B 2-02 A/B 1-02 A/B 2-01-3 A/B-C A/B-D A/B 1-04 A/B 2-01 A/B 2-01-2 A/B 1-01 A/B 1-04 A/B 2-01-2 A/B 2-02 A/B 1-01 A/B 1-02 A/B 1-03 A/B 2-01-2 A/B 2-02</td> <td>3h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A/B 1-02</td> <td>湯水ヒットポンプ室及び制御用配管室</td> <td>0.07h</td> <td>A/B 1-01</td> <td>1h</td> <td>有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A/B 1-03</td> <td>A-格納容器スプレイポンプ室、A-高圧注入ポンプ室及びA-熱除去ポンプ室</td> <td>0.12h</td> <td>A/B 1-01</td> <td>3h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A/B 1-04</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ室、B-高圧注入ポンプ室及びB-熱除去ポンプ室</td> <td>0.13h</td> <td>A/B 1-01</td> <td>3h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A/B 2-01-1</td> <td>セメント固化装置エリア</td> <td>0.20h</td> <td>A/B 2-01-2 A/B 3-01-1 A/B 4-01-1 A/B 2-01-3 A/B 2-01-5 A/B 4-01-4 A/B 5-01 A/B-G A/B-I</td> <td>1h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>																																	火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	A/B 1-01	原子炉補助建屋-1.7m通路部	0.11h	A/B 1-03 A/B 1-04 A/B 2-01-2 A/B 2-02 A/B 1-02 A/B 2-01-3 A/B-C A/B-D A/B 1-04 A/B 2-01 A/B 2-01-2 A/B 1-01 A/B 1-04 A/B 2-01-2 A/B 2-02 A/B 1-01 A/B 1-02 A/B 1-03 A/B 2-01-2 A/B 2-02	3h	無		A/B 1-02	湯水ヒットポンプ室及び制御用配管室	0.07h	A/B 1-01	1h	有		A/B 1-03	A-格納容器スプレイポンプ室、A-高圧注入ポンプ室及びA-熱除去ポンプ室	0.12h	A/B 1-01	3h	無		A/B 1-04	B-格納容器スプレイポンプ室、B-高圧注入ポンプ室及びB-熱除去ポンプ室	0.13h	A/B 1-01	3h	無		A/B 2-01-1	セメント固化装置エリア	0.20h	A/B 2-01-2 A/B 3-01-1 A/B 4-01-1 A/B 2-01-3 A/B 2-01-5 A/B 4-01-4 A/B 5-01 A/B-G A/B-I	1h	無							有		<p>【女川・大阪】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大阪】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>(女川実績の反映;着色せず)</p> <p>(3/4号炉は型型が同様であるため、3号炉のみ記載)</p>
火災区画	火災区画名称	火災区画の面積 (㎡)	火災区画の容積 (m ³)	火災区画の構造	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)	火災区画の耐火性能 (h)																																																																																																																																																																			
火災区画	火災区画内の主な装置名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																																																																																																																																		
RI-A	BEERポンプ(A)室 他	0.27h	RI-D RI-E RI-F RI-G RI-H RI-I RI-K RI-L RI-M RI-N RI-O RI-P RI-Q RI-R RI-S RI-T RI-U RI-V RI-W RI-X RI-Y RI-Z	3h	無																																																																																																																																																																																																			
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																																																																																																																																		
A/B 1-01	原子炉補助建屋-1.7m通路部	0.11h	A/B 1-03 A/B 1-04 A/B 2-01-2 A/B 2-02 A/B 1-02 A/B 2-01-3 A/B-C A/B-D A/B 1-04 A/B 2-01 A/B 2-01-2 A/B 1-01 A/B 1-04 A/B 2-01-2 A/B 2-02 A/B 1-01 A/B 1-02 A/B 1-03 A/B 2-01-2 A/B 2-02	3h	無																																																																																																																																																																																																			
A/B 1-02	湯水ヒットポンプ室及び制御用配管室	0.07h	A/B 1-01	1h	有																																																																																																																																																																																																			
A/B 1-03	A-格納容器スプレイポンプ室、A-高圧注入ポンプ室及びA-熱除去ポンプ室	0.12h	A/B 1-01	3h	無																																																																																																																																																																																																			
A/B 1-04	B-格納容器スプレイポンプ室、B-高圧注入ポンプ室及びB-熱除去ポンプ室	0.13h	A/B 1-01	3h	無																																																																																																																																																																																																			
A/B 2-01-1	セメント固化装置エリア	0.20h	A/B 2-01-2 A/B 3-01-1 A/B 4-01-1 A/B 2-01-3 A/B 2-01-5 A/B 4-01-4 A/B 5-01 A/B-G A/B-I	1h	無																																																																																																																																																																																																			
					有																																																																																																																																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果）

第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果（火災伝播評価）（2/24）

炉種	炉名	火災伝播評価結果		火災伝播評価結果		火災伝播評価結果		火災伝播評価結果		火災伝播評価結果		火災伝播の相違
		火災伝播の有無	火災伝播の相違	火災伝播の有無	火災伝播の相違	火災伝播の有無	火災伝播の相違	火災伝播の有無	火災伝播の相違	火災伝播の有無	火災伝播の相違	
原子力発電所	原子力発電所3号炉	0.5	0	有	無	有	無	有	無	有	無	有
		0.5	0	有	無	有	無	有	無	有	無	有
		0.5	0	有	無	有	無	有	無	有	無	有
		0.5	0	有	無	有	無	有	無	有	無	有
		0.5	0	有	無	有	無	有	無	有	無	有
		0.5	0	有	無	有	無	有	無	有	無	有
		0.5	0	有	無	有	無	有	無	有	無	有
		0.5	0	有	無	有	無	有	無	有	無	有
		0.5	0	有	無	有	無	有	無	有	無	有
		0.5	0	有	無	有	無	有	無	有	無	有

火災区画	火災区画内の主な設備名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考
01-5	原子力発電所2号炉	1.25	R2-A R2-F R2-A R-1-61 R-3-41 R-5-67 Y1-B Y1-F R1-C R1-I R1-K R2-C R2-A R2-B R2-D R2-F R2-G R-1-45 R-3-40 R-5-21 R-9-41 R-11-5	3h	無	

火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考
A/B 2-01-2	原子力補助建屋2.8m通路部	0.34h	A/B 1-03 A/B 1-04 A/B 2-01-4 A/B 2-04 A/B 2-05-1 A/B 3-03 A/B 3-04 A/B 3-05 A/B 3-07-1 A/B 3-08 A/B 3-09 A/B-D R/B 2-01 A/B 1-01 A/B 1-02 A/B 2-01-1 A/B 2-01-3 A/B 2-01-5 A/B 2-01-6 A/B 2-01-7 A/B 2-02 A/B 3-01-1 A/B-C A/B-I R/B 2-03	3h	無	

【女川・大飯】
 ■設計の相違
 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。
 (大飯：着色せず)

【大飯】
 ■記載方針の相違
 (女川実績の反映：着色せず)
 (3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果)

大阪発電所3 / 4号炉										女川原子力発電所2号炉										泊発電所3号炉										相違理由																																																																																																																																																																				
<p>第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (3/24)</p> <p>火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (3/24)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">火災区画</th> <th rowspan="2">火災区画名称</th> <th rowspan="2">火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (3/24)</th> <th colspan="3">火災伝播評価結果 (火災伝播評価) (3/24)</th> <th colspan="3">火災伝播評価結果 (火災伝播評価) (3/24)</th> <th colspan="3">火災伝播評価結果 (火災伝播評価) (3/24)</th> <th colspan="3">火災伝播評価結果 (火災伝播評価) (3/24)</th> <th colspan="3">火災伝播評価結果 (火災伝播評価) (3/24)</th> <th colspan="3">火災伝播評価結果 (火災伝播評価) (3/24)</th> <th colspan="3">火災伝播評価結果 (火災伝播評価) (3/24)</th> <th rowspan="2">火災伝播評価結果 (火災伝播評価) (3/24)</th> </tr> <tr> <th>火災伝播可能性</th> <th>火災伝播時間</th> <th>火災伝播距離</th> <th>火災伝播経路</th> <th>火災伝播経路</th> <th>火災伝播経路</th> <th>火災伝播経路</th> <th>火災伝播経路</th> <th>火災伝播経路</th> <th>火災伝播経路</th> <th>火災伝播経路</th> <th>火災伝播経路</th> <th>火災伝播経路</th> <th>火災伝播経路</th> <th>火災伝播経路</th> <th>火災伝播経路</th> <th>火災伝播経路</th> <th>火災伝播経路</th> <th>火災伝播経路</th> <th>火災伝播経路</th> <th>火災伝播経路</th> <th>火災伝播経路</th> <th>火災伝播経路</th> </tr> </thead> </table>																														火災区画	火災区画名称	火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (3/24)	火災伝播評価結果 (火災伝播評価) (3/24)			火災伝播評価結果 (火災伝播評価) (3/24)			火災伝播評価結果 (火災伝播評価) (3/24)			火災伝播評価結果 (火災伝播評価) (3/24)			火災伝播評価結果 (火災伝播評価) (3/24)			火災伝播評価結果 (火災伝播評価) (3/24)			火災伝播評価結果 (火災伝播評価) (3/24)			火災伝播評価結果 (火災伝播評価) (3/24)	火災伝播可能性	火災伝播時間	火災伝播距離	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	<p>女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画内の主な設備名称</th> <th>等価火災時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1-C</td> <td>火災区画内の主な設備名称</td> <td>1.5分</td> <td>CI-E CI-A CV-A C-3-33 RN-D RN-I R-1-53 CI-A RI-B RI-K R2-A R2-D R2-E RN-A RN-B R-5-16</td> <td>3h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>有</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>																														火災区画	火災区画内の主な設備名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	R1-C	火災区画内の主な設備名称	1.5分	CI-E CI-A CV-A C-3-33 RN-D RN-I R-1-53 CI-A RI-B RI-K R2-A R2-D R2-E RN-A RN-B R-5-16	3h	無						-	有		<p>泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>等価時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A/B 2-01-3</td> <td>冷却材貯蔵タンク室、使用済樹脂貯蔵タンク室、ほう酸回収装置高圧水ポンプ及び廃液給本ポンプ室</td> <td>0.01h</td> <td>A/B 2-405-1 A/B 3-407-1 A/B 2-401-2 A/B 3-401-1 A/B 4-401-1 A/B 1-01 A/B 2-401-7 A/B 3-401-2 A/B 3-401-3 A/B 4-401-2 A/B 4-401-4 A/B-C</td> <td>3h 1h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A/B 2-01-4</td> <td>工作室</td> <td>1.14h</td> <td>A/B 2-401-2 A/B 3-407-1 A/B 3-407-2 A/B 2-401-6 A/B 2-405-1 A/B 3-407-1 A/B 2-401-2 A/B 3-401-1 A/B 2-401-1 A/B 2-405-2 A/B-I A/B-R A/B 2-401-4</td> <td>3h 1h 3h 1h</td> <td>無 有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A/B 2-01-5</td> <td>原子炉補助建屋6.3m通路部</td> <td>0.02h</td> <td>A/B 2-401-2 A/B 3-407-1 A/B 2-401-1 A/B 2-405-2</td> <td>3h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A/B 2-01-6</td> <td>原子炉補助建屋6.3m通路部</td> <td>0.05h</td> <td>A/B 2-401-2 A/B 3-407-1 A/B 3-407-2 A/B 2-401-6 A/B 2-405-2 A/B-I A/B-R A/B 2-401-4</td> <td>3h 1h 3h 1h</td> <td>無 有</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>																														火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	A/B 2-01-3	冷却材貯蔵タンク室、使用済樹脂貯蔵タンク室、ほう酸回収装置高圧水ポンプ及び廃液給本ポンプ室	0.01h	A/B 2-405-1 A/B 3-407-1 A/B 2-401-2 A/B 3-401-1 A/B 4-401-1 A/B 1-01 A/B 2-401-7 A/B 3-401-2 A/B 3-401-3 A/B 4-401-2 A/B 4-401-4 A/B-C	3h 1h	無		A/B 2-01-4	工作室	1.14h	A/B 2-401-2 A/B 3-407-1 A/B 3-407-2 A/B 2-401-6 A/B 2-405-1 A/B 3-407-1 A/B 2-401-2 A/B 3-401-1 A/B 2-401-1 A/B 2-405-2 A/B-I A/B-R A/B 2-401-4	3h 1h 3h 1h	無 有		A/B 2-01-5	原子炉補助建屋6.3m通路部	0.02h	A/B 2-401-2 A/B 3-407-1 A/B 2-401-1 A/B 2-405-2	3h	無		A/B 2-01-6	原子炉補助建屋6.3m通路部	0.05h	A/B 2-401-2 A/B 3-407-1 A/B 3-407-2 A/B 2-401-6 A/B 2-405-2 A/B-I A/B-R A/B 2-401-4	3h 1h 3h 1h	無 有		<p>【女川・大阪】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 <p>泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大阪】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 <p>(女川実績の反映; 着色せず)</p> <p>(3 / 4号炉は型型が同様であるため、3号炉のみ記載)</p>
火災区画	火災区画名称	火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (3/24)	火災伝播評価結果 (火災伝播評価) (3/24)			火災伝播評価結果 (火災伝播評価) (3/24)			火災伝播評価結果 (火災伝播評価) (3/24)			火災伝播評価結果 (火災伝播評価) (3/24)			火災伝播評価結果 (火災伝播評価) (3/24)			火災伝播評価結果 (火災伝播評価) (3/24)			火災伝播評価結果 (火災伝播評価) (3/24)			火災伝播評価結果 (火災伝播評価) (3/24)																																																																																																																																																																										
			火災伝播可能性	火災伝播時間	火災伝播距離	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路	火災伝播経路		火災伝播経路	火災伝播経路																																																																																																																																																																								
火災区画	火災区画内の主な設備名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																																																																																																																												
R1-C	火災区画内の主な設備名称	1.5分	CI-E CI-A CV-A C-3-33 RN-D RN-I R-1-53 CI-A RI-B RI-K R2-A R2-D R2-E RN-A RN-B R-5-16	3h	無																																																																																																																																																																																													
				-	有																																																																																																																																																																																													
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																																																																																																																												
A/B 2-01-3	冷却材貯蔵タンク室、使用済樹脂貯蔵タンク室、ほう酸回収装置高圧水ポンプ及び廃液給本ポンプ室	0.01h	A/B 2-405-1 A/B 3-407-1 A/B 2-401-2 A/B 3-401-1 A/B 4-401-1 A/B 1-01 A/B 2-401-7 A/B 3-401-2 A/B 3-401-3 A/B 4-401-2 A/B 4-401-4 A/B-C	3h 1h	無																																																																																																																																																																																													
A/B 2-01-4	工作室	1.14h	A/B 2-401-2 A/B 3-407-1 A/B 3-407-2 A/B 2-401-6 A/B 2-405-1 A/B 3-407-1 A/B 2-401-2 A/B 3-401-1 A/B 2-401-1 A/B 2-405-2 A/B-I A/B-R A/B 2-401-4	3h 1h 3h 1h	無 有																																																																																																																																																																																													
A/B 2-01-5	原子炉補助建屋6.3m通路部	0.02h	A/B 2-401-2 A/B 3-407-1 A/B 2-401-1 A/B 2-405-2	3h	無																																																																																																																																																																																													
A/B 2-01-6	原子炉補助建屋6.3m通路部	0.05h	A/B 2-401-2 A/B 3-407-1 A/B 3-407-2 A/B 2-401-6 A/B 2-405-2 A/B-I A/B-R A/B 2-401-4	3h 1h 3h 1h	無 有																																																																																																																																																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果)

大飯発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由								
第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (1/24) <small>火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (1/24)</small>						女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果 <small>女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</small>						泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果 <small>泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</small>						【女川・大飯】 ■設計の相違 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。 【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映;着色せず) (3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)								
火災区画	名称	等価的防火区画	火災区画の火災影響評価結果	火災区画の火災影響評価結果	火災区画の火災影響評価結果	火災区画	火災区画内の主な設備名称	等価大災時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	火災区画	名称	等価的防火区画	火災区画の火災影響評価結果	火災区画の火災影響評価結果	火災区画の火災影響評価結果								
	本発電所 (3号炉)	1.5				RI-D	DC RCIC MCC室 他	0.23h	RI-A RI-J R2-F RN-J R-5-9 R-5-15 RI-H RI-I RI-K R2-A R2-B R2-D RN-E RN-L RN-O R-5-63 R-6-5	3h	無		A/B 2-01-7	凝液貯蔵ピット室	0.00h	A/R2-01-2 A/R2-01-1 A/R2-01-3 A/R3-01-2 A/B 1-03 A/B 1-04 A/B 3-03 A/B 3-04 A/B 3-05 A/B 3-07-1 R/B 2-01 A/B 1-01 A/B 2-01-2 A/B 3-01-1 A/B 3-01-3 A/B 4-01-1 A/B 4-01-6 A/B 4-01-7 A/B 4-04-3 R/B 2-03 R/B 3-09-1 A/B 2-01-2 A/B 2-05-1 A/B 3-11 A/B 2-05-2 A/B-1	無 有 無 無				A/B 2-04	放射線管理エリア	0.06h	無	有	

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																														
		<p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画内の主な設備名称</th> <th>隣接火災区画</th> <th>隣接火災区画の火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1-J</td> <td>原子炉格納容器</td> <td>R1-D R1-I R1-K R2-B R2-E R2-F R3-D RN-E RN-M RN-O RN-P</td> <td>無</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		火災区画	火災区画内の主な設備名称	隣接火災区画	隣接火災区画の火災伝播の可能性	備考	R1-J	原子炉格納容器	R1-D R1-I R1-K R2-B R2-E R2-F R3-D RN-E RN-M RN-O RN-P	無		<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>等価時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A/B 3-01-1</td> <td>原子炉補助建屋0.3m通路高</td> <td>0.30h</td> <td>A/B 2-01-1 A/B 2-01-2 A/B 2-01-3 A/B 2-01-5 A/B 2-01-7 A/B 2-02 A/B 3-01-2 A/B 3-01-3 A/B 4-01-1 A/B 4-01-3 A/B 4-01-5 A/B 4-01-7 A/B 4-01-8 A/B 4-02-1 A/B 4-02-2 A/B 4-04-1 A/B 4-04-3 A/B C A/B G A/B J A/B K A/B T A/B U R/E 3-09-1 R/E 3-09-3 A/B 4-01-1 A/B 4-01-3 A/B 2-01-3 A/B 2-01-7 A/B 4-01-4</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A/B 3-01-2</td> <td>江ノ島取水装置</td> <td>0.01h</td> <td></td> <td></td> <td>有</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	A/B 3-01-1	原子炉補助建屋0.3m通路高	0.30h	A/B 2-01-1 A/B 2-01-2 A/B 2-01-3 A/B 2-01-5 A/B 2-01-7 A/B 2-02 A/B 3-01-2 A/B 3-01-3 A/B 4-01-1 A/B 4-01-3 A/B 4-01-5 A/B 4-01-7 A/B 4-01-8 A/B 4-02-1 A/B 4-02-2 A/B 4-04-1 A/B 4-04-3 A/B C A/B G A/B J A/B K A/B T A/B U R/E 3-09-1 R/E 3-09-3 A/B 4-01-1 A/B 4-01-3 A/B 2-01-3 A/B 2-01-7 A/B 4-01-4	無		A/B 3-01-2	江ノ島取水装置	0.01h			有		<p>【女川・大飯】 ■設計の相違 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映;着色せず) (3 / 4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)</p>
火災区画	火災区画内の主な設備名称	隣接火災区画	隣接火災区画の火災伝播の可能性	備考																																
R1-J	原子炉格納容器	R1-D R1-I R1-K R2-B R2-E R2-F R3-D RN-E RN-M RN-O RN-P	無																																	
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																														
A/B 3-01-1	原子炉補助建屋0.3m通路高	0.30h	A/B 2-01-1 A/B 2-01-2 A/B 2-01-3 A/B 2-01-5 A/B 2-01-7 A/B 2-02 A/B 3-01-2 A/B 3-01-3 A/B 4-01-1 A/B 4-01-3 A/B 4-01-5 A/B 4-01-7 A/B 4-01-8 A/B 4-02-1 A/B 4-02-2 A/B 4-04-1 A/B 4-04-3 A/B C A/B G A/B J A/B K A/B T A/B U R/E 3-09-1 R/E 3-09-3 A/B 4-01-1 A/B 4-01-3 A/B 2-01-3 A/B 2-01-7 A/B 4-01-4	無																																
A/B 3-01-2	江ノ島取水装置	0.01h			有																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果)

大阪発電所3/4号炉										女川原子力発電所2号炉										泊発電所3号炉										相違理由
<p>第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (7/24)</p> <p>火災区画: A/B 3-01-3</p> <p>隣接火災区画: A/B 3-01-1, A/B 3-01-2, A/B 3-02, A/B 3-03, A/B 3-04, A/B 3-05</p> <p>火災伝播評価結果: 無</p>										<p>火災区画: A/B 3-01-3</p> <p>隣接火災区画: A/B 3-01-1, A/B 3-01-2, A/B 3-02, A/B 3-03, A/B 3-04, A/B 3-05</p> <p>火災伝播評価結果: 有</p>										<p>火災区画: A/B 3-01-3</p> <p>隣接火災区画: A/B 2-02, A/B 3-01-1, R/B 3-09-1, A/B 4-01-1, A/B 2-01-3, A/B 3-01-2, A/B 4-01-2, A/B-C, A/B 2-01-2, A/B 2-02, A/B 3-01-1, A/B 3-04, A/B 2-01-2, A/B 2-02, A/B 3-03, A/B 3-05, A/B 2-01-2, A/B 2-02, A/B 3-01-1, A/B 3-04</p> <p>火災伝播評価結果: 無</p>										<p>【女川・大阪】 ■設計の相違 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大阪】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映:着色せず) (3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)</p>
<p>火災区画: A/B 3-03</p> <p>隣接火災区画: A/B 2-02, A/B 3-01-1, A/B 3-04</p> <p>火災伝播評価結果: 無</p>										<p>火災区画: A/B 3-03</p> <p>隣接火災区画: A/B 2-02, A/B 3-01-1, A/B 3-04</p> <p>火災伝播評価結果: 有</p>										<p>火災区画: A/B 3-03</p> <p>隣接火災区画: A/B 2-02, A/B 3-01-1, A/B 3-04</p> <p>火災伝播評価結果: 無</p>										
<p>火災区画: A/B 3-04</p> <p>隣接火災区画: A/B 2-02, A/B 3-01-1, A/B 3-04</p> <p>火災伝播評価結果: 無</p>										<p>火災区画: A/B 3-04</p> <p>隣接火災区画: A/B 2-02, A/B 3-01-1, A/B 3-04</p> <p>火災伝播評価結果: 有</p>										<p>火災区画: A/B 3-04</p> <p>隣接火災区画: A/B 2-02, A/B 3-01-1, A/B 3-04</p> <p>火災伝播評価結果: 無</p>										
<p>火災区画: A/B 3-05</p> <p>隣接火災区画: A/B 2-02, A/B 3-01-1, A/B 3-04</p> <p>火災伝播評価結果: 無</p>										<p>火災区画: A/B 3-05</p> <p>隣接火災区画: A/B 2-02, A/B 3-01-1, A/B 3-04</p> <p>火災伝播評価結果: 有</p>										<p>火災区画: A/B 3-05</p> <p>隣接火災区画: A/B 2-02, A/B 3-01-1, A/B 3-04</p> <p>火災伝播評価結果: 無</p>										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果)

大飯発電所3 / 4号炉										女川原子力発電所2号炉										泊発電所3号炉										相違理由																																																																																																																																
<p>第7-2表 隣接火災区画への火災影響評価結果 (火災伝播評価) (8/24)</p> <p>評価項目 1. 評価項目の範囲 2. 評価項目の範囲 3. 評価項目の範囲 4. 評価項目の範囲 5. 評価項目の範囲</p> <table border="1"> <tr> <th>火災区画</th> <th>名称</th> <th>火災区画の範囲</th> <th>火災区画の範囲</th> <th>火災区画の範囲</th> <th>火災区画の範囲</th> <th>火災区画の範囲</th> <th>火災区画の範囲</th> <th>火災区画の範囲</th> <th>火災区画の範囲</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">火災区画</td> <td rowspan="2">A.1区画(制御室)</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2">有</td> </tr> <tr> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">火災区画</td> <td rowspan="2">B.1区画(変電所)</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2">有</td> </tr> <tr> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> </table>										火災区画	名称	火災区画の範囲	火災区画の範囲	火災区画の範囲	火災区画の範囲	火災区画の範囲	火災区画の範囲	火災区画の範囲	火災区画の範囲	火災区画	A.1区画(制御室)	0.5	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	火災区画	B.1区画(変電所)	1	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	<p>第7-2表 隣接火災区画への火災影響評価結果 (火災伝播評価)</p> <table border="1"> <tr> <th>火災区画</th> <th>名称</th> <th>火災区画の範囲</th> <th>火災区画の範囲</th> <th>火災区画の範囲</th> <th>火災区画の範囲</th> <th>火災区画の範囲</th> <th>火災区画の範囲</th> <th>火災区画の範囲</th> <th>火災区画の範囲</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">火災区画</td> <td rowspan="2">A.1区画(制御室)</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2">有</td> </tr> <tr> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">火災区画</td> <td rowspan="2">B.1区画(変電所)</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2">有</td> </tr> <tr> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> </table>										火災区画	名称	火災区画の範囲	火災区画の範囲	火災区画の範囲	火災区画の範囲	火災区画の範囲	火災区画の範囲	火災区画の範囲	火災区画の範囲	火災区画	A.1区画(制御室)	0.5	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	火災区画	B.1区画(変電所)	1	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	<p>泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>等価火災時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">A/B 3-07-1</td> <td rowspan="2">常用系インバータ室及び通路</td> <td rowspan="2">0.99h</td> <td>R-5-16</td> <td rowspan="2">3h</td> <td rowspan="2">無</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>R-5-47</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">A/B 3-07-2</td> <td rowspan="2">常用系蓄電池室</td> <td rowspan="2">1.03h</td> <td>R-5-63</td> <td rowspan="2">3h</td> <td rowspan="2">無</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>R-6-5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">A/B 3-08</td> <td rowspan="2">A-安全補機間置室</td> <td rowspan="2">1.17h</td> <td>R-6-7</td> <td rowspan="2">3h</td> <td rowspan="2">無</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>R-7-69</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R-9-63</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										火災区画	火災区画名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	A/B 3-07-1	常用系インバータ室及び通路	0.99h	R-5-16	3h	無		R-5-47	A/B 3-07-2	常用系蓄電池室	1.03h	R-5-63	3h	無		R-6-5	A/B 3-08	A-安全補機間置室	1.17h	R-6-7	3h	無		R-7-69				R-9-63				<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>(女川実績の反映;着色せず)</p> <p>(3 / 4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)</p>
										火災区画	名称	火災区画の範囲	火災区画の範囲	火災区画の範囲	火災区画の範囲	火災区画の範囲	火災区画の範囲	火災区画の範囲	火災区画の範囲																																																																																																																																											
火災区画	A.1区画(制御室)	0.5	有	有	有	有	有	有	有																																																																																																																																																					
										有	有	有	有	有	有	有	有																																																																																																																																													
火災区画	B.1区画(変電所)	1	有	有	有	有	有	有	有																																																																																																																																																					
										有	有	有	有	有	有	有	有																																																																																																																																													
火災区画	名称	火災区画の範囲	火災区画の範囲	火災区画の範囲	火災区画の範囲	火災区画の範囲	火災区画の範囲	火災区画の範囲	火災区画の範囲																																																																																																																																																					
火災区画	A.1区画(制御室)	0.5	有	有	有	有	有	有	有																																																																																																																																																					
										有	有	有	有	有	有	有																																																																																																																																														
火災区画	B.1区画(変電所)	1	有	有	有	有	有	有	有																																																																																																																																																					
										有	有	有	有	有	有	有																																																																																																																																														
火災区画	火災区画名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																																																																																								
A/B 3-07-1	常用系インバータ室及び通路	0.99h	R-5-16	3h	無																																																																																																																																																									
			R-5-47																																																																																																																																																											
A/B 3-07-2	常用系蓄電池室	1.03h	R-5-63	3h	無																																																																																																																																																									
			R-6-5																																																																																																																																																											
A/B 3-08	A-安全補機間置室	1.17h	R-6-7	3h	無																																																																																																																																																									
			R-7-69																																																																																																																																																											
			R-9-63																																																																																																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果)

大阪発電所3 / 4号炉										女川原子力発電所2号炉										泊発電所3号炉										相違理由																																																																																																																																				
<p>図7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (10/24)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画内主要設備</th> <th>火災区画外主要設備</th> <th>火災区画内主要設備</th> <th>火災区画外主要設備</th> <th>火災区画内主要設備</th> <th>火災区画外主要設備</th> <th>火災区画内主要設備</th> <th>火災区画外主要設備</th> <th>火災区画内主要設備</th> <th>火災区画外主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	1	2	3	<p>図7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (10/24)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画内主要設備</th> <th>火災区画外主要設備</th> <th>火災区画内主要設備</th> <th>火災区画外主要設備</th> <th>火災区画内主要設備</th> <th>火災区画外主要設備</th> <th>火災区画内主要設備</th> <th>火災区画外主要設備</th> <th>火災区画内主要設備</th> <th>火災区画外主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	1	2	3	<p>図7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (10/24)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画内主要設備</th> <th>火災区画外主要設備</th> <th>火災区画内主要設備</th> <th>火災区画外主要設備</th> <th>火災区画内主要設備</th> <th>火災区画外主要設備</th> <th>火災区画内主要設備</th> <th>火災区画外主要設備</th> <th>火災区画内主要設備</th> <th>火災区画外主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	1	2	3	<p>【女川・大阪】 ■設計の相違 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大阪】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映; 着色せず) (3 / 4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)</p>
火災区画	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備																																																																																																																																																								
1																																																																																																																																																								
2																																																																																																																																																								
3																																																																																																																																																								
火災区画	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備																																																																																																																																																								
1																																																																																																																																																								
2																																																																																																																																																								
3																																																																																																																																																								
火災区画	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備																																																																																																																																																								
1																																																																																																																																																								
2																																																																																																																																																								
3																																																																																																																																																								
<p>女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画内の主要設備名称</th> <th>等価大気時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2-B</td> <td>同時熱交換器(B)室 他</td> <td>0.04h</td> <td>Y2-A Y2-A Y-1-5 R1-J R2-F R1-D R1-I R1-K R2-D R2-E R2-M</td> <td>3h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2-C</td> <td>DG00(B)連絡配管トレンチ</td> <td>0.00h</td> <td>R2-A R2-D R-5-67 R1-B R2-F</td> <td>3h</td> <td>有</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画内の主要設備名称	等価大気時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	R2-B	同時熱交換器(B)室 他	0.04h	Y2-A Y2-A Y-1-5 R1-J R2-F R1-D R1-I R1-K R2-D R2-E R2-M	3h	無		R2-C	DG00(B)連絡配管トレンチ	0.00h	R2-A R2-D R-5-67 R1-B R2-F	3h	有		<p>泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>等価時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A/B 3-13</td> <td>低電圧電連(1)室</td> <td>0.67h</td> <td>A/B 3-09 A/B 3-11 A/B 3-06 A/B 4-01-1 A/B 4-03 A/B 4-02-1 A/B 4-02-2 A/B 4-01-2 A/B 4-01-3 A/B 4-01-4 A/B 4-01-5 A/B 4-01-6 A/B 4-01-7 A/B 4-01-8 A/B 4-02-1 A/B 4-02-2 A/B 4-04-1 A/B 4-04-2 A/B 4-04-3 A/B 5-01 A/B 5-02 A/B 5-03 A/B 5-04-1 A/B 5-04 A/B 5-05 A/B 5-06 A/B 5-07 A/B 5-08 A/B 5-09 A/B 5-10 A/B 5-11 A/B 5-12 A/B 5-13 A/B 5-14 A/B 5-15 A/B 5-16 A/B 5-17 A/B 5-18 A/B 5-19 A/B 5-20 A/B 5-21 A/B 5-22 A/B 5-23 A/B 5-24 A/B 5-25 A/B 5-26 A/B 5-27 A/B 5-28 A/B 5-29 A/B 5-30 A/B 5-31 A/B 5-32 A/B 5-33 A/B 5-34 A/B 5-35 A/B 5-36 A/B 5-37 A/B 5-38 A/B 5-39 A/B 5-40 A/B 5-41 A/B 5-42 A/B 5-43 A/B 5-44 A/B 5-45 A/B 5-46 A/B 5-47 A/B 5-48 A/B 5-49 A/B 5-50 A/B 5-51 A/B 5-52 A/B 5-53 A/B 5-54 A/B 5-55 A/B 5-56 A/B 5-57 A/B 5-58 A/B 5-59 A/B 5-60 A/B 5-61 A/B 5-62 A/B 5-63 A/B 5-64 A/B 5-65 A/B 5-66 A/B 5-67 A/B 5-68 A/B 5-69 A/B 5-70 A/B 5-71 A/B 5-72 A/B 5-73 A/B 5-74 A/B 5-75 A/B 5-76 A/B 5-77 A/B 5-78 A/B 5-79 A/B 5-80 A/B 5-81 A/B 5-82 A/B 5-83 A/B 5-84 A/B 5-85 A/B 5-86 A/B 5-87 A/B 5-88 A/B 5-89 A/B 5-90 A/B 5-91 A/B 5-92 A/B 5-93 A/B 5-94 A/B 5-95 A/B 5-96 A/B 5-97 A/B 5-98 A/B 5-99 A/B 5-100</td> <td>0.20h</td> <td>3h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A/B 4-01-1</td> <td>原子炉補助建屋17-3m廊下 (管理区域)</td> <td>0.20h</td> <td></td> <td>3h</td> <td>有</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	A/B 3-13	低電圧電連(1)室	0.67h	A/B 3-09 A/B 3-11 A/B 3-06 A/B 4-01-1 A/B 4-03 A/B 4-02-1 A/B 4-02-2 A/B 4-01-2 A/B 4-01-3 A/B 4-01-4 A/B 4-01-5 A/B 4-01-6 A/B 4-01-7 A/B 4-01-8 A/B 4-02-1 A/B 4-02-2 A/B 4-04-1 A/B 4-04-2 A/B 4-04-3 A/B 5-01 A/B 5-02 A/B 5-03 A/B 5-04-1 A/B 5-04 A/B 5-05 A/B 5-06 A/B 5-07 A/B 5-08 A/B 5-09 A/B 5-10 A/B 5-11 A/B 5-12 A/B 5-13 A/B 5-14 A/B 5-15 A/B 5-16 A/B 5-17 A/B 5-18 A/B 5-19 A/B 5-20 A/B 5-21 A/B 5-22 A/B 5-23 A/B 5-24 A/B 5-25 A/B 5-26 A/B 5-27 A/B 5-28 A/B 5-29 A/B 5-30 A/B 5-31 A/B 5-32 A/B 5-33 A/B 5-34 A/B 5-35 A/B 5-36 A/B 5-37 A/B 5-38 A/B 5-39 A/B 5-40 A/B 5-41 A/B 5-42 A/B 5-43 A/B 5-44 A/B 5-45 A/B 5-46 A/B 5-47 A/B 5-48 A/B 5-49 A/B 5-50 A/B 5-51 A/B 5-52 A/B 5-53 A/B 5-54 A/B 5-55 A/B 5-56 A/B 5-57 A/B 5-58 A/B 5-59 A/B 5-60 A/B 5-61 A/B 5-62 A/B 5-63 A/B 5-64 A/B 5-65 A/B 5-66 A/B 5-67 A/B 5-68 A/B 5-69 A/B 5-70 A/B 5-71 A/B 5-72 A/B 5-73 A/B 5-74 A/B 5-75 A/B 5-76 A/B 5-77 A/B 5-78 A/B 5-79 A/B 5-80 A/B 5-81 A/B 5-82 A/B 5-83 A/B 5-84 A/B 5-85 A/B 5-86 A/B 5-87 A/B 5-88 A/B 5-89 A/B 5-90 A/B 5-91 A/B 5-92 A/B 5-93 A/B 5-94 A/B 5-95 A/B 5-96 A/B 5-97 A/B 5-98 A/B 5-99 A/B 5-100	0.20h	3h	無		A/B 4-01-1	原子炉補助建屋17-3m廊下 (管理区域)	0.20h		3h	有																																																																																																					
火災区画	火災区画内の主要設備名称	等価大気時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																																																																																												
R2-B	同時熱交換器(B)室 他	0.04h	Y2-A Y2-A Y-1-5 R1-J R2-F R1-D R1-I R1-K R2-D R2-E R2-M	3h	無																																																																																																																																																													
R2-C	DG00(B)連絡配管トレンチ	0.00h	R2-A R2-D R-5-67 R1-B R2-F	3h	有																																																																																																																																																													
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																																																																																												
A/B 3-13	低電圧電連(1)室	0.67h	A/B 3-09 A/B 3-11 A/B 3-06 A/B 4-01-1 A/B 4-03 A/B 4-02-1 A/B 4-02-2 A/B 4-01-2 A/B 4-01-3 A/B 4-01-4 A/B 4-01-5 A/B 4-01-6 A/B 4-01-7 A/B 4-01-8 A/B 4-02-1 A/B 4-02-2 A/B 4-04-1 A/B 4-04-2 A/B 4-04-3 A/B 5-01 A/B 5-02 A/B 5-03 A/B 5-04-1 A/B 5-04 A/B 5-05 A/B 5-06 A/B 5-07 A/B 5-08 A/B 5-09 A/B 5-10 A/B 5-11 A/B 5-12 A/B 5-13 A/B 5-14 A/B 5-15 A/B 5-16 A/B 5-17 A/B 5-18 A/B 5-19 A/B 5-20 A/B 5-21 A/B 5-22 A/B 5-23 A/B 5-24 A/B 5-25 A/B 5-26 A/B 5-27 A/B 5-28 A/B 5-29 A/B 5-30 A/B 5-31 A/B 5-32 A/B 5-33 A/B 5-34 A/B 5-35 A/B 5-36 A/B 5-37 A/B 5-38 A/B 5-39 A/B 5-40 A/B 5-41 A/B 5-42 A/B 5-43 A/B 5-44 A/B 5-45 A/B 5-46 A/B 5-47 A/B 5-48 A/B 5-49 A/B 5-50 A/B 5-51 A/B 5-52 A/B 5-53 A/B 5-54 A/B 5-55 A/B 5-56 A/B 5-57 A/B 5-58 A/B 5-59 A/B 5-60 A/B 5-61 A/B 5-62 A/B 5-63 A/B 5-64 A/B 5-65 A/B 5-66 A/B 5-67 A/B 5-68 A/B 5-69 A/B 5-70 A/B 5-71 A/B 5-72 A/B 5-73 A/B 5-74 A/B 5-75 A/B 5-76 A/B 5-77 A/B 5-78 A/B 5-79 A/B 5-80 A/B 5-81 A/B 5-82 A/B 5-83 A/B 5-84 A/B 5-85 A/B 5-86 A/B 5-87 A/B 5-88 A/B 5-89 A/B 5-90 A/B 5-91 A/B 5-92 A/B 5-93 A/B 5-94 A/B 5-95 A/B 5-96 A/B 5-97 A/B 5-98 A/B 5-99 A/B 5-100	0.20h	3h	無																																																																																																																																																												
A/B 4-01-1	原子炉補助建屋17-3m廊下 (管理区域)	0.20h		3h	有																																																																																																																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果)

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

37-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (11/24)

火災区画	火災区画名称	火災区画内の主な設備名称	火災伝播評価結果		火災伝播評価結果		火災伝播評価結果		火災伝播評価結果	火災伝播評価結果	火災伝播評価結果	火災伝播評価結果
			火災伝播可能性	火災伝播時間	火災伝播可能性	火災伝播時間	火災伝播可能性	火災伝播時間				
R2-D	緊急用電気品室(2) 他	火災区画内の主な設備名称	有	0.09h	有	0.09h	有	0.09h	有	有	有	有
R2-E	ダスト放射線モニタ(B)室	火災区画内の主な設備名称	有	0.09h	有	0.09h	有	0.09h	有	有	有	有

女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果

火災区画	火災区画名称	火災区画内の主な設備名称	火災伝播可能性	火災伝播時間	備考
R2-D	緊急用電気品室(2) 他	火災区画内の主な設備名称	有	3h	
R2-E	ダスト放射線モニタ(B)室	火災区画内の主な設備名称	有	-	

泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果

火災区画	火災区画名称	火災区画内の主な設備名称	火災伝播可能性	火災伝播時間	備考
A/B 4-01-2	フィルタハルプ室及び各フィルタ室	火災区画内の主な設備名称	有	0.02h	
A/B 4-01-3	代替所内電気設備変圧器室	火災区画内の主な設備名称	有	0.08h	
A/B 4-01-4	蒸気凝縮タンク室、蒸気凝縮ポンプ室、蒸気凝縮タンクハルプ室、各配電塔室及び配電塔ハルプ室	火災区画内の主な設備名称	有	0.01h	
A/B 4-01-5	体積制御タンク室及び体積制御タンクハルプ室	火災区画内の主な設備名称	有	0.01h	

【女川・大阪】
 ■設計の相違
 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。
 【大阪】
 ■記載方針の相違
 (女川実績の反映;着色せず)
 (3/4号炉は型型が同様であるため、3号炉のみ記載)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果)

大飯発電所3/4号炉

火災区画	火災区画内の主な設備名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考
01	運転室	0.5h	R1-B	1h	無	
02	保安室	0.5h	R1-D	1h	無	
03	保安室	0.5h	R1-H	1h	無	
04	保安室	0.5h	R1-J	1h	無	
05	保安室	0.5h	R2-A	1h	無	
06	保安室	0.5h	R2-B	1h	無	
07	保安室	0.5h	R2-E	1h	無	
08	保安室	0.5h	R2-A	1h	無	
09	保安室	0.5h	R2-M	1h	無	
10	保安室	0.5h	R2-O	1h	無	
11	保安室	0.5h	R-3-34	1h	無	
12	保安室	0.5h	R-9-43	1h	無	
13	保安室	0.5h	R-9-63	1h	無	
14	保安室	0.5h	R-11-5	1h	無	
15	保安室	0.5h	R1-K	1h	無	
16	保安室	0.5h	R2-A	1h	無	
17	保安室	0.5h	R2-B	1h	無	
18	保安室	0.5h	R2-E	1h	無	
19	保安室	0.5h	R-1-61	1h	無	
20	保安室	0.5h	R-7-69	1h	無	

女川原子力発電所2号炉

火災区画	火災区画内の主な設備名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考
R2-F	運転室	0.05h	R1-B	3h	無	
			R1-D			
			R1-H			
			R1-J			
			R2-A			
			R2-B			
			R2-E			
			R2-A			
			R2-M			
			R2-O			
			R-3-34			
			R-9-43			
			R-9-63			
			R-11-5			
			R1-K			
			R2-A			
			R2-B			
			R2-E			
			R-1-61			
			R-7-69			

泊発電所3号炉

火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考
A/B 4-01-6	安全系補機バルブ室	0.01h	A/B 2-02 A/B 4-01-1 A/B 4-01-7	1h	無	
A/B 4-01-7	ほう酸注入タンク室	0.06h	A/B 4-01-3 A/B 5-01 A/B 5-04-1 R/B 4-02-1 R/B 4-02-5	-	有	
A/B 4-01-8	洗浄排水濃縮液タンク室	0.01h	A/B 2-02 A/B 3-01-1 A/B 4-01-1	1h	無	
A/B 4-02-1	A-ほう酸ポンプ室	0.01h	A/B 4-01-5 A/B 4-01-6 R/B 4-02-1 R/B 4-02-5	-	有	
A/B 4-02-2	B-ほう酸ポンプ室	0.11h	A/B 3-01-1 A/B 4-01-1 A/B 4-02-2 A/B 3-01-1 A/B 4-01-1 A/B 4-02-1 A/B 4-04-3	1h	無	

相違理由

【女川・大飯】
 ■設計の相違
 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。
 【大飯】
 ■記載方針の相違
 (女川実績の反映;着色せず)
 (3/4号炉は型型が同様であるため、3号炉のみ記載)

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉										女川原子力発電所2号炉										泊発電所3号炉										相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
<p>第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (13/21)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>火災区画の主な設備名称</th> <th>火災区画の面積 (㎡)</th> <th>火災区画の容積 (m³)</th> <th>火災区画の耐火等級</th> <th>火災区画の耐火時間 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">R3-A</td> <td rowspan="10">HPS ボンプ室 他</td> <td rowspan="10">HPS ボンプ室 他</td> <td rowspan="10">30.1</td> <td rowspan="10">30.1</td> <td rowspan="10">R</td> <td rowspan="10">1.19h</td> <td rowspan="10">有</td> <td rowspan="10">有</td> <td rowspan="10">有</td> <td rowspan="10">有</td> </tr> <tr> <td>隣接火災区画</td> <td>耐火時間</td> <td>耐火性能</td> <td>耐火性能</td> <td>耐火性能</td> </tr> <tr> <td>R1-K</td> <td>3h</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R2-A</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R2-C</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R2-F</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R3-41</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R1-B</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R3-D</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R3-F</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">R3-B</td> <td rowspan="10">バルブラックセンシング室</td> <td rowspan="10">バルブラックセンシング室</td> <td rowspan="10">30.1</td> <td rowspan="10">30.1</td> <td rowspan="10">R</td> <td rowspan="10">0.43h</td> <td rowspan="10">有</td> <td rowspan="10">有</td> <td rowspan="10">有</td> <td rowspan="10">有</td> </tr> <tr> <td>隣接火災区画</td> <td>耐火時間</td> <td>耐火性能</td> <td>耐火性能</td> <td>耐火性能</td> </tr> <tr> <td>R1-K</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R2-B</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R3-A</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R3-B</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R3-C</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R2-A</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R2-D</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>C3-A</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">R3-E</td> <td rowspan="10">制御室 他</td> <td rowspan="10">制御室 他</td> <td rowspan="10">30.1</td> <td rowspan="10">30.1</td> <td rowspan="10">R</td> <td rowspan="10">2.30h</td> <td rowspan="10">有</td> <td rowspan="10">有</td> <td rowspan="10">有</td> <td rowspan="10">有</td> </tr> <tr> <td>隣接火災区画</td> <td>耐火時間</td> <td>耐火性能</td> <td>耐火性能</td> <td>耐火性能</td> </tr> <tr> <td>R1-K</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R2-B</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R3-A</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R3-B</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R3-C</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R2-A</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R2-D</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>C3-A</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画名称	火災区画の主な設備名称	火災区画の面積 (㎡)	火災区画の容積 (m³)	火災区画の耐火等級	火災区画の耐火時間 (h)	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	R3-A	HPS ボンプ室 他	HPS ボンプ室 他	30.1	30.1	R	1.19h	有	有	有	有	隣接火災区画	耐火時間	耐火性能	耐火性能	耐火性能	R1-K	3h	有	有	有	R2-A	-	有	有	有	R2-C	-	有	有	有	R2-F	-	有	有	有	R3-41	-	有	有	有	R1-B	-	有	有	有	R3-D	-	有	有	有	R3-F	-	有	有	有	R3-B	バルブラックセンシング室	バルブラックセンシング室	30.1	30.1	R	0.43h	有	有	有	有	隣接火災区画	耐火時間	耐火性能	耐火性能	耐火性能	R1-K	-	有	有	有	R2-B	-	有	有	有	R3-A	-	有	有	有	R3-B	-	有	有	有	R3-C	-	有	有	有	R2-A	-	有	有	有	R2-D	-	有	有	有	C3-A	-	有	有	有	R3-E	制御室 他	制御室 他	30.1	30.1	R	2.30h	有	有	有	有	隣接火災区画	耐火時間	耐火性能	耐火性能	耐火性能	R1-K	-	有	有	有	R2-B	-	有	有	有	R3-A	-	有	有	有	R3-B	-	有	有	有	R3-C	-	有	有	有	R2-A	-	有	有	有	R2-D	-	有	有	有	C3-A	-	有	有	有	<p>女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>火災区画の主な設備名称</th> <th>火災区画の面積 (㎡)</th> <th>火災区画の容積 (m³)</th> <th>火災区画の耐火等級</th> <th>火災区画の耐火時間 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">R3-A</td> <td rowspan="10">HPS ボンプ室 他</td> <td rowspan="10">HPS ボンプ室 他</td> <td rowspan="10">30.1</td> <td rowspan="10">30.1</td> <td rowspan="10">R</td> <td rowspan="10">1.19h</td> <td rowspan="10">有</td> <td rowspan="10">有</td> <td rowspan="10">有</td> <td rowspan="10">有</td> </tr> <tr> <td>隣接火災区画</td> <td>耐火時間</td> <td>耐火性能</td> <td>耐火性能</td> <td>耐火性能</td> </tr> <tr> <td>R1-K</td> <td>3h</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R2-A</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R2-C</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R2-F</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R3-41</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R1-B</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R3-D</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R3-F</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">R3-B</td> <td rowspan="10">バルブラックセンシング室</td> <td rowspan="10">バルブラックセンシング室</td> <td rowspan="10">30.1</td> <td rowspan="10">30.1</td> <td rowspan="10">R</td> <td rowspan="10">0.43h</td> <td rowspan="10">有</td> <td rowspan="10">有</td> <td rowspan="10">有</td> <td rowspan="10">有</td> </tr> <tr> <td>隣接火災区画</td> <td>耐火時間</td> <td>耐火性能</td> <td>耐火性能</td> <td>耐火性能</td> </tr> <tr> <td>R1-K</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R2-B</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R3-A</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R3-B</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R3-C</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R2-A</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R2-D</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>C3-A</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">R3-E</td> <td rowspan="10">制御室 他</td> <td rowspan="10">制御室 他</td> <td rowspan="10">30.1</td> <td rowspan="10">30.1</td> <td rowspan="10">R</td> <td rowspan="10">2.30h</td> <td rowspan="10">有</td> <td rowspan="10">有</td> <td rowspan="10">有</td> <td rowspan="10">有</td> </tr> <tr> <td>隣接火災区画</td> <td>耐火時間</td> <td>耐火性能</td> <td>耐火性能</td> <td>耐火性能</td> </tr> <tr> <td>R1-K</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R2-B</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R3-A</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R3-B</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R3-C</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R2-A</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R2-D</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>C3-A</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画名称	火災区画の主な設備名称	火災区画の面積 (㎡)	火災区画の容積 (m³)	火災区画の耐火等級	火災区画の耐火時間 (h)	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	R3-A	HPS ボンプ室 他	HPS ボンプ室 他	30.1	30.1	R	1.19h	有	有	有	有	隣接火災区画	耐火時間	耐火性能	耐火性能	耐火性能	R1-K	3h	有	有	有	R2-A	-	有	有	有	R2-C	-	有	有	有	R2-F	-	有	有	有	R3-41	-	有	有	有	R1-B	-	有	有	有	R3-D	-	有	有	有	R3-F	-	有	有	有	R3-B	バルブラックセンシング室	バルブラックセンシング室	30.1	30.1	R	0.43h	有	有	有	有	隣接火災区画	耐火時間	耐火性能	耐火性能	耐火性能	R1-K	-	有	有	有	R2-B	-	有	有	有	R3-A	-	有	有	有	R3-B	-	有	有	有	R3-C	-	有	有	有	R2-A	-	有	有	有	R2-D	-	有	有	有	C3-A	-	有	有	有	R3-E	制御室 他	制御室 他	30.1	30.1	R	2.30h	有	有	有	有	隣接火災区画	耐火時間	耐火性能	耐火性能	耐火性能	R1-K	-	有	有	有	R2-B	-	有	有	有	R3-A	-	有	有	有	R3-B	-	有	有	有	R3-C	-	有	有	有	R2-A	-	有	有	有	R2-D	-	有	有	有	C3-A	-	有	有	有	<p>泊発電所3号炉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>火災区画の主な設備名称</th> <th>火災区画の面積 (㎡)</th> <th>火災区画の容積 (m³)</th> <th>火災区画の耐火等級</th> <th>火災区画の耐火時間 (h)</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">A/B 4-04-1</td> <td rowspan="10">原子炉補助建屋17.8m通路部 (非管理区域)</td> <td rowspan="10">原子炉補助建屋17.8m通路部 (非管理区域)</td> <td rowspan="10">17.8</td> <td rowspan="10">17.8</td> <td rowspan="10">R</td> <td rowspan="10">0.01h</td> <td rowspan="10">有</td> <td rowspan="10">有</td> <td rowspan="10">有</td> <td rowspan="10">有</td> </tr> <tr> <td>隣接火災区画</td> <td>耐火時間</td> <td>耐火性能</td> <td>耐火性能</td> <td>耐火性能</td> </tr> <tr> <td>A/B 3-07-1</td> <td>3h</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>A/B 4-05</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>A/B 4-07</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>A/B 4-08</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>A/B 4-11</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>A/B 3-08-1</td> <td>1h</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-08-1</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02-1</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>A/B 4-01-1</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>A/B 4-04-2</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>A/B 4-04-3</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>A/B 4-04-4</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>A/B 4-06</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>A/B 4-09</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>A/B 4-10</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>A/B 5-04-1</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>A/B-1</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>A/B-R</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>A/B-T</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>A/B 3-01-1</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>A/B 3-07-1</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>A/B 4-01-1</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>A/B 4-04-3</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>A/B 5-04-1</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">A/B 4-04-2</td> <td rowspan="2">1次系補機操作室及び1次系補機計算機室</td> <td rowspan="2">1次系補機操作室及び1次系補機計算機室</td> <td rowspan="2">17.8</td> <td rowspan="2">17.8</td> <td rowspan="2">R</td> <td rowspan="2">0.31h</td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2">有</td> </tr> <tr> <td>隣接火災区画</td> <td>耐火時間</td> <td>耐火性能</td> <td>耐火性能</td> <td>耐火性能</td> </tr> <tr> <td>A/B 3-07-1</td> <td>3h</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>A/B 4-01-1</td> <td>1h</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>A/B 4-04-3</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>A/B 5-04-1</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画名称	火災区画の主な設備名称	火災区画の面積 (㎡)	火災区画の容積 (m³)	火災区画の耐火等級	火災区画の耐火時間 (h)	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	A/B 4-04-1	原子炉補助建屋17.8m通路部 (非管理区域)	原子炉補助建屋17.8m通路部 (非管理区域)	17.8	17.8	R	0.01h	有	有	有	有	隣接火災区画	耐火時間	耐火性能	耐火性能	耐火性能	A/B 3-07-1	3h	有	有	有	A/B 4-05	-	有	有	有	A/B 4-07	-	有	有	有	A/B 4-08	-	有	有	有	A/B 4-11	-	有	有	有	A/B 3-08-1	1h	有	有	有	R/B 3-08-1	-	有	有	有	R/B 4-02-1	-	有	有	有	A/B 4-01-1	-	有	有	有	A/B 4-04-2	-	有	有	有	A/B 4-04-3	-	有	有	有	A/B 4-04-4	-	有	有	有	A/B 4-06	-	有	有	有	A/B 4-09	-	有	有	有	A/B 4-10	-	有	有	有	A/B 5-04-1	-	有	有	有	A/B-1	-	有	有	有	A/B-R	-	有	有	有	A/B-T	-	有	有	有	A/B 3-01-1	-	有	有	有	A/B 3-07-1	-	有	有	有	A/B 4-01-1	-	有	有	有	A/B 4-04-3	-	有	有	有	A/B 5-04-1	-	有	有	有	A/B 4-04-2	1次系補機操作室及び1次系補機計算機室	1次系補機操作室及び1次系補機計算機室	17.8	17.8	R	0.31h	有	有	有	有	隣接火災区画	耐火時間	耐火性能	耐火性能	耐火性能	A/B 3-07-1	3h	有	有	有	A/B 4-01-1	1h	有	有	有	A/B 4-04-3	-	有	有	有	A/B 5-04-1	-	有	有	有	<p>【女川・大阪】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 <p>泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大阪】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 <p>(女川実績の反映; 着色せず)</p> <p>(3 / 4号炉は型型が同様であるため、3号炉のみ記載)</p>
火災区画	火災区画名称	火災区画の主な設備名称	火災区画の面積 (㎡)	火災区画の容積 (m³)	火災区画の耐火等級	火災区画の耐火時間 (h)	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
R3-A	HPS ボンプ室 他	HPS ボンプ室 他	30.1	30.1	R	1.19h	有	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
											隣接火災区画	耐火時間	耐火性能	耐火性能	耐火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R1-K	3h	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R2-A	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R2-C	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R2-F	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R3-41	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R1-B	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R3-D	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R3-F	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
R3-B	バルブラックセンシング室	バルブラックセンシング室	30.1	30.1	R	0.43h	有	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
											隣接火災区画	耐火時間	耐火性能	耐火性能	耐火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R1-K	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R2-B	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R3-A	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R3-B	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R3-C	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R2-A	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R2-D	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											C3-A	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
R3-E	制御室 他	制御室 他	30.1	30.1	R	2.30h	有	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
											隣接火災区画	耐火時間	耐火性能	耐火性能	耐火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R1-K	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R2-B	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R3-A	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R3-B	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R3-C	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R2-A	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R2-D	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											C3-A	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
火災区画	火災区画名称	火災区画の主な設備名称	火災区画の面積 (㎡)	火災区画の容積 (m³)	火災区画の耐火等級	火災区画の耐火時間 (h)	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
R3-A	HPS ボンプ室 他	HPS ボンプ室 他	30.1	30.1	R	1.19h	有	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
											隣接火災区画	耐火時間	耐火性能	耐火性能	耐火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R1-K	3h	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R2-A	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R2-C	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R2-F	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R3-41	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R1-B	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R3-D	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R3-F	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
R3-B	バルブラックセンシング室	バルブラックセンシング室	30.1	30.1	R	0.43h	有	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
											隣接火災区画	耐火時間	耐火性能	耐火性能	耐火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R1-K	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R2-B	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R3-A	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R3-B	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R3-C	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R2-A	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R2-D	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											C3-A	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
R3-E	制御室 他	制御室 他	30.1	30.1	R	2.30h	有	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
											隣接火災区画	耐火時間	耐火性能	耐火性能	耐火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R1-K	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R2-B	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R3-A	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R3-B	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R3-C	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R2-A	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R2-D	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											C3-A	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
火災区画	火災区画名称	火災区画の主な設備名称	火災区画の面積 (㎡)	火災区画の容積 (m³)	火災区画の耐火等級	火災区画の耐火時間 (h)	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
A/B 4-04-1	原子炉補助建屋17.8m通路部 (非管理区域)	原子炉補助建屋17.8m通路部 (非管理区域)	17.8	17.8	R	0.01h	有	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
											隣接火災区画	耐火時間	耐火性能	耐火性能	耐火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											A/B 3-07-1	3h	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											A/B 4-05	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											A/B 4-07	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											A/B 4-08	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											A/B 4-11	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											A/B 3-08-1	1h	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R/B 3-08-1	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											R/B 4-02-1	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
A/B 4-01-1	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
A/B 4-04-2	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
A/B 4-04-3	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
A/B 4-04-4	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
A/B 4-06	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
A/B 4-09	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
A/B 4-10	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
A/B 5-04-1	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
A/B-1	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
A/B-R	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
A/B-T	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
A/B 3-01-1	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
A/B 3-07-1	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
A/B 4-01-1	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
A/B 4-04-3	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
A/B 5-04-1	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
A/B 4-04-2	1次系補機操作室及び1次系補機計算機室	1次系補機操作室及び1次系補機計算機室	17.8	17.8	R	0.31h	有	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
											隣接火災区画	耐火時間	耐火性能	耐火性能	耐火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
A/B 3-07-1	3h	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
A/B 4-01-1	1h	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
A/B 4-04-3	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
A/B 5-04-1	-	有	有	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果)

大阪発電所3 / 4号炉										女川原子力発電所2号炉										泊発電所3号炉										相違理由
<p>第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (14/24)</p> <p>火災区画名: 大阪発電所3号炉</p> <p>隣接火災区画名: 大阪発電所4号炉</p> <p>火災区画内の主な設備名: 炉内機器類</p> <p>火災区画の火災発生原因: 炉内機器類の故障</p> <p>火災区画の火災発生時刻: 0.00h</p> <p>火災区画の火災発生位置: 炉内</p> <p>火災区画の火災発生規模: 炉内機器類の故障</p> <p>火災区画の火災発生種類: 炉内機器類の故障</p> <p>火災区画の火災発生原因: 炉内機器類の故障</p> <p>火災区画の火災発生時刻: 0.00h</p> <p>火災区画の火災発生位置: 炉内</p> <p>火災区画の火災発生規模: 炉内機器類の故障</p> <p>火災区画の火災発生種類: 炉内機器類の故障</p>										<p>第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (14/24)</p> <p>火災区画名: 女川原子力発電所2号炉</p> <p>隣接火災区画名: 女川原子力発電所1号炉</p> <p>火災区画内の主な設備名: 炉内機器類</p> <p>火災区画の火災発生原因: 炉内機器類の故障</p> <p>火災区画の火災発生時刻: 0.00h</p> <p>火災区画の火災発生位置: 炉内</p> <p>火災区画の火災発生規模: 炉内機器類の故障</p> <p>火災区画の火災発生種類: 炉内機器類の故障</p>										<p>第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (14/24)</p> <p>火災区画名: 泊発電所3号炉</p> <p>隣接火災区画名: 泊発電所4号炉</p> <p>火災区画内の主な設備名: 炉内機器類</p> <p>火災区画の火災発生原因: 炉内機器類の故障</p> <p>火災区画の火災発生時刻: 0.00h</p> <p>火災区画の火災発生位置: 炉内</p> <p>火災区画の火災発生規模: 炉内機器類の故障</p> <p>火災区画の火災発生種類: 炉内機器類の故障</p>										<p>【女川・大阪】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大阪】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>(女川実績の反映:着色せず)</p> <p>(3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果)

大飯発電所3/4号炉										女川原子力発電所2号炉										泊発電所3号炉										相違理由																																																																		
<p>第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (15/24)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">火災区画</th> <th rowspan="2">火災区画名称</th> <th rowspan="2">火災区画内主要設備</th> <th colspan="2">火災区画内主要設備</th> <th colspan="2">火災区画外主要設備</th> <th colspan="2">火災区画外主要設備</th> <th rowspan="2">火災伝播の可能性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>火災区画内主要設備</th> <th>火災区画外主要設備</th> <th>火災区画内主要設備</th> <th>火災区画外主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画名称	火災区画内主要設備	火災区画内主要設備		火災区画外主要設備		火災区画外主要設備		火災伝播の可能性	備考	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	<p>女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画内の主要設備名称</th> <th>火災区画内主要設備</th> <th>隣接火災区画</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RN-B</td> <td>LCW移送ポンプ室 他</td> <td>0.03h</td> <td>R1-I R2-F R3-E R1-B R1-C R1-K R2-A R2-D RN-A RN-E RN-I R-12-4</td> <td>無</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画内の主要設備名称	火災区画内主要設備	隣接火災区画	火災伝播の可能性	備考	RN-B	LCW移送ポンプ室 他	0.03h	R1-I R2-F R3-E R1-B R1-C R1-K R2-A R2-D RN-A RN-E RN-I R-12-4	無		<p>泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>等価時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A/B 4-06</td> <td>運転員控室</td> <td>0.02h</td> <td>A/B 3-08 A/B 3-09 A/B 4-05 A/B 4-07 A/B 4-08 A/B 4-11 A/B 3-12 A/B 3-13 A/B 4-04-1 A/B 4-09 A/B 4-06 A/B 4-05 A/B 4-06 A/B 4-09 A/B 5-04-1 A/B 4-11 A/B 4-04-1 A/B 4-05 A/B 4-06 A/B 4-09 A/B 5-04-1 A/B 4-11 A/B 4-04-1 A/B 4-05 A/B 4-06 A/B 4-10 A/B 4-11</td> <td>3h</td> <td>有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A/B 4-07</td> <td>A=安全系計装機室</td> <td>0.14h</td> <td></td> <td>3h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A/B 4-08</td> <td>B=安全系計装機室</td> <td>0.15h</td> <td></td> <td>3h 1h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	A/B 4-06	運転員控室	0.02h	A/B 3-08 A/B 3-09 A/B 4-05 A/B 4-07 A/B 4-08 A/B 4-11 A/B 3-12 A/B 3-13 A/B 4-04-1 A/B 4-09 A/B 4-06 A/B 4-05 A/B 4-06 A/B 4-09 A/B 5-04-1 A/B 4-11 A/B 4-04-1 A/B 4-05 A/B 4-06 A/B 4-09 A/B 5-04-1 A/B 4-11 A/B 4-04-1 A/B 4-05 A/B 4-06 A/B 4-10 A/B 4-11	3h	有		A/B 4-07	A=安全系計装機室	0.14h		3h	無		A/B 4-08	B=安全系計装機室	0.15h		3h 1h	無		<p>【女川・大飯】 ■設計の相違 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映:着色せず) (3/4号炉は型型が同様であるため、3号炉のみ記載)</p>
火災区画	火災区画名称	火災区画内主要設備	火災区画内主要設備		火災区画外主要設備		火災区画外主要設備		火災伝播の可能性				備考																																																																																			
			火災区画内主要設備	火災区画外主要設備	火災区画内主要設備	火災区画外主要設備																																																																																										
0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1																																																																																						
火災区画	火災区画内の主要設備名称	火災区画内主要設備	隣接火災区画	火災伝播の可能性	備考																																																																																											
RN-B	LCW移送ポンプ室 他	0.03h	R1-I R2-F R3-E R1-B R1-C R1-K R2-A R2-D RN-A RN-E RN-I R-12-4	無																																																																																												
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																										
A/B 4-06	運転員控室	0.02h	A/B 3-08 A/B 3-09 A/B 4-05 A/B 4-07 A/B 4-08 A/B 4-11 A/B 3-12 A/B 3-13 A/B 4-04-1 A/B 4-09 A/B 4-06 A/B 4-05 A/B 4-06 A/B 4-09 A/B 5-04-1 A/B 4-11 A/B 4-04-1 A/B 4-05 A/B 4-06 A/B 4-09 A/B 5-04-1 A/B 4-11 A/B 4-04-1 A/B 4-05 A/B 4-06 A/B 4-10 A/B 4-11	3h	有																																																																																											
A/B 4-07	A=安全系計装機室	0.14h		3h	無																																																																																											
A/B 4-08	B=安全系計装機室	0.15h		3h 1h	無																																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果）

大飯発電所3 / 4号炉

Table with 10 columns: 火災区画, 火災区画の名称, 火災区画の用途, 火災区画の面積, 火災区画の構造, 火災区画の耐火性能, 火災区画の防火区画, 火災区画の防火区画の耐火性能, 火災区画の防火区画の耐火性能の補償, 火災区画の防火区画の耐火性能の補償の補償. Contains detailed fire safety evaluation data for Daiichi 3/4 units.

女川原子力発電所2号炉

女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果

Table with 5 columns: 火災区画, 火災区画内の主な部屋名称, 等価火災時間, 隣接火災区画, 耐火時間, 火災伝播の可能性, 備考. Contains fire spread evaluation results for Onagawa Unit 2.

泊発電所3号炉

泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果

Table with 6 columns: 火災区画, 火災区画名称, 等価時間, 隣接火災区画, 耐火時間, 火災伝播の可能性, 備考. Contains fire spread evaluation results for Daiichi Unit 3.

相違理由

【女川・大飯】
■設計の相違
泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。
【大飯】
■記載方針の相違
(女川実績の反映;着色せず)
(3 / 4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果)

大阪発電所3/4号炉										女川原子力発電所2号炉										泊発電所3号炉										相違理由																																																																																																																								
<p>図7-2表 隣接火災区画への火災伝播評価結果 (火災伝播評価) (17/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画内主要設備</th> <th>火災区画内主要設備の火災伝播</th> <th>隣接火災区画</th> <th>隣接火災区画内主要設備</th> <th>隣接火災区画内主要設備の火災伝播</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5-01</td> <td>原子炉補助設備24.8m通路部</td> <td>○</td> <td>5-01</td> <td>原子炉補助設備24.8m通路部</td> <td>○</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5-02</td> <td>中央制御室非常用蓄積フィラメント装置</td> <td>○</td> <td>5-02</td> <td>中央制御室非常用蓄積フィラメント装置</td> <td>○</td> <td>有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5-03</td> <td>燃料採取電線空気フィラメント装置</td> <td>○</td> <td>5-03</td> <td>燃料採取電線空気フィラメント装置</td> <td>○</td> <td>有</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>																														火災区画	火災区画内主要設備	火災区画内主要設備の火災伝播	隣接火災区画	隣接火災区画内主要設備	隣接火災区画内主要設備の火災伝播	火災伝播の可能性	備考	5-01	原子炉補助設備24.8m通路部	○	5-01	原子炉補助設備24.8m通路部	○	無		5-02	中央制御室非常用蓄積フィラメント装置	○	5-02	中央制御室非常用蓄積フィラメント装置	○	有		5-03	燃料採取電線空気フィラメント装置	○	5-03	燃料採取電線空気フィラメント装置	○	有		<p>女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画内の主な設備名称</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5-01</td> <td>燃料交換機制御室 他</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5-02</td> <td>常用系ケーブルの運搬トレンチ 他</td> <td>有</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>																														火災区画	火災区画内の主な設備名称	火災伝播の可能性	備考	5-01	燃料交換機制御室 他	無		5-02	常用系ケーブルの運搬トレンチ 他	有		<p>泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5-01</td> <td>原子炉補助設備24.8m通路部</td> <td>有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5-02</td> <td>中央制御室非常用蓄積フィラメント装置</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5-03</td> <td>燃料採取電線空気フィラメント装置</td> <td>有</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>																														火災区画	火災区画名称	火災伝播の可能性	備考	5-01	原子炉補助設備24.8m通路部	有		5-02	中央制御室非常用蓄積フィラメント装置	無		5-03	燃料採取電線空気フィラメント装置	有		<p>【女川・大阪】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大阪】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>(女川実績の反映;着色せず)</p> <p>(3/4号炉は型型が同様であるため、3号炉のみ記載)</p>
火災区画	火災区画内主要設備	火災区画内主要設備の火災伝播	隣接火災区画	隣接火災区画内主要設備	隣接火災区画内主要設備の火災伝播	火災伝播の可能性	備考																																																																																																																																															
5-01	原子炉補助設備24.8m通路部	○	5-01	原子炉補助設備24.8m通路部	○	無																																																																																																																																																
5-02	中央制御室非常用蓄積フィラメント装置	○	5-02	中央制御室非常用蓄積フィラメント装置	○	有																																																																																																																																																
5-03	燃料採取電線空気フィラメント装置	○	5-03	燃料採取電線空気フィラメント装置	○	有																																																																																																																																																
火災区画	火災区画内の主な設備名称	火災伝播の可能性	備考																																																																																																																																																			
5-01	燃料交換機制御室 他	無																																																																																																																																																				
5-02	常用系ケーブルの運搬トレンチ 他	有																																																																																																																																																				
火災区画	火災区画名称	火災伝播の可能性	備考																																																																																																																																																			
5-01	原子炉補助設備24.8m通路部	有																																																																																																																																																				
5-02	中央制御室非常用蓄積フィラメント装置	無																																																																																																																																																				
5-03	燃料採取電線空気フィラメント装置	有																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止(別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果)

第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果（火災伝播評価）（18/24）

火災区画	火災区画名称	火災区画内での火災		火災伝播評価結果		火災伝播評価結果		火災伝播評価結果		火災伝播評価結果	
		火災区画内での火災	火災区画内での火災	火災伝播評価結果	火災伝播評価結果	火災伝播評価結果	火災伝播評価結果	火災伝播評価結果	火災伝播評価結果	火災伝播評価結果	火災伝播評価結果
火災区画	火災区画名称	火災区画内での火災	火災区画内での火災	火災伝播評価結果	火災伝播評価結果	火災伝播評価結果	火災伝播評価結果	火災伝播評価結果	火災伝播評価結果	火災伝播評価結果	火災伝播評価結果
火災区画	火災区画名称	火災区画内での火災	火災区画内での火災	火災伝播評価結果	火災伝播評価結果	火災伝播評価結果	火災伝播評価結果	火災伝播評価結果	火災伝播評価結果	火災伝播評価結果	火災伝播評価結果

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果

火災区画	火災区画内の主な設備名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考
RN-G	WVP ケーブルトレントラック 他	0.14h	R-14B R1-B R1-D R1-I R1-F	3h	無 有	
RN-H	R5(B) 連流配管 トレンチ 他	0.65h	R-15I R-4-13 Y-1-5	3h	無	
RN-I	ドラム貯蔵エリア 他	0.14h	R2-A R1-C R2-A R-14B R1-B R1-X R1-A R1-B R1-G	3h	有 無 有	

泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果

火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	火災伝播の可能性		備考
				耐火時間	火災伝播の可能性	
A/B 3-04-1	非管理区域配線架	0.08h	A/B 1-04B A/B 1-04C A/B 3-05-1 A/B 4-01-6 A/B 4-01-1 A/B 4-01-2 A/B 4-01-3 A/B 4-01-4 A/B 4-02 A/B 4-02B A/B 5-01 A/B 5-02 A/B 5-03 A/B 5-04-2 A/B 5-04 A/B 5-05 A/B 5-06 A/B 5-07 A/B 5-08 A/B 5-09 A/B 5-10 A/B 5-11 A/B 5-12 A/B 5-13 A/B 5-14 A/B 5-15 A/B 5-16 A/B 5-17 A/B 5-18 A/B 5-19 A/B 5-20 A/B 5-21 A/B 5-22 A/B 5-23 A/B 5-24 A/B 5-25 A/B 5-26 A/B 5-27 A/B 5-28 A/B 5-29 A/B 5-30 A/B 5-31 A/B 5-32 A/B 5-33 A/B 5-34 A/B 5-35 A/B 5-36 A/B 5-37 A/B 5-38 A/B 5-39 A/B 5-40 A/B 5-41 A/B 5-42 A/B 5-43 A/B 5-44 A/B 5-45 A/B 5-46 A/B 5-47 A/B 5-48 A/B 5-49 A/B 5-50 A/B 5-51 A/B 5-52 A/B 5-53 A/B 5-54 A/B 5-55 A/B 5-56 A/B 5-57 A/B 5-58 A/B 5-59 A/B 5-60 A/B 5-61 A/B 5-62 A/B 5-63 A/B 5-64 A/B 5-65 A/B 5-66 A/B 5-67 A/B 5-68 A/B 5-69 A/B 5-70 A/B 5-71 A/B 5-72 A/B 5-73 A/B 5-74 A/B 5-75 A/B 5-76 A/B 5-77 A/B 5-78 A/B 5-79 A/B 5-80 A/B 5-81 A/B 5-82 A/B 5-83 A/B 5-84 A/B 5-85 A/B 5-86 A/B 5-87 A/B 5-88 A/B 5-89 A/B 5-90 A/B 5-91 A/B 5-92 A/B 5-93 A/B 5-94 A/B 5-95 A/B 5-96 A/B 5-97 A/B 5-98 A/B 5-99 A/B 5-100	有		
A/B 3-04-2	原子炉補助体外部気取入ダクト	0.01h	A/B 3-04-1 A/B 3-04-2 A/B 3-04-3 A/B 3-04-4 A/B 3-04-5 A/B 3-04-6 A/B 3-04-7 A/B 3-04-8 A/B 3-04-9 A/B 3-04-10 A/B 3-04-11 A/B 3-04-12 A/B 3-04-13 A/B 3-04-14 A/B 3-04-15 A/B 3-04-16 A/B 3-04-17 A/B 3-04-18 A/B 3-04-19 A/B 3-04-20 A/B 3-04-21 A/B 3-04-22 A/B 3-04-23 A/B 3-04-24 A/B 3-04-25 A/B 3-04-26 A/B 3-04-27 A/B 3-04-28 A/B 3-04-29 A/B 3-04-30 A/B 3-04-31 A/B 3-04-32 A/B 3-04-33 A/B 3-04-34 A/B 3-04-35 A/B 3-04-36 A/B 3-04-37 A/B 3-04-38 A/B 3-04-39 A/B 3-04-40 A/B 3-04-41 A/B 3-04-42 A/B 3-04-43 A/B 3-04-44 A/B 3-04-45 A/B 3-04-46 A/B 3-04-47 A/B 3-04-48 A/B 3-04-49 A/B 3-04-50 A/B 3-04-51 A/B 3-04-52 A/B 3-04-53 A/B 3-04-54 A/B 3-04-55 A/B 3-04-56 A/B 3-04-57 A/B 3-04-58 A/B 3-04-59 A/B 3-04-60 A/B 3-04-61 A/B 3-04-62 A/B 3-04-63 A/B 3-04-64 A/B 3-04-65 A/B 3-04-66 A/B 3-04-67 A/B 3-04-68 A/B 3-04-69 A/B 3-04-70 A/B 3-04-71 A/B 3-04-72 A/B 3-04-73 A/B 3-04-74 A/B 3-04-75 A/B 3-04-76 A/B 3-04-77 A/B 3-04-78 A/B 3-04-79 A/B 3-04-80 A/B 3-04-81 A/B 3-04-82 A/B 3-04-83 A/B 3-04-84 A/B 3-04-85 A/B 3-04-86 A/B 3-04-87 A/B 3-04-88 A/B 3-04-89 A/B 3-04-90 A/B 3-04-91 A/B 3-04-92 A/B 3-04-93 A/B 3-04-94 A/B 3-04-95 A/B 3-04-96 A/B 3-04-97 A/B 3-04-98 A/B 3-04-99 A/B 3-04-100	有		
A/B 6-01	トランクアリアセンエリア	0.21h	A/B 6-01 A/B 6-02 A/B 6-03 A/B 6-04 A/B 6-05 A/B 6-06 A/B 6-07 A/B 6-08 A/B 6-09 A/B 6-10 A/B 6-11 A/B 6-12 A/B 6-13 A/B 6-14 A/B 6-15 A/B 6-16 A/B 6-17 A/B 6-18 A/B 6-19 A/B 6-20 A/B 6-21 A/B 6-22 A/B 6-23 A/B 6-24 A/B 6-25 A/B 6-26 A/B 6-27 A/B 6-28 A/B 6-29 A/B 6-30 A/B 6-31 A/B 6-32 A/B 6-33 A/B 6-34 A/B 6-35 A/B 6-36 A/B 6-37 A/B 6-38 A/B 6-39 A/B 6-40 A/B 6-41 A/B 6-42 A/B 6-43 A/B 6-44 A/B 6-45 A/B 6-46 A/B 6-47 A/B 6-48 A/B 6-49 A/B 6-50 A/B 6-51 A/B 6-52 A/B 6-53 A/B 6-54 A/B 6-55 A/B 6-56 A/B 6-57 A/B 6-58 A/B 6-59 A/B 6-60 A/B 6-61 A/B 6-62 A/B 6-63 A/B 6-64 A/B 6-65 A/B 6-66 A/B 6-67 A/B 6-68 A/B 6-69 A/B 6-70 A/B 6-71 A/B 6-72 A/B 6-73 A/B 6-74 A/B 6-75 A/B 6-76 A/B 6-77 A/B 6-78 A/B 6-79 A/B 6-80 A/B 6-81 A/B 6-82 A/B 6-83 A/B 6-84 A/B 6-85 A/B 6-86 A/B 6-87 A/B 6-88 A/B 6-89 A/B 6-90 A/B 6-91 A/B 6-92 A/B 6-93 A/B 6-94 A/B 6-95 A/B 6-96 A/B 6-97 A/B 6-98 A/B 6-99 A/B 6-100	有		
A/B 6-03	ドラム貯蔵出入口エリア及び燃焼タンク室	0.08h	A/B 6-03 A/B 6-04 A/B 6-05 A/B 6-06 A/B 6-07 A/B 6-08 A/B 6-09 A/B 6-10 A/B 6-11 A/B 6-12 A/B 6-13 A/B 6-14 A/B 6-15 A/B 6-16 A/B 6-17 A/B 6-18 A/B 6-19 A/B 6-20 A/B 6-21 A/B 6-22 A/B 6-23 A/B 6-24 A/B 6-25 A/B 6-26 A/B 6-27 A/B 6-28 A/B 6-29 A/B 6-30 A/B 6-31 A/B 6-32 A/B 6-33 A/B 6-34 A/B 6-35 A/B 6-36 A/B 6-37 A/B 6-38 A/B 6-39 A/B 6-40 A/B 6-41 A/B 6-42 A/B 6-43 A/B 6-44 A/B 6-45 A/B 6-46 A/B 6-47 A/B 6-48 A/B 6-49 A/B 6-50 A/B 6-51 A/B 6-52 A/B 6-53 A/B 6-54 A/B 6-55 A/B 6-56 A/B 6-57 A/B 6-58 A/B 6-59 A/B 6-60 A/B 6-61 A/B 6-62 A/B 6-63 A/B 6-64 A/B 6-65 A/B 6-66 A/B 6-67 A/B 6-68 A/B 6-69 A/B 6-70 A/B 6-71 A/B 6-72 A/B 6-73 A/B 6-74 A/B 6-75 A/B 6-76 A/B 6-77 A/B 6-78 A/B 6-79 A/B 6-80 A/B 6-81 A/B 6-82 A/B 6-83 A/B 6-84 A/B 6-85 A/B 6-86 A/B 6-87 A/B 6-88 A/B 6-89 A/B 6-90 A/B 6-91 A/B 6-92 A/B 6-93 A/B 6-94 A/B 6-95 A/B 6-96 A/B 6-97 A/B 6-98 A/B 6-99 A/B 6-100	有		
A/B 6-04	1 気密が性ノードタンク室	0.04h	A/B 6-04 A/B 6-05 A/B 6-06 A/B 6-07 A/B 6-08 A/B 6-09 A/B 6-10 A/B 6-11 A/B 6-12 A/B 6-13 A/B 6-14 A/B 6-15 A/B 6-16 A/B 6-17 A/B 6-18 A/B 6-19 A/B 6-20 A/B 6-21 A/B 6-22 A/B 6-23 A/B 6-24 A/B 6-25 A/B 6-26 A/B 6-27 A/B 6-28 A/B 6-29 A/B 6-30 A/B 6-31 A/B 6-32 A/B 6-33 A/B 6-34 A/B 6-35 A/B 6-36 A/B 6-37 A/B 6-38 A/B 6-39 A/B 6-40 A/B 6-41 A/B 6-42 A/B 6-43 A/B 6-44 A/B 6-45 A/B 6-46 A/B 6-47 A/B 6-48 A/B 6-49 A/B 6-50 A/B 6-51 A/B 6-52 A/B 6-53 A/B 6-54 A/B 6-55 A/B 6-56 A/B 6-57 A/B 6-58 A/B 6-59 A/B 6-60 A/B 6-61 A/B 6-62 A/B 6-63 A/B 6-64 A/B 6-65 A/B 6-66 A/B 6-67 A/B 6-68 A/B 6-69 A/B 6-70 A/B 6-71 A/B 6-72 A/B 6-73 A/B 6-74 A/B 6-75 A/B 6-76 A/B 6-77 A/B 6-78 A/B 6-79 A/B 6-80 A/B 6-81 A/B 6-82 A/B 6-83 A/B 6-84 A/B 6-85 A/B 6-86 A/B 6-87 A/B 6-88 A/B 6-89 A/B 6-90 A/B 6-91 A/B 6-92 A/B 6-93 A/B 6-94 A/B 6-95 A/B 6-96 A/B 6-97 A/B 6-98 A/B 6-99 A/B 6-100	有		

【女川・大阪】
■設計の相違
泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。
【大阪】
■記載方針の相違
(女川実績の反映;着色せず)
(3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果)

大阪発電所3 / 4号炉										女川原子力発電所2号炉										泊発電所3号炉										相違理由																																																																																																											
<p>第7-2表 隣接火災区画への火災影響評価結果 (火災伝播評価) (19/24)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>火災区画面積</th> <th>火災区画の用途</th> <th>火災区画の構造</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RS-J</td> <td>CP再生熱交換器室 他</td> <td>0.03h</td> <td>RS-D</td> <td>RS-E</td> <td>RS-F</td> <td>RS-G</td> <td>RS-H</td> <td>RS-I</td> <td>RS-K</td> <td>RS-L</td> </tr> <tr> <td>RS-K</td> <td>P.S</td> <td>0.00h</td> <td>RS-K</td> <td>RS-L</td> <td>RS-M</td> <td>RS-N</td> <td>RS-O</td> <td>RS-P</td> <td>RS-Q</td> <td>RS-R</td> </tr> <tr> <td>RS-L</td> <td>MS トンネル/LC 室 他</td> <td>0.02h</td> <td>RS-A</td> <td>RS-B</td> <td>RS-C</td> <td>RS-D</td> <td>RS-E</td> <td>RS-F</td> <td>RS-G</td> <td>RS-H</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画名称	火災区画面積	火災区画の用途	火災区画の構造	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	RS-J	CP再生熱交換器室 他	0.03h	RS-D	RS-E	RS-F	RS-G	RS-H	RS-I	RS-K	RS-L	RS-K	P.S	0.00h	RS-K	RS-L	RS-M	RS-N	RS-O	RS-P	RS-Q	RS-R	RS-L	MS トンネル/LC 室 他	0.02h	RS-A	RS-B	RS-C	RS-D	RS-E	RS-F	RS-G	RS-H	<p>女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画内の主要な部屋名称</th> <th>等価火災時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RS-J</td> <td>CP再生熱交換器室 他</td> <td>0.03h</td> <td>RS-D RS-E RS-F RS-G RS-H RS-I RS-K RS-L RS-M RS-N RS-O RS-P RS-Q RS-R</td> <td>3h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>RS-K</td> <td>P.S</td> <td>0.00h</td> <td>RS-K RS-L RS-M RS-N RS-O RS-P RS-Q RS-R</td> <td>3h</td> <td>有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>RS-L</td> <td>MS トンネル/LC 室 他</td> <td>0.02h</td> <td>RS-A RS-B RS-C RS-D RS-E RS-F RS-G RS-H RS-I RS-K RS-L RS-M RS-N RS-O RS-P RS-Q RS-R</td> <td>3h</td> <td>有</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画内の主要な部屋名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	RS-J	CP再生熱交換器室 他	0.03h	RS-D RS-E RS-F RS-G RS-H RS-I RS-K RS-L RS-M RS-N RS-O RS-P RS-Q RS-R	3h	無		RS-K	P.S	0.00h	RS-K RS-L RS-M RS-N RS-O RS-P RS-Q RS-R	3h	有		RS-L	MS トンネル/LC 室 他	0.02h	RS-A RS-B RS-C RS-D RS-E RS-F RS-G RS-H RS-I RS-K RS-L RS-M RS-N RS-O RS-P RS-Q RS-R	3h	有		<p>泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>等価時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RS-J</td> <td>原子炉補助建屋01.3m道路部</td> <td>0.02h</td> <td>RS-B RS-C RS-D RS-E RS-F RS-G RS-H RS-I RS-K RS-L RS-M RS-N RS-O RS-P RS-Q RS-R</td> <td>-</td> <td>有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>RS-K</td> <td>AG階段室</td> <td>0.01h</td> <td>RS-B RS-C RS-D RS-E RS-F RS-G RS-H RS-I RS-K RS-L RS-M RS-N RS-O RS-P RS-Q RS-R</td> <td>-</td> <td>有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>RS-L</td> <td>原子炉補助建屋Cエレベータ</td> <td>0.01h</td> <td>RS-B RS-C RS-D RS-E RS-F RS-G RS-H RS-I RS-K RS-L RS-M RS-N RS-O RS-P RS-Q RS-R</td> <td>1h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>RS-M</td> <td>A-3階段室</td> <td>2.92h</td> <td>RS-B RS-C RS-D RS-E RS-F RS-G RS-H RS-I RS-K RS-L RS-M RS-N RS-O RS-P RS-Q RS-R</td> <td>3h</td> <td>有</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	RS-J	原子炉補助建屋01.3m道路部	0.02h	RS-B RS-C RS-D RS-E RS-F RS-G RS-H RS-I RS-K RS-L RS-M RS-N RS-O RS-P RS-Q RS-R	-	有		RS-K	AG階段室	0.01h	RS-B RS-C RS-D RS-E RS-F RS-G RS-H RS-I RS-K RS-L RS-M RS-N RS-O RS-P RS-Q RS-R	-	有		RS-L	原子炉補助建屋Cエレベータ	0.01h	RS-B RS-C RS-D RS-E RS-F RS-G RS-H RS-I RS-K RS-L RS-M RS-N RS-O RS-P RS-Q RS-R	1h	無		RS-M	A-3階段室	2.92h	RS-B RS-C RS-D RS-E RS-F RS-G RS-H RS-I RS-K RS-L RS-M RS-N RS-O RS-P RS-Q RS-R	3h	有		<p>【女川・大阪】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 <p>泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大阪】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 <p>(女川実績の反映;着色せず)</p> <p>(3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)</p>
火災区画	火災区画名称	火災区画面積	火災区画の用途	火災区画の構造	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火性能																																																																																																																															
RS-J	CP再生熱交換器室 他	0.03h	RS-D	RS-E	RS-F	RS-G	RS-H	RS-I	RS-K	RS-L																																																																																																																															
RS-K	P.S	0.00h	RS-K	RS-L	RS-M	RS-N	RS-O	RS-P	RS-Q	RS-R																																																																																																																															
RS-L	MS トンネル/LC 室 他	0.02h	RS-A	RS-B	RS-C	RS-D	RS-E	RS-F	RS-G	RS-H																																																																																																																															
火災区画	火災区画内の主要な部屋名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																																																																			
RS-J	CP再生熱交換器室 他	0.03h	RS-D RS-E RS-F RS-G RS-H RS-I RS-K RS-L RS-M RS-N RS-O RS-P RS-Q RS-R	3h	無																																																																																																																																				
RS-K	P.S	0.00h	RS-K RS-L RS-M RS-N RS-O RS-P RS-Q RS-R	3h	有																																																																																																																																				
RS-L	MS トンネル/LC 室 他	0.02h	RS-A RS-B RS-C RS-D RS-E RS-F RS-G RS-H RS-I RS-K RS-L RS-M RS-N RS-O RS-P RS-Q RS-R	3h	有																																																																																																																																				
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																																																																			
RS-J	原子炉補助建屋01.3m道路部	0.02h	RS-B RS-C RS-D RS-E RS-F RS-G RS-H RS-I RS-K RS-L RS-M RS-N RS-O RS-P RS-Q RS-R	-	有																																																																																																																																				
RS-K	AG階段室	0.01h	RS-B RS-C RS-D RS-E RS-F RS-G RS-H RS-I RS-K RS-L RS-M RS-N RS-O RS-P RS-Q RS-R	-	有																																																																																																																																				
RS-L	原子炉補助建屋Cエレベータ	0.01h	RS-B RS-C RS-D RS-E RS-F RS-G RS-H RS-I RS-K RS-L RS-M RS-N RS-O RS-P RS-Q RS-R	1h	無																																																																																																																																				
RS-M	A-3階段室	2.92h	RS-B RS-C RS-D RS-E RS-F RS-G RS-H RS-I RS-K RS-L RS-M RS-N RS-O RS-P RS-Q RS-R	3h	有																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果)

第12表 隣接火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (21/24)

火災伝播評価結果		火災区画	火災影響評価結果	火災影響評価結果	火災影響評価結果		火災影響評価結果		火災影響評価結果		火災影響評価結果	
火災区画	火災影響評価結果	火災影響評価結果	火災影響評価結果	火災影響評価結果	火災影響評価結果	火災影響評価結果	火災影響評価結果	火災影響評価結果	火災影響評価結果	火災影響評価結果	火災影響評価結果	火災影響評価結果
MGE-11-R	M	0.0h	M	0.0h	M	0.0h	M	0.0h	M	0.0h	M	0.0h
MGE-11-U	M	0.0h	M	0.0h	M	0.0h	M	0.0h	M	0.0h	M	0.0h
MGE-11-V	M	0.0h	M	0.0h	M	0.0h	M	0.0h	M	0.0h	M	0.0h
...

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果

火災区画	火災区画内の主要設備名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考
R-1-S2	R-2F 発電機	0.00h	R2-A	3h	無	
R-1-S3	R-2D 発電機	0.00h	R1-C	3h	有	
R-1-S1	R-2E 発電機	0.00h	R1-B	3h	有	
R-2-B	R-2E 発電機	0.40h	R1-A	3h	有	

泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果

火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考
A/B-R	R-2タクトスペース	0.0h	A/B 2-07-1	3h	無	
A/B-T	T-2タクトスペース	0.0h	A/B 2-07-2	3h	有	
A/B-U	A-E階段室	0.03h	A/B 2-08	-	有	
A/B-V	V-2タクトスペース	0.0h	A/B 2-09	-	有	

- 【女川・大飯】
 ■設計の相違
 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。
- 【大飯】
 ■記載方針の相違
 (女川実績の反映; 着色せず)
 (3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

附7-2次 隣接火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (22/24)

Table with multiple columns for fire risk assessment: 火災区画名, 火災区画の概要, 火災伝播評価, 火災伝播の可能性がある, etc.

女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果

Table with columns: 火災区画, 火災区画内の主な設備名, 等価火災時間, 隣接火災区画, 耐火時間, 火災伝播の可能性, 備考

泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果

Table with columns: 火災区画, 火災区画名称, 等価時間, 隣接火災区画, 耐火時間, 火災伝播の可能性, 備考

【女川・大飯】
■設計の相違
泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。
【大飯】
■記載方針の相違
(女川実績の反映:着色せず)
(3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (23/24)

火災区画	火災区画名称	火災区画内主要設備名称	火災区画内主要設備の火災危険性	火災区画内主要設備の火災危険性	火災区画内主要設備の火災危険性	火災区画内主要設備の火災危険性	火災区画内主要設備の火災危険性	火災区画内主要設備の火災危険性	火災区画内主要設備の火災危険性	火災区画内主要設備の火災危険性	火災伝播評価結果		備考
											火災伝播の可能性	耐火時間	
R-5-9	サンプリングラック室	サンプリングラック室	0.10h	R1-D R1-I R1-J R1-K R-5-9	無								
R-5-15	原子炉水サンプリングラック室	原子炉水サンプリングラック室	0.34h	R1-A R1-D R1-K R-5-15	無								
R-5-16	FASS ラック室	FASS ラック室	0.18h	R1-E R1-A R1-C R1-K R-5-16	有								
R-5-47	CRD スタックム排気装置(B)室	CRD スタックム排気装置(B)室	0.00h	R1-K R1-A R-5-47	有								
R-5-63	TIP 駆動装置室	TIP 駆動装置室	0.14h	R1-D R1-I R1-K R-5-63	有								
R-5-67	東端トレンチ	東端トレンチ	0.00h	R1-B R1-C R1-D R1-E R1-F R1-G R1-H R1-I R1-J R1-K R1-L R1-M R1-N R1-O R1-P R1-Q R1-R R1-S R1-T R1-U R1-V R1-W R1-X R1-Y R1-Z R-5-67	無								

女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果

火災区画	火災区画内の主な設備名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考
R-5-9	サンプリングラック室	0.10h	R1-D R1-I R1-J R1-K R-5-9	3h	無	
R-5-15	原子炉水サンプリングラック室	0.34h	R1-A R1-D R1-K R-5-15	3h	無	
R-5-16	FASS ラック室	0.18h	R1-E R1-A R1-C R1-K R-5-16	3h	有	
R-5-47	CRD スタックム排気装置(B)室	0.00h	R1-K R1-A R-5-47	3h	有	
R-5-63	TIP 駆動装置室	0.14h	R1-D R1-I R1-K R-5-63	3h	有	
R-5-67	東端トレンチ	0.00h	R1-B R1-C R1-D R1-E R1-F R1-G R1-H R1-I R1-J R1-K R1-L R1-M R1-N R1-O R1-P R1-Q R1-R R1-S R1-T R1-U R1-V R1-W R1-X R1-Y R1-Z R-5-67	3h	無	

泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果

火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考
CWP/B 1-02-2	B系原子炉補機冷却海水ポンプエリア	0.20h	CWP/B 1-01 CWP/B 1-03 CWP/B 1-02-1 CWP/B 1-02-3 CWP/B 1-02-4	3h 1h	無	
CWP/B 1-02-3	循環水ポンプ建屋ハロンガスC3ポンベ室	0.12h	CWP/B 1-02-2	1h	有	
CWP/B 1-02-4	循環水ポンプ建屋ハロン自動消火設備制御盤室	1.30h	CWP/B 1-02-2	1h	有	
CWP/B 1-03	循環水ポンプエリア	1.64h	CWP/B 1-01 CWP/B 1-04	3h -	無	
CWP/B 1-04	操作エリア	0.10h	CWP/B 1-01 CWP/B 1-02-2 CWP/B 1-03	-	有	
DG/B 2-01	A-ディゼル発電機室	1.79h	DG/B 2-02 R/B 2-01 R/B 3-08-1 R/B 3-09-4 R/B 3-10 R/B 3-14-2	3h	無	

【女川・大飯】
 ■設計の相違
 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。

【大飯】
 ■記載方針の相違
 (女川実績の反映:着色せず)
 (3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (24/24)

Table with columns: 火災区画, 火災区画内の主な設備名称, 火災区画の名称, 火災区画の面積, 火災区画の形状, 火災区画の用途, 火災区画の耐火等級, 火災区画の防火区画区分, 火災区画の防火区画区分の適用状況, 火災区画の防火区画区分の適用理由, 火災区画の防火区画区分の適用状況の補足説明, 火災区画の防火区画区分の適用状況の補足説明の補足説明, 火災区画の防火区画区分の適用状況の補足説明の補足説明の補足説明.

大飯発電所3 / 4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果

Table with columns: 火災区画, 火災区画内の主な設備名称, 火災区画の名称, 火災区画の面積, 火災区画の形状, 火災区画の用途, 火災区画の耐火等級, 火災区画の防火区画区分, 火災区画の防火区画区分の適用状況, 火災区画の防火区画区分の適用理由, 火災区画の防火区画区分の適用状況の補足説明, 火災区画の防火区画区分の適用状況の補足説明の補足説明, 火災区画の防火区画区分の適用状況の補足説明の補足説明の補足説明.

泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果

Table with columns: 火災区画, 火災区画内の主な設備名称, 火災区画の名称, 火災区画の面積, 火災区画の形状, 火災区画の用途, 火災区画の耐火等級, 火災区画の防火区画区分, 火災区画の防火区画区分の適用状況, 火災区画の防火区画区分の適用理由, 火災区画の防火区画区分の適用状況の補足説明, 火災区画の防火区画区分の適用状況の補足説明の補足説明, 火災区画の防火区画区分の適用状況の補足説明の補足説明の補足説明.

【女川・大飯】
■設計の相違
泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。

【大飯】
■記載方針の相違
(女川実績の反映: 着色せず)
(3 / 4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
		女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果		泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果		
火災区画	火災区画内の主な装置名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考
R-9-57	D/G(BPCS)室非常用排気チャンバ室	0.00h	R2-A	3h	有	
R-9-58	D/G(B)室非常用排気チャンバ室	0.00h	R2-A	3h	無	
R-9-63	PCS再結合装置(B)室	0.02h	R2-F	3h	無	
			R2-M			
			R1-K			
			R2-E		有	
R-10-4	E.V機械室	0.04h	R2-A		有	
R-10-8	OG配管連絡トレンチ	0.00h	R2-A	3h	無	
R-11-5	原子炉補機(A)室給気ルーパー室	0.00h	R2-F	3h	無	
			R1-B		有	
R-11-7	原子炉補機(B)室給気ルーパー室	0.00h	R-7-69	3h	無	
			R2-A		有	
R-12-4	ギヤラリ室	0.01h	R2-E	3h	無	
			R2-E		有	
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考
R/B 2-03	CCW配管スペース、弁補修エリア及び倉庫	0.02h	C/V 3-01 R/B 2-01 A/B 2-01-2 A/B 2-02 R/B 3-08-1 R/B 3-08-3 R/B 3-09-1 R/B 4-02-1 R/B-B R/B-M R/B 2-02 R/B 3-02 R/B 3-08-1 R/B 4-01 R/B 4-04 R/B 2-02 R/B 3-01 R/B 3-03-1 R/B 3-03-2 R/B 3-08-1 R/B 2-02 R/B 3-02 R/B 3-03-2 R/B 3-08-1	3h	無	
R/B 3-01	A-制御用空圧圧縮装置室	0.24h	R/B 2-02 R/B 3-02 R/B 4-01 R/B 4-04 R/B 3-01 R/B 3-03-1 R/B 3-03-2 R/B 3-08-1	3h	無	
R/B 3-02	B-制御用空圧圧縮装置室	0.30h	R/B 2-02 R/B 3-02 R/B 3-03-2 R/B 3-08-1	3h	無	
R/B 3-03-1	タービン動補給水ポンプ室	0.63h	R/B 2-02 R/B 3-02 R/B 3-03-2 R/B 3-08-1	3h	無	

【女川・大飯】
 ■設計の相違
 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。

【大飯】
 ■記載方針の相違
 (女川実績の反映)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																																																																																																										
		<p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画内の主な設備名称</th> <th>等価人員時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">CI-A</td> <td rowspan="5">空調機庫(A) 機</td> <td rowspan="5">1.40h</td> <td>CI-C</td> <td rowspan="5">3h</td> <td rowspan="5">有</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>CI-D</td> </tr> <tr> <td>CI-E</td> </tr> <tr> <td>CI-F</td> </tr> <tr> <td>CI-G</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">CI-B</td> <td rowspan="5">反応炉バツクリOP-1室</td> <td rowspan="5">1.33h</td> <td>CI-A</td> <td rowspan="5">3h</td> <td rowspan="5">無</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>CI-C</td> </tr> <tr> <td>CI-D</td> </tr> <tr> <td>CI-E</td> </tr> <tr> <td>CI-F</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">CI-C</td> <td rowspan="5">中央制御室 機</td> <td rowspan="5">4.12h</td> <td>CI-A</td> <td rowspan="5">3h</td> <td rowspan="5">有</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>CI-B</td> </tr> <tr> <td>CI-D</td> </tr> <tr> <td>CI-E</td> </tr> <tr> <td>CI-F</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">CI-D</td> <td rowspan="5">BSS 機室</td> <td rowspan="5">1.65h</td> <td>CI-A</td> <td rowspan="5">3h</td> <td rowspan="5">無</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>CI-B</td> </tr> <tr> <td>CI-C</td> </tr> <tr> <td>CI-E</td> </tr> <tr> <td>CI-F</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">CI-E</td> <td rowspan="5">C-01 降設庫</td> <td rowspan="5">0.01h</td> <td>CI-A</td> <td rowspan="5">3h</td> <td rowspan="5">有</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>CI-B</td> </tr> <tr> <td>CI-C</td> </tr> <tr> <td>CI-D</td> </tr> <tr> <td>CI-F</td> </tr> </tbody> </table>		火災区画	火災区画内の主な設備名称	等価人員時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	CI-A	空調機庫(A) 機	1.40h	CI-C	3h	有		CI-D	CI-E	CI-F	CI-G	CI-B	反応炉バツクリOP-1室	1.33h	CI-A	3h	無		CI-C	CI-D	CI-E	CI-F	CI-C	中央制御室 機	4.12h	CI-A	3h	有		CI-B	CI-D	CI-E	CI-F	CI-D	BSS 機室	1.65h	CI-A	3h	無		CI-B	CI-C	CI-E	CI-F	CI-E	C-01 降設庫	0.01h	CI-A	3h	有		CI-B	CI-C	CI-D	CI-F	<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>等価時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">R/B 3-03-2</td> <td rowspan="3">タービン動機補助給水ポンプ室給気ファン室、配管エリア及びプロセッサタンク室</td> <td rowspan="3">0.02h</td> <td>R/B 3-02</td> <td rowspan="3">3h</td> <td rowspan="3">無</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-08-1</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-08-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">R/B 3-04</td> <td rowspan="5">A-電動補助給水ポンプ室</td> <td rowspan="5">0.03h</td> <td>R/B 5-01-3</td> <td rowspan="5">-</td> <td rowspan="5">有</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>R/B 5-01-3</td> </tr> <tr> <td>C/V 3-01</td> </tr> <tr> <td>R/B 2-01</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-05</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">R/B 3-05</td> <td rowspan="5">B-電動補助給水ポンプ室</td> <td rowspan="5">0.03h</td> <td>R/B 3-08-1</td> <td rowspan="5">3h</td> <td rowspan="5">無</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-08-1</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-08-3</td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02-1</td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">R/B 3-06</td> <td rowspan="5">A-中央制御室外原子炉停止盤室</td> <td rowspan="5">0.54h</td> <td>C/V 3-01</td> <td rowspan="5">3h</td> <td rowspan="5">無</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>R/B 2-01</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-08-1</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-07</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-08-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">R/B 3-07</td> <td rowspan="5">B-中央制御室外原子炉停止盤室</td> <td rowspan="5">0.29h</td> <td>R/B 4-02-1</td> <td rowspan="5">1h</td> <td rowspan="5">無</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>R/B 2-01</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-08-1</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-06</td> </tr> <tr> <td>R/B 3-08-4</td> </tr> </tbody> </table>		火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	R/B 3-03-2	タービン動機補助給水ポンプ室給気ファン室、配管エリア及びプロセッサタンク室	0.02h	R/B 3-02	3h	無		R/B 3-08-1	R/B 3-08-1	R/B 3-04	A-電動補助給水ポンプ室	0.03h	R/B 5-01-3	-	有		R/B 5-01-3	C/V 3-01	R/B 2-01	R/B 3-05	R/B 3-05	B-電動補助給水ポンプ室	0.03h	R/B 3-08-1	3h	無		R/B 3-08-1	R/B 3-08-3	R/B 4-02-1	R/B 4-02-1	R/B 3-06	A-中央制御室外原子炉停止盤室	0.54h	C/V 3-01	3h	無		R/B 2-01	R/B 3-08-1	R/B 3-07	R/B 3-08-1	R/B 3-07	B-中央制御室外原子炉停止盤室	0.29h	R/B 4-02-1	1h	無		R/B 2-01	R/B 3-08-1	R/B 3-06	R/B 3-08-4	<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>
火災区画	火災区画内の主な設備名称	等価人員時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																																																										
CI-A	空調機庫(A) 機	1.40h	CI-C	3h	有																																																																																																																											
			CI-D																																																																																																																													
			CI-E																																																																																																																													
			CI-F																																																																																																																													
			CI-G																																																																																																																													
CI-B	反応炉バツクリOP-1室	1.33h	CI-A	3h	無																																																																																																																											
			CI-C																																																																																																																													
			CI-D																																																																																																																													
			CI-E																																																																																																																													
			CI-F																																																																																																																													
CI-C	中央制御室 機	4.12h	CI-A	3h	有																																																																																																																											
			CI-B																																																																																																																													
			CI-D																																																																																																																													
			CI-E																																																																																																																													
			CI-F																																																																																																																													
CI-D	BSS 機室	1.65h	CI-A	3h	無																																																																																																																											
			CI-B																																																																																																																													
			CI-C																																																																																																																													
			CI-E																																																																																																																													
			CI-F																																																																																																																													
CI-E	C-01 降設庫	0.01h	CI-A	3h	有																																																																																																																											
			CI-B																																																																																																																													
			CI-C																																																																																																																													
			CI-D																																																																																																																													
			CI-F																																																																																																																													
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																																																										
R/B 3-03-2	タービン動機補助給水ポンプ室給気ファン室、配管エリア及びプロセッサタンク室	0.02h	R/B 3-02	3h	無																																																																																																																											
			R/B 3-08-1																																																																																																																													
			R/B 3-08-1																																																																																																																													
R/B 3-04	A-電動補助給水ポンプ室	0.03h	R/B 5-01-3	-	有																																																																																																																											
			R/B 5-01-3																																																																																																																													
			C/V 3-01																																																																																																																													
			R/B 2-01																																																																																																																													
			R/B 3-05																																																																																																																													
R/B 3-05	B-電動補助給水ポンプ室	0.03h	R/B 3-08-1	3h	無																																																																																																																											
			R/B 3-08-1																																																																																																																													
			R/B 3-08-3																																																																																																																													
			R/B 4-02-1																																																																																																																													
			R/B 4-02-1																																																																																																																													
R/B 3-06	A-中央制御室外原子炉停止盤室	0.54h	C/V 3-01	3h	無																																																																																																																											
			R/B 2-01																																																																																																																													
			R/B 3-08-1																																																																																																																													
			R/B 3-07																																																																																																																													
			R/B 3-08-1																																																																																																																													
R/B 3-07	B-中央制御室外原子炉停止盤室	0.29h	R/B 4-02-1	1h	無																																																																																																																											
			R/B 2-01																																																																																																																													
			R/B 3-08-1																																																																																																																													
			R/B 3-06																																																																																																																													
			R/B 3-08-4																																																																																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																				
	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画内の主な設備名称</th> <th>等価火災時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">C1-F</td> <td rowspan="2">常用系ケーブル巻庫</td> <td rowspan="2">13.55h</td> <td>C1-A</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>C1-C</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">C2-A</td> <td rowspan="10">空調機械(1)室 船</td> <td rowspan="10">0.95h</td> <td>C2-A</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="10">無</td> <td rowspan="10"></td> </tr> <tr> <td>C1-B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C1-C</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C1-D</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C1-E</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C1-F</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C2-C</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C2-A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2-D</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2-A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">C2-C</td> <td rowspan="4">常用・共通 M/C/F/C室</td> <td rowspan="4">1.22h</td> <td>C1-A</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="4">有</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>C1-D</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C2-A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C2-A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C3-A</td> <td rowspan="2">区分ケーブル巻庫</td> <td rowspan="2">0.52h</td> <td>C1-C</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">有</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>C2-A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">C-3(3)</td> <td rowspan="5">クリーン通路</td> <td rowspan="5">0.29h</td> <td>R2-E</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="5">有</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>C2-A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1-C</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2-D</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2-E</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	火災区画	火災区画内の主な設備名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火時間	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	C1-F	常用系ケーブル巻庫	13.55h	C1-A			有		C1-C			C2-A	空調機械(1)室 船	0.95h	C2-A			無		C1-B			C1-C			C1-D			C1-E			C1-F			C2-C			C2-A			R2-D			R2-A			C2-C	常用・共通 M/C/F/C室	1.22h	C1-A			有		C1-D			C2-A			C2-A			C3-A	区分ケーブル巻庫	0.52h	C1-C			有		C2-A			C-3(3)	クリーン通路	0.29h	R2-E			有		C2-A			R1-C			R2-D			R2-E			<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>等価時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="26">R/B 3-08-1</td> <td rowspan="26">原子炉建屋10.3~33.1m通路部</td> <td rowspan="26">1.31h</td> <td>A/B 3-07-1</td> <td></td> <td rowspan="26">3h</td> <td rowspan="26">無</td> <td rowspan="26"></td> </tr> <tr> <td>A/B 4-04-4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C/V 3-01</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C/V 3-02</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D/B 2-01</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D/B 2-02</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 2-01</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 2-02</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-01</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-02</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-03-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-04</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-05</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-06</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-07</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-09-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-11</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-14-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-14-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 4-01</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 4-03</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 4-05</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	R/B 3-08-1	原子炉建屋10.3~33.1m通路部	1.31h	A/B 3-07-1		3h	無		A/B 4-04-4		C/V 3-01		C/V 3-02		D/B 2-01		D/B 2-02		R/B 2-01		R/B 2-02		R/B 3-01		R/B 3-02		R/B 3-03-1		R/B 3-04		R/B 3-05		R/B 3-06		R/B 3-07		R/B 3-09-1		R/B 3-10		R/B 3-11		R/B 3-14-1		R/B 3-14-2		R/B 4-01		R/B 4-02-1		R/B 4-03		R/B 4-05		<p>【女川・大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 <p>泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 <p>(女川実績の反映)</p>
火災区画	火災区画内の主な設備名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火時間	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																																																																																																
C1-F	常用系ケーブル巻庫	13.55h	C1-A			有																																																																																																																																																																	
			C1-C																																																																																																																																																																				
C2-A	空調機械(1)室 船	0.95h	C2-A			無																																																																																																																																																																	
			C1-B																																																																																																																																																																				
			C1-C																																																																																																																																																																				
			C1-D																																																																																																																																																																				
			C1-E																																																																																																																																																																				
			C1-F																																																																																																																																																																				
			C2-C																																																																																																																																																																				
			C2-A																																																																																																																																																																				
			R2-D																																																																																																																																																																				
			R2-A																																																																																																																																																																				
C2-C	常用・共通 M/C/F/C室	1.22h	C1-A			有																																																																																																																																																																	
			C1-D																																																																																																																																																																				
			C2-A																																																																																																																																																																				
			C2-A																																																																																																																																																																				
C3-A	区分ケーブル巻庫	0.52h	C1-C			有																																																																																																																																																																	
			C2-A																																																																																																																																																																				
C-3(3)	クリーン通路	0.29h	R2-E			有																																																																																																																																																																	
			C2-A																																																																																																																																																																				
			R1-C																																																																																																																																																																				
			R2-D																																																																																																																																																																				
			R2-E																																																																																																																																																																				
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																																																																																																
R/B 3-08-1	原子炉建屋10.3~33.1m通路部	1.31h	A/B 3-07-1		3h	無																																																																																																																																																																	
			A/B 4-04-4																																																																																																																																																																				
			C/V 3-01																																																																																																																																																																				
			C/V 3-02																																																																																																																																																																				
			D/B 2-01																																																																																																																																																																				
			D/B 2-02																																																																																																																																																																				
			R/B 2-01																																																																																																																																																																				
			R/B 2-02																																																																																																																																																																				
			R/B 3-01																																																																																																																																																																				
			R/B 3-02																																																																																																																																																																				
			R/B 3-03-1																																																																																																																																																																				
			R/B 3-04																																																																																																																																																																				
			R/B 3-05																																																																																																																																																																				
			R/B 3-06																																																																																																																																																																				
			R/B 3-07																																																																																																																																																																				
			R/B 3-09-1																																																																																																																																																																				
			R/B 3-10																																																																																																																																																																				
			R/B 3-11																																																																																																																																																																				
			R/B 3-14-1																																																																																																																																																																				
			R/B 3-14-2																																																																																																																																																																				
			R/B 4-01																																																																																																																																																																				
			R/B 4-02-1																																																																																																																																																																				
			R/B 4-03																																																																																																																																																																				
			R/B 4-05																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果)

大飯発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
		女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果		泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果		
火災区画	火災区画内の主な設備名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考
C-4-3	排煙機械室	0.01h	CI-C CV-A	3	無	
C-4-7	クリーン通路	0.27h	R2-A R2-D CV-A	3	無	
CV-A	通路 他	0.40h	CI-D C-3-33 C-4-3 R1-C R2-E RV-A CI-A CI-C CI-E CI-F G2-A G2-C G3-A C-4-7 R2-D	3	無	
					有	
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考
R/B 3-08-1	原子炉建屋10.3~33.1m廊下部	1.31h	A/B 4-04-1 A/B 4-04-3 A/B 5-04-1 R/B 2-03 R/B 3-03-2 R/B 3-05-2 R/B 3-08-3 R/B 3-08-4 R/B 3-09-4 R/B 4-02-5 R/B 4-02-7 R/B 4-04 R/B 4-06 R/B 4-07 R/B 5-01-1 R/B 5-01-2 R/B 5-01-3 R/B 5-03 R/B 6-02 R/B 7-03 R/B 7-04 R/B 8-01 R/B-B R/B-C R/B-M R/B-R R/B-S	1h	有	

【女川・大飯】
 ■設計の相違
 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。

【大飯】
 ■記載方針の相違
 (女川実績の反映)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果						
火災区画	火災区画内の主な設備名称	等価火災時間	隣接火災区画	耐火火災区画	耐火火災区画	備考
Y1-A	ESFポンプ(A) (C)重	1.17h	Y2-A	3h	無	
Y1-B	軽油タンク重(A) 他	55.70h	Y2-B	3h	有	3時間以上の耐火能力を有する耐火構造で分離するため、火災伝播の可能性はないと評価
Y2-B	軽油タンク重(B) 他	56.35h	Y1-B	3h	無	3時間以上の耐火能力を有する耐火構造で分離するため、火災伝播の可能性はないと評価
Y3-A	RP59 ポンプ重	3.88h	Y1-A	3h	無	3時間以上の耐火能力を有する耐火構造で分離するため、火災伝播の可能性はないと評価
Y3-B	軽油タンク重(B) 他	71.15h	E2-A	-	有	
YN-A	循環水ポンプ(A)重 他	0.43h	Y1-B	3h	無	3時間以上の耐火能力を有する耐火構造で分離するため、火災伝播の可能性はないと評価
Y-1-5	常用系ケーブケーブル連続トレンチ	0.55h	E2-A	-	有	
Y-1-7	東大貯蔵タンク/連続トレンチ/バルブ重	0.01h	E1-B	3h	有	
泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果						
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火火災区画	耐火火災区画	備考
R/B 3-08-2	二酸化炭素ポンプ放散室	0.03h	C/V 3-01 R/B 3-10 R/B 3-08-1 R/B 3-09-2 R/B 3-09-4 R/B 3-01 R/B 3-04 R/B 3-05 R/B 3-08-1 R/B 3-02-1 R/B 3 R/B 3-01 R/B 3-06 R/B 3-07 R/B 3-08-1 C/V 3-01 R/B 3-08-1 A/B 2-02 A/B 3-01-1 A/B 3-01-3 R/B 2-03 R/B 3-09-2 R/B 3-09-3 R/B 3-09-4 R/B 4-02-1 R/B 4-02-2 R/B 4-02-3 R/B 4-02-4 R/B 4-02-5 R/B-F R/B-G	3h	無	
R/B 3-08-3	1次冷却材ポンプ母線計測室	0.31h		3h	有	
R/B 3-08-4	タービン補助給水ポンプ起動用トレンチ及び補助給水ポンプ出口配管調査用トレンチ	0.14h		3h	無	
R/B 3-09-1	原子炉建屋北側10.3m通路部	0.19h		1h	無	

【女川・大飯】
 ■設計の相違
 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。

【大飯】
 ■記載方針の相違
 (女川実績の反映)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉						相違理由
		泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果						
		火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>(女川実績の反映)</p>
		R/B 3-09-2	倉庫	0.10h	C/V 3-01 R/B 3-08-2 R/B 3-09-1 R/B 3-09-4	3h	無	
		R/B 3-09-3	使用済燃料ピットポンプ室及び使用済燃料ピット冷却器室	0.01h	A/B 3-01-1 R/B 3-09-1 A/B-D R/B 4-02-3	1h	有	
					C/V 3-01 R/B 2-01 R/B 3-10	3h	無	
		R/B 3-09-4	倉庫	0.01h	R/B 3-08-1 R/B 3-08-2 R/B 3-09-1 R/B 3-09-2 R/B 3-14-2 R/B 4-02-1 R/B 4-02-6 R/B-F R/B-G	1h	有	
					R/B 2-01 R/B 3-08-1 R/B 3-08-2 R/B 3-09-4 R/B 3-14-2			
		R/B 3-10	A-ディージェル発電機制御盤室	0.47h		3h	無	

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																	
泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果																																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>等価時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R/B 3-11</td> <td>B-ブレイクセル発電機制御盤室</td> <td>0.38h</td> <td> DG/B 2-02 R/B 2-01 R/B 2-02 R/B 3-08-1 R/B 3-14-1 R/B 3-14-1 R/B-C </td> <td>3h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-14-1</td> <td>B-清水タンク室</td> <td>0.03h</td> <td> DG/B 2-02 R/B 3-08-1 R/B 3-11 R/B 3-14-2 R/B 4-05 R/B 4-07 R/B-C </td> <td>3h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 3-14-2</td> <td>A-清水タンク室</td> <td>0.01h</td> <td> DG/B 2-01 DG/B 2-02 R/B 3-08-1 R/B 3-10 R/B 3-14-1 R/B 4-03 R/B 3-09-1 R/B 4-06 R/B 3-01 R/B 3-08-1 R/B 4-04 R/B 5-01-2 </td> <td>3h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 4-01</td> <td>原子炉トリップしゃ断器盤室</td> <td>0.55h</td> <td></td> <td>-</td> <td>有</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>有</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	R/B 3-11	B-ブレイクセル発電機制御盤室	0.38h	DG/B 2-02 R/B 2-01 R/B 2-02 R/B 3-08-1 R/B 3-14-1 R/B 3-14-1 R/B-C	3h	無		R/B 3-14-1	B-清水タンク室	0.03h	DG/B 2-02 R/B 3-08-1 R/B 3-11 R/B 3-14-2 R/B 4-05 R/B 4-07 R/B-C	3h	無		R/B 3-14-2	A-清水タンク室	0.01h	DG/B 2-01 DG/B 2-02 R/B 3-08-1 R/B 3-10 R/B 3-14-1 R/B 4-03 R/B 3-09-1 R/B 4-06 R/B 3-01 R/B 3-08-1 R/B 4-04 R/B 5-01-2	3h	無		R/B 4-01	原子炉トリップしゃ断器盤室	0.55h		-	有						3h	無						-	有		<p>【女川・大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 <p>泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 <p>(女川実績の反映)</p>
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																														
R/B 3-11	B-ブレイクセル発電機制御盤室	0.38h	DG/B 2-02 R/B 2-01 R/B 2-02 R/B 3-08-1 R/B 3-14-1 R/B 3-14-1 R/B-C	3h	無																																															
R/B 3-14-1	B-清水タンク室	0.03h	DG/B 2-02 R/B 3-08-1 R/B 3-11 R/B 3-14-2 R/B 4-05 R/B 4-07 R/B-C	3h	無																																															
R/B 3-14-2	A-清水タンク室	0.01h	DG/B 2-01 DG/B 2-02 R/B 3-08-1 R/B 3-10 R/B 3-14-1 R/B 4-03 R/B 3-09-1 R/B 4-06 R/B 3-01 R/B 3-08-1 R/B 4-04 R/B 5-01-2	3h	無																																															
R/B 4-01	原子炉トリップしゃ断器盤室	0.55h		-	有																																															
				3h	無																																															
				-	有																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																											
		<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">火災区画</th> <th style="width: 45%;">火災区画名称</th> <th style="width: 15%;">等価時間</th> <th style="width: 15%;">隣接火災区画</th> <th style="width: 10%;">耐火時間</th> <th style="width: 10%;">火災伝播の可能性</th> <th style="width: 10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R/B 4-02-1</td> <td rowspan="2">原子炉棟(総17.6m)通路部及びエアニユラス空気浄化ファーン室</td> <td rowspan="2">0.34h</td> <td>A/B 4-01-1</td> <td>3h</td> <td rowspan="2">無</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>B/B 3-05</td> <td>1h</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B/B 3-05-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>E/B 3-05-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A/B 4-01-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A/B 4-01-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A/B 4-01-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A/B 4-01-7</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A/B 4-04-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A/B 4-04-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C/W 3-02</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>E/B 2-03</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>E/B 3-06</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>E/B 3-07</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>E/B 3-08-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>E/B 3-09-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>E/B 3-09-4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>E/B 4-02-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>E/B 4-02-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>E/B 4-02-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>E/B 4-02-5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>E/B 4-02-6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>E/B 5-01</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>E/B 5-03</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>E/B 6-02</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>E/B 7-02</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R/B-F</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R/B-G</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R/B-M</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R/B-R</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R/B-S</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	R/B 4-02-1	原子炉棟(総17.6m)通路部及びエアニユラス空気浄化ファーン室	0.34h	A/B 4-01-1	3h	無		B/B 3-05	1h				B/B 3-05-1							E/B 3-05-1							A/B 4-01-1							A/B 4-01-2							A/B 4-01-3							A/B 4-01-7							A/B 4-04-1							A/B 4-04-3							C/W 3-02							E/B 2-03							E/B 3-06							E/B 3-07							E/B 3-08-3							E/B 3-09-1							E/B 3-09-4							E/B 4-02-2							E/B 4-02-3							E/B 4-02-1							E/B 4-02-5							E/B 4-02-6							E/B 5-01							E/B 5-03							E/B 6-02							E/B 7-02							R/B-F							R/B-G							R/B-M							R/B-R							R/B-S				<p>【女川・大飯】 ■設計の相違 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																																																																																																																																																																																																								
R/B 4-02-1	原子炉棟(総17.6m)通路部及びエアニユラス空気浄化ファーン室	0.34h	A/B 4-01-1	3h	無																																																																																																																																																																																																																									
			B/B 3-05	1h																																																																																																																																																																																																																										
			B/B 3-05-1																																																																																																																																																																																																																											
			E/B 3-05-1																																																																																																																																																																																																																											
			A/B 4-01-1																																																																																																																																																																																																																											
			A/B 4-01-2																																																																																																																																																																																																																											
			A/B 4-01-3																																																																																																																																																																																																																											
			A/B 4-01-7																																																																																																																																																																																																																											
			A/B 4-04-1																																																																																																																																																																																																																											
			A/B 4-04-3																																																																																																																																																																																																																											
			C/W 3-02																																																																																																																																																																																																																											
			E/B 2-03																																																																																																																																																																																																																											
			E/B 3-06																																																																																																																																																																																																																											
			E/B 3-07																																																																																																																																																																																																																											
			E/B 3-08-3																																																																																																																																																																																																																											
			E/B 3-09-1																																																																																																																																																																																																																											
			E/B 3-09-4																																																																																																																																																																																																																											
			E/B 4-02-2																																																																																																																																																																																																																											
			E/B 4-02-3																																																																																																																																																																																																																											
			E/B 4-02-1																																																																																																																																																																																																																											
			E/B 4-02-5																																																																																																																																																																																																																											
			E/B 4-02-6																																																																																																																																																																																																																											
			E/B 5-01																																																																																																																																																																																																																											
			E/B 5-03																																																																																																																																																																																																																											
			E/B 6-02																																																																																																																																																																																																																											
			E/B 7-02																																																																																																																																																																																																																											
			R/B-F																																																																																																																																																																																																																											
			R/B-G																																																																																																																																																																																																																											
			R/B-M																																																																																																																																																																																																																											
			R/B-R																																																																																																																																																																																																																											
			R/B-S																																																																																																																																																																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
		泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果																																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>等価時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R/B 4-02-2</td> <td>排再生冷却器室及びサンプル冷却器室</td> <td>0.01h</td> <td>C/V 3-02 R/B 3-09-1 R/B 4-02-1 A/B 4-01-1</td> <td>1h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02-3</td> <td>使用済燃料シット及び新燃料貯蔵庫エリア</td> <td>0.08h</td> <td>C/V 3-02 R/B 3-09-1 R/B 4-02-1 A/B 5-01 A/B 9-01 A/B 7-01 A/B-D R/B 3-09-3 R/B 4-02-4 R/B 4-02-7 R/B 5-01-1 R/B 6-02 R/B 7-01</td> <td>-</td> <td>有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02-4</td> <td>1次冷却材ポンプモータ保護エリア</td> <td>0.01h</td> <td>R/B 3-09-1 R/B 4-02-1 R/B 4-02-3 R/B 5-01-1 A/B 4-01-7</td> <td>1h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02-5</td> <td>原子炉建屋ハロンガス33ボンベ庫</td> <td>0.10h</td> <td>R/B 3-08-1 R/B 3-09-1 R/B 4-02-1 A/B 4-01-6 A/B 4-04-3 R/B 3-09-4 R/B 4-02-1 R/B 4-06</td> <td>1h</td> <td>無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 4-02-6</td> <td>原子炉建屋ハロンガス34ボンベ庫</td> <td>0.09h</td> <td>R/B 3-09-4 R/B 4-02-1 R/B 4-06</td> <td>-</td> <td>有</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	R/B 4-02-2	排再生冷却器室及びサンプル冷却器室	0.01h	C/V 3-02 R/B 3-09-1 R/B 4-02-1 A/B 4-01-1	1h	無		R/B 4-02-3	使用済燃料シット及び新燃料貯蔵庫エリア	0.08h	C/V 3-02 R/B 3-09-1 R/B 4-02-1 A/B 5-01 A/B 9-01 A/B 7-01 A/B-D R/B 3-09-3 R/B 4-02-4 R/B 4-02-7 R/B 5-01-1 R/B 6-02 R/B 7-01	-	有		R/B 4-02-4	1次冷却材ポンプモータ保護エリア	0.01h	R/B 3-09-1 R/B 4-02-1 R/B 4-02-3 R/B 5-01-1 A/B 4-01-7	1h	無		R/B 4-02-5	原子炉建屋ハロンガス33ボンベ庫	0.10h	R/B 3-08-1 R/B 3-09-1 R/B 4-02-1 A/B 4-01-6 A/B 4-04-3 R/B 3-09-4 R/B 4-02-1 R/B 4-06	1h	無		R/B 4-02-6	原子炉建屋ハロンガス34ボンベ庫	0.09h	R/B 3-09-4 R/B 4-02-1 R/B 4-06	-	有		<p>【女川・大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 <p>泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 <p>(女川実績の反映)</p>
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																							
R/B 4-02-2	排再生冷却器室及びサンプル冷却器室	0.01h	C/V 3-02 R/B 3-09-1 R/B 4-02-1 A/B 4-01-1	1h	無																																								
R/B 4-02-3	使用済燃料シット及び新燃料貯蔵庫エリア	0.08h	C/V 3-02 R/B 3-09-1 R/B 4-02-1 A/B 5-01 A/B 9-01 A/B 7-01 A/B-D R/B 3-09-3 R/B 4-02-4 R/B 4-02-7 R/B 5-01-1 R/B 6-02 R/B 7-01	-	有																																								
R/B 4-02-4	1次冷却材ポンプモータ保護エリア	0.01h	R/B 3-09-1 R/B 4-02-1 R/B 4-02-3 R/B 5-01-1 A/B 4-01-7	1h	無																																								
R/B 4-02-5	原子炉建屋ハロンガス33ボンベ庫	0.10h	R/B 3-08-1 R/B 3-09-1 R/B 4-02-1 A/B 4-01-6 A/B 4-04-3 R/B 3-09-4 R/B 4-02-1 R/B 4-06	1h	無																																								
R/B 4-02-6	原子炉建屋ハロンガス34ボンベ庫	0.09h	R/B 3-09-4 R/B 4-02-1 R/B 4-06	-	有																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉					相違理由
				泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果					<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>(女川実績の反映)</p>
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考			
R/B 4-02-7	原子炉建屋トランクアケセAエリア、定検置材倉 庫他エリア	0.05h	C/V 3-02 R/B 3-08-1 R/B 5-03 R/B 4-02-3 R/B 4-01-1 R/B 4-01-3 R/B 4-01-4 R/B 4-01-5 R/B 4-01-6 R/B 4-01-7 R/B 4-01-8 R/B 4-01-9 R/B 4-01-10 R/B 4-01-11 R/B 4-01-12 R/B 4-01-13 R/B 4-01-14 R/B 4-01-15 R/B 4-01-16 R/B 4-01-17 R/B 4-01-18 R/B 4-01-19 R/B 4-01-20 R/B 4-01-21 R/B 4-01-22 R/B 4-01-23 R/B 4-01-24 R/B 4-01-25 R/B 4-01-26 R/B 4-01-27 R/B 4-01-28 R/B 4-01-29 R/B 4-01-30	1h -	無 有				
R/B 4-03	A-燃料油サービスタング室	27.28h	R/B 4-08-1 R/B 3-14-2 R/B 4-06 R/B 4-07 R/B 3-01-1 R/B 3-01-2 R/B 3-01-3 R/B 3-01-4 R/B 3-01-5 R/B 3-01-6 R/B 3-01-7 R/B 3-01-8 R/B 3-01-9 R/B 3-01-10 R/B 3-01-11 R/B 3-01-12 R/B 3-01-13 R/B 3-01-14 R/B 3-01-15 R/B 3-01-16 R/B 3-01-17 R/B 3-01-18 R/B 3-01-19 R/B 3-01-20 R/B 3-01-21 R/B 3-01-22 R/B 3-01-23 R/B 3-01-24 R/B 3-01-25 R/B 3-01-26 R/B 3-01-27 R/B 3-01-28 R/B 3-01-29 R/B 3-01-30	3h	無	30分以上の耐火能力を有する耐火壁で分離するため、火災伝播の可能性はないと評価			
R/B 4-04	制御棟駆動装置電源継室	0.06h	R/B 3-01 R/B 4-01 R/B 3-08-1 R/B 3-08-2 R/B 3-08-3 R/B 3-08-4 R/B 3-08-5 R/B 3-08-6 R/B 3-08-7 R/B 3-08-8 R/B 3-08-9 R/B 3-08-10 R/B 3-08-11 R/B 3-08-12 R/B 3-08-13 R/B 3-08-14 R/B 3-08-15 R/B 3-08-16 R/B 3-08-17 R/B 3-08-18 R/B 3-08-19 R/B 3-08-20 R/B 3-08-21 R/B 3-08-22 R/B 3-08-23 R/B 3-08-24 R/B 3-08-25 R/B 3-08-26 R/B 3-08-27 R/B 3-08-28 R/B 3-08-29 R/B 3-08-30	3h -	無 有				
R/B 4-05	B-燃料油サービスタング室	22.43h	R/B 3-08-1 R/B 3-08-2 R/B 3-08-3 R/B 3-08-4 R/B 3-08-5 R/B 3-08-6 R/B 3-08-7 R/B 3-08-8 R/B 3-08-9 R/B 3-08-10 R/B 3-08-11 R/B 3-08-12 R/B 3-08-13 R/B 3-08-14 R/B 3-08-15 R/B 3-08-16 R/B 3-08-17 R/B 3-08-18 R/B 3-08-19 R/B 3-08-20 R/B 3-08-21 R/B 3-08-22 R/B 3-08-23 R/B 3-08-24 R/B 3-08-25 R/B 3-08-26 R/B 3-08-27 R/B 3-08-28 R/B 3-08-29 R/B 3-08-30	3h	無	30分以上の耐火能力を有する耐火壁で分離するため、火災伝播の可能性はないと評価			
R/B 4-06	A-ディーゼル発電機室給気ファン室	0.02h	R/B 4-03 R/B 3-08-1 R/B 3-08-2 R/B 3-08-3 R/B 3-08-4 R/B 3-08-5 R/B 3-08-6 R/B 3-08-7 R/B 3-08-8 R/B 3-08-9 R/B 3-08-10 R/B 3-08-11 R/B 3-08-12 R/B 3-08-13 R/B 3-08-14 R/B 3-08-15 R/B 3-08-16 R/B 3-08-17 R/B 3-08-18 R/B 3-08-19 R/B 3-08-20 R/B 3-08-21 R/B 3-08-22 R/B 3-08-23 R/B 3-08-24 R/B 3-08-25 R/B 3-08-26 R/B 3-08-27 R/B 3-08-28 R/B 3-08-29 R/B 3-08-30	3h 1h -	無 有				
R/B 4-07	B-ディーゼル発電機室給気ファン室	0.03h	R/B 4-03 R/B 3-08-1 R/B 3-08-2 R/B 3-08-3 R/B 3-08-4 R/B 3-08-5 R/B 3-08-6 R/B 3-08-7 R/B 3-08-8 R/B 3-08-9 R/B 3-08-10 R/B 3-08-11 R/B 3-08-12 R/B 3-08-13 R/B 3-08-14 R/B 3-08-15 R/B 3-08-16 R/B 3-08-17 R/B 3-08-18 R/B 3-08-19 R/B 3-08-20 R/B 3-08-21 R/B 3-08-22 R/B 3-08-23 R/B 3-08-24 R/B 3-08-25 R/B 3-08-26 R/B 3-08-27 R/B 3-08-28 R/B 3-08-29 R/B 3-08-30	3h 1h	無				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉						相違理由																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1344 145 1400 1101">火災区画</th> <th data-bbox="1400 145 1444 1101">火災区画名称</th> <th data-bbox="1444 145 1489 1101">評価時間</th> <th data-bbox="1489 145 1534 1101">隣接火災区画</th> <th data-bbox="1534 145 1579 1101">耐火時間</th> <th data-bbox="1579 145 1624 1101">火災伝播の可能性</th> <th data-bbox="1624 145 1975 1101">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1344 957 1400 1101">R/B 5-01-1</td> <td data-bbox="1400 957 1444 1101">原子炉建屋24.8m階廊下</td> <td data-bbox="1444 957 1489 1101">0.20h</td> <td data-bbox="1489 957 1534 1101">R/B 4-03 A/B 5-01 CV 3-02 R/B 3-08-1 R/B 4-02-1 R/B 5-03 A/B 5-04-1 R/B 4-02-3 R/B 4-02-4 R/B 4-02-7 R/B 4-06 R/B 5-01-2 R/B 6-02 R/B-B R/B-F R/B-G R/B-M R/B-P R/B-S</td> <td data-bbox="1534 957 1579 1101">3h 1h -</td> <td data-bbox="1579 957 1624 1101">無 有</td> <td data-bbox="1624 957 1975 1101"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1344 829 1400 1101">R/B 5-01-2</td> <td data-bbox="1400 829 1444 1101">燃料設置用水ピット</td> <td data-bbox="1444 829 1489 1101">0.00h</td> <td data-bbox="1489 829 1534 1101">R/B 3-08-1 R/B 4-01 R/B 4-04 R/B 5-01-1 R/B 7-04 R/B 4-05 R/B 3-08-1 R/B 5-03</td> <td data-bbox="1534 829 1579 1101">1h -</td> <td data-bbox="1579 829 1624 1101">無 有</td> <td data-bbox="1624 829 1975 1101"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1344 702 1400 1101">R/B 5-01-3</td> <td data-bbox="1400 702 1444 1101">補助給水ピット</td> <td data-bbox="1444 702 1489 1101">0.00h</td> <td data-bbox="1489 702 1534 1101">R/B 3-08-1 R/B 5-03 R/B 3-02-2 R/B 4-02-7 R/B-G</td> <td data-bbox="1534 702 1579 1101">3h 1h -</td> <td data-bbox="1579 702 1624 1101">無 有</td> <td data-bbox="1624 702 1975 1101"></td> </tr> </tbody> </table>						火災区画	火災区画名称	評価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	R/B 5-01-1	原子炉建屋24.8m階廊下	0.20h	R/B 4-03 A/B 5-01 CV 3-02 R/B 3-08-1 R/B 4-02-1 R/B 5-03 A/B 5-04-1 R/B 4-02-3 R/B 4-02-4 R/B 4-02-7 R/B 4-06 R/B 5-01-2 R/B 6-02 R/B-B R/B-F R/B-G R/B-M R/B-P R/B-S	3h 1h -	無 有		R/B 5-01-2	燃料設置用水ピット	0.00h	R/B 3-08-1 R/B 4-01 R/B 4-04 R/B 5-01-1 R/B 7-04 R/B 4-05 R/B 3-08-1 R/B 5-03	1h -	無 有		R/B 5-01-3	補助給水ピット	0.00h	R/B 3-08-1 R/B 5-03 R/B 3-02-2 R/B 4-02-7 R/B-G	3h 1h -	無 有		<p>【女川・大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 <p>泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 <p>(女川実績の反映)</p>
火災区画	火災区画名称	評価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																														
R/B 5-01-1	原子炉建屋24.8m階廊下	0.20h	R/B 4-03 A/B 5-01 CV 3-02 R/B 3-08-1 R/B 4-02-1 R/B 5-03 A/B 5-04-1 R/B 4-02-3 R/B 4-02-4 R/B 4-02-7 R/B 4-06 R/B 5-01-2 R/B 6-02 R/B-B R/B-F R/B-G R/B-M R/B-P R/B-S	3h 1h -	無 有																															
R/B 5-01-2	燃料設置用水ピット	0.00h	R/B 3-08-1 R/B 4-01 R/B 4-04 R/B 5-01-1 R/B 7-04 R/B 4-05 R/B 3-08-1 R/B 5-03	1h -	無 有																															
R/B 5-01-3	補助給水ピット	0.00h	R/B 3-08-1 R/B 5-03 R/B 3-02-2 R/B 4-02-7 R/B-G	3h 1h -	無 有																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉						相違理由	
		泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果						<p>【女川・大飯】</p> <p>■設計の相違</p> <p>泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>	
		火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	前火時間	火災伝播の可能性		備考
		R/B 5-03	主蒸気管室	0.11h	C/V 3-02 R/B 3-03-2 R/B 3-08-1 R/B 4-02-1 R/B 4-02-7 R/B 5-01-1 R/B 5-01-2 R/B 5-01-3 R/B 6-02 R/B 7-01 C/V 3-02 R/B 3-08-1 R/B 4-02-1 R/B 5-03 A/B 6-01 R/B 4-02-3 R/B 5-01-1 R/B 7-01 R/B 7-02 R/B 7-03 R/B 7-04 R/B B R/B M R/B S C/V 3-02 A/B 7-01 R/B 4-02-3 R/B 6-02 R/B 7-02	1h	無		
		R/B 6-02	原子炉建屋33.1m通路部	0.17h		-	有		
		R/B 7-01	格納容器排気設備設置エリア	0.04h		1h	無		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
		<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画名称</th> <th>等価時間</th> <th>隣接火災区画</th> <th>耐火時間</th> <th>火災伝播の可能性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R/B 7-02</td> <td>アニュラス空気浄化フィルユニット室</td> <td>0.58h</td> <td>C/V 3-02 R/B 4-02-1 R/B 6-02 R/B 7-01 R/B 7-03</td> <td>1h</td> <td>有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 7-03</td> <td>倉庫</td> <td>0.03h</td> <td>C/V 3-02 R/B 3-08-1 R/B 6-02 R/B 7-02 R/B 8-02 R/B-B R/B-M R/B-S</td> <td>1h</td> <td>有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 7-04</td> <td>原子炉建屋40.3m通路部</td> <td>0.03h</td> <td>R/B 3-08-1 R/B 5-03 R/B 5-01-2 R/B 6-02 R/B-M</td> <td>1h</td> <td>有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 8-01</td> <td>原子炉建屋43.6m通路部</td> <td>0.01h</td> <td>R/B 3-08-1 R/B 8-02 R/B-B R/B-M R/B-S</td> <td>1h</td> <td>有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R/B 8-02</td> <td>原子炉補機冷却水サージタンク室</td> <td>0.03h</td> <td>C/V 3-02 R/B 7-03 R/B 8-01 R/B-B R/B-M R/B-S</td> <td>1h</td> <td>有</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考	R/B 7-02	アニュラス空気浄化フィルユニット室	0.58h	C/V 3-02 R/B 4-02-1 R/B 6-02 R/B 7-01 R/B 7-03	1h	有		R/B 7-03	倉庫	0.03h	C/V 3-02 R/B 3-08-1 R/B 6-02 R/B 7-02 R/B 8-02 R/B-B R/B-M R/B-S	1h	有		R/B 7-04	原子炉建屋40.3m通路部	0.03h	R/B 3-08-1 R/B 5-03 R/B 5-01-2 R/B 6-02 R/B-M	1h	有		R/B 8-01	原子炉建屋43.6m通路部	0.01h	R/B 3-08-1 R/B 8-02 R/B-B R/B-M R/B-S	1h	有		R/B 8-02	原子炉補機冷却水サージタンク室	0.03h	C/V 3-02 R/B 7-03 R/B 8-01 R/B-B R/B-M R/B-S	1h	有		<p>【女川・大飯】 ■設計の相違 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>
火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考																																							
R/B 7-02	アニュラス空気浄化フィルユニット室	0.58h	C/V 3-02 R/B 4-02-1 R/B 6-02 R/B 7-01 R/B 7-03	1h	有																																								
R/B 7-03	倉庫	0.03h	C/V 3-02 R/B 3-08-1 R/B 6-02 R/B 7-02 R/B 8-02 R/B-B R/B-M R/B-S	1h	有																																								
R/B 7-04	原子炉建屋40.3m通路部	0.03h	R/B 3-08-1 R/B 5-03 R/B 5-01-2 R/B 6-02 R/B-M	1h	有																																								
R/B 8-01	原子炉建屋43.6m通路部	0.01h	R/B 3-08-1 R/B 8-02 R/B-B R/B-M R/B-S	1h	有																																								
R/B 8-02	原子炉補機冷却水サージタンク室	0.03h	C/V 3-02 R/B 7-03 R/B 8-01 R/B-B R/B-M R/B-S	1h	有																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉						相違理由
		泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果						
		火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間	火災伝播の可能性	備考
		R/B-B	原子炉建屋Bエレベータ	0.01h	R/B 2-01 R/B 2-02 R/B 3-08-1 R/B 4-02-1 R/B 5-01-1 R/B 6-02 R/B 7-03 R/B 8-01 R/B 8-02 R/B 9 R/B 3-02 R/B 3-11 R/B 3-14-1 R/B 4-05 R/B 3-08-1 R/B 5-01-3 R/B 3-09-1 R/B 3-09-4 R/B 4-02-1 R/B 4-02-7 R/B 5-01-1 R/B 6 C/V 3-01 R/B 3-09-1 R/B 3-09-4 R/B 4-02-1 R/B 4-02-7 R/B 5-01-1 R/B 6	3h 1h - 3h 1h - - 3h 1h -	無 有 無 有 無 有	
		R/B-C	R-E階段室	0.02h				
		R/B-F	R-A階段室	0.02h				
		R/B-G	原子炉建屋Cエレベータ	0.01h				

【女川・大飯】
 ■設計の相違
 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。

【大飯】
 ■記載方針の相違
 (女川実績の反映)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料4 隣接火災区画への火災伝播評価結果)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																															
		<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 隣接火災区画への火災伝播評価結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">火災区画</th> <th rowspan="2">火災区画名称</th> <th rowspan="2">等価時間</th> <th rowspan="2">隣接火災区画</th> <th colspan="2">耐火時間</th> <th rowspan="2">火災伝播の可能性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>3h</th> <th>1h</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">R/B-M</td> <td rowspan="12">R-B階段室</td> <td rowspan="12">0.02h</td> <td rowspan="12">R/B 2-01 R/B 2-03 R/B 3-08S-1 R/B 3-08S-3 R/B 4-02S-1 R/B 5-01-1 R/B 6-02 R/B 7-03 R/B 7-04 R/B 8-01 R/B 8-02 R/B 8-B R/B 3-07 R/B 3-08S-1 R/B 4-02S-1 R/B 4-02S-7 R/B 5-01-1 R/B 3-08S-1 A/B 5-01F-1 R/B 5-01-1 R/B 6-02 R/B 7-03 R/B 8-01 R/B 8-02</td> <td>無</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>有</td> <td rowspan="12"></td> </tr> <tr> <td>無</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>無</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>無</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>無</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>無</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>無</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>無</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>無</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>無</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>無</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>無</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> </tbody> </table>	火災区画	火災区画名称	等価時間	隣接火災区画	耐火時間		火災伝播の可能性	備考	3h	1h	R/B-M	R-B階段室	0.02h	R/B 2-01 R/B 2-03 R/B 3-08S-1 R/B 3-08S-3 R/B 4-02S-1 R/B 5-01-1 R/B 6-02 R/B 7-03 R/B 7-04 R/B 8-01 R/B 8-02 R/B 8-B R/B 3-07 R/B 3-08S-1 R/B 4-02S-1 R/B 4-02S-7 R/B 5-01-1 R/B 3-08S-1 A/B 5-01F-1 R/B 5-01-1 R/B 6-02 R/B 7-03 R/B 8-01 R/B 8-02	無	有	無	有		無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	<p>【女川・大飯】 ■設計の相違 泊では火災区画間の分離に対して審査基準に基づく1時間耐火+感知・消火を採用している。</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>
火災区画	火災区画名称	等価時間					隣接火災区画	耐火時間			火災伝播の可能性	備考																																																						
			3h	1h																																																														
R/B-M	R-B階段室	0.02h	R/B 2-01 R/B 2-03 R/B 3-08S-1 R/B 3-08S-3 R/B 4-02S-1 R/B 5-01-1 R/B 6-02 R/B 7-03 R/B 7-04 R/B 8-01 R/B 8-02 R/B 8-B R/B 3-07 R/B 3-08S-1 R/B 4-02S-1 R/B 4-02S-7 R/B 5-01-1 R/B 3-08S-1 A/B 5-01F-1 R/B 5-01-1 R/B 6-02 R/B 7-03 R/B 8-01 R/B 8-02	無	有	無	有																																																											
				無	有	無	有																																																											
				無	有	無	有																																																											
				無	有	無	有																																																											
				無	有	無	有																																																											
				無	有	無	有																																																											
				無	有	無	有																																																											
				無	有	無	有																																																											
				無	有	無	有																																																											
				無	有	無	有																																																											
				無	有	無	有																																																											
				無	有	無	有																																																											

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料5 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果)

大飯発電所3/4号炉

【再掲】比較のため8条-別1-資10-添4-2以降を貼り付け。次項以降も同様)

Table with columns for fire zone, fire type, fire cause, and evaluation results. Includes a detailed table with multiple rows and columns for various fire zones and their corresponding safety measures and evaluation outcomes.

女川原子力発電所2号炉

添付資料5

女川原子力発電所 2号炉における 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果

Table titled '女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果'. It lists fire zones, their names, and evaluation results, including a detailed table with columns for fire zone, fire type, fire cause, and evaluation results.

泊発電所3号炉

添付資料5

泊発電所 3号炉における 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果

Table titled '泊発電所3号炉 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果'. It lists fire zones, their names, and evaluation results, including a detailed table with columns for fire zone, fire type, fire cause, and evaluation results.

相違理由

- 【女川】
■設備名称の相違
【女川】
■記載内容の相違
【大飯】
■記載方針の相違
(女川実績の反映：着色せず)
(3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (3/24)

火災区画	火災を規定する当該火災区画		隣接火災区画			火災影響評価結果		
	火災区画名称	火災区画内主要設備	火災区画内の主要設備名称	ターゲット	大飯発電所3号炉	大飯発電所4号炉	火災影響評価結果	
C03-2-4 B 原子炉補助循環 (3号炉)	火災区画名称 原子炉補助循環(3号炉)	大飯原子炉補助循環(3号炉)	RI-A 200kV変圧器	有	有	有	有	系統分断対策により安全停止バスを確保可能
			RI-B 200kV変圧器	有	有	有	有	系統分断対策により安全停止バスを確保可能
			RI-C 200kV変圧器	有	有	有	有	系統分断対策により安全停止バスを確保可能
			RI-D 200kV変圧器	有	有	有	有	系統分断対策により安全停止バスを確保可能
			RI-E 200kV変圧器	有	有	有	有	系統分断対策により安全停止バスを確保可能
			RI-F 200kV変圧器	有	有	有	有	系統分断対策により安全停止バスを確保可能
			RI-G 200kV変圧器	有	有	有	有	系統分断対策により安全停止バスを確保可能
			RI-H 200kV変圧器	有	有	有	有	系統分断対策により安全停止バスを確保可能
			RI-I 200kV変圧器	有	有	有	有	系統分断対策により安全停止バスを確保可能
			RI-J 200kV変圧器	有	有	有	有	系統分断対策により安全停止バスを確保可能
			RI-K 200kV変圧器	有	有	有	有	系統分断対策により安全停止バスを確保可能
			RI-L 200kV変圧器	有	有	有	有	系統分断対策により安全停止バスを確保可能
			RI-M 200kV変圧器	有	有	有	有	系統分断対策により安全停止バスを確保可能

女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果

火災区画	火災を規定する当該火災区画		隣接火災区画			火災影響評価結果	
	火災区画名称	火災区画内主要設備	火災区画内の主要設備名称	ターゲット	2号炉火災区画	2号炉火災区画	火災影響評価結果
RI-1	ターボス蒸	ターボス蒸	ターボス蒸	ターボス蒸	ターボス蒸	ターボス蒸	系統分断対策により安全停止バスを確保可能

火災区画	火災を規定する当該火災区画		隣接火災区画			火災影響評価結果	
	火災区画名称	火災区画内主要設備	火災区画内の主要設備名称	ターゲット	2号炉火災区画	2号炉火災区画	火災影響評価結果
A/B 4-01-3	汽機室	汽機室	汽機室	汽機室	汽機室	汽機室	ターボス蒸が停止しないことからリスクが軽減される
A/B 4-01-4	ターボス蒸	ターボス蒸	ターボス蒸	ターボス蒸	ターボス蒸	ターボス蒸	ターボス蒸が停止しないことからリスクが軽減される
A/B 4-01-5	凝縮器	凝縮器	凝縮器	凝縮器	凝縮器	凝縮器	凝縮器が停止しないことからリスクが軽減される
A/B 4-01-6	安全蒸発機	安全蒸発機	安全蒸発機	安全蒸発機	安全蒸発機	安全蒸発機	安全蒸発機が停止しないことからリスクが軽減される
A/B 4-01-7	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系が停止しないことからリスクが軽減される
A/B 4-01-8	原子炉	原子炉	原子炉	原子炉	原子炉	原子炉	原子炉が停止しないことからリスクが軽減される

【女川】
 ■記載内容の相違
 【大飯】
 ■記載方針の相違
 (女川実績の反映：着色せず)
 (3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料5 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

火災区画	火災区画名称	火災区画内主要設備	火災区画の位置関係		火災区画の規模		火災区画の構造		火災区画の用途
			火災区画の境界	火災区画の面積	火災区画の構造	火災区画の用途	火災区画の用途	火災区画の用途	
火災区画	火災区画名称	火災区画内主要設備	火災区画の境界	火災区画の面積	火災区画の構造	火災区画の用途	火災区画の用途	火災区画の用途	
火災区画	火災区画名称	火災区画内主要設備	火災区画の境界	火災区画の面積	火災区画の構造	火災区画の用途	火災区画の用途	火災区画の用途	

女川原子力発電所2号炉

女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果

火災区画	火災区画名称	火災区画内主要設備	火災区画の境界	火災区画の面積	火災区画の構造	火災区画の用途	火災区画の用途
火災区画	火災区画名称	火災区画内主要設備	火災区画の境界	火災区画の面積	火災区画の構造	火災区画の用途	火災区画の用途

泊発電所3号炉

泊発電所3号炉 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果

火災区画	火災区画名称	火災区画内主要設備	火災区画の境界	火災区画の面積	火災区画の構造	火災区画の用途	火災区画の用途
火災区画	火災区画名称	火災区画内主要設備	火災区画の境界	火災区画の面積	火災区画の構造	火災区画の用途	火災区画の用途

相違理由

- 【女川】
■記載内容の相違
- 【大飯】
■記載方針の相違
(女川実績の反映：着色せず)
(3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料5 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果)

大飯発電所3/4号炉

Table with columns for equipment name, location, and fire impact evaluation results for Daikoku 3/4 reactors. The table contains multiple rows of data for various components like pumps and valves.

女川原子力発電所2号炉

女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果

Table with columns for equipment name, location, and fire impact evaluation results for Onagawa 2 reactor. It includes a sub-section for fire prevention measures (安全停止バス) and lists various equipment like pumps and valves.

泊発電所3号炉

泊発電所3号炉 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果

Table with columns for equipment name, location, and fire impact evaluation results for Daikoku 3 reactor. It lists various equipment like pumps and valves across different fire zones.

相違理由
【女川】
■記載内容の相違
【大飯】
■記載方針の相違
(女川実績の反映：着色せず)
(3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料5 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果）

第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果（火災伝播評価）(7/2)

大飯発電所3/4号炉

Table with columns for fire area, fire type, and various fire safety measures (e.g., fire extinguishers, fire doors, fire curtains). It lists specific equipment and their locations within the facility.

女川原子力発電所2号炉

女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果

Table detailing fire safety measures for the female nuclear power plant. It includes fire types (e.g., Class C, Class B, Class A), fire extinguishers, fire doors, and fire curtains, along with their specific locations and types.

泊発電所3号炉

Table comparing fire safety measures between the female nuclear power plant and the power plant. It lists fire types, fire extinguishers, fire doors, and fire curtains, and notes any differences in equipment or specifications.

相違理由

- 【女川】
■記載内容の相違
【大飯】
■記載方針の相違
（女川実績の反映：着色せず）
（3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載）

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (8/24)

火災区画	火災を想定する当該火災区画		隣接火災区画		火災影響評価結果		火災影響評価結果	火災影響評価結果	火災影響評価結果
	火災区画	火災原因	火災原因	火災原因	火災影響評価結果	火災影響評価結果			
R3-A	R3-A	R3-A	R3-A	R3-A	火災原因	火災原因	火災影響評価結果	火災影響評価結果	火災影響評価結果
					火災原因	火災原因	火災影響評価結果	火災影響評価結果	火災影響評価結果
					火災原因	火災原因	火災影響評価結果	火災影響評価結果	火災影響評価結果
					火災原因	火災原因	火災影響評価結果	火災影響評価結果	火災影響評価結果
					火災原因	火災原因	火災影響評価結果	火災影響評価結果	火災影響評価結果
					火災原因	火災原因	火災影響評価結果	火災影響評価結果	火災影響評価結果
					火災原因	火災原因	火災影響評価結果	火災影響評価結果	火災影響評価結果
					火災原因	火災原因	火災影響評価結果	火災影響評価結果	火災影響評価結果
					火災原因	火災原因	火災影響評価結果	火災影響評価結果	火災影響評価結果
					火災原因	火災原因	火災影響評価結果	火災影響評価結果	火災影響評価結果

女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果

火災区画	火災を想定する当該火災区画	隣接火災区画	隣接火災区画		火災影響評価結果	火災影響評価結果	火災影響評価結果
			火災区画	火災原因			
R3-A	R3-A	R3-A	R1-B	熱交換器(ポンプ(A)) (C) 他	有	有	②
			R3-B	熱交換器(ポンプ(B)) (C) 他	有	有	②
			R3-C	熱交換器(ポンプ(C)) (C) 他	有	有	②
			R3-D	熱交換器(ポンプ(D)) (C) 他	有	有	②
			R3-E	熱交換器(ポンプ(E)) (C) 他	有	有	②
			R3-F	熱交換器(ポンプ(F)) (C) 他	有	有	②
			R3-G	熱交換器(ポンプ(G)) (C) 他	有	有	②
			R3-H	熱交換器(ポンプ(H)) (C) 他	有	有	②
			R3-I	熱交換器(ポンプ(I)) (C) 他	有	有	②
			R3-J	熱交換器(ポンプ(J)) (C) 他	有	有	②

泊発電所3号炉 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果

火災区画	火災を想定する当該火災区画	隣接火災区画	隣接火災区画		火災影響評価結果	火災影響評価結果	火災影響評価結果
			火災区画	火災原因			
R3-A	R3-A	R3-A	R1-B	熱交換器(ポンプ(A)) (C) 他	有	有	②
			R3-B	熱交換器(ポンプ(B)) (C) 他	有	有	②
			R3-C	熱交換器(ポンプ(C)) (C) 他	有	有	②
			R3-D	熱交換器(ポンプ(D)) (C) 他	有	有	②
			R3-E	熱交換器(ポンプ(E)) (C) 他	有	有	②
			R3-F	熱交換器(ポンプ(F)) (C) 他	有	有	②
			R3-G	熱交換器(ポンプ(G)) (C) 他	有	有	②
			R3-H	熱交換器(ポンプ(H)) (C) 他	有	有	②
			R3-I	熱交換器(ポンプ(I)) (C) 他	有	有	②
			R3-J	熱交換器(ポンプ(J)) (C) 他	有	有	②

相違理由

【女川】
 ■記載内容の相違

【大飯】
 ■記載方針の相違
 (女川実績の反映：着色せず)
 (3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料5 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

Table with columns: 火災区画, 火災原因, 火災発生時の状況, 火災発生時の火災区画, 火災発生時の火災原因, 火災発生時の火災影響, 火災発生時の火災影響評価結果, 火災発生時の火災影響評価結果の補足説明, 火災発生時の火災影響評価結果の補足説明の補足説明.

女川原子力発電所2号炉

Table with columns: 火災区画, 火災原因, 火災発生時の状況, 火災発生時の火災区画, 火災発生時の火災原因, 火災発生時の火災影響, 火災発生時の火災影響評価結果, 火災発生時の火災影響評価結果の補足説明, 火災発生時の火災影響評価結果の補足説明の補足説明.

泊発電所3号炉

Table with columns: 火災区画, 火災原因, 火災発生時の状況, 火災発生時の火災区画, 火災発生時の火災原因, 火災発生時の火災影響, 火災発生時の火災影響評価結果, 火災発生時の火災影響評価結果の補足説明, 火災発生時の火災影響評価結果の補足説明の補足説明.

相違理由

【女川】
■記載内容の相違

【大飯】
■記載方針の相違
(女川実績の反映：着色せず)
(3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料5 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果 (火災伝播評価) (10/24)

Table with columns for fire area, fire type, and evaluation results for Osaka Power Plant No. 3/4. It includes detailed descriptions of fire scenarios and their impact on adjacent areas.

女川原子力発電所2号炉

女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果

Table with columns for fire area, fire type, and evaluation results for Onagawa Nuclear Power Plant No. 2. It details fire scenarios and their potential impact on the reactor area.

泊発電所3号炉

泊発電所3号炉 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果

Table with columns for fire area, fire type, and evaluation results for Osaka Power Plant No. 3. It provides a comprehensive overview of fire scenarios and their effects on the plant's safety systems.

相違理由
【女川】
■記載内容の相違
【大阪】
■記載方針の相違
(女川実績の反映：着色せず)
(3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料5 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果 (形式名称評価) (11/24)

火災区画	火災区画の名称	火災区画の用途	火災区画の構造		火災区画の設備		火災区画の運用		火災区画の備考	
			耐火構造	防火区画	設備の種類	設備の設置	運用の状況	運用の備考		
火災区画1	火災区画1-1	火災区画1-1-1	0.5	有	0.5	有	0.5	有	0.5	0.5
			0.5	有	0.5	有	0.5	有	0.5	0.5
			0.5	有	0.5	有	0.5	有	0.5	0.5
			0.5	有	0.5	有	0.5	有	0.5	0.5
			0.5	有	0.5	有	0.5	有	0.5	0.5
			0.5	有	0.5	有	0.5	有	0.5	0.5
			0.5	有	0.5	有	0.5	有	0.5	0.5
			0.5	有	0.5	有	0.5	有	0.5	0.5
			0.5	有	0.5	有	0.5	有	0.5	0.5
			0.5	有	0.5	有	0.5	有	0.5	0.5

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果

火災区画	火災区画の名称	火災区画の用途	火災区画の構造		火災区画の設備		火災区画の備考
			耐火構造	防火区画	設備の種類	設備の設置	
火災区画1	火災区画1-1	火災区画1-1-1	0.5	有	0.5	有	0.5
			0.5	有	0.5	有	0.5
			0.5	有	0.5	有	0.5
			0.5	有	0.5	有	0.5
			0.5	有	0.5	有	0.5
			0.5	有	0.5	有	0.5
			0.5	有	0.5	有	0.5
			0.5	有	0.5	有	0.5
			0.5	有	0.5	有	0.5
			0.5	有	0.5	有	0.5

泊発電所3号炉

相違理由

火災区画	火災区画の名称	火災区画の用途	火災区画の構造		火災区画の設備		火災区画の備考
			耐火構造	防火区画	設備の種類	設備の設置	
火災区画1	火災区画1-1	火災区画1-1-1	0.5	有	0.5	有	0.5
			0.5	有	0.5	有	0.5
			0.5	有	0.5	有	0.5
			0.5	有	0.5	有	0.5
			0.5	有	0.5	有	0.5
			0.5	有	0.5	有	0.5
			0.5	有	0.5	有	0.5
			0.5	有	0.5	有	0.5
			0.5	有	0.5	有	0.5
			0.5	有	0.5	有	0.5

- 【女川】
- 記載内容の相違
- 【大飯】
- 記載方針の相違
- (女川実績の反映：着色せず)
- (3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料5 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

Table with multiple columns: 火災区画, 火災原因, 火災区画内の主な構造物, 火災区画外への影響, 火災区画内への影響, 火災区画外への影響, 火災区画内への影響, 火災区画外への影響. Rows include fire zones 3-1 through 3-14.

女川原子力発電所2号炉

Table with columns: 火災区画, 火災原因, 火災区画内の主な構造物, 隣接火災区画, 火災区画外への影響, 火災区画内への影響, 火災区画外への影響, 火災区画内への影響, 火災区画外への影響. Rows include fire zones 2-1 through 2-31.

泊発電所3号炉

Table with columns: 火災区画, 火災原因, 火災区画名称, 隣接火災区画, 火災区画名称, 火災区画名称, 火災区画名称, 火災区画名称, 火災区画名称, 火災区画名称. Rows include fire zones 3-02 through 3-04.

相違理由

- 【女川】
■記載内容の相違
【大飯】
■記載方針の相違
(女川実績の反映：着色せず)
(3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料5 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果）

大飯発電所3/4号炉										女川原子力発電所2号炉										泊発電所3号炉		相違理由									
火災区画	火災区画内の主な設備名称	ターゲット	火災区画	火災区画内の主な設備名称	ターゲット	2火災区画間壁遮断想定	安全停止バス	成りバス	設備	火災区画	火災区画内の主な設備名称	ターゲット	火災区画	火災区画内の主な設備名称	ターゲット	2火災区画間壁遮断想定	安全停止バス	成りバス	設備	火災区画	火災区画内の主な設備名称	ターゲット	火災区画	火災区画内の主な設備名称	ターゲット	2火災区画間壁遮断想定	安全停止バス	成りバス	設備	相違理由	
R-5-47	CDスクラム排出容器(B)置	無	R1-A	BIF,1F,2Fインナー通路	有	有	有	①	系統分離対策により安全停止バスを確保可能	R1-A	BIF,1F,2Fインナー通路	有	R1-A	BIF,1F,2Fインナー通路	有	有	①	系統分離対策により安全停止バスを確保可能	R1-A	BIF,1F,2Fインナー通路	有	R1-A	BIF,1F,2Fインナー通路	有	R1-A	BIF,1F,2Fインナー通路	有	有	①	系統分離対策により安全停止バスを確保可能	【女川】 ■記載内容の相違
R-5-63	TIP集塵器置	無	R1-D	DC RIC 配電 他	有	有	有	②	系統分離対策により安全停止バスを確保可能	R1-D	DC RIC 配電 他	有	R1-D	DC RIC 配電 他	有	有	②	系統分離対策により安全停止バスを確保可能	R1-D	DC RIC 配電 他	有	R1-D	DC RIC 配電 他	有	R1-D	DC RIC 配電 他	有	有	②	系統分離対策により安全停止バスを確保可能	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映：着色せず) (3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)
R-6-7	連続管トレンチ	無	R1-E	トラス置	有	有	有	②	系統分離対策により安全停止バスを確保可能	R1-E	トラス置	有	R1-E	トラス置	有	有	②	系統分離対策により安全停止バスを確保可能	R1-E	トラス置	有	R1-E	トラス置	有	R1-E	トラス置	有	有	②	系統分離対策により安全停止バスを確保可能	
R-7-69	R-II 階段置	無	R1-F	BIF,1F,2F インナー通路	有	有	有	②	ターゲットが存在しないことからスクリーンアウト	R1-F	BIF,1F,2F インナー通路	有	R1-F	BIF,1F,2F インナー通路	有	有	②	ターゲットが存在しないことからスクリーンアウト	R1-F	BIF,1F,2F インナー通路	有	R1-F	BIF,1F,2F インナー通路	有	R1-F	BIF,1F,2F インナー通路	有	有	②	ターゲットが存在しないことからスクリーンアウト	
R-8-21	D.S	無	R1-G	RCM熱交換器ポンプ(O)置 他	有	有	有	②	系統分離対策により安全停止バスを確保可能	R1-G	RCM熱交換器ポンプ(O)置 他	有	R1-G	RCM熱交換器ポンプ(O)置 他	有	有	②	系統分離対策により安全停止バスを確保可能	R1-G	RCM熱交換器ポンプ(O)置 他	有	R1-G	RCM熱交換器ポンプ(O)置 他	有	R1-G	RCM熱交換器ポンプ(O)置 他	有	有	②	系統分離対策により安全停止バスを確保可能	
R-8-22	P.S	無	R1-B	HPCSポンプ置 他	有	有	有	②	系統分離対策により安全停止バスを確保可能	R1-B	HPCSポンプ置 他	有	R1-B	HPCSポンプ置 他	有	有	②	系統分離対策により安全停止バスを確保可能	R1-B	HPCSポンプ置 他	有	R1-B	HPCSポンプ置 他	有	R1-B	HPCSポンプ置 他	有	有	②	系統分離対策により安全停止バスを確保可能	
R-9-23	D.S	無	R1-C	IF ハッチ置 他	無	無	無	①	ターゲットが存在しないことからスクリーンアウト	R1-C	IF ハッチ置 他	無	R1-C	IF ハッチ置 他	無	無	①	ターゲットが存在しないことからスクリーンアウト	R1-C	IF ハッチ置 他	無	R1-C	IF ハッチ置 他	無	R1-C	IF ハッチ置 他	無	有	①	系統分離対策により安全停止バスを確保可能	
R-9-41	原子炉補機(O)置若気ケーンシ ング	無	R1-B	RCM熱交換器ポンプ(O)置 他	有	有	有	②	系統分離対策により安全停止バスを確保可能	R1-B	RCM熱交換器ポンプ(O)置 他	有	R1-B	RCM熱交換器ポンプ(O)置 他	有	有	②	系統分離対策により安全停止バスを確保可能	R1-B	RCM熱交換器ポンプ(O)置 他	有	R1-B	RCM熱交換器ポンプ(O)置 他	有	R1-B	RCM熱交換器ポンプ(O)置 他	有	有	②	系統分離対策により安全停止バスを確保可能	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料5 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果)

大飯発電所3/4号炉

炉別	火災区画内の主要設備名称	火災区画内主要設備	火災区画内主要設備	火災区画内主要設備	火災区画内主要設備	火災区画内主要設備		火災区画内主要設備	火災区画内主要設備	火災区画内主要設備	火災区画内主要設備	火災区画内主要設備	火災区画内主要設備	火災区画内主要設備
						火災区画内主要設備	火災区画内主要設備							
R3-2-7	原子炉補機(B)蒸気発生器	R3-2-7	R3-2-7	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
R3-2-8	原子炉補機(B)蒸気発生器	R3-2-8	R3-2-8	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
R3-2-9	原子炉補機(B)蒸気発生器	R3-2-9	R3-2-9	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
R3-2-10	原子炉補機(B)蒸気発生器	R3-2-10	R3-2-10	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
R3-2-11	原子炉補機(B)蒸気発生器	R3-2-11	R3-2-11	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
R3-2-12	原子炉補機(B)蒸気発生器	R3-2-12	R3-2-12	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有

女川原子力発電所2号炉

女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果

火災区画	火災区画内の主要設備名称	火災区画内主要設備	火災区画内主要設備	隣接火災区画		安全停止バス		評価
				火災区画	火災区画内主要設備	火災区画	安全停止バス	
R-9-42	原子炉補機(B)蒸気発生器	R3-A	R3-A	有	有	有	有	系統分離対策により安全停止バスを確保可能
R-9-43	原子炉補機(B)蒸気発生器	R3-A	R3-A	有	有	有	有	系統分離対策により安全停止バスを確保可能
R-9-46	原子炉補機(B)蒸気発生器	R2-A	R2-A	有	有	有	有	系統分離対策により安全停止バスを確保可能
R-9-57	B/G(B)蒸気発生器	R3-A	R3-A	有	有	有	有	系統分離対策により安全停止バスを確保可能
R-9-63	FCS再結合装置(B)蒸気発生器	R1-E	R1-E	有	有	有	有	系統分離対策により安全停止バスを確保可能
R-10-4	E.V機械室	R2-E	R2-E	有	有	有	有	系統分離対策により安全停止バスを確保可能
R-11-5	原子炉補機(A)蒸気発生器	R2-A	R2-A	有	有	有	有	系統分離対策により安全停止バスを確保可能
R-11-7	原子炉補機(B)蒸気発生器	R2-A	R2-A	有	有	有	有	系統分離対策により安全停止バスを確保可能
R-12-4	ギヤラリ室	R3-B	R3-B	有	有	有	有	系統分離対策により安全停止バスを確保可能

泊発電所3号炉

相違理由

【女川】
 ■記載内容の相違
 【大飯】
 ■記載方針の相違
 (女川実績の反映：着色せず)
 (3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料5 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果）

大飯発電所3/4号炉												女川原子力発電所2号炉												泊発電所3号炉												相違理由																																																																																																																																																
<p>図7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果（火災伝播評価）（16/24）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画の名称</th> <th>火災区画の位置</th> <th>火災区画の形状</th> <th>火災区画の面積</th> <th>火災区画の容積</th> <th>火災区画の構造</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火時間</th> <th>火災区画の耐火温度</th> <th>火災区画の耐火強度</th> <th>火災区画の耐火耐力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.1</td> <td>燃料格納庫</td> <td>燃料格納庫</td> <td>長方形</td> <td>約1,000㎡</td> <td>約10,000m³</td> <td>鉄骨コンクリート造</td> <td>耐火性能あり</td> <td>240分</td> <td>1,000℃</td> <td>1.0N/mm²</td> <td>1.0MPa</td> </tr> <tr> <td>0.2</td> <td>制御室</td> <td>制御室</td> <td>長方形</td> <td>約500㎡</td> <td>約5,000m³</td> <td>鉄骨コンクリート造</td> <td>耐火性能あり</td> <td>240分</td> <td>1,000℃</td> <td>1.0N/mm²</td> <td>1.0MPa</td> </tr> <tr> <td>0.3</td> <td>変電所</td> <td>変電所</td> <td>長方形</td> <td>約2,000㎡</td> <td>約20,000m³</td> <td>鉄骨コンクリート造</td> <td>耐火性能あり</td> <td>240分</td> <td>1,000℃</td> <td>1.0N/mm²</td> <td>1.0MPa</td> </tr> </tbody> </table>												火災区画	火災区画の名称	火災区画の位置	火災区画の形状	火災区画の面積	火災区画の容積	火災区画の構造	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間	火災区画の耐火温度	火災区画の耐火強度	火災区画の耐火耐力	0.1	燃料格納庫	燃料格納庫	長方形	約1,000㎡	約10,000m³	鉄骨コンクリート造	耐火性能あり	240分	1,000℃	1.0N/mm²	1.0MPa	0.2	制御室	制御室	長方形	約500㎡	約5,000m³	鉄骨コンクリート造	耐火性能あり	240分	1,000℃	1.0N/mm²	1.0MPa	0.3	変電所	変電所	長方形	約2,000㎡	約20,000m³	鉄骨コンクリート造	耐火性能あり	240分	1,000℃	1.0N/mm²	1.0MPa	<p>図7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果（火災伝播評価）（16/24）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画の名称</th> <th>火災区画の位置</th> <th>火災区画の形状</th> <th>火災区画の面積</th> <th>火災区画の容積</th> <th>火災区画の構造</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火時間</th> <th>火災区画の耐火温度</th> <th>火災区画の耐火強度</th> <th>火災区画の耐火耐力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.1</td> <td>燃料格納庫</td> <td>燃料格納庫</td> <td>長方形</td> <td>約1,000㎡</td> <td>約10,000m³</td> <td>鉄骨コンクリート造</td> <td>耐火性能あり</td> <td>240分</td> <td>1,000℃</td> <td>1.0N/mm²</td> <td>1.0MPa</td> </tr> <tr> <td>0.2</td> <td>制御室</td> <td>制御室</td> <td>長方形</td> <td>約500㎡</td> <td>約5,000m³</td> <td>鉄骨コンクリート造</td> <td>耐火性能あり</td> <td>240分</td> <td>1,000℃</td> <td>1.0N/mm²</td> <td>1.0MPa</td> </tr> <tr> <td>0.3</td> <td>変電所</td> <td>変電所</td> <td>長方形</td> <td>約2,000㎡</td> <td>約20,000m³</td> <td>鉄骨コンクリート造</td> <td>耐火性能あり</td> <td>240分</td> <td>1,000℃</td> <td>1.0N/mm²</td> <td>1.0MPa</td> </tr> </tbody> </table>												火災区画	火災区画の名称	火災区画の位置	火災区画の形状	火災区画の面積	火災区画の容積	火災区画の構造	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間	火災区画の耐火温度	火災区画の耐火強度	火災区画の耐火耐力	0.1	燃料格納庫	燃料格納庫	長方形	約1,000㎡	約10,000m³	鉄骨コンクリート造	耐火性能あり	240分	1,000℃	1.0N/mm²	1.0MPa	0.2	制御室	制御室	長方形	約500㎡	約5,000m³	鉄骨コンクリート造	耐火性能あり	240分	1,000℃	1.0N/mm²	1.0MPa	0.3	変電所	変電所	長方形	約2,000㎡	約20,000m³	鉄骨コンクリート造	耐火性能あり	240分	1,000℃	1.0N/mm²	1.0MPa	<p>図7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果（火災伝播評価）（16/24）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災区画の名称</th> <th>火災区画の位置</th> <th>火災区画の形状</th> <th>火災区画の面積</th> <th>火災区画の容積</th> <th>火災区画の構造</th> <th>火災区画の耐火性能</th> <th>火災区画の耐火時間</th> <th>火災区画の耐火温度</th> <th>火災区画の耐火強度</th> <th>火災区画の耐火耐力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.1</td> <td>燃料格納庫</td> <td>燃料格納庫</td> <td>長方形</td> <td>約1,000㎡</td> <td>約10,000m³</td> <td>鉄骨コンクリート造</td> <td>耐火性能あり</td> <td>240分</td> <td>1,000℃</td> <td>1.0N/mm²</td> <td>1.0MPa</td> </tr> <tr> <td>0.2</td> <td>制御室</td> <td>制御室</td> <td>長方形</td> <td>約500㎡</td> <td>約5,000m³</td> <td>鉄骨コンクリート造</td> <td>耐火性能あり</td> <td>240分</td> <td>1,000℃</td> <td>1.0N/mm²</td> <td>1.0MPa</td> </tr> <tr> <td>0.3</td> <td>変電所</td> <td>変電所</td> <td>長方形</td> <td>約2,000㎡</td> <td>約20,000m³</td> <td>鉄骨コンクリート造</td> <td>耐火性能あり</td> <td>240分</td> <td>1,000℃</td> <td>1.0N/mm²</td> <td>1.0MPa</td> </tr> </tbody> </table>												火災区画	火災区画の名称	火災区画の位置	火災区画の形状	火災区画の面積	火災区画の容積	火災区画の構造	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間	火災区画の耐火温度	火災区画の耐火強度	火災区画の耐火耐力	0.1	燃料格納庫	燃料格納庫	長方形	約1,000㎡	約10,000m³	鉄骨コンクリート造	耐火性能あり	240分	1,000℃	1.0N/mm²	1.0MPa	0.2	制御室	制御室	長方形	約500㎡	約5,000m³	鉄骨コンクリート造	耐火性能あり	240分	1,000℃	1.0N/mm²	1.0MPa	0.3	変電所	変電所	長方形	約2,000㎡	約20,000m³	鉄骨コンクリート造	耐火性能あり	240分	1,000℃	1.0N/mm²	1.0MPa	<p>【女川】</p> <p>■記載内容の相違</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>（女川実績の反映：着色せず）</p> <p>（3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載）</p>
火災区画	火災区画の名称	火災区画の位置	火災区画の形状	火災区画の面積	火災区画の容積	火災区画の構造	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間	火災区画の耐火温度	火災区画の耐火強度	火災区画の耐火耐力																																																																																																																																																																									
0.1	燃料格納庫	燃料格納庫	長方形	約1,000㎡	約10,000m³	鉄骨コンクリート造	耐火性能あり	240分	1,000℃	1.0N/mm²	1.0MPa																																																																																																																																																																									
0.2	制御室	制御室	長方形	約500㎡	約5,000m³	鉄骨コンクリート造	耐火性能あり	240分	1,000℃	1.0N/mm²	1.0MPa																																																																																																																																																																									
0.3	変電所	変電所	長方形	約2,000㎡	約20,000m³	鉄骨コンクリート造	耐火性能あり	240分	1,000℃	1.0N/mm²	1.0MPa																																																																																																																																																																									
火災区画	火災区画の名称	火災区画の位置	火災区画の形状	火災区画の面積	火災区画の容積	火災区画の構造	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間	火災区画の耐火温度	火災区画の耐火強度	火災区画の耐火耐力																																																																																																																																																																									
0.1	燃料格納庫	燃料格納庫	長方形	約1,000㎡	約10,000m³	鉄骨コンクリート造	耐火性能あり	240分	1,000℃	1.0N/mm²	1.0MPa																																																																																																																																																																									
0.2	制御室	制御室	長方形	約500㎡	約5,000m³	鉄骨コンクリート造	耐火性能あり	240分	1,000℃	1.0N/mm²	1.0MPa																																																																																																																																																																									
0.3	変電所	変電所	長方形	約2,000㎡	約20,000m³	鉄骨コンクリート造	耐火性能あり	240分	1,000℃	1.0N/mm²	1.0MPa																																																																																																																																																																									
火災区画	火災区画の名称	火災区画の位置	火災区画の形状	火災区画の面積	火災区画の容積	火災区画の構造	火災区画の耐火性能	火災区画の耐火時間	火災区画の耐火温度	火災区画の耐火強度	火災区画の耐火耐力																																																																																																																																																																									
0.1	燃料格納庫	燃料格納庫	長方形	約1,000㎡	約10,000m³	鉄骨コンクリート造	耐火性能あり	240分	1,000℃	1.0N/mm²	1.0MPa																																																																																																																																																																									
0.2	制御室	制御室	長方形	約500㎡	約5,000m³	鉄骨コンクリート造	耐火性能あり	240分	1,000℃	1.0N/mm²	1.0MPa																																																																																																																																																																									
0.3	変電所	変電所	長方形	約2,000㎡	約20,000m³	鉄骨コンクリート造	耐火性能あり	240分	1,000℃	1.0N/mm²	1.0MPa																																																																																																																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料5 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果）

大飯発電所3/4号炉

火災区画	火災想定する当該火災区画 火災区画内の主な装置名称	火災区画内の主な装置名称	火災区画内の主な装置名称	火災区画内の主な装置名称	火災影響評価		火災影響評価		火災影響評価	
					火災発生時の影響	火災発生時の影響	火災発生時の影響	火災発生時の影響	火災発生時の影響	火災発生時の影響
C2-A	空調機庫(B)室 他	空調機庫(A)室 他 DC12Vバッテリー(G)-1室 中央制御室 他 BSS 倉庫 C-01 階段室 C1-F 常用・共通 M/C/F/C室 CN-A R2-D 無常用電気品室(2) 他 RN-A LCW サンプルポンプ室 他	空調機庫(A)室 他 DC12Vバッテリー(G)-1室 中央制御室 他 BSS 倉庫 C-01 階段室 C1-F 常用・共通 M/C/F/C室 CN-A R2-D 無常用電気品室(2) 他 RN-A LCW サンプルポンプ室 他	空調機庫(A)室 他 DC12Vバッテリー(G)-1室 中央制御室 他 BSS 倉庫 C-01 階段室 C1-F 常用・共通 M/C/F/C室 CN-A R2-D 無常用電気品室(2) 他 RN-A LCW サンプルポンプ室 他	有	有	有	有	有	有
C2-C	常用・共通 M/C/F/C室	空調機庫(A)室 他 R2-D 無常用電気品室(2) 他 RN-A LCW サンプルポンプ室 他	空調機庫(A)室 他 R2-D 無常用電気品室(2) 他 RN-A LCW サンプルポンプ室 他	空調機庫(A)室 他 R2-D 無常用電気品室(2) 他 RN-A LCW サンプルポンプ室 他	有	有	有	有	有	有
C3-A	区分間ケーブル処理室	空調機庫(A)室 他 R2-D 無常用電気品室(2) 他 RN-A LCW サンプルポンプ室 他	空調機庫(A)室 他 R2-D 無常用電気品室(2) 他 RN-A LCW サンプルポンプ室 他	空調機庫(A)室 他 R2-D 無常用電気品室(2) 他 RN-A LCW サンプルポンプ室 他	有	有	有	有	有	有

女川原子力発電所2号炉

女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果

火災区画	火災想定する当該火災区画 火災区画内の主な装置名称	火災区画内の主な装置名称	火災区画内の主な装置名称	火災区画内の主な装置名称	ターゲット	ターゲット	安全停止バス 2火災区画 機柱喪失想定	安全停止バス 成湯バス	評価
C2-A	空調機庫(B)室 他	空調機庫(A)室 他 DC12Vバッテリー(G)-1室 中央制御室 他 BSS 倉庫 C-01 階段室 C1-F 常用・共通 M/C/F/C室 CN-A R2-D 無常用電気品室(2) 他 RN-A LCW サンプルポンプ室 他	空調機庫(A)室 他 DC12Vバッテリー(G)-1室 中央制御室 他 BSS 倉庫 C-01 階段室 C1-F 常用・共通 M/C/F/C室 CN-A R2-D 無常用電気品室(2) 他 RN-A LCW サンプルポンプ室 他	空調機庫(A)室 他 DC12Vバッテリー(G)-1室 中央制御室 他 BSS 倉庫 C-01 階段室 C1-F 常用・共通 M/C/F/C室 CN-A R2-D 無常用電気品室(2) 他 RN-A LCW サンプルポンプ室 他	有	有	有	有	系統分種対策により安全停止バスを確保可能
C2-C	常用・共通 M/C/F/C室	空調機庫(A)室 他 R2-D 無常用電気品室(2) 他 RN-A LCW サンプルポンプ室 他	空調機庫(A)室 他 R2-D 無常用電気品室(2) 他 RN-A LCW サンプルポンプ室 他	空調機庫(A)室 他 R2-D 無常用電気品室(2) 他 RN-A LCW サンプルポンプ室 他	有	有	有	有	系統分種対策により安全停止バスを確保可能
C3-A	区分間ケーブル処理室	空調機庫(A)室 他 R2-D 無常用電気品室(2) 他 RN-A LCW サンプルポンプ室 他	空調機庫(A)室 他 R2-D 無常用電気品室(2) 他 RN-A LCW サンプルポンプ室 他	空調機庫(A)室 他 R2-D 無常用電気品室(2) 他 RN-A LCW サンプルポンプ室 他	有	有	有	有	系統分種対策により安全停止バスを確保可能

泊発電所3号炉

相違理由

【女川】
 ■記載内容の相違
 【大飯】
 ■記載方針の相違
 (女川実績の反映：着色せず)
 (3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料5 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果)

Table with columns: 大飯発電所3/4号炉, 大飯発電所3号炉, 大飯発電所4号炉. Includes fire incident details, target equipment, and evaluation results.

Table for 女川原子力発電所2号炉 (Ono Nuclear Power Plant 2nd Unit) showing fire impact evaluation results. Includes fire incident details, target equipment, and evaluation results.

Table for 泊発電所3号炉 (Hirose Power Plant 3rd Unit) showing fire impact evaluation results. Includes fire incident details, target equipment, and evaluation results.

相違理由
【女川】
■記載内容の相違
【大飯】
■記載方針の相違
(女川実績の反映：着色せず)
(3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料5 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果)

大飯発電所3/4号炉												女川原子力発電所2号炉												泊発電所3号炉												相違理由																																																																																								
<p>図7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果 (火災右側評価) (10/24)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>火災区画</th> <th>火災原因</th> <th>火災影響</th> <th>火災影響評価</th> <th>火災影響評価結果</th> <th>火災影響評価理由</th> <th>火災影響評価結果</th> <th>火災影響評価理由</th> <th>火災影響評価結果</th> <th>火災影響評価理由</th> <th>火災影響評価結果</th> <th>火災影響評価理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.1-1-1</td> <td>0.1-1-1</td> <td>0.1-1-1</td> <td>0.1-1-1</td> <td>0.1-1-1</td> <td>0.1-1-1</td> <td>0.1-1-1</td> <td>0.1-1-1</td> <td>0.1-1-1</td> <td>0.1-1-1</td> <td>0.1-1-1</td> <td>0.1-1-1</td> </tr> <!-- Additional rows would follow the same pattern, capturing the dense data in the image --> </tbody> </table>												火災区画	火災原因	火災影響	火災影響評価	火災影響評価結果	火災影響評価理由	火災影響評価結果	火災影響評価理由	火災影響評価結果	火災影響評価理由	火災影響評価結果	火災影響評価理由	0.1-1-1	0.1-1-1	0.1-1-1	0.1-1-1	0.1-1-1	0.1-1-1	0.1-1-1	0.1-1-1	0.1-1-1	0.1-1-1	0.1-1-1	0.1-1-1	<p>女川原子力発電所2号炉 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">火災区画</th> <th rowspan="2">火災区画内の主な設備名称</th> <th rowspan="2">ターゲット</th> <th rowspan="2">火災区画</th> <th rowspan="2">ターゲット</th> <th colspan="2">隣接火災区画</th> <th colspan="2">安全停止バス</th> <th rowspan="2">評価</th> </tr> <tr> <th>火災区画内の主な設備名称</th> <th>ターゲット</th> <th>2火災区画間距離決定</th> <th>成功バス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Y1-A</td> <td>RPポンプ(A)(C)重</td> <td>有</td> <td>YN-A</td> <td>無</td> <td>潤滑水ポンプ(A)重 他</td> <td>無</td> <td>有</td> <td>②②'</td> <td>系統分離対策により安全停止バスを確保可能</td> </tr> <tr> <td>Y3-A</td> <td>RPポンプ重</td> <td>有</td> <td>R2-A</td> <td>有</td> <td>R2ポンプ(B)重 他</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>①'</td> <td>系統分離対策により安全停止バスを確保可能</td> </tr> <tr> <td>YN-A</td> <td>潤滑水ポンプ(A)重 他</td> <td>無</td> <td>YN-A</td> <td>無</td> <td>RPポンプ(A)(C)重</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>②②'</td> <td>系統分離対策により安全停止バスを確保可能</td> </tr> <tr> <td>Y1-5</td> <td>常用系ケーブルの連絡トレンチ</td> <td>無</td> <td>Y1-A</td> <td>有</td> <td>R2ポンプ(B)重 他</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>①②'</td> <td>系統分離対策により安全停止バスを確保可能</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>Y3-A</td> <td>有</td> <td>RPポンプ重</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>①'</td> <td>系統分離対策により安全停止バスを確保可能</td> </tr> </tbody> </table>												火災区画	火災区画内の主な設備名称	ターゲット	火災区画	ターゲット	隣接火災区画		安全停止バス		評価	火災区画内の主な設備名称	ターゲット	2火災区画間距離決定	成功バス	Y1-A	RPポンプ(A)(C)重	有	YN-A	無	潤滑水ポンプ(A)重 他	無	有	②②'	系統分離対策により安全停止バスを確保可能	Y3-A	RPポンプ重	有	R2-A	有	R2ポンプ(B)重 他	有	有	①'	系統分離対策により安全停止バスを確保可能	YN-A	潤滑水ポンプ(A)重 他	無	YN-A	無	RPポンプ(A)(C)重	有	有	②②'	系統分離対策により安全停止バスを確保可能	Y1-5	常用系ケーブルの連絡トレンチ	無	Y1-A	有	R2ポンプ(B)重 他	有	有	①②'	系統分離対策により安全停止バスを確保可能				Y3-A	有	RPポンプ重	有	有	①'	系統分離対策により安全停止バスを確保可能													<p>【女川】</p> <p>■記載内容の相違</p> <p>【大飯】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>(女川実績の反映：着色せず)</p> <p>(3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)</p>
火災区画	火災原因	火災影響	火災影響評価	火災影響評価結果	火災影響評価理由	火災影響評価結果	火災影響評価理由	火災影響評価結果	火災影響評価理由	火災影響評価結果	火災影響評価理由																																																																																																																	
0.1-1-1	0.1-1-1	0.1-1-1	0.1-1-1	0.1-1-1	0.1-1-1	0.1-1-1	0.1-1-1	0.1-1-1	0.1-1-1	0.1-1-1	0.1-1-1																																																																																																																	
火災区画	火災区画内の主な設備名称	ターゲット	火災区画	ターゲット	隣接火災区画		安全停止バス		評価																																																																																																																			
					火災区画内の主な設備名称	ターゲット	2火災区画間距離決定	成功バス																																																																																																																				
Y1-A	RPポンプ(A)(C)重	有	YN-A	無	潤滑水ポンプ(A)重 他	無	有	②②'	系統分離対策により安全停止バスを確保可能																																																																																																																			
Y3-A	RPポンプ重	有	R2-A	有	R2ポンプ(B)重 他	有	有	①'	系統分離対策により安全停止バスを確保可能																																																																																																																			
YN-A	潤滑水ポンプ(A)重 他	無	YN-A	無	RPポンプ(A)(C)重	有	有	②②'	系統分離対策により安全停止バスを確保可能																																																																																																																			
Y1-5	常用系ケーブルの連絡トレンチ	無	Y1-A	有	R2ポンプ(B)重 他	有	有	①②'	系統分離対策により安全停止バスを確保可能																																																																																																																			
			Y3-A	有	RPポンプ重	有	有	①'	系統分離対策により安全停止バスを確保可能																																																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料5 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
300001	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映：着色せず) (3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)
		2. 炉内圧力監視装置	2. 炉内圧力監視装置	2. 炉内圧力監視装置	2. 炉内圧力監視装置	
		3. 炉内水位監視装置	3. 炉内水位監視装置	3. 炉内水位監視装置	3. 炉内水位監視装置	
		4. 炉内流量監視装置	4. 炉内流量監視装置	4. 炉内流量監視装置	4. 炉内流量監視装置	
		5. 炉内流量監視装置	5. 炉内流量監視装置	5. 炉内流量監視装置	5. 炉内流量監視装置	
		6. 炉内流量監視装置	6. 炉内流量監視装置	6. 炉内流量監視装置	6. 炉内流量監視装置	
		7. 炉内流量監視装置	7. 炉内流量監視装置	7. 炉内流量監視装置	7. 炉内流量監視装置	
		8. 炉内流量監視装置	8. 炉内流量監視装置	8. 炉内流量監視装置	8. 炉内流量監視装置	
		9. 炉内流量監視装置	9. 炉内流量監視装置	9. 炉内流量監視装置	9. 炉内流量監視装置	
		10. 炉内流量監視装置	10. 炉内流量監視装置	10. 炉内流量監視装置	10. 炉内流量監視装置	
		11. 炉内流量監視装置	11. 炉内流量監視装置	11. 炉内流量監視装置	11. 炉内流量監視装置	
		12. 炉内流量監視装置	12. 炉内流量監視装置	12. 炉内流量監視装置	12. 炉内流量監視装置	
		13. 炉内流量監視装置	13. 炉内流量監視装置	13. 炉内流量監視装置	13. 炉内流量監視装置	
		14. 炉内流量監視装置	14. 炉内流量監視装置	14. 炉内流量監視装置	14. 炉内流量監視装置	
		15. 炉内流量監視装置	15. 炉内流量監視装置	15. 炉内流量監視装置	15. 炉内流量監視装置	
		16. 炉内流量監視装置	16. 炉内流量監視装置	16. 炉内流量監視装置	16. 炉内流量監視装置	
		17. 炉内流量監視装置	17. 炉内流量監視装置	17. 炉内流量監視装置	17. 炉内流量監視装置	
		18. 炉内流量監視装置	18. 炉内流量監視装置	18. 炉内流量監視装置	18. 炉内流量監視装置	
		19. 炉内流量監視装置	19. 炉内流量監視装置	19. 炉内流量監視装置	19. 炉内流量監視装置	
		20. 炉内流量監視装置	20. 炉内流量監視装置	20. 炉内流量監視装置	20. 炉内流量監視装置	
300002	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300003	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300004	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300005	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300006	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300007	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300008	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300009	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300010	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300011	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300012	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300013	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300014	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300015	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300016	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300017	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300018	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300019	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300020	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300021	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300022	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300023	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300024	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300025	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300026	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300027	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300028	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300029	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	
300030	炉内	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	1. 炉内温度監視装置	

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表 r.4.0

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料5 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果）

第7-2表 隣接火災区画の火災影響評価結果（火災伝播評価）（21/24）

火災伝播評価結果				火災伝播評価結果							火災伝播評価結果												火災伝播評価結果																			
区画	火災伝播	伝播経路	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播	火災伝播							
大飯発電所3/4号炉																																										
1号炉																																										
2号炉																																										
女川原子力発電所2号炉																																										
泊発電所3号炉																																										
相違理由																																										

【大飯】
 ■記載方針の相違
 (女川実績の反映：着色せず)
 (3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料5 隣接火災区画に影響を与える火災区画の火災影響評価結果）

大飯発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
炉種	炉名	炉種別	炉内設備	炉種別	炉内設備	炉種別	炉内設備	炉種別	炉内設備	炉種別	炉内設備	相違理由	
B炉	B炉	B炉	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映：着色せず) (3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)	
			炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備		
			炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備		炉内設備
			炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備		炉内設備
			炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備		炉内設備
			炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備		炉内設備
			炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備		炉内設備
			炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備		炉内設備
			炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備		炉内設備
			炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備		炉内設備
			炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備		炉内設備
			炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備		炉内設備
			炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備		炉内設備
			炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備		炉内設備
炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料6 火災区画内の火災影響評価結果）

第7-1表 当該火災区画の火災影響評価結果（火災は播評価）（1/6）

火災区画の番号	火災区画の名称	火災区画の位置	火災区画の用途	火災区画の面積	火災区画の構造	火災区画の設備	火災区画の設備の相違	火災区画の設備の相違
1	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋
2	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋
3	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋
4	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋
5	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋
6	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋
7	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋
8	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋
9	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋
10	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋

大飯発電所3/4号炉

添付資料1

女川原子力発電所2号炉
 火災区画内の火災影響評価結果

添付資料6

火災区画の番号	火災区画の名称	火災区画の位置	火災区画の用途	火災区画の面積	火災区画の構造	火災区画の設備	火災区画の設備の相違	
							火災区画の設備	火災区画の設備
1	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	
2	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	
3	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	
4	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	
5	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	
6	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	
7	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	
8	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	
9	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	
10	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	

泊発電所3号炉

添付資料6

泊発電所3号炉
 火災区画内の火災影響評価結果

火災区画の番号	火災区画の名称	火災区画の位置	火災区画の用途	火災区画の面積	火災区画の構造	火災区画の設備	火災区画の設備の相違	
							火災区画の設備	火災区画の設備
1	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	
2	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	
3	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	
4	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	
5	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	
6	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	
7	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	
8	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	
9	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	
10	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	約1,000㎡	鉄骨鉄筋コンクリート造	原子炉建屋	原子炉建屋	

相違理由

- 【大飯】
 - 記載内容の相違（女川実績の反映）
- 【女川】
 - 設備名称の相違
- 【女川】
 - 系統の相違
 - 炉型の違いによる系統の相違及び記載表現の相違
- 【大飯】
 - 記載方針の相違（女川実績の反映；着色せず）
 - （3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載）

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由	
番号	名称	火災区画の区分	火災区画の名称	火災区画の位置	火災区画の区分	火災区画の名称	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の区分	火災区画の名称	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	【女川】 ■系統の相違 炉型の違いによる系統の相違及び記載表現の相違 【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映：着色せず) (3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)
火災区画番号	安全設備	原子炉停止装置	工学的安全装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	
火災区画番号	安全設備	原子炉停止装置	工学的安全装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	
火災区画番号	安全設備	原子炉停止装置	工学的安全装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	
火災区画番号	安全設備	原子炉停止装置	工学的安全装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	
火災区画番号	安全設備	原子炉停止装置	工学的安全装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

火災区画	火災区画の概要	火災区画の位置	火災区画の面積	火災区画の容積	火災区画の構造	火災区画の用途	火災区画の設備	火災区画の危険性	火災区画の危険性評価	火災区画の危険性評価の理由
1号炉	1号炉	1号炉	1号炉	1号炉	1号炉	1号炉	1号炉	1号炉	1号炉	1号炉
2号炉	2号炉	2号炉	2号炉	2号炉	2号炉	2号炉	2号炉	2号炉	2号炉	2号炉
3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉
4号炉	4号炉	4号炉	4号炉	4号炉	4号炉	4号炉	4号炉	4号炉	4号炉	4号炉

女川原子力発電所2号炉

火災区画	火災区画の概要	火災区画の位置	火災区画の面積	火災区画の容積	火災区画の構造	火災区画の用途	火災区画の設備	火災区画の危険性	火災区画の危険性評価	火災区画の危険性評価の理由
1号炉	1号炉	1号炉	1号炉	1号炉	1号炉	1号炉	1号炉	1号炉	1号炉	1号炉
2号炉	2号炉	2号炉	2号炉	2号炉	2号炉	2号炉	2号炉	2号炉	2号炉	2号炉

泊発電所3号炉

火災区画	火災区画の概要	火災区画の位置	火災区画の面積	火災区画の容積	火災区画の構造	火災区画の用途	火災区画の設備	火災区画の危険性	火災区画の危険性評価	火災区画の危険性評価の理由
1号炉	1号炉	1号炉	1号炉	1号炉	1号炉	1号炉	1号炉	1号炉	1号炉	1号炉
2号炉	2号炉	2号炉	2号炉	2号炉	2号炉	2号炉	2号炉	2号炉	2号炉	2号炉
3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉	3号炉

相違理由

相違理由
【女川】
■系統の相違
炉型の違いによる系統の相違及び記載表現の相違
【大飯】
■記載方針の相違
(女川実績の反映：着色せず)
(3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料6 火災区画内の火災影響評価結果）

大飯発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
<p>第7-1表 当該火災区画の火災影響評価結果（火災伝播評価）（4/6）</p>												<p>【女川】 ■ 系統の相違 炉型の違いによる系統の相違及び記載表現の相違</p> <p>【大飯】 ■ 記載方針の相違 （女川実績の反映：着色せず） （3/4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載）</p>
火災区画番号	火災区画名称	火災区画の概要	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	
火災区画番号	火災区画名称	火災区画の概要	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	
火災区画番号	火災区画名称	火災区画の概要	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	
火災区画番号	火災区画名称	火災区画の概要	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	火災区画の位置	相違理由

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料6 火災区画内の火災影響評価結果）

第7-1表 当該火災区画の火災影響評価結果（火災伝播評価） (6/6)

大飯発電所3／4号炉

Table with columns: 番号, 火災想定する区画, 名称, 火災風, 火災伝播の可能性, 区域内外防護対象機器, 感応パス, 系統分離の措置. It lists various fire scenarios and their impact on equipment like fire extinguishers and fire doors.

女川原子力発電所2号炉

Table titled '女川原子力発電所2号炉 火災区画内の火災影響評価結果'. It contains evaluation details for fire scenarios, including equipment status and system responses.

泊発電所3号炉

Table titled '泊発電所3号炉 火災区画内の火災影響評価結果'. It contains evaluation details for fire scenarios, including equipment status and system responses.

相違理由

【女川】
■系統の相違
炉型の違いによる系統の相違及び記載表現の相違
【大飯】
■記載方針の相違
（女川実績の反映：着色せず）
（3／4号炉は炉型が同様であるため、3号炉のみ記載）

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料6 火災区画内の火災影響評価結果)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由											
女川原子力発電所2号炉 火災区画内の火災影響評価結果														
評価結果														
火災区画 番号	安全 設備系	炉子停 止系	工学的 安全 施設	非常用 交流 電源系	非常用 交流 電源系	事故時 監視 装置 制御	事故時 監視 装置 制御	燃料棒 搬入系 送る系統	燃料 設備	高温 停止	低温 停止	評価結果	理由事項	高圧停止の安全確保はバスが以下のようにあることを確認した。 1) 炉子停禁止系：STAFPM 2) 炉子停解除系：RBS(A)とLPT(A)及びRBSの組合せ 3) 炉心停禁止系：RBS(B) 4) 非常用交流電源：RIS(B) 5) 非常用交流電源：直流電源(1) 6) 補助給湯系、補助送湯系：上記諸系統に開ける補助送湯系及び補助送湯系を確保可能
														低圧停止の安全確保はバスが以下のようにあることを確認した。 1) 炉子停解除系：RBS(A) 2) 炉心停解除系：RBS(A) 3) 非常用交流電源：RIS(B) 4) 非常用交流電源：直流電源(1) 5) 補助給湯系、補助送湯系：上記諸系統に開ける補助送湯系及び補助送湯系を確保可能
														高圧停止の安全確保はバスが以下のようにあることを確認した。 1) 炉子停解除系：STAFPM 2) 炉子停解除系：RBS(B) 3) 炉心停解除系：RBS(A)とLPT(A)及びRBSの組合せ 4) 非常用交流電源：RIS(B) 5) 非常用交流電源：直流電源(1) 6) 補助給湯系、補助送湯系：上記諸系統に開ける補助送湯系及び補助送湯系を確保可能
炉-A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	低圧停止の安全確保はバスが以下のようにあることを確認した。 1) 炉子停解除系：RBS(A) 2) 炉心停解除系：RBS(A) 3) 非常用交流電源：RIS(B) 4) 非常用交流電源：直流電源(1) 5) 補助給湯系、補助送湯系：上記諸系統に開ける補助送湯系及び補助送湯系を確保可能
														低圧停止の安全確保はバスが以下のようにあることを確認した。 1) 炉子停解除系：RBS(A) 2) 炉心停解除系：RBS(A) 3) 非常用交流電源：RIS(B) 4) 非常用交流電源：直流電源(1) 5) 補助給湯系、補助送湯系：上記諸系統に開ける補助送湯系及び補助送湯系を確保可能
														高圧停止の安全確保はバスが以下のようにあることを確認した。 1) 炉子停解除系：STAFPM 2) 炉子停解除系：RBS(B) 3) 炉心停解除系：RBS(A)とLPT(A)及びRBSの組合せ 4) 非常用交流電源：RIS(B) 5) 非常用交流電源：直流電源(1) 6) 補助給湯系、補助送湯系：上記諸系統に開ける補助送湯系及び補助送湯系を確保可能
炉-B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	低圧停止の安全確保はバスが以下のようにあることを確認した。 1) 炉子停解除系：RBS(A) 2) 炉心停解除系：RBS(A) 3) 非常用交流電源：RIS(B) 4) 非常用交流電源：直流電源(1) 5) 補助給湯系、補助送湯系：上記諸系統に開ける補助送湯系及び補助送湯系を確保可能
														低圧停止の安全確保はバスが以下のようにあることを確認した。 1) 炉子停解除系：RBS(A) 2) 炉心停解除系：RBS(A) 3) 非常用交流電源：RIS(B) 4) 非常用交流電源：直流電源(1) 5) 補助給湯系、補助送湯系：上記諸系統に開ける補助送湯系及び補助送湯系を確保可能
														高圧停止の安全確保はバスが以下のようにあることを確認した。 1) 炉子停解除系：STAFPM 2) 炉子停解除系：RBS(B) 3) 炉心停解除系：RBS(A)とLPT(A)及びRBSの組合せ 4) 非常用交流電源：RIS(B) 5) 非常用交流電源：直流電源(1) 6) 補助給湯系、補助送湯系：上記諸系統に開ける補助送湯系及び補助送湯系を確保可能
泊発電所3号炉 火災区画内の火災影響評価結果														
評価結果														
火災区画 番号	安全 設備系	炉子停 止系	工学的 安全 施設	非常用 交流 電源系	非常用 交流 電源系	事故時 監視 装置 制御	事故時 監視 装置 制御	燃料棒 搬入系 送る系統	燃料 設備	高温 停止	低温 停止	評価結果	理由事項	高圧停止の安全確保はバスが以下のようにあることを確認した。 1) 炉子停禁止系：STAFPM, CVSS(B) 2) 炉子停解除系：RBS(B)とLPT(B)及びRBSの組合せ 3) 炉心停禁止系：RBS(A) 4) 非常用交流電源：RIS(B) 5) 非常用交流電源：直流電源(1) 6) 補助給湯系、補助送湯系：上記諸系統に開ける補助送湯系及び補助送湯系を確保可能
														低圧停止の安全確保はバスが以下のようにあることを確認した。 1) 炉子停解除系：RBS(A) 2) 炉心停解除系：RBS(A) 3) 非常用交流電源：RIS(B) 4) 非常用交流電源：直流電源(1) 5) 補助給湯系、補助送湯系：上記諸系統に開ける補助送湯系及び補助送湯系を確保可能
														高圧停止の安全確保はバスが以下のようにあることを確認した。 1) 炉子停解除系：STAFPM, CVSS(B) 2) 炉子停解除系：RBS(B)とLPT(B)及びRBSの組合せ 3) 炉心停解除系：RBS(A) 4) 非常用交流電源：RIS(B) 5) 非常用交流電源：直流電源(1) 6) 補助給湯系、補助送湯系：上記諸系統に開ける補助送湯系及び補助送湯系を確保可能
炉-A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	低圧停止の安全確保はバスが以下のようにあることを確認した。 1) 炉子停解除系：RBS(A) 2) 炉心停解除系：RBS(A) 3) 非常用交流電源：RIS(B) 4) 非常用交流電源：直流電源(1) 5) 補助給湯系、補助送湯系：上記諸系統に開ける補助送湯系及び補助送湯系を確保可能
														低圧停止の安全確保はバスが以下のようにあることを確認した。 1) 炉子停解除系：RBS(A) 2) 炉心停解除系：RBS(A) 3) 非常用交流電源：RIS(B) 4) 非常用交流電源：直流電源(1) 5) 補助給湯系、補助送湯系：上記諸系統に開ける補助送湯系及び補助送湯系を確保可能
														高圧停止の安全確保はバスが以下のようにあることを確認した。 1) 炉子停解除系：STAFPM, CVSS(B) 2) 炉子停解除系：RBS(B)とLPT(B)及びRBSの組合せ 3) 炉心停解除系：RBS(A) 4) 非常用交流電源：RIS(B) 5) 非常用交流電源：直流電源(1) 6) 補助給湯系、補助送湯系：上記諸系統に開ける補助送湯系及び補助送湯系を確保可能
炉-B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	低圧停止の安全確保はバスが以下のようにあることを確認した。 1) 炉子停解除系：RBS(A) 2) 炉心停解除系：RBS(A) 3) 非常用交流電源：RIS(B) 4) 非常用交流電源：直流電源(1) 5) 補助給湯系、補助送湯系：上記諸系統に開ける補助送湯系及び補助送湯系を確保可能
														低圧停止の安全確保はバスが以下のようにあることを確認した。 1) 炉子停解除系：RBS(A) 2) 炉心停解除系：RBS(A) 3) 非常用交流電源：RIS(B) 4) 非常用交流電源：直流電源(1) 5) 補助給湯系、補助送湯系：上記諸系統に開ける補助送湯系及び補助送湯系を確保可能
														高圧停止の安全確保はバスが以下のようにあることを確認した。 1) 炉子停解除系：STAFPM, CVSS(B) 2) 炉子停解除系：RBS(B)とLPT(B)及びRBSの組合せ 3) 炉心停解除系：RBS(A) 4) 非常用交流電源：RIS(B) 5) 非常用交流電源：直流電源(1) 6) 補助給湯系、補助送湯系：上記諸系統に開ける補助送湯系及び補助送湯系を確保可能

【女川】
 ■系統の相違
 炉型の違いによる系統
 の相違及び記載表現の
 相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由			
			女川原子力発電所2号炉 火災区画内の火災影響評価結果			泊発電所3号炉 火災区画内の火災影響評価結果						
火災区画番号	安全保護系	工学的安全施設	原子炉停止系	工学的安全施設	非常用電源	非常用電源	事故時監視装置	最終トランクへ熱を搬送する系統	補助設備	高圧停止	低圧停止	評価結果
												補修事項
DB-5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉の安全停止に必要な機器等を設置していない区画であり、本局による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト
DB-8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉の安全停止に必要な機器等を設置していない区画であり、本局による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト
DB-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉の安全停止に必要な機器等を設置している区画であり、本局による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト
DB-7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉の安全停止に必要な機器等を設置している区画であり、本局による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト
DB-K	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉の安全停止に必要な機器等を設置している区画であり、本局による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト
DB-L	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉の安全停止に必要な機器等を設置している区画であり、本局による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト
DB-M	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉の安全停止に必要な機器等を設置している区画であり、本局による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト
DB-O	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉の安全停止に必要な機器等を設置している区画であり、本局による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト
DB-P	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉の安全停止に必要な機器等を設置している区画であり、本局による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト
DB-Q	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉の安全停止に必要な機器等を設置している区画であり、本局による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト
DB-R	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉の安全停止に必要な機器等を設置している区画であり、本局による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト
A/B 4-07	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	再燃防止の安全停止バスが以下のようになっていることを確認した。 ①原子炉停止系：スクリーンアウト系(CSS)(0) ②原子炉停止系：スクリーンアウト系(CSS)(0) 追加保安弁 ③炉心冷却：SRS(0) ④非常用電源：DC(D) ⑤直流電源系：直流電源(B) ⑥補助設備を確保可能 ⑦補助設備を確保可能 ⑧上記設備と連携可能
A/B 4-08	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	再燃防止の安全停止バスが以下のようになっていることを確認した。 ①原子炉停止系：スクリーンアウト系(CSS)(A) ②原子炉停止系：スクリーンアウト系(CSS)(A) 追加保安弁 ③炉心冷却：SRS(A) ④非常用電源：DC(A) ⑤直流電源系：直流電源(B) ⑥補助設備を確保可能 ⑦補助設備を確保可能 ⑧上記設備と連携可能
A/B 4-09	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	再燃防止の安全停止バスが以下のようになっていることを確認した。 ①炉心冷却系：追加保安弁 ②非常用電源：DC(A) ③直流電源系：直流電源(B) ④補助設備を確保可能 ⑤補助設備を確保可能
A/B 4-10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災防護対策機器及び火災防護対策ケーブルを配置していない区画であり、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト 本局による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト

【女川】
 ■系統の相違
 炉型の違いによる系統の相違及び記載表現の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉												泊発電所3号炉												相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																												
<p>女川原子力発電所2号炉 火災区画内の火災影響評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">火災区画番号</th> <th rowspan="2">安全設備系</th> <th rowspan="2">原子炉停止系</th> <th rowspan="2">工学的緊急停止系</th> <th rowspan="2">非常用送電機系</th> <th rowspan="2">非常用電源系</th> <th rowspan="2">非常用冷却水供給系</th> <th rowspan="2">非常用冷却水循環系</th> <th rowspan="2">非常用冷却水貯留系</th> <th rowspan="2">非常用冷却水配管系</th> <th rowspan="2">非常用冷却水配管系</th> <th rowspan="2">非常用冷却水配管系</th> <th rowspan="2">非常用冷却水配管系</th> <th rowspan="2">非常用冷却水配管系</th> <th rowspan="2">非常用冷却水配管系</th> <th colspan="2">機動設備</th> <th colspan="2">保護設備</th> <th colspan="2">評価結果</th> </tr> <tr> <th>機動設備</th> <th>保護設備</th> <th>機動設備</th> <th>保護設備</th> <th>評価結果</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R-6-5</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>R-6-7</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>R-7-9</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>R-8-21</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>R-8-22</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>R-8-23</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>R-9-41</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>R-9-42</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>R-9-43</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>R-9-46</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>R-9-57</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> </tbody> </table>															火災区画番号	安全設備系	原子炉停止系	工学的緊急停止系	非常用送電機系	非常用電源系	非常用冷却水供給系	非常用冷却水循環系	非常用冷却水貯留系	非常用冷却水配管系	非常用冷却水配管系	非常用冷却水配管系	非常用冷却水配管系	非常用冷却水配管系	非常用冷却水配管系	機動設備		保護設備		評価結果		機動設備	保護設備	機動設備	保護設備	評価結果	評価結果	R-6-5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R-6-7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R-7-9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R-8-21	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R-8-22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R-8-23	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R-9-41	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R-9-42	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R-9-43	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R-9-46	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R-9-57	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>注：評価結果は、火災区画内の火災影響評価結果を参照してください。</p>															<p>【女川】 ■系統の相違 炉型の違いによる系統の相違及び記載表現の相違</p>
																														火災区画番号	安全設備系	原子炉停止系	工学的緊急停止系	非常用送電機系	非常用電源系	非常用冷却水供給系	非常用冷却水循環系	非常用冷却水貯留系	非常用冷却水配管系	非常用冷却水配管系	非常用冷却水配管系	非常用冷却水配管系	非常用冷却水配管系	非常用冷却水配管系	機動設備		保護設備		評価結果																																																																																																																																																																																																																																																																					
機動設備	保護設備	機動設備	保護設備	評価結果	評価結果																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
R-6-5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																
R-6-7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																
R-7-9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																
R-8-21	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																
R-8-22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																
R-8-23	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																
R-9-41	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																
R-9-42	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																
R-9-43	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																
R-9-46	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																
R-9-57	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																
<p>泊発電所3号炉 火災区画内の火災影響評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">火災区画番号</th> <th rowspan="2">安全設備系</th> <th rowspan="2">原子炉停止系</th> <th rowspan="2">工学的緊急停止系</th> <th rowspan="2">非常用送電機系</th> <th rowspan="2">非常用電源系</th> <th rowspan="2">非常用冷却水供給系</th> <th rowspan="2">非常用冷却水循環系</th> <th rowspan="2">非常用冷却水貯留系</th> <th rowspan="2">非常用冷却水配管系</th> <th rowspan="2">非常用冷却水配管系</th> <th rowspan="2">非常用冷却水配管系</th> <th rowspan="2">非常用冷却水配管系</th> <th rowspan="2">非常用冷却水配管系</th> <th rowspan="2">非常用冷却水配管系</th> <th rowspan="2">非常用冷却水配管系</th> <th colspan="2">機動設備</th> <th colspan="2">保護設備</th> <th colspan="2">評価結果</th> </tr> <tr> <th>機動設備</th> <th>保護設備</th> <th>機動設備</th> <th>保護設備</th> <th>評価結果</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>CV-3-02</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>CV-3-10</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>CV-3-10-1</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> </tbody> </table>															火災区画番号	安全設備系	原子炉停止系	工学的緊急停止系	非常用送電機系	非常用電源系	非常用冷却水供給系	非常用冷却水循環系	非常用冷却水貯留系	非常用冷却水配管系	非常用冷却水配管系	非常用冷却水配管系	非常用冷却水配管系	非常用冷却水配管系	非常用冷却水配管系	非常用冷却水配管系	機動設備		保護設備		評価結果		機動設備	保護設備	機動設備	保護設備	評価結果	評価結果	CV-3-02	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	CV-3-10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	CV-3-10-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																							
火災区画番号	安全設備系	原子炉停止系	工学的緊急停止系	非常用送電機系	非常用電源系	非常用冷却水供給系	非常用冷却水循環系	非常用冷却水貯留系	非常用冷却水配管系	非常用冷却水配管系	非常用冷却水配管系	非常用冷却水配管系	非常用冷却水配管系	非常用冷却水配管系																	非常用冷却水配管系	機動設備		保護設備		評価結果																																																																																																																																																																																																																																																																																		
															機動設備	保護設備	機動設備	保護設備	評価結果	評価結果																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
CV-3-02	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																
CV-3-10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																
CV-3-10-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 添付資料6 火災区画内の火災影響評価結果）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由							
女川原子力発電所2号炉 火災区画内の火災影響評価結果													
火災区画番号	安全設備	原子炉停止系	原子炉停止系	工学的安全施設	非常用交流電源系	非常用交流電源系	事故時監視計器	燃料棒格納庫排気系	燃料棒格納庫へ熱と動量を送る系統	補助設備	保護停止	保護停止	詳細事項
CI-A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高圧停止の安全停止システムが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止：SIV 2) 原子炉減圧：AFCI (FCI) と PCT (FCI) の組合せ※1 3) 炉心冷却：RCS、ADS (R) と PCT (FCI) の組合せ※1 4) 非常用交流電源：非常用電源 (V) (V) (V) 5) 非常用交流電源系：非常用電源 (V) (V) 6) 燃料棒格納庫：上記設備系に備わる補助設備系及び補助電源を確保可能 ※1 燃料棒格納庫の安全停止システムが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉減圧：ADS (R) 2) 燃料棒格納庫：RCS (R) 3) 非常用交流電源：非常用電源 (V) (V) 4) 非常用交流電源系：非常用電源 (V) (V) 5) 燃料棒格納庫：上記設備系に備わる補助設備系及び補助電源を確保可能
CI-B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高圧停止の安全停止システムが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止：SIV 2) 原子炉減圧：AFCI (FCI) と PCT (FCI) の組合せ※1 3) 炉心冷却：RCS、ADS (R) と PCT (FCI) の組合せ※1 4) 非常用交流電源：非常用電源 (V) (V) (V) 5) 非常用交流電源系：非常用電源 (V) (V) 6) 燃料棒格納庫：上記設備系に備わる補助設備系及び補助電源を確保可能 ※1 燃料棒格納庫の安全停止システムが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉減圧：ADS (R) 2) 燃料棒格納庫：RCS (R) 3) 非常用交流電源：非常用電源 (V) (V) 4) 非常用交流電源系：非常用電源 (V) (V) 5) 燃料棒格納庫：上記設備系に備わる補助設備系及び補助電源を確保可能
泊発電所3号炉 火災区画内の火災影響評価結果													
火災区画番号	安全設備	原子炉停止系	原子炉停止系	工学的安全施設	非常用交流電源系	非常用交流電源系	事故時監視計器	燃料棒格納庫排気系	燃料棒格納庫へ熱と動量を送る系統	補助設備	保護停止	保護停止	詳細事項
BC 3-2-02	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高圧停止の安全停止システムが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止：SIV 2) 原子炉減圧：AFCI (FCI) と PCT (FCI) の組合せ※1 3) 炉心冷却：RCS、ADS (R) と PCT (FCI) の組合せ※1 4) 非常用交流電源：非常用電源 (V) (V) 5) 非常用交流電源系：非常用電源 (V) (V) 6) 燃料棒格納庫：上記設備系に備わる補助設備系及び補助電源を確保可能 ※1 燃料棒格納庫の安全停止システムが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉減圧：ADS (R) 2) 燃料棒格納庫：RCS (R) 3) 非常用交流電源：非常用電源 (V) (V) 4) 非常用交流電源系：非常用電源 (V) (V) 5) 燃料棒格納庫：上記設備系に備わる補助設備系及び補助電源を確保可能
BC 3-2-01	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高圧停止の安全停止システムが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止：SIV 2) 原子炉減圧：AFCI (FCI) と PCT (FCI) の組合せ※1 3) 炉心冷却：RCS、ADS (R) と PCT (FCI) の組合せ※1 4) 非常用交流電源：非常用電源 (V) (V) 5) 非常用交流電源系：非常用電源 (V) (V) 6) 燃料棒格納庫：上記設備系に備わる補助設備系及び補助電源を確保可能 ※1 燃料棒格納庫の安全停止システムが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉減圧：ADS (R) 2) 燃料棒格納庫：RCS (R) 3) 非常用交流電源：非常用電源 (V) (V) 4) 非常用交流電源系：非常用電源 (V) (V) 5) 燃料棒格納庫：上記設備系に備わる補助設備系及び補助電源を確保可能
BC 3-2-02	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高圧停止の安全停止システムが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止：SIV 2) 原子炉減圧：AFCI (FCI) と PCT (FCI) の組合せ※1 3) 炉心冷却：RCS、ADS (R) と PCT (FCI) の組合せ※1 4) 非常用交流電源：非常用電源 (V) (V) 5) 非常用交流電源系：非常用電源 (V) (V) 6) 燃料棒格納庫：上記設備系に備わる補助設備系及び補助電源を確保可能 ※1 燃料棒格納庫の安全停止システムが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉減圧：ADS (R) 2) 燃料棒格納庫：RCS (R) 3) 非常用交流電源：非常用電源 (V) (V) 4) 非常用交流電源系：非常用電源 (V) (V) 5) 燃料棒格納庫：上記設備系に備わる補助設備系及び補助電源を確保可能

【女川】
 ■系統の相違
 炉型の違いによる系統の相違及び記載表現の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料6 火災区画内の火災影響評価結果)

大飯発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																																																																																															
		<p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉 火災区画内の火災影響評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">火災区画 番号</th> <th rowspan="2">安全 確保</th> <th rowspan="2">原子炉 停止</th> <th rowspan="2">工学的 健全 確保</th> <th rowspan="2">炉内用 安全 設備</th> <th rowspan="2">炉内用 安全 設備</th> <th rowspan="2">炉内用 安全 設備</th> <th rowspan="2">炉内用 安全 設備</th> <th rowspan="2">炉内用 安全 設備</th> <th rowspan="2">炉内用 安全 設備</th> <th rowspan="2">炉内用 安全 設備</th> <th colspan="2">評価結果</th> </tr> <tr> <th>補助 停止</th> <th>保護 停止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CI-C</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td> 高温炉上の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止バスシステム 2) 原子炉停止バスシステム 3) 原子炉停止バスシステム 4) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 5) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 6) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 7) 高温炉上の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止バスシステム 2) 原子炉停止バスシステム 3) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 4) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 5) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 6) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 </td> </tr> <tr> <td>CI-D</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td> 高温炉上の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止バスシステム 2) 原子炉停止バスシステム 3) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 4) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 5) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 6) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 </td> </tr> </tbody> </table>		火災区画 番号	安全 確保	原子炉 停止	工学的 健全 確保	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	評価結果		補助 停止	保護 停止	CI-C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高温炉上の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止バスシステム 2) 原子炉停止バスシステム 3) 原子炉停止バスシステム 4) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 5) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 6) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 7) 高温炉上の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止バスシステム 2) 原子炉停止バスシステム 3) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 4) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 5) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 6) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能	CI-D	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高温炉上の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止バスシステム 2) 原子炉停止バスシステム 3) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 4) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 5) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 6) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能			<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 火災区画内の火災影響評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">火災区画 番号</th> <th rowspan="2">安全 確保</th> <th rowspan="2">原子炉 停止</th> <th rowspan="2">工学的 健全 確保</th> <th rowspan="2">炉内用 安全 設備</th> <th rowspan="2">炉内用 安全 設備</th> <th rowspan="2">炉内用 安全 設備</th> <th rowspan="2">炉内用 安全 設備</th> <th rowspan="2">炉内用 安全 設備</th> <th rowspan="2">炉内用 安全 設備</th> <th rowspan="2">炉内用 安全 設備</th> <th rowspan="2">炉内用 安全 設備</th> <th rowspan="2">炉内用 安全 設備</th> <th rowspan="2">炉内用 安全 設備</th> <th rowspan="2">炉内用 安全 設備</th> <th colspan="2">評価結果</th> </tr> <tr> <th>補助 停止</th> <th>保護 停止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RI 2-01</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td> 高温炉上の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止バスシステム、ANSD 2) 原子炉停止バスシステム、ANSD 3) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 4) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 5) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 6) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 7) 高温炉上の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止バスシステム、ANSD 2) 原子炉停止バスシステム、ANSD 3) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 4) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 5) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 6) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 </td> </tr> <tr> <td>RI 2-01</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td> 高温炉上の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止バスシステム、ANSD 2) 原子炉停止バスシステム、ANSD 3) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 4) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 5) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 6) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 7) 高温炉上の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止バスシステム、ANSD 2) 原子炉停止バスシステム、ANSD 3) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 4) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 5) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 6) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 </td> </tr> <tr> <td>RI 3-02</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td> 高温炉上の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止バスシステム、ANSD 2) 原子炉停止バスシステム、ANSD 3) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 4) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 5) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 6) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 7) 高温炉上の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止バスシステム、ANSD 2) 原子炉停止バスシステム、ANSD 3) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 4) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 5) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 6) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 </td> </tr> </tbody> </table>		火災区画 番号	安全 確保	原子炉 停止	工学的 健全 確保	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	評価結果		補助 停止	保護 停止	RI 2-01	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高温炉上の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止バスシステム、ANSD 2) 原子炉停止バスシステム、ANSD 3) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 4) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 5) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 6) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 7) 高温炉上の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止バスシステム、ANSD 2) 原子炉停止バスシステム、ANSD 3) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 4) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 5) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 6) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能	RI 2-01	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高温炉上の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止バスシステム、ANSD 2) 原子炉停止バスシステム、ANSD 3) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 4) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 5) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 6) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 7) 高温炉上の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止バスシステム、ANSD 2) 原子炉停止バスシステム、ANSD 3) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 4) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 5) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 6) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能	RI 3-02	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高温炉上の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止バスシステム、ANSD 2) 原子炉停止バスシステム、ANSD 3) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 4) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 5) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 6) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 7) 高温炉上の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止バスシステム、ANSD 2) 原子炉停止バスシステム、ANSD 3) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 4) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 5) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 6) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能	<p>【女川】</p> <p>■システムの相違</p> <p>炉型の違いによるシステムの相違及び記載表現の相違</p>	
		火災区画 番号	安全 確保												原子炉 停止	工学的 健全 確保	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	評価結果																																																																																													
補助 停止	保護 停止																																																																																																																				
CI-C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高温炉上の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止バスシステム 2) 原子炉停止バスシステム 3) 原子炉停止バスシステム 4) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 5) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 6) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 7) 高温炉上の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止バスシステム 2) 原子炉停止バスシステム 3) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 4) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 5) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 6) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能																																																																																																									
CI-D	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高温炉上の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止バスシステム 2) 原子炉停止バスシステム 3) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 4) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 5) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 6) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能																																																																																																									
火災区画 番号	安全 確保	原子炉 停止	工学的 健全 確保	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	炉内用 安全 設備	評価結果																																																																																																						
															補助 停止	保護 停止																																																																																																					
RI 2-01	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高温炉上の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止バスシステム、ANSD 2) 原子炉停止バスシステム、ANSD 3) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 4) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 5) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 6) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 7) 高温炉上の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止バスシステム、ANSD 2) 原子炉停止バスシステム、ANSD 3) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 4) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 5) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 6) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能																																																																																																						
RI 2-01	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高温炉上の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止バスシステム、ANSD 2) 原子炉停止バスシステム、ANSD 3) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 4) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 5) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 6) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 7) 高温炉上の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止バスシステム、ANSD 2) 原子炉停止バスシステム、ANSD 3) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 4) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 5) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 6) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能																																																																																																						
RI 3-02	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高温炉上の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止バスシステム、ANSD 2) 原子炉停止バスシステム、ANSD 3) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 4) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 5) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 6) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 7) 高温炉上の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止バスシステム、ANSD 2) 原子炉停止バスシステム、ANSD 3) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 4) 非常用交流電源：保護電源(1)～(4) 5) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能 6) 補助停止系、補助設備：上記設備に関する機器の部品及び補助設備を確保可能																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉										女川原子力発電所2号炉										泊発電所3号炉										相違理由										
女川原子力発電所2号炉、火災区画内の火災影響評価結果																																								
火災区画 番号	安全 保護系	原子炉 停止系	原子炉 停止系 解除	工学的 安全 施設	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系			
C2-A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
C2-C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
泊発電所3号炉、火災区画内の火災影響評価結果																																								
火災区画 番号	安全 保護系	原子炉 停止系	原子炉 停止系 解除	工学的 安全 施設	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系	保安 監視 監視系		
K2-B-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
K2-B-2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<p>【女川】</p> <p>■系統の相違</p> <p>炉型の違いによる系統の相違及び記載表現の相違</p>																																								

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表 r.4.0

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 添付資料6 火災区画内の火災影響評価結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉										泊発電所3号炉										相違理由																																																																																															
		<p>女川原子力発電所2号炉 火災区画内の火災影響評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">火災区画番号</th> <th rowspan="2">安全保護系</th> <th rowspan="2">原子炉停止系</th> <th rowspan="2">工学的安全施設</th> <th rowspan="2">非常用交流電源系</th> <th rowspan="2">直流電源系</th> <th rowspan="2">事故時監視評価器</th> <th rowspan="2">残留熱除去系</th> <th rowspan="2">最終ヒーティングへ熱を輸送する系統</th> <th rowspan="2">補助設備</th> <th colspan="2">低減停止</th> <th rowspan="2">詳細結果</th> </tr> <tr> <th>高温停止</th> <th>低温停止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C-4-7</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>原子炉の安全停止に必要な機器等を設置していない区画であり、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーニングアウト</td> </tr> <tr> <td>Y1-A</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>高温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止系：スクラム 2) 原子炉過圧防止：SRV 3) 炉心冷却：RPCS、ADS(B)とPCI(B)or(C)の組合せ等1 4) 非常用交流電源：DC(B)OPCS 5) 直流電源系：直流電源(H)(III) 6) 補助冷却系、補助設備：上記感測系に関わる補助冷却系及び補助設備を確保可能 低温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉減圧：RIS(B) 2) 炉内熱除去：RHR(B) 3) 非常用交流電源：DC(GE) 4) 直流電源系：直流電源(H) 5) 補助冷却系、補助設備：上記感測系に関わる補助冷却系及び補助設備を確保可能</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画番号	安全保護系	原子炉停止系	工学的安全施設	非常用交流電源系	直流電源系	事故時監視評価器	残留熱除去系	最終ヒーティングへ熱を輸送する系統	補助設備	低減停止		詳細結果	高温停止	低温停止	C-4-7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉の安全停止に必要な機器等を設置していない区画であり、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーニングアウト	Y1-A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止系：スクラム 2) 原子炉過圧防止：SRV 3) 炉心冷却：RPCS、ADS(B)とPCI(B)or(C)の組合せ等1 4) 非常用交流電源：DC(B)OPCS 5) 直流電源系：直流電源(H)(III) 6) 補助冷却系、補助設備：上記感測系に関わる補助冷却系及び補助設備を確保可能 低温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉減圧：RIS(B) 2) 炉内熱除去：RHR(B) 3) 非常用交流電源：DC(GE) 4) 直流電源系：直流電源(H) 5) 補助冷却系、補助設備：上記感測系に関わる補助冷却系及び補助設備を確保可能	<p>泊発電所3号炉 火災区画内の火災影響評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">火災区画番号</th> <th rowspan="2">安全保護系</th> <th rowspan="2">原子炉停止系</th> <th rowspan="2">工学的安全施設</th> <th rowspan="2">非常用交流電源系</th> <th rowspan="2">直流電源系</th> <th rowspan="2">事故時監視評価器</th> <th rowspan="2">残留熱除去系</th> <th rowspan="2">最終ヒーティングへ熱を輸送する系統</th> <th rowspan="2">補助設備</th> <th colspan="2">低減停止</th> <th rowspan="2">詳細結果</th> </tr> <tr> <th>高温停止</th> <th>低温停止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8B 2-10</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>設備停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止系：スクラム、RCS(B) 2) 原子炉過圧防止：加圧静安全弁 3) 炉心冷却：RPCS、ADS(B)とPCI(B)or(C)の組合せ等 4) 非常用交流電源：DC(B) 5) 直流電源系：直流電源(H) 6) 補助冷却系、補助設備：上記感測系に関わる補助冷却系及び補助設備を確保可能 設備停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 炉内熱除去：RHR(B)、RHR(M)、RHR(W)、上蒸気発生し弁等 2) 非常用交流電源：DC(GE) 3) 非常用交流電源：DC(B) 4) 直流電源系：直流電源(H) 5) 補助冷却系、補助設備：上記感測系に関わる補助冷却系及び補助設備を確保可能</td> </tr> <tr> <td>8B 2-11</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>設備停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止系：スクラム、RCS(A) 2) 原子炉過圧防止：加圧静安全弁 3) 炉心冷却：RPCS、ADS(B)とPCI(B)or(C)の組合せ等 4) 非常用交流電源：DC(B)OPCS 5) 直流電源系：直流電源(H) 6) 補助冷却系、補助設備：上記感測系に関わる補助冷却系及び補助設備を確保可能 設備停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 炉内熱除去：RHR(A)、RHR(M)、上蒸気発生し弁等 2) 非常用交流電源：DC(GE) 3) 非常用交流電源：DC(B) 4) 直流電源系：直流電源(H) 5) 補助冷却系、補助設備：上記感測系に関わる補助冷却系及び補助設備を確保可能</td> </tr> <tr> <td>8B 2-14-1</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>設備停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止系：スクラム、RCS(A) 2) 原子炉過圧防止：加圧静安全弁 3) 炉心冷却：RPCS、ADS(B)とPCI(B)or(C)の組合せ等 4) 非常用交流電源：DC(B)OPCS 5) 直流電源系：直流電源(H) 6) 補助冷却系、補助設備：上記感測系に関わる補助冷却系及び補助設備を確保可能 設備停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 炉内熱除去：RHR(A)、RHR(M)、上蒸気発生し弁等 2) 非常用交流電源：DC(GE) 3) 非常用交流電源：DC(B) 4) 直流電源系：直流電源(H) 5) 補助冷却系、補助設備：上記感測系に関わる補助冷却系及び補助設備を確保可能</td> </tr> </tbody> </table>										火災区画番号	安全保護系	原子炉停止系	工学的安全施設	非常用交流電源系	直流電源系	事故時監視評価器	残留熱除去系	最終ヒーティングへ熱を輸送する系統	補助設備	低減停止		詳細結果	高温停止	低温停止	8B 2-10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	設備停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止系：スクラム、RCS(B) 2) 原子炉過圧防止：加圧静安全弁 3) 炉心冷却：RPCS、ADS(B)とPCI(B)or(C)の組合せ等 4) 非常用交流電源：DC(B) 5) 直流電源系：直流電源(H) 6) 補助冷却系、補助設備：上記感測系に関わる補助冷却系及び補助設備を確保可能 設備停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 炉内熱除去：RHR(B)、RHR(M)、RHR(W)、上蒸気発生し弁等 2) 非常用交流電源：DC(GE) 3) 非常用交流電源：DC(B) 4) 直流電源系：直流電源(H) 5) 補助冷却系、補助設備：上記感測系に関わる補助冷却系及び補助設備を確保可能	8B 2-11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	設備停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止系：スクラム、RCS(A) 2) 原子炉過圧防止：加圧静安全弁 3) 炉心冷却：RPCS、ADS(B)とPCI(B)or(C)の組合せ等 4) 非常用交流電源：DC(B)OPCS 5) 直流電源系：直流電源(H) 6) 補助冷却系、補助設備：上記感測系に関わる補助冷却系及び補助設備を確保可能 設備停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 炉内熱除去：RHR(A)、RHR(M)、上蒸気発生し弁等 2) 非常用交流電源：DC(GE) 3) 非常用交流電源：DC(B) 4) 直流電源系：直流電源(H) 5) 補助冷却系、補助設備：上記感測系に関わる補助冷却系及び補助設備を確保可能	8B 2-14-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	設備停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止系：スクラム、RCS(A) 2) 原子炉過圧防止：加圧静安全弁 3) 炉心冷却：RPCS、ADS(B)とPCI(B)or(C)の組合せ等 4) 非常用交流電源：DC(B)OPCS 5) 直流電源系：直流電源(H) 6) 補助冷却系、補助設備：上記感測系に関わる補助冷却系及び補助設備を確保可能 設備停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 炉内熱除去：RHR(A)、RHR(M)、上蒸気発生し弁等 2) 非常用交流電源：DC(GE) 3) 非常用交流電源：DC(B) 4) 直流電源系：直流電源(H) 5) 補助冷却系、補助設備：上記感測系に関わる補助冷却系及び補助設備を確保可能	<p>【女川】</p> <p>■系統の相違</p> <p>炉型の違いによる系統の相違及び記載表現の相違</p>
火災区画番号	安全保護系	原子炉停止系	工学的安全施設	非常用交流電源系	直流電源系	事故時監視評価器	残留熱除去系	最終ヒーティングへ熱を輸送する系統	補助設備	低減停止												詳細結果																																																																																															
										高温停止	低温停止																																																																																																										
C-4-7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉の安全停止に必要な機器等を設置していない区画であり、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーニングアウト																																																																																																									
Y1-A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止系：スクラム 2) 原子炉過圧防止：SRV 3) 炉心冷却：RPCS、ADS(B)とPCI(B)or(C)の組合せ等1 4) 非常用交流電源：DC(B)OPCS 5) 直流電源系：直流電源(H)(III) 6) 補助冷却系、補助設備：上記感測系に関わる補助冷却系及び補助設備を確保可能 低温停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉減圧：RIS(B) 2) 炉内熱除去：RHR(B) 3) 非常用交流電源：DC(GE) 4) 直流電源系：直流電源(H) 5) 補助冷却系、補助設備：上記感測系に関わる補助冷却系及び補助設備を確保可能																																																																																																									
火災区画番号	安全保護系	原子炉停止系	工学的安全施設	非常用交流電源系	直流電源系	事故時監視評価器	残留熱除去系	最終ヒーティングへ熱を輸送する系統	補助設備	低減停止		詳細結果																																																																																																									
										高温停止	低温停止																																																																																																										
8B 2-10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	設備停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止系：スクラム、RCS(B) 2) 原子炉過圧防止：加圧静安全弁 3) 炉心冷却：RPCS、ADS(B)とPCI(B)or(C)の組合せ等 4) 非常用交流電源：DC(B) 5) 直流電源系：直流電源(H) 6) 補助冷却系、補助設備：上記感測系に関わる補助冷却系及び補助設備を確保可能 設備停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 炉内熱除去：RHR(B)、RHR(M)、RHR(W)、上蒸気発生し弁等 2) 非常用交流電源：DC(GE) 3) 非常用交流電源：DC(B) 4) 直流電源系：直流電源(H) 5) 補助冷却系、補助設備：上記感測系に関わる補助冷却系及び補助設備を確保可能																																																																																																									
8B 2-11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	設備停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止系：スクラム、RCS(A) 2) 原子炉過圧防止：加圧静安全弁 3) 炉心冷却：RPCS、ADS(B)とPCI(B)or(C)の組合せ等 4) 非常用交流電源：DC(B)OPCS 5) 直流電源系：直流電源(H) 6) 補助冷却系、補助設備：上記感測系に関わる補助冷却系及び補助設備を確保可能 設備停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 炉内熱除去：RHR(A)、RHR(M)、上蒸気発生し弁等 2) 非常用交流電源：DC(GE) 3) 非常用交流電源：DC(B) 4) 直流電源系：直流電源(H) 5) 補助冷却系、補助設備：上記感測系に関わる補助冷却系及び補助設備を確保可能																																																																																																									
8B 2-14-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	設備停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 原子炉停止系：スクラム、RCS(A) 2) 原子炉過圧防止：加圧静安全弁 3) 炉心冷却：RPCS、ADS(B)とPCI(B)or(C)の組合せ等 4) 非常用交流電源：DC(B)OPCS 5) 直流電源系：直流電源(H) 6) 補助冷却系、補助設備：上記感測系に関わる補助冷却系及び補助設備を確保可能 設備停止の安全停止バスが以下のようであることを確認した。 1) 炉内熱除去：RHR(A)、RHR(M)、上蒸気発生し弁等 2) 非常用交流電源：DC(GE) 3) 非常用交流電源：DC(B) 4) 直流電源系：直流電源(H) 5) 補助冷却系、補助設備：上記感測系に関わる補助冷却系及び補助設備を確保可能																																																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉			女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由
火災区画 番号	安全 保護系	原子炉 停止系	工学的 保安 施設	制御系 監視 機能	保護系 監視 機能	事故時 監視 機能	特殊機 監視 機能	燃料ロー ドポンプ 監視 機能	補助 設備		機器停止		機器停止	機器停止	相違理由
									機器停止	機器停止	機器停止	機器停止			
女川原子力発電所2号炉 火災区画内の火災影響評価結果															
11-B	○	○	第1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>評価結果</p> <p>機器停止の安全停止メカニズムが以下のようであることを確認した。</p> <p>1)原子炉停止系：スクラム 2)原子炉補正停止：MTR 3)炉心冷却：RCL、ASD(1)とRCL(1)及びASD(1)の駆動系等 4)非常用交差電圧：BD(1) 5)非常用交差電圧：BD(2) 6)燃料供給系：補助設備：上記設備系に関する機器の相違及び補助設備を確保可能</p> <p>低減停止の安全停止メカニズムが以下のようであることを確認した。</p> <p>1)原子炉補正：ASD(1) 2)原子炉補正：ASD(2) 3)非常用交差電圧：BD(1) 4)非常用交差電圧：BD(2) 5)燃料供給系：補助設備：上記設備系に関する機器の相違及び補助設備を確保可能</p>
12-B	○	○	第1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>評価結果</p> <p>高減停止の安全停止メカニズムが以下のようであることを確認した。</p> <p>1)原子炉停止系：スクラム 2)原子炉補正停止：MTR 3)炉心冷却：RCL、ASD(1)とRCL(1)及びASD(1)の駆動系等 4)非常用交差電圧：BD(1) 5)非常用交差電圧：BD(2) 6)燃料供給系：補助設備：上記設備系に関する機器の相違及び補助設備を確保可能</p> <p>低減停止の安全停止メカニズムが以下のようであることを確認した。</p> <p>1)原子炉補正：ASD(1) 2)原子炉補正：ASD(2) 3)非常用交差電圧：BD(1) 4)非常用交差電圧：BD(2) 5)燃料供給系：補助設備：上記設備系に関する機器の相違及び補助設備を確保可能</p>
泊発電所3号炉 火災区画内の火災影響評価結果															
3-B 1-1-2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>評価結果</p> <p>高減停止の安全停止メカニズムが以下のようであることを確認した。</p> <p>1)原子炉停止系：スクラム、AVN、AVN(1)及びAVN(2)の駆動系等 2)炉心冷却：RCL、ASD(1)とRCL(1)及びASD(1)の駆動系等 3)非常用交差電圧：BD(1) 4)非常用交差電圧：BD(2) 5)燃料供給系：補助設備：上記設備系に関する機器の相違及び補助設備を確保可能</p> <p>低減停止の安全停止メカニズムが以下のようであることを確認した。</p> <p>1)原子炉補正：ASD(1) 2)原子炉補正：ASD(2) 3)非常用交差電圧：BD(1) 4)非常用交差電圧：BD(2) 5)燃料供給系：補助設備：上記設備系に関する機器の相違及び補助設備を確保可能</p>
3-B 4-01	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>評価結果</p> <p>高減停止の安全停止メカニズムが以下のようであることを確認した。</p> <p>1)原子炉停止系：スクラム、AVN、AVN(1)及びAVN(2)の駆動系等 2)炉心冷却：RCL、ASD(1)とRCL(1)及びASD(1)の駆動系等 3)非常用交差電圧：BD(1) 4)非常用交差電圧：BD(2) 5)燃料供給系：補助設備：上記設備系に関する機器の相違及び補助設備を確保可能</p> <p>低減停止の安全停止メカニズムが以下のようであることを確認した。</p> <p>1)原子炉補正：ASD(1) 2)原子炉補正：ASD(2) 3)非常用交差電圧：BD(1) 4)非常用交差電圧：BD(2) 5)燃料供給系：補助設備：上記設備系に関する機器の相違及び補助設備を確保可能</p>
3-B 4-02-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>評価結果</p> <p>高減停止の安全停止メカニズムが以下のようであることを確認した。</p> <p>1)原子炉停止系：スクラム、AVN、AVN(1)及びAVN(2)の駆動系等 2)炉心冷却：RCL、ASD(1)とRCL(1)及びASD(1)の駆動系等 3)非常用交差電圧：BD(1) 4)非常用交差電圧：BD(2) 5)燃料供給系：補助設備：上記設備系に関する機器の相違及び補助設備を確保可能</p> <p>低減停止の安全停止メカニズムが以下のようであることを確認した。</p> <p>1)原子炉補正：ASD(1) 2)原子炉補正：ASD(2) 3)非常用交差電圧：BD(1) 4)非常用交差電圧：BD(2) 5)燃料供給系：補助設備：上記設備系に関する機器の相違及び補助設備を確保可能</p>
3-B 4-02-2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>評価結果</p> <p>高減停止の安全停止メカニズムが以下のようであることを確認した。</p> <p>1)原子炉停止系：スクラム、AVN、AVN(1)及びAVN(2)の駆動系等 2)炉心冷却：RCL、ASD(1)とRCL(1)及びASD(1)の駆動系等 3)非常用交差電圧：BD(1) 4)非常用交差電圧：BD(2) 5)燃料供給系：補助設備：上記設備系に関する機器の相違及び補助設備を確保可能</p> <p>低減停止の安全停止メカニズムが以下のようであることを確認した。</p> <p>1)原子炉補正：ASD(1) 2)原子炉補正：ASD(2) 3)非常用交差電圧：BD(1) 4)非常用交差電圧：BD(2) 5)燃料供給系：補助設備：上記設備系に関する機器の相違及び補助設備を確保可能</p>
3-B 4-02-3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>評価結果</p> <p>高減停止の安全停止メカニズムが以下のようであることを確認した。</p> <p>1)原子炉停止系：スクラム、AVN、AVN(1)及びAVN(2)の駆動系等 2)炉心冷却：RCL、ASD(1)とRCL(1)及びASD(1)の駆動系等 3)非常用交差電圧：BD(1) 4)非常用交差電圧：BD(2) 5)燃料供給系：補助設備：上記設備系に関する機器の相違及び補助設備を確保可能</p> <p>低減停止の安全停止メカニズムが以下のようであることを確認した。</p> <p>1)原子炉補正：ASD(1) 2)原子炉補正：ASD(2) 3)非常用交差電圧：BD(1) 4)非常用交差電圧：BD(2) 5)燃料供給系：補助設備：上記設備系に関する機器の相違及び補助設備を確保可能</p>
3-B 4-02-4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>評価結果</p> <p>高減停止の安全停止メカニズムが以下のようであることを確認した。</p> <p>1)原子炉停止系：スクラム、AVN、AVN(1)及びAVN(2)の駆動系等 2)炉心冷却：RCL、ASD(1)とRCL(1)及びASD(1)の駆動系等 3)非常用交差電圧：BD(1) 4)非常用交差電圧：BD(2) 5)燃料供給系：補助設備：上記設備系に関する機器の相違及び補助設備を確保可能</p> <p>低減停止の安全停止メカニズムが以下のようであることを確認した。</p> <p>1)原子炉補正：ASD(1) 2)原子炉補正：ASD(2) 3)非常用交差電圧：BD(1) 4)非常用交差電圧：BD(2) 5)燃料供給系：補助設備：上記設備系に関する機器の相違及び補助設備を確保可能</p>
3-B 4-02-5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>評価結果</p> <p>高減停止の安全停止メカニズムが以下のようであることを確認した。</p> <p>1)原子炉停止系：スクラム、AVN、AVN(1)及びAVN(2)の駆動系等 2)炉心冷却：RCL、ASD(1)とRCL(1)及びASD(1)の駆動系等 3)非常用交差電圧：BD(1) 4)非常用交差電圧：BD(2) 5)燃料供給系：補助設備：上記設備系に関する機器の相違及び補助設備を確保可能</p> <p>低減停止の安全停止メカニズムが以下のようであることを確認した。</p> <p>1)原子炉補正：ASD(1) 2)原子炉補正：ASD(2) 3)非常用交差電圧：BD(1) 4)非常用交差電圧：BD(2) 5)燃料供給系：補助設備：上記設備系に関する機器の相違及び補助設備を確保可能</p>
【女川】 ■系統の相違 炉型の違いによる系統の相違及び記載表現の相違															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由							
大飯区画 番号	安全 措置	原子炉 停止	工学的 安全 施設	非常用 交直流 電源系	非常用 電源系 制御系	緊急停 機装置 制御系	高圧機 組立系	熱交換 機系	燃料サー ベント システム	補助 設備	低減 停止	低減 停止	評価結果 補綴事項
											高減 停止	高減 停止	
大飯区画 番号	安全 措置	原子炉 停止	工学的 安全 施設	非常用 交直流 電源系	非常用 電源系 制御系	緊急停 機装置 制御系	高圧機 組立系	熱交換 機系	燃料サー ベント システム	補助 設備	高減 停止	高減 停止	評価結果 補綴事項
											高減 停止	高減 停止	
大飯区画 番号	安全 措置	原子炉 停止	工学的 安全 施設	非常用 交直流 電源系	非常用 電源系 制御系	緊急停 機装置 制御系	高圧機 組立系	熱交換 機系	燃料サー ベント システム	補助 設備	高減 停止	高減 停止	評価結果 補綴事項
											高減 停止	高減 停止	

女川原子力発電所2号炉 火災区画内の火災影響評価結果

大飯区画 番号	安全 措置	原子炉 停止	工学的 安全 施設	非常用 交直流 電源系	非常用 電源系 制御系	緊急停 機装置 制御系	高圧機 組立系	熱交換 機系	燃料サー ベント システム	補助 設備	高減 停止	高減 停止	評価結果 補綴事項
											高減 停止	高減 停止	
大飯区画 番号	安全 措置	原子炉 停止	工学的 安全 施設	非常用 交直流 電源系	非常用 電源系 制御系	緊急停 機装置 制御系	高圧機 組立系	熱交換 機系	燃料サー ベント システム	補助 設備	高減 停止	高減 停止	評価結果 補綴事項
											高減 停止	高減 停止	

泊発電所3号炉 火災区画内の火災影響評価結果

大飯区画 番号	安全 措置	原子炉 停止	工学的 安全 施設	非常用 交直流 電源系	非常用 電源系 制御系	緊急停 機装置 制御系	高圧機 組立系	熱交換 機系	燃料サー ベント システム	補助 設備	高減 停止	高減 停止	評価結果 補綴事項
											高減 停止	高減 停止	
大飯区画 番号	安全 措置	原子炉 停止	工学的 安全 施設	非常用 交直流 電源系	非常用 電源系 制御系	緊急停 機装置 制御系	高圧機 組立系	熱交換 機系	燃料サー ベント システム	補助 設備	高減 停止	高減 停止	評価結果 補綴事項
											高減 停止	高減 停止	

【女川】
 ■系統の相違
 炉型の違いによる系統
 の相違及び記載表現の
 相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																											
<p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉 火災区画内の火災影響評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">火災区画番号</th> <th rowspan="2">安全保護系</th> <th rowspan="2">原子炉停止系</th> <th rowspan="2">工学的安全施設</th> <th rowspan="2">非常用交連電線系</th> <th rowspan="2">直流電線系</th> <th rowspan="2">事故時監視評価</th> <th rowspan="2">残留熱除去系</th> <th rowspan="2">最終ヒーティングへ熱を輸送する系統</th> <th rowspan="2">補助設備</th> <th colspan="2">評価結果</th> <th rowspan="2">確認事項</th> </tr> <tr> <th>高圧停止</th> <th>低圧停止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>YS-A</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>原子炉の安全停止に必要な機器等を設置していない区画であり、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト</td> </tr> <tr> <td>Y-1-5</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>原子炉の安全停止に必要な機器等を設置していない区画であり、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト</td> </tr> <tr> <td>Y-7-7</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>原子炉の安全停止に必要な機器等を設置していない区画であり、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト</td> </tr> </tbody> </table>		火災区画番号	安全保護系	原子炉停止系	工学的安全施設	非常用交連電線系	直流電線系	事故時監視評価	残留熱除去系	最終ヒーティングへ熱を輸送する系統	補助設備	評価結果		確認事項	高圧停止	低圧停止	YS-A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉の安全停止に必要な機器等を設置していない区画であり、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト	Y-1-5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉の安全停止に必要な機器等を設置していない区画であり、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト	Y-7-7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉の安全停止に必要な機器等を設置していない区画であり、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト	<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 火災区画内の火災影響評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">火災区画番号</th> <th rowspan="2">安全保護系</th> <th rowspan="2">原子炉停止系</th> <th rowspan="2">工学的安全施設</th> <th rowspan="2">非常用交連電線系</th> <th rowspan="2">直流電線系</th> <th rowspan="2">事故時監視評価</th> <th rowspan="2">残留熱除去系</th> <th rowspan="2">最終ヒーティングへ熱を輸送する系統</th> <th rowspan="2">補助設備</th> <th rowspan="2">高圧停止</th> <th rowspan="2">低圧停止</th> <th rowspan="2">評価結果</th> <th rowspan="2">確認事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>YS-A-01</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト</td> </tr> <tr> <td>YS-A-03</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト</td> </tr> <tr> <td>YS-A-02</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト</td> </tr> <tr> <td>YS-T-10</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト</td> </tr> <tr> <td>YS-T-09</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト</td> </tr> <tr> <td>YS-T-10</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト</td> </tr> <tr> <td>YS-T-04</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト</td> </tr> <tr> <td>YS-B-03</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト</td> </tr> <tr> <td>YS-B-02</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト</td> </tr> <tr> <td>YS-B</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト</td> </tr> <tr> <td>YS-C</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト</td> </tr> <tr> <td>YS-F</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト</td> </tr> </tbody> </table>	火災区画番号	安全保護系	原子炉停止系	工学的安全施設	非常用交連電線系	直流電線系	事故時監視評価	残留熱除去系	最終ヒーティングへ熱を輸送する系統	補助設備	高圧停止	低圧停止	評価結果	確認事項	YS-A-01	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト	YS-A-03	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト	YS-A-02	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト	YS-T-10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト	YS-T-09	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト	YS-T-10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト	YS-T-04	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト	YS-B-03	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト	YS-B-02	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト	YS-B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト	YS-C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト	YS-F	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト	<p>【女川】</p> <p>■システムの相違</p> <p>炉型の違いによるシステムの相違及び記載表現の相違</p>
火災区画番号	安全保護系											原子炉停止系	工学的安全施設		非常用交連電線系	直流電線系	事故時監視評価	残留熱除去系	最終ヒーティングへ熱を輸送する系統	補助設備	評価結果		確認事項																																																																																																																																																																																																																							
		高圧停止	低圧停止																																																																																																																																																																																																																																											
YS-A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉の安全停止に必要な機器等を設置していない区画であり、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト																																																																																																																																																																																																																																		
Y-1-5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉の安全停止に必要な機器等を設置していない区画であり、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト																																																																																																																																																																																																																																		
Y-7-7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉の安全停止に必要な機器等を設置していない区画であり、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト																																																																																																																																																																																																																																		
火災区画番号	安全保護系	原子炉停止系	工学的安全施設	非常用交連電線系	直流電線系	事故時監視評価	残留熱除去系	最終ヒーティングへ熱を輸送する系統	補助設備	高圧停止	低圧停止	評価結果	確認事項																																																																																																																																																																																																																																	
														YS-A-01	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト																																																																																																																																																																																																																				
YS-A-03	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト																																																																																																																																																																																																																																	
YS-A-02	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト																																																																																																																																																																																																																																	
YS-T-10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト																																																																																																																																																																																																																																	
YS-T-09	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト																																																																																																																																																																																																																																	
YS-T-10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト																																																																																																																																																																																																																																	
YS-T-04	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト																																																																																																																																																																																																																																	
YS-B-03	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト																																																																																																																																																																																																																																	
YS-B-02	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト																																																																																																																																																																																																																																	
YS-B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト																																																																																																																																																																																																																																	
YS-C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト																																																																																																																																																																																																																																	
YS-F	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災区画内の機器等が、火災による影響を受けるおそれがあること、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーンアウト																																																																																																																																																																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																			
		<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉 火災区画内の火災影響評価結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">火災区画</th> <th rowspan="2">安全 保護系</th> <th rowspan="2">原子炉 停止系</th> <th rowspan="2">工学的 安全 施設</th> <th rowspan="2">非常用 交流 電源系</th> <th rowspan="2">直流 電源系</th> <th rowspan="2">事故時 監視 計器</th> <th rowspan="2">余熱 除去系</th> <th rowspan="2">最終レ ンク へ熱を輸 送する系</th> <th rowspan="2">補助 設備</th> <th colspan="2">評価結果</th> <th rowspan="2">確認事項</th> </tr> <tr> <th>高温 停止</th> <th>低温 停止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R/B-G</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>火災防護対象機器及び火災防護対象ケーブルを設置していない区画であり、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーニングアウト</td> </tr> <tr> <td>R/B-M</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>火災防護対象機器及び火災防護対象ケーブルを設置していない区画であり、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーニングアウト</td> </tr> <tr> <td>R/B-R</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>火災防護対象機器及び火災防護対象ケーブルを設置していない区画であり、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーニングアウト</td> </tr> <tr> <td>R/B-S</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td> 高温停止の安全停止バスが以下のようにあることを確認した。 1) 原子炉停止系：スクラム、DVS(D) 2) 原子炉電圧停止：加圧器安全弁 3) 非常用交流電源：DC(D) 4) 非常用交流電源：DC(D) 5) 高圧電源系：直流電源(D) 6) 補機冷却系、補助設備：上記設備和系に置ける補機冷却系及び補助設備を確保可能 低温停止の安全停止バスが以下のようにあることを確認した。 1) 炉熱除去：RHMS(B)、MPS(B)、主蒸気凝がし弁(B) 2) 非常用交流電源：DC(D) 3) 直流電源系：直流電源(D) 4) 補機冷却系、補助設備：上記設備和系に置ける補機冷却系及び補助設備を確保可能 </td> </tr> </tbody> </table>	火災区画	安全 保護系	原子炉 停止系	工学的 安全 施設	非常用 交流 電源系	直流 電源系	事故時 監視 計器	余熱 除去系	最終レ ンク へ熱を輸 送する系	補助 設備	評価結果		確認事項	高温 停止	低温 停止	R/B-G	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災防護対象機器及び火災防護対象ケーブルを設置していない区画であり、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーニングアウト	R/B-M	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災防護対象機器及び火災防護対象ケーブルを設置していない区画であり、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーニングアウト	R/B-R	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災防護対象機器及び火災防護対象ケーブルを設置していない区画であり、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーニングアウト	R/B-S	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高温停止の安全停止バスが以下のようにあることを確認した。 1) 原子炉停止系：スクラム、DVS(D) 2) 原子炉電圧停止：加圧器安全弁 3) 非常用交流電源：DC(D) 4) 非常用交流電源：DC(D) 5) 高圧電源系：直流電源(D) 6) 補機冷却系、補助設備：上記設備和系に置ける補機冷却系及び補助設備を確保可能 低温停止の安全停止バスが以下のようにあることを確認した。 1) 炉熱除去：RHMS(B)、MPS(B)、主蒸気凝がし弁(B) 2) 非常用交流電源：DC(D) 3) 直流電源系：直流電源(D) 4) 補機冷却系、補助設備：上記設備和系に置ける補機冷却系及び補助設備を確保可能	<p>【女川】</p> <p>■系統の相違</p> <p>炉型の違いによる系統の相違及び記載表現の相違</p>
火災区画	安全 保護系	原子炉 停止系											工学的 安全 施設	非常用 交流 電源系		直流 電源系	事故時 監視 計器	余熱 除去系	最終レ ンク へ熱を輸 送する系	補助 設備	評価結果		確認事項																																															
			高温 停止	低温 停止																																																																		
R/B-G	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災防護対象機器及び火災防護対象ケーブルを設置していない区画であり、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーニングアウト																																																										
R/B-M	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災防護対象機器及び火災防護対象ケーブルを設置していない区画であり、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーニングアウト																																																										
R/B-R	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	火災防護対象機器及び火災防護対象ケーブルを設置していない区画であり、火災による影響を考慮しても安全停止バスが確保されることからスクリーニングアウト																																																										
R/B-S	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高温停止の安全停止バスが以下のようにあることを確認した。 1) 原子炉停止系：スクラム、DVS(D) 2) 原子炉電圧停止：加圧器安全弁 3) 非常用交流電源：DC(D) 4) 非常用交流電源：DC(D) 5) 高圧電源系：直流電源(D) 6) 補機冷却系、補助設備：上記設備和系に置ける補機冷却系及び補助設備を確保可能 低温停止の安全停止バスが以下のようにあることを確認した。 1) 炉熱除去：RHMS(B)、MPS(B)、主蒸気凝がし弁(B) 2) 非常用交流電源：DC(D) 3) 直流電源系：直流電源(D) 4) 補機冷却系、補助設備：上記設備和系に置ける補機冷却系及び補助設備を確保可能																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">参考資料1</p> <p style="text-align: center;">女川原子力発電所 2号炉における 内部火災により想定される事象の確認結果</p> <p style="text-align: center;">内部火災により想定される事象の確認結果</p> <p>女川2号炉では、内部火災の影響軽減対策として、原子炉の安全停止を達成し、維持するために必要な系統は、内部火災によって同時に機能が喪失しないように系統分離等の対策を講じており、安全停止パスを確保することとしている。</p> <p>その上で内部火災により原子炉に外乱が及ぶ場合について重畳事象も含め、どのような事象が起こる可能性があるかを分析し、発生する事象に対して単一故障を想定した場合においても収束が可能であるか、また、安全停止が可能であるかについて解析的に確認を行った。</p> <p style="text-align: center;">以下に、事象の抽出プロセス、解析前提条件及び解析結果を示す。</p> <p>1. 想定される事象の抽出及び評価プロセス (1) 評価前提 次の事項を前提とし、評価を行うこととする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部火災発生時において原子炉の安全停止に必要な機能は、内部火災が発生した場合においても維持される。 ・原子炉建屋又はタービン建屋において内部火災の発生を想定した場合、原子炉の安全停止に必要な機器は、その機能が維持されることを確認していることから、これ以外の機器は全て機能喪失すると仮定する。 	<p style="text-align: center;">参考資料1</p> <p style="text-align: center;">泊発電所 3号炉における 内部火災により想定される事象の確認結果</p> <p style="text-align: center;">泊発電所3号炉における 内部火災により想定される事象の確認結果</p> <p>泊発電所3号炉では、内部火災の影響軽減対策として、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するために必要な系統は、内部火災によって同時に機能が喪失しないように系統分離等の対策を講じており、安全停止パスを確保することとしている。</p> <p>その上で内部火災により原子炉に外乱が及ぶ場合について重畳事象も含め、どのような事象が起こる可能性があるかを分析し、発生する事象に対して単一故障を想定した場合においても収束が可能であるか、また、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持することが可能であるかについて解析的に確認を行った。</p> <p style="text-align: center;">以下に、事象の抽出プロセス、解析前提条件及び解析結果を示す。</p> <p>1. 想定される事象の評価プロセス (1) 評価前提 次の事項を前提とし、評価を行うこととする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部火災発生時において原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するために必要な機能は、内部火災が発生した場合においても維持される。 ・原子炉建屋及び原子炉補助建屋（以下「1次系建屋」という）又はタービン建屋（以下「2次系建屋」という）において内部火災の発生を想定した場合、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するために必要な機器は、その機能が維持されることを確認していることから、これ以外の機器は全て機能喪失すると仮定する。 	<p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 (女川実績の反映) 【女川】 ■設備名称の相違 <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載表現の相違 <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設備名称の相違 【女川】 記載表現の相違 <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載表現の相違 <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載表現の相違 <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設計の相違 建屋設計の相違 【女川】 ■記載方針の相違 泊は建屋名称の読み替えを行う。 【女川】 ■記載表現の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>・原子炉建屋又はタービン建屋において発生した内部火災は、当該の建屋以外に影響を及ぼさない。</p> <p>・中央制御室における火災については、火災検知器による早期検知、消火設備による初期消火、並びに運転員操作によるプラント停止が期待でき、火災の影響は1区分内に限定されるため、中央制御室が位置する制御建屋については、検討対象外とする。*</p> <p>※中央制御室において発生した火災については、早期検知、消火が可能であり、過渡事象が発生するような状況まで事象が進展することは考え難い。また、火災によりケーブル等が焼損すれば、電源断となりフェイル・セイフによりスクラムすることが考えられ、スクラムできない事象が発生することは考え難い。</p>	<p>・1次系建屋内において発生した内部火災は、1次系建屋間で影響を及ぼすが、2次系建屋には影響は及ぼさない。また、2次系建屋において発生した内部火災は、当該の建屋以外に影響は及ぼさない。</p> <p>・中央制御室における火災については、火災感知器による早期検知、消火設備による初期消火、及び運転員操作によるプラント停止が期待でき、火災の影響は1区分内に限定されるため、中央制御室については、検討対象外とする。*</p> <p>※中央制御室において発生した火災については、早期検知、消火が可能であり、過渡事象が発生するような状況まで事象が進展することは考え難い。また、火災によりケーブル等が焼損すれば、電源断となりフェイル・セイフにより原子炉トリップすることが考えられ、原子炉トリップできない事象が発生することは考え難い。</p>	<p>【女川】 ■設計の相違 泊は1次系建屋として2つの建屋があることから、各々の影響を与えるおそれがあるため、1次系建屋間で影響を及ぼすこととして評価する。</p> <p>【女川】 ■記載方針の相違 女川は、「原子炉建屋」と「タービン建屋」間で影響を及ぼさないこととしており、泊は「1次系建屋」と「2次系建屋」間で影響を及ぼさないこととした。</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違 【女川】 ■記載方針の相違 泊の中央制御室は評価対象である「原子炉補助建屋」内にあるため、中央制御室を対象外としている。</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違</p>

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表 r.4.0

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 参考資料1 泊発電所3号炉における内部火災により想定される事象の確認結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(2) 抽出プロセスの考え方</p> <p>内部火災に起因して様々な機器の故障や誤作動に伴う外乱の発生が想定され、また、いくつかの外乱が同時に発生することも考えられる。</p> <p>しかしながら、内部火災に対する原子炉の安全停止に必要な機器等以外の常用系等の設備に対しては、網羅的にそれらの配置を整理し、詳細に火災影響を分析する事が困難である事から、原子炉建屋及びタービン建屋で内部火災により発生すると考えられる外乱及び故障の抽出を行い、抽出された故障について厳しくなるものを代表事象として選定した。</p> <p>また、代表事象に対して、重畳することも勘案し分析を行った。なお、全ての起回事象の重畳の組み合わせを定量的に評価することは現実的ではないことから、事象の単独発生時の事象進展の特徴から、重畳した場合の事象進展を定性的に推定し、より厳しい評価結果となり得る組み合わせについて、収束が可能であるかについて解析的に確認を行った。</p> <p>以下に想定される事象の抽出プロセス並びに各ステップの手順を示す。(第1.1 図参照)</p> <p>【ステップ1】</p> <p>評価事象を網羅的に抽出するため、『発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針』(以下「安全評価審査指針」という。)の評価事象の選定方法に従い、原子炉に有意な影響を与える要因を抽出する。(第2.1 図参照)</p> <p>【ステップ2】</p> <p>原子炉に有意な影響を与える要因を誘発する故障を抽出する。(第2.1 図参照)</p>	<p>(2) 抽出プロセスの考え方</p> <p>内部火災に起因して様々な機器の故障や誤作動に伴う外乱の発生が想定され、また、いくつかの外乱が同時に発生することも考えられる。</p> <p>しかしながら、内部火災に対する原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するために必要な機器等以外の常用系等に対しては、網羅的にそれらの配置を整理し、詳細に火災影響を分析する事が困難である事から、1次系建屋及び2次系建屋で内部火災により発生すると考えられる外乱及び故障の抽出を行い、抽出された故障について厳しくなるものを代表事象として選定した。</p> <p>また、代表事象に対して、重畳することも勘案し分析を行った。なお、全ての起回事象の重畳の組合せを定量的に評価することは現実的ではないことから、事象の単独発生時の事象進展の特徴から、重畳した場合の事象進展を定性的に推定し、より厳しい評価結果となり得る組合せについて、収束が可能であるかについて解析的に確認を行った。</p> <p>以下に想定される事象の抽出プロセス及び各ステップの手順を示す。(第1-1 図参照)</p> <p>【ステップ1】</p> <p>評価事象を網羅的に抽出するため、「発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針」(以下「安全評価審査指針」という)の評価事象の選定方法に従い、原子炉に有意な影響を与える要因を抽出する。(第2-1図参照)</p> <p>【ステップ2】</p> <p>原子炉に有意な影響を与える要因を誘発する故障を抽出する。(第2-1 図参照)</p>	<p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>女川は、「原子炉建屋」と「タービン建屋」間で影響を及ぼさないこととしており、泊は「1次系建屋」と「2次系建屋」間で影響を及ぼさないこととした。</p> <p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 参考資料1 泊発電所3号炉における内部火災により想定される事象の確認結果）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>【ステップ3】</p> <p>ステップ2で抽出した故障が発生し得る内部火災区画を分析する。ここでは、保守的に原子炉建屋及びタービン建屋を一つの区画とみなした分析を行う。（第2.1図参照）</p> <p>【ステップ4】</p> <p>ステップ3で分析した結果を踏まえ、各建屋で発生する故障分析の結果から抽出された故障について、圧力上昇等の観点から事象進展が厳しくなるものを代表事象として特定する。（第2.1図参照）</p> <p>【ステップ5】</p> <p>各建屋で発生すると特定した代表事象の単独発生時の解析結果を踏まえ、事象の組み合わせごとに、重畳を考慮した場合にプラントに与える影響が厳しくなるか否かの分析を行い、解析の要否を整理する。（本文3項参照）</p> <p>【ステップ6】</p> <p>各建屋ごとに内部火災を想定した場合に動作を期待できる緩和系を確認する。（第4.2.1表参照）</p> <p>【ステップ7】</p> <p>安全評価審査指針に従い、原子炉停止機能、炉心冷却機能及び放射能閉じ込め機能に単一故障を想定する。（第5.2表参照）</p> <p>なお、ここでは、内部火災により火災影響を受ける設備*が機能喪失していることを前提に、火災影響を受けない火災区域にある設備に単一故障を更に重ねる。</p> <p>※：「資料10 女川原子力発電所2号炉における内部火災影響評価について」にて評価された設備の機能喪失が発生することを前提としている。</p>	<p>【ステップ3】</p> <p>ステップ2で抽出した故障が発生し得る内部火災区画を分析する。ここでは、常用系設備等の防護対象設備に該当しない設備は、設置された内部火災区画によらず、火災影響を受ける可能性があるとして仮定する。その際、1次系建屋及び2次系建屋の火災の影響は当該の建屋以外に影響が及ばないとする。（第2-1図参照）</p> <p>【ステップ4】</p> <p>ステップ3で分析した結果を踏まえ、各建屋で発生する故障分析の結果から抽出された故障について、圧力上昇等の観点から事象進展が厳しくなるものを代表事象として特定する。（第2-1図参照）</p> <p>【ステップ5】</p> <p>各建屋で発生すると特定した代表事象の単独発生時の解析結果を踏まえ、事象の組合せごとに、重畳を考慮した場合にプラントに与える影響が厳しくなるか否かの分析を行い、解析の要否を整理する。（本文3項参照）</p> <p>【ステップ6】</p> <p>各建屋ごとに内部火災を想定した場合に動作を期待できる緩和系を確認する。（第4表参照）</p> <p>【ステップ7】</p> <p>安全評価審査指針に従い、原子炉停止機能、炉心冷却機能及び放射能閉じ込め機能に単一故障を想定する。（第5-2表参照）</p> <p>なお、ここでは、内部火災により火災影響を受ける設備*が機能喪失していることを前提に、火災影響を受けない火災区域にある設備に単一故障を更に重ねる。</p> <p>※：「資料10 泊発電所3号炉における内部火災影響評価について」にて評価された設備の機能喪失が発生することを前提としている。</p>	<p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>女川は、「原子炉建屋」と「タービン建屋」間で影響を及ぼさないこととしており、泊は「1次系建屋」と「2次系建屋」間で影響を及ぼさないこととした。なお、1次系建屋として、原子炉建屋と原子炉補助建屋については、影響を及ぼすものとして評価している。</p> <p>【女川】</p> <p>■設備名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 参考資料1 泊発電所3号炉における内部火災により想定される事象の確認結果）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>【ステップ8】</p> <p>ステップ7までの分析結果等を踏まえ、抽出した事象の解析を実施し、プラントの安全停止が維持できるかについて確認する。（本文6項参照）</p> <div data-bbox="772 363 1243 1045"> <p>ステップ1 安全評価審査指針の評価事象の選定方法に従い、原子炉に有意な影響を与える主要な要因を抽出（第2.1図参照）</p> <p>ステップ2 主要な要因に対する故障を抽出（第2.1図参照）</p> <p>ステップ3 抽出された故障が各建屋において発生し得るかを分析（第2.1図参照）</p> <p>ステップ4 各建屋について、分析結果を踏まえ、圧力上昇等の観点から事象進展が厳しくなる代表事象を特定（第2.1図参照）</p> <p>ステップ5 代表事象の重畳を抽出（結果を厳しくする事象の組合せ）（本文3項参照）</p> <p>ステップ6 内部火災により動作を期待できる緩和系の確認（第4.2.1表参照）</p> <p>ステップ7 解析における機能喪失の仮定 単一故障の想定を割り当てる（第5.2表参照）</p> <p>ステップ8 解析実施（本文6項参照）</p> </div> <p>第1.1図 評価プロセス</p>	<p>【ステップ8】</p> <p>ステップ7までの分析結果等を踏まえ、抽出した事象の解析を実施し、抽出した事象の解析を実施し、プラントの高温停止及び低温停止を達成し、維持できるかについて確認する。（本文6項参照）</p> <div data-bbox="1400 331 1915 1045"> <p>ステップ1 安全評価審査指針の評価事象の選定方法に従い、原子炉に有意な影響を与える主要な要因を抽出（第2-1図参照）</p> <p>ステップ2 主要な要因に対する故障を抽出（第2-1図参照）</p> <p>ステップ3 抽出された故障が各建屋において発生し得るかを分析（第2-1図参照）</p> <p>ステップ4 各建屋について、分析結果を踏まえ、圧力上昇等の観点から事象進展が厳しくなる代表事象を特定（第2-1図参照）</p> <p>ステップ5 代表事象の重畳を抽出（結果を厳しくする事象の組合せ）（本文3.項参照）</p> <p>ステップ6 内部火災により動作を期待できる緩和系の確認（第4表参照）</p> <p>ステップ7 解析における機能喪失の仮定 単一故障の想定を割り当てる（第5-1表参照）</p> <p>ステップ8 解析実施</p> </div> <p>第1-1図：評価プロセス</p>	<p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
	<p>2. 火災により発生が想定される事象の抽出【ステップ1, 2, 3, 4】 安全評価審査指針の評価事象の選定方法に従い、原子炉に有意な影響を与える主要な要因及びその要因に対する故障の抽出結果を第2.1図に示す。また、同図において、抽出した故障が、原子炉建屋及びタービン建屋において発生し得るかを分析し、各建屋において抽出した代表事象を示す。</p> <p>第2.1図において抽出された、原子炉建屋及びタービン建屋における内部火災により発生する可能性のある代表事象を第2.1表に示す。</p> <div data-bbox="719 639 1317 1157" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">第2.1表 抽出された事象</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">抽出された事象</th> <th style="text-align: center;">R/B</th> <th style="text-align: center;">T/B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>原子炉冷却材系の停止ループの誤起動</td><td style="text-align: center;">○</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉冷却材流量の喪失</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○^{※1}</td></tr> <tr><td>原子炉冷却材流量制御系の誤作動</td><td style="text-align: center;">○</td><td></td></tr> <tr><td>給水流量の全喪失+タービントリップ</td><td style="text-align: center;">○</td><td></td></tr> <tr><td>主蒸気隔離弁の誤閉上</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>逃がし弁開放</td><td style="text-align: center;">○</td><td></td></tr> <tr><td>給水制御系の故障 (流量減少)</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○^{※2}</td></tr> <tr><td>給水制御系の故障^{※3} (流量増加)</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>HPCSの誤起動</td><td style="text-align: center;">○</td><td></td></tr> <tr><td>RCICの誤起動</td><td style="text-align: center;">○</td><td></td></tr> <tr><td>給水加熱喪失</td><td></td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>負荷の喪失</td><td></td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉圧力制御系の故障</td><td></td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>給水流量の全喪失</td><td></td><td style="text-align: center;">○</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 原子炉建屋では再循環ポンプ全台トリップ、タービン建屋では部分台数トリップを想定 ※2 タービン建屋ではより厳しい給水流量の全喪失を想定 ※3 原子炉給水制御系の誤信号等により、給水流量が増加する事象は、原子炉設置変更許可申請書に倣い、単に「給水制御系の故障」という。</p> </div>	抽出された事象	R/B	T/B	原子炉冷却材系の停止ループの誤起動	○		原子炉冷却材流量の喪失	○	○ ^{※1}	原子炉冷却材流量制御系の誤作動	○		給水流量の全喪失+タービントリップ	○		主蒸気隔離弁の誤閉上	○	○	逃がし弁開放	○		給水制御系の故障 (流量減少)	○	○ ^{※2}	給水制御系の故障 ^{※3} (流量増加)	○	○	HPCSの誤起動	○		RCICの誤起動	○		給水加熱喪失		○	負荷の喪失		○	原子炉圧力制御系の故障		○	給水流量の全喪失		○	<p>2. 火災により発生が想定される事象の抽出【ステップ1, 2, 3, 4】 安全評価審査指針の評価事象の選定方法に従い、原子炉に有意な影響を与える主要な要因及びその要因に対する故障の抽出結果を第2-1図に示す。また、同図において、抽出した故障が、1次系建屋及び2次系建屋において発生し得るかを分析し、各建屋において抽出した代表事象を示す。</p> <p>第2-1図において抽出された、1次系建屋及び2次系建屋における内部火災により発生する可能性のある代表事象を第2-1表に示す。</p> <div data-bbox="1346 667 1957 1126" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">第2-1表：抽出された事象</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">抽出された事象</th> <th style="text-align: center;">1次系建屋</th> <th style="text-align: center;">2次系建屋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>蒸気負荷の異常な増加</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉冷却材系の停止ループの誤起動</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">-</td></tr> <tr><td>蒸気発生器への過剰給水</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">-</td></tr> <tr><td>原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>出力運転中の制御棒の異常な引き抜き</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>制御棒の落下及び不整合</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>2次冷却系の異常な減圧</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>主給水流量喪失</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>外部電源喪失</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉冷却材流量の部分喪失</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">-</td></tr> <tr><td>原子炉冷却材流量の喪失</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">-</td></tr> <tr><td>負荷の喪失</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉冷却材系の異常な減圧</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">-</td></tr> </tbody> </table> </div>	抽出された事象	1次系建屋	2次系建屋	蒸気負荷の異常な増加	-	○	原子炉冷却材系の停止ループの誤起動	○	-	蒸気発生器への過剰給水	○	○	原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈	○	-	原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き	○	○	出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	○	○	制御棒の落下及び不整合	○	○	2次冷却系の異常な減圧	-	○	主給水流量喪失	○	○	外部電源喪失	○	○	原子炉冷却材流量の部分喪失	○	-	原子炉冷却材流量の喪失	○	-	負荷の喪失	○	○	原子炉冷却材系の異常な減圧	○	-	<p>【女川】 ■記載方針の相違 女川は、「原子炉建屋」と「タービン建屋」間で影響を及ぼさないこととしており、泊は「1次系建屋」と「2次系建屋」間で影響を及ぼさないこととした。</p> <p>【女川】 ■記載方針の相違 女川は安全評価指針のBWRの評価事象から選定しているが、泊はPWRの評価事象から選定した。</p>
抽出された事象	R/B	T/B																																																																																											
原子炉冷却材系の停止ループの誤起動	○																																																																																												
原子炉冷却材流量の喪失	○	○ ^{※1}																																																																																											
原子炉冷却材流量制御系の誤作動	○																																																																																												
給水流量の全喪失+タービントリップ	○																																																																																												
主蒸気隔離弁の誤閉上	○	○																																																																																											
逃がし弁開放	○																																																																																												
給水制御系の故障 (流量減少)	○	○ ^{※2}																																																																																											
給水制御系の故障 ^{※3} (流量増加)	○	○																																																																																											
HPCSの誤起動	○																																																																																												
RCICの誤起動	○																																																																																												
給水加熱喪失		○																																																																																											
負荷の喪失		○																																																																																											
原子炉圧力制御系の故障		○																																																																																											
給水流量の全喪失		○																																																																																											
抽出された事象	1次系建屋	2次系建屋																																																																																											
蒸気負荷の異常な増加	-	○																																																																																											
原子炉冷却材系の停止ループの誤起動	○	-																																																																																											
蒸気発生器への過剰給水	○	○																																																																																											
原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈	○	-																																																																																											
原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き	○	○																																																																																											
出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	○	○																																																																																											
制御棒の落下及び不整合	○	○																																																																																											
2次冷却系の異常な減圧	-	○																																																																																											
主給水流量喪失	○	○																																																																																											
外部電源喪失	○	○																																																																																											
原子炉冷却材流量の部分喪失	○	-																																																																																											
原子炉冷却材流量の喪失	○	-																																																																																											
負荷の喪失	○	○																																																																																											
原子炉冷却材系の異常な減圧	○	-																																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="734 193 1303 1125" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 5px;"> ステップ1 ステップ2 ステップ3・4 </div> <p style="text-align: center;">第2-1図 外乱分析図 (1/3)</p> </div>	<div data-bbox="1361 193 1930 1157" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; border-bottom: 1px solid black; margin-bottom: 5px;"> ステップ1 ステップ2 ステップ3、4 </div> <p style="text-align: center;">第2-1図：外乱分析図 (1/3)</p> </div>	<p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載方針の相違 <p>女川はBWRの特徴を踏まえて外乱分析を行っているが、泊はDWRの特徴を踏まえて外乱分析を行った。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">ステップ1</p> <p style="text-align: center;">ステップ2</p> <p style="text-align: center;">ステップ3・4</p> <p style="text-align: center;">第2-1図 外乱分析図 (2/3)</p> </div>	<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">ステップ1</p> <p style="text-align: center;">ステップ2</p> <p style="text-align: center;">ステップ3、4</p> <p style="text-align: center;">第2-1図：外乱分析図 (2/3)</p> </div>	<p>【女川】 ■記載方針の相違 女川はBWRの特徴を踏まえて外乱分析を行っているが、泊はDWRの特徴を踏まえて外乱分析を行った。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">第2.1図 外乱分析図 (3/3)</p>	<p style="text-align: center;">第2.1図 外乱分析図 (3/3)</p>	<p>【女川】 ■記載方針の相違 女川はBWRの特徴を踏まえて外乱分析を行っているが、泊はDWRの特徴を踏まえて外乱分析を行った。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																								
	<p>3. 重畳を考慮した内部火災影響評価事象の抽出【ステップ5】</p> <p>(1) 重畳を考慮すべき事象の分析</p> <p>2. で抽出した原子炉建屋及びタービン建屋における内部火災により発生する可能性のある事象について、重畳を考慮すべき事象を判別した結果を第3.1表及び第3.2表に示す。</p> <p>重畳を考慮すべき事象として抽出された代表事象の概要を第3.3表に示す。</p>	<p>3. 重畳を考慮した内部火災影響評価事象の抽出【ステップ5】</p> <p>(1) 重畳を考慮すべき事象の分析</p> <p>2. で抽出した1次系建屋及び2次系建屋における内部火災により発生する可能性のある代表事象について、重畳を考慮すべき事象を判別した結果を第3-1表及び第3-2表に示す。</p> <p>重畳を考慮すべき事象として抽出された代表事象の概要を第3-3表に示す。</p>	<p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>女川は、「原子炉建屋」と「タービン建屋」間で影響を及ぼさないこととしており、泊は「1次系建屋」と「2次系建屋」間で影響を及ぼさないこととした。</p> <p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>女川はBWRの特徴を踏まえて外乱分析を行っているが、泊はPWRの特徴を踏まえて外乱分析を行った。</p> <p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>女川はBWRの特徴を踏まえて外乱分析を行っているが、泊はPWRの特徴を踏まえて外乱分析を行った。</p>																																																																								
	<p>第3.1表 原子炉建屋における抽出事象及び重畳考慮の要否</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>抽出された事象</th> <th>重畳</th> <th>重畳を考慮しない理由*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉冷却材の停止ループの誤起動</td> <td>—</td> <td>部分出力状態での発生事象であり重畳による影響が小さい</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材流量の喪失</td> <td>—</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材流量制御系の誤作動</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>給水流量の全喪失+タービントリップ</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>主蒸気隔離弁の誤閉止</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>逃がし弁開放</td> <td>—</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>給水制御系の故障 (流量減少)</td> <td>—</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>給水制御系の故障 (流量増加)</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>HPCSの誤起動</td> <td>—</td> <td>② (上部プレナムへの注水)</td> </tr> <tr> <td>RCICの誤起動</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	抽出された事象	重畳	重畳を考慮しない理由*	原子炉冷却材の停止ループの誤起動	—	部分出力状態での発生事象であり重畳による影響が小さい	原子炉冷却材流量の喪失	—	①	原子炉冷却材流量制御系の誤作動	考慮	—	給水流量の全喪失+タービントリップ	考慮	—	主蒸気隔離弁の誤閉止	考慮	—	逃がし弁開放	—	②	給水制御系の故障 (流量減少)	—	③	給水制御系の故障 (流量増加)	考慮	—	HPCSの誤起動	—	② (上部プレナムへの注水)	RCICの誤起動	考慮	—	<p>第3-1表：1次系建屋における抽出事象及び重畳考慮の要否</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>抽出された事象</th> <th>重畳</th> <th>重畳を考慮しない理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I 原子炉冷却材系の停止ループの誤起動</td> <td>—</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>II 蒸気発生器への過剰給水</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>III 原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>IV 原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>V 出力運転中の制御棒の異常な引き抜き</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>VI 制御棒の落下及び不整合</td> <td>—</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>VII 主給水流量喪失</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>VIII 外部電源喪失</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>IX 原子炉冷却材流量の部分喪失</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>X 原子炉冷却材流量の喪失</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>XI 負荷の喪失</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>XII 原子炉冷却材系の異常な減圧</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	抽出された事象	重畳	重畳を考慮しない理由	I 原子炉冷却材系の停止ループの誤起動	—	①	II 蒸気発生器への過剰給水	考慮	—	III 原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈	考慮	—	IV 原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き	考慮	—	V 出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	考慮	—	VI 制御棒の落下及び不整合	—	②	VII 主給水流量喪失	考慮	—	VIII 外部電源喪失	考慮	—	IX 原子炉冷却材流量の部分喪失	考慮	—	X 原子炉冷却材流量の喪失	考慮	—	XI 負荷の喪失	考慮	—	XII 原子炉冷却材系の異常な減圧	考慮	—	
抽出された事象	重畳	重畳を考慮しない理由*																																																																									
原子炉冷却材の停止ループの誤起動	—	部分出力状態での発生事象であり重畳による影響が小さい																																																																									
原子炉冷却材流量の喪失	—	①																																																																									
原子炉冷却材流量制御系の誤作動	考慮	—																																																																									
給水流量の全喪失+タービントリップ	考慮	—																																																																									
主蒸気隔離弁の誤閉止	考慮	—																																																																									
逃がし弁開放	—	②																																																																									
給水制御系の故障 (流量減少)	—	③																																																																									
給水制御系の故障 (流量増加)	考慮	—																																																																									
HPCSの誤起動	—	② (上部プレナムへの注水)																																																																									
RCICの誤起動	考慮	—																																																																									
抽出された事象	重畳	重畳を考慮しない理由																																																																									
I 原子炉冷却材系の停止ループの誤起動	—	①																																																																									
II 蒸気発生器への過剰給水	考慮	—																																																																									
III 原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈	考慮	—																																																																									
IV 原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き	考慮	—																																																																									
V 出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	考慮	—																																																																									
VI 制御棒の落下及び不整合	—	②																																																																									
VII 主給水流量喪失	考慮	—																																																																									
VIII 外部電源喪失	考慮	—																																																																									
IX 原子炉冷却材流量の部分喪失	考慮	—																																																																									
X 原子炉冷却材流量の喪失	考慮	—																																																																									
XI 負荷の喪失	考慮	—																																																																									
XII 原子炉冷却材系の異常な減圧	考慮	—																																																																									
	<p>第3.2表 タービン建屋における抽出事象及び重畳考慮の要否</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>抽出された事象</th> <th>重畳</th> <th>重畳を考慮しない理由*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給水加熱喪失</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材流量の喪失</td> <td>—</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>負荷の喪失</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>主蒸気隔離弁の誤閉止</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力制御系の故障</td> <td>—</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>給水流量の全喪失</td> <td>—</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>給水制御系の故障 (流量増加)</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 重畳を考慮しない理由</p> <p>① 再循環流量が減少する事象は、BWR-5では再循環ポンプの慣性が大きく、炉心流量の減少による炉心の冷却能力低下に対し、原子炉出力の減少が早めに作用するため、重畳しても結果は厳しくならない。</p> <p>② 圧力が低下する事象は重畳しても結果は厳しくならない。</p> <p>③ 出力低下する事象は重畳しても結果は厳しくならない。</p>	抽出された事象	重畳	重畳を考慮しない理由*	給水加熱喪失	考慮	—	原子炉冷却材流量の喪失	—	①	負荷の喪失	考慮	—	主蒸気隔離弁の誤閉止	考慮	—	原子炉圧力制御系の故障	—	②	給水流量の全喪失	—	③	給水制御系の故障 (流量増加)	考慮	—	<p>第3-2表：2次系建屋における抽出事象及び重畳考慮の要否</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>代表事象</th> <th>重畳</th> <th>重畳を考慮しない理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I 蒸気負荷の異常な増加</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>II 蒸気発生器への過剰給水</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>III 原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>IV 出力運転中の制御棒の異常な引き抜き</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>V 制御棒の落下及び不整合</td> <td>—</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>VI 2次冷却系の異常な減圧</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>VII 主給水流量喪失</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>VIII 外部電源喪失</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>IX 負荷の喪失</td> <td>考慮</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 重畳を考慮しない理由</p> <p>① 計画的なN-1ループ運転は想定していないため、重畳は考慮しない。</p> <p>② 火災により制御棒の落下が生じる場合、全制御棒が落下する。この場合、原子炉出力は低下するのみであり、重畳は考慮しない。なお、火災により制御棒の不整合は生じない。</p>	代表事象	重畳	重畳を考慮しない理由	I 蒸気負荷の異常な増加	考慮	—	II 蒸気発生器への過剰給水	考慮	—	III 原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き	考慮	—	IV 出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	考慮	—	V 制御棒の落下及び不整合	—	②	VI 2次冷却系の異常な減圧	考慮	—	VII 主給水流量喪失	考慮	—	VIII 外部電源喪失	考慮	—	IX 負荷の喪失	考慮	—																			
抽出された事象	重畳	重畳を考慮しない理由*																																																																									
給水加熱喪失	考慮	—																																																																									
原子炉冷却材流量の喪失	—	①																																																																									
負荷の喪失	考慮	—																																																																									
主蒸気隔離弁の誤閉止	考慮	—																																																																									
原子炉圧力制御系の故障	—	②																																																																									
給水流量の全喪失	—	③																																																																									
給水制御系の故障 (流量増加)	考慮	—																																																																									
代表事象	重畳	重畳を考慮しない理由																																																																									
I 蒸気負荷の異常な増加	考慮	—																																																																									
II 蒸気発生器への過剰給水	考慮	—																																																																									
III 原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き	考慮	—																																																																									
IV 出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	考慮	—																																																																									
V 制御棒の落下及び不整合	—	②																																																																									
VI 2次冷却系の異常な減圧	考慮	—																																																																									
VII 主給水流量喪失	考慮	—																																																																									
VIII 外部電源喪失	考慮	—																																																																									
IX 負荷の喪失	考慮	—																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
	<p>第2.3表 重畳対象事象 (単独事象) の概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>抽出事象</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉冷却材流量制御系の誤作動</td> <td>原子炉の出力運転中に、再循環流量制御系の誤作動により、再循環流量が増加し、原子炉出力が上昇する事象。 中性子束高スクラムにより出力の異常上昇を抑制する。</td> </tr> <tr> <td>給水流量の全喪失 + タービントリップ</td> <td>原子炉の出力運転中に、原子炉水位高信号の誤発生により、タービンがトリップすると共に、原子炉給水ポンプがトリップする事象。 タービントリップにより原子炉はスクラムされ、主蒸気止め弁の閉止により再循環ポンプ2台がトリップする。</td> </tr> <tr> <td>主蒸気隔離弁の誤閉止</td> <td>原子炉の出力運転中に、主蒸気隔離弁が閉止し、原子炉圧力が上昇する事象。 主蒸気隔離弁がある程度 (10%) 閉止すれば、原子炉をスクラムさせ、原子炉圧力があらかじめ定められた圧力に達すれば、逃がし安全弁が開放される。</td> </tr> <tr> <td>給水制御系の故障 (流量増加)</td> <td>原子炉の出力運転中に、給水制御系の誤作動等により、給水流量が急激に増加し、炉心入口サブクローリングが増加して、原子炉出力が上昇する事象。 原子炉水位上昇によるキャリ・オーバーの増加に対してタービンを保護するため、原子炉水位高でタービンはトリップされる。タービントリップにより原子炉はスクラムされ、主蒸気止め弁の閉止により再循環ポンプ2台がトリップする。</td> </tr> <tr> <td>RCICの誤起動</td> <td>原子炉の出力運転中に、RCIC が誤起動し、炉心入口サブクローリングが増加して、原子炉出力が上昇する事象。 給水制御系により水位は制御され、原子炉出力は安定する。</td> </tr> <tr> <td>給水加熱喪失</td> <td>原子炉の出力運転中に、給水加熱器への蒸気流量が喪失して、給水温度が徐々に低下し、炉心入口サブクローリングが増加して、原子炉出力が上昇する事象。 中性子束高 (熱流束相当) スクラムにより出力の異常上昇を抑制する。</td> </tr> <tr> <td>負荷の喪失</td> <td>原子炉の出力運転中に、電力系統事故等により、発電機負荷遮断が生じ、蒸気加熱弁が急速に閉止し、原子炉圧力が上昇する事象。 タービン出力が40%以上で発電機負荷遮断が生じると、蒸気加熱弁が急速閉止し、同時に原子炉スクラム、再循環ポンプ2台トリップを行う。その後、タービンバイパス弁を急閉し、原子炉圧力の上昇を緩和した後、原子炉圧力が逃がし安全弁の設定圧に達すれば逃がし安全弁が開放される。</td> </tr> </tbody> </table>	抽出事象	概要	原子炉冷却材流量制御系の誤作動	原子炉の出力運転中に、再循環流量制御系の誤作動により、再循環流量が増加し、原子炉出力が上昇する事象。 中性子束高スクラムにより出力の異常上昇を抑制する。	給水流量の全喪失 + タービントリップ	原子炉の出力運転中に、原子炉水位高信号の誤発生により、タービンがトリップすると共に、原子炉給水ポンプがトリップする事象。 タービントリップにより原子炉はスクラムされ、主蒸気止め弁の閉止により再循環ポンプ2台がトリップする。	主蒸気隔離弁の誤閉止	原子炉の出力運転中に、主蒸気隔離弁が閉止し、原子炉圧力が上昇する事象。 主蒸気隔離弁がある程度 (10%) 閉止すれば、原子炉をスクラムさせ、原子炉圧力があらかじめ定められた圧力に達すれば、逃がし安全弁が開放される。	給水制御系の故障 (流量増加)	原子炉の出力運転中に、給水制御系の誤作動等により、給水流量が急激に増加し、炉心入口サブクローリングが増加して、原子炉出力が上昇する事象。 原子炉水位上昇によるキャリ・オーバーの増加に対してタービンを保護するため、原子炉水位高でタービンはトリップされる。タービントリップにより原子炉はスクラムされ、主蒸気止め弁の閉止により再循環ポンプ2台がトリップする。	RCICの誤起動	原子炉の出力運転中に、RCIC が誤起動し、炉心入口サブクローリングが増加して、原子炉出力が上昇する事象。 給水制御系により水位は制御され、原子炉出力は安定する。	給水加熱喪失	原子炉の出力運転中に、給水加熱器への蒸気流量が喪失して、給水温度が徐々に低下し、炉心入口サブクローリングが増加して、原子炉出力が上昇する事象。 中性子束高 (熱流束相当) スクラムにより出力の異常上昇を抑制する。	負荷の喪失	原子炉の出力運転中に、電力系統事故等により、発電機負荷遮断が生じ、蒸気加熱弁が急速に閉止し、原子炉圧力が上昇する事象。 タービン出力が40%以上で発電機負荷遮断が生じると、蒸気加熱弁が急速閉止し、同時に原子炉スクラム、再循環ポンプ2台トリップを行う。その後、タービンバイパス弁を急閉し、原子炉圧力の上昇を緩和した後、原子炉圧力が逃がし安全弁の設定圧に達すれば逃がし安全弁が開放される。	<p>第3-3表：重畳対象事象 (単独事象) の概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>抽出事象</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蒸気負荷の異常な増加</td> <td>原子炉の出力運転中に、タービンバイパス弁、蒸気削減弁又は主蒸気遮断がし弁の誤開放により主蒸気流量が異常増加し、1次冷却材の温度が低下して反応度が追加され、原子炉出力が上昇する事象。</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器への過剰給水</td> <td>原子炉の出力運転中に給水制御系の故障等により、蒸気発生器への給水が過剰となり、1次冷却材の温度が低下して反応度が追加され、原子炉出力が上昇する事象。</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈</td> <td>原子炉の起動時又は出力運転中に、化学体積制御設備の故障等により、1次冷却材中に純水が注入され、1次冷却材中のほう素濃度が低下して反応度が追加される事象。</td> </tr> <tr> <td>原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き</td> <td>原子炉の起動時に、制御棒駆動装置の故障等により、制御棒クラスタが連続的に引き抜かれ、原子炉出力が上昇する事象。</td> </tr> <tr> <td>出力運転中の制御棒の異常な引き抜き</td> <td>原子炉の出力運転中に、制御棒駆動系の故障等により、制御棒クラスタが連続的に引き抜かれ、原子炉出力が上昇する事象。</td> </tr> <tr> <td>2次冷却系の異常な減圧</td> <td>原子炉の高圧停止中に、タービンバイパス弁、主蒸気遮断がし弁等の2次冷却系の弁が誤開放し、1次冷却材の温度が低下して、反応度が追加される事象。</td> </tr> <tr> <td>主給水流量喪失</td> <td>原子炉の出力運転中に、主給水ポンプ、復水ポンプ又は給水制御系の故障等により、すべての蒸気発生器への給水が停止し、原子炉からの除熱能力が低下する事象。</td> </tr> <tr> <td>外部電源喪失</td> <td>原子炉の出力運転中に、送電系統又は所内発電設備の故障等により外部電源が喪失する事象。</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材流量の部分喪失</td> <td>原子炉の出力運転中に、1次冷却材を駆動する1次冷却材ポンプの故障等により、炉心の冷却材流量が減少する事象。</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材流量の喪失</td> <td>原子炉の出力運転中に、1次冷却材の流量が定格出力時の流量から自然循環流量にまで大幅に減少する事象。</td> </tr> <tr> <td>負荷の喪失</td> <td>原子炉の出力運転中に、外部送電系統又は蒸気タービンの故障等により、蒸気タービンへの蒸気流量が急減し原子炉圧力が上昇する事象。</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材系の異常な減圧</td> <td>原子炉の出力運転中に、1次冷却系の圧力制御系の故障等により、原子炉圧力が低下する事象。</td> </tr> </tbody> </table>	抽出事象	概要	蒸気負荷の異常な増加	原子炉の出力運転中に、タービンバイパス弁、蒸気削減弁又は主蒸気遮断がし弁の誤開放により主蒸気流量が異常増加し、1次冷却材の温度が低下して反応度が追加され、原子炉出力が上昇する事象。	蒸気発生器への過剰給水	原子炉の出力運転中に給水制御系の故障等により、蒸気発生器への給水が過剰となり、1次冷却材の温度が低下して反応度が追加され、原子炉出力が上昇する事象。	原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈	原子炉の起動時又は出力運転中に、化学体積制御設備の故障等により、1次冷却材中に純水が注入され、1次冷却材中のほう素濃度が低下して反応度が追加される事象。	原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き	原子炉の起動時に、制御棒駆動装置の故障等により、制御棒クラスタが連続的に引き抜かれ、原子炉出力が上昇する事象。	出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	原子炉の出力運転中に、制御棒駆動系の故障等により、制御棒クラスタが連続的に引き抜かれ、原子炉出力が上昇する事象。	2次冷却系の異常な減圧	原子炉の高圧停止中に、タービンバイパス弁、主蒸気遮断がし弁等の2次冷却系の弁が誤開放し、1次冷却材の温度が低下して、反応度が追加される事象。	主給水流量喪失	原子炉の出力運転中に、主給水ポンプ、復水ポンプ又は給水制御系の故障等により、すべての蒸気発生器への給水が停止し、原子炉からの除熱能力が低下する事象。	外部電源喪失	原子炉の出力運転中に、送電系統又は所内発電設備の故障等により外部電源が喪失する事象。	原子炉冷却材流量の部分喪失	原子炉の出力運転中に、1次冷却材を駆動する1次冷却材ポンプの故障等により、炉心の冷却材流量が減少する事象。	原子炉冷却材流量の喪失	原子炉の出力運転中に、1次冷却材の流量が定格出力時の流量から自然循環流量にまで大幅に減少する事象。	負荷の喪失	原子炉の出力運転中に、外部送電系統又は蒸気タービンの故障等により、蒸気タービンへの蒸気流量が急減し原子炉圧力が上昇する事象。	原子炉冷却材系の異常な減圧	原子炉の出力運転中に、1次冷却系の圧力制御系の故障等により、原子炉圧力が低下する事象。	<p>【女川】 ■記載方針の相違 女川はBWRの特徴を踏まえて外乱分析を行っているが、泊はPWRの特徴を踏まえて外乱分析を行った。</p>
抽出事象	概要																																												
原子炉冷却材流量制御系の誤作動	原子炉の出力運転中に、再循環流量制御系の誤作動により、再循環流量が増加し、原子炉出力が上昇する事象。 中性子束高スクラムにより出力の異常上昇を抑制する。																																												
給水流量の全喪失 + タービントリップ	原子炉の出力運転中に、原子炉水位高信号の誤発生により、タービンがトリップすると共に、原子炉給水ポンプがトリップする事象。 タービントリップにより原子炉はスクラムされ、主蒸気止め弁の閉止により再循環ポンプ2台がトリップする。																																												
主蒸気隔離弁の誤閉止	原子炉の出力運転中に、主蒸気隔離弁が閉止し、原子炉圧力が上昇する事象。 主蒸気隔離弁がある程度 (10%) 閉止すれば、原子炉をスクラムさせ、原子炉圧力があらかじめ定められた圧力に達すれば、逃がし安全弁が開放される。																																												
給水制御系の故障 (流量増加)	原子炉の出力運転中に、給水制御系の誤作動等により、給水流量が急激に増加し、炉心入口サブクローリングが増加して、原子炉出力が上昇する事象。 原子炉水位上昇によるキャリ・オーバーの増加に対してタービンを保護するため、原子炉水位高でタービンはトリップされる。タービントリップにより原子炉はスクラムされ、主蒸気止め弁の閉止により再循環ポンプ2台がトリップする。																																												
RCICの誤起動	原子炉の出力運転中に、RCIC が誤起動し、炉心入口サブクローリングが増加して、原子炉出力が上昇する事象。 給水制御系により水位は制御され、原子炉出力は安定する。																																												
給水加熱喪失	原子炉の出力運転中に、給水加熱器への蒸気流量が喪失して、給水温度が徐々に低下し、炉心入口サブクローリングが増加して、原子炉出力が上昇する事象。 中性子束高 (熱流束相当) スクラムにより出力の異常上昇を抑制する。																																												
負荷の喪失	原子炉の出力運転中に、電力系統事故等により、発電機負荷遮断が生じ、蒸気加熱弁が急速に閉止し、原子炉圧力が上昇する事象。 タービン出力が40%以上で発電機負荷遮断が生じると、蒸気加熱弁が急速閉止し、同時に原子炉スクラム、再循環ポンプ2台トリップを行う。その後、タービンバイパス弁を急閉し、原子炉圧力の上昇を緩和した後、原子炉圧力が逃がし安全弁の設定圧に達すれば逃がし安全弁が開放される。																																												
抽出事象	概要																																												
蒸気負荷の異常な増加	原子炉の出力運転中に、タービンバイパス弁、蒸気削減弁又は主蒸気遮断がし弁の誤開放により主蒸気流量が異常増加し、1次冷却材の温度が低下して反応度が追加され、原子炉出力が上昇する事象。																																												
蒸気発生器への過剰給水	原子炉の出力運転中に給水制御系の故障等により、蒸気発生器への給水が過剰となり、1次冷却材の温度が低下して反応度が追加され、原子炉出力が上昇する事象。																																												
原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈	原子炉の起動時又は出力運転中に、化学体積制御設備の故障等により、1次冷却材中に純水が注入され、1次冷却材中のほう素濃度が低下して反応度が追加される事象。																																												
原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き	原子炉の起動時に、制御棒駆動装置の故障等により、制御棒クラスタが連続的に引き抜かれ、原子炉出力が上昇する事象。																																												
出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	原子炉の出力運転中に、制御棒駆動系の故障等により、制御棒クラスタが連続的に引き抜かれ、原子炉出力が上昇する事象。																																												
2次冷却系の異常な減圧	原子炉の高圧停止中に、タービンバイパス弁、主蒸気遮断がし弁等の2次冷却系の弁が誤開放し、1次冷却材の温度が低下して、反応度が追加される事象。																																												
主給水流量喪失	原子炉の出力運転中に、主給水ポンプ、復水ポンプ又は給水制御系の故障等により、すべての蒸気発生器への給水が停止し、原子炉からの除熱能力が低下する事象。																																												
外部電源喪失	原子炉の出力運転中に、送電系統又は所内発電設備の故障等により外部電源が喪失する事象。																																												
原子炉冷却材流量の部分喪失	原子炉の出力運転中に、1次冷却材を駆動する1次冷却材ポンプの故障等により、炉心の冷却材流量が減少する事象。																																												
原子炉冷却材流量の喪失	原子炉の出力運転中に、1次冷却材の流量が定格出力時の流量から自然循環流量にまで大幅に減少する事象。																																												
負荷の喪失	原子炉の出力運転中に、外部送電系統又は蒸気タービンの故障等により、蒸気タービンへの蒸気流量が急減し原子炉圧力が上昇する事象。																																												
原子炉冷却材系の異常な減圧	原子炉の出力運転中に、1次冷却系の圧力制御系の故障等により、原子炉圧力が低下する事象。																																												
	<p>(2) 抽出事象に対する重畳の分析結果</p> <p>3. (1) にて抽出した重畳を考慮した場合に事象を厳しくする可能性のある事象について、スクラムのタイミング、隔離弁の閉止のタイミング等について、整理する。これを踏まえ、プラント挙動の観点から、2項で抽出された事象に対し、重畳を考慮した場合に事象を厳しくする可能性の有無について、更なる検討を行った。</p>	<p>(2) 抽出事象に対する重畳の分析結果</p> <p>3. (1) にて抽出した重畳を考慮した場合に事象を厳しくする可能性のある事象について、原子炉トリップのタイミング等について、整理する。これを踏まえ、プラント挙動の観点から、2項で抽出された事象に対し、重畳を考慮した場合に事象を厳しくする可能性の有無について、更なる検討を行う。</p>	<p>【女川】 ■記載表現の相違 【女川】 ■設計の相違 女川は蒸気遮断のタイミング等も重畳事象の分析に使っているが、泊は使っていない (PWRは1次系と2次系に分かれており蒸気遮断 (タービントリップ機能) のタイミングが事象進展及び判断基準に関連するパラメータ (主に原子炉圧力) に与える影響がBWRに比べて大きくなることから考慮する必要はない)。</p>																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>この検討においては、2つの事象の組み合わせについて、重畳を考慮したとしても、どちらか1つの事象で代表させることが可能、重畳を考慮した場合には、厳しい評価となる可能性がある、または、重畳を考慮しない（単独の事象）方が厳しい評価となるかについて分析を行っている。</p> <p>重畳を考慮した場合に厳しくなる事象の組み合わせが複数考えられる場合には、それらの更なる重畳について検討することになるが、原子炉建屋における火災発生時には単独事象が、タービン建屋における火災発生時には2つの事象の重畳事象が第3.1表並びに第3.2表に示す重畳を考慮すべき事象の重ね合わせを包含する。</p> <p>a. 原子炉建屋における代表事象の重畳</p> <p>第3.1表に抽出した重畳を考慮すべき事象について、スクラムのタイミング、蒸気遮断のタイミング等について第3.4表に整理する。この整理した結果を踏まえ、プラント挙動の観点から抽出した事象の重畳考慮の要否について検討を行った。この検討の結果を第3.6表に示す。</p>	<p>この検討においては、2つの事象の組合せについて、重畳を考慮したとしても、どちらか1つの事象で代表させることが可能、重畳を考慮した場合には、厳しい評価となる可能性がある、又は、重畳を考慮しない（単独の事象）方が厳しい評価となるかについて分析を行っている。</p> <p>重畳を考慮した場合に厳しくなる事象の組合せが複数考えられる場合には、それらの更なる重畳について検討することが必要となる。</p> <p>a. 1次系建屋における代表事象の重畳</p> <p>第3-1表に抽出した重畳を考慮すべき事象について、原子炉トリップのタイミング等について第3-4表に整理する。この整理した結果を踏まえ、プラント挙動の観点から抽出した事象の重畳考慮の要否について検討を行った。この検討の結果を第3-6表に示す。</p>	<p>【女川】 ■記載表現の相違</p> <p>【女川】 ■記載方針の相違 泊では3つ以上の事象の重畳があったため、最も厳しい事象について本項で選定している。</p> <p>【女川】 ■記載方針の相違 女川は、「原子炉建屋」で評価しているが、泊は「1次系建屋」として、原子炉建屋及び原子炉補助建屋で評価している。</p> <p>【女川】 ■設計の相違 女川は蒸気遮断のタイミング等も重畳事象の分析に使っているが、泊は使っていない（PWRは1次系と2次系に分かれており蒸気遮断（タービントリップ機能）のタイミングが事象進展及び判断基準に関連するパラメータ（主に原子炉圧力）に与える影響がBWRに比べて大きくならないことから考慮する必要はない）。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>以下に第3.6 表に記載の分析結果について示す。</p> <p>「②給水流量の全喪失+タービントリップ」、「③主蒸気隔離弁の誤閉止」及び「④給水制御系の故障 (流量増加)」はいずれも主要弁の閉止を伴う圧力上昇事象である。</p> <p>「④給水制御系の故障 (流量増加)」と「③主蒸気隔離弁の誤閉止」を比較すると、「④給水制御系の故障 (流量増加)」の方が弁の閉止速度が速いため、厳しい結果となる。また、「④給水制御系の故障 (流量増加)」と「②給水流量の全喪失+タービントリップ」を比較すると「④給水制御系の故障 (流量増加)」の方が弁閉止時の出力が高くなるため厳しい結果となる。</p> <p>これらの事象のうち、「④給水制御系の故障 (流量増加)」が最もスクラム信号発生が遅い事象であるため、「③主蒸気隔離弁の誤閉止」と「②給水流量の全喪失+タービントリップ」とは組み合わせない方が結果を厳しくする。</p> <p>「④給水制御系の故障 (流量増加)」と「①原子炉冷却材流量制御系の誤作動」を比較すると、「④給水制御系の故障 (流量増加)」の方が厳しい結果となる。また、「④給水制御系の故障 (流量増加)」と「①原子炉冷却材流量制御系の誤作動」が重畳した場合、炉心流量の増加による出力上昇に伴い、タービントリップする前に短時間で中性子東高スクラムにいたるため、「①原子炉冷却材流量制御系の誤作動」とは同様の事象になるため、組み合わせない方が結果を厳しくする。</p> <p>「RCIC の誤起動」による注水流量の増加分は定格給水流量に対して約2%程度であり、「④給水制御系の故障 (流量増加)」による外乱としての増加分である約36%と比べると、注入量が小さいため、結果に大きな影響はない。</p> <p>以上より、第3.6 表に示すとおり、原子炉建屋における内部火災を想定した場合、発生し得る代表事象として4 つの事象を抽出したが、「給水制御系の故障 (流量増加)」の単一事象が原子炉に与える影響としては最も厳しいことから、ここでは事象の組合せは考慮せず単一事象に対し解析を行うこととした。</p>	<p>以下に第3-6 表に記載の分析結果について示す。</p> <p>「蒸気発生器への過剰給水」は蒸気発生器による除熱が過大となり1次冷却材温度が低下する事象であり、「主給水流量喪失」及び「負荷の喪失」は蒸気発生器による除熱が喪失して1次冷却材温度が上昇する事象である。これらの外乱が同時に生じた場合、温度低下又は上昇を緩和する働きをするため、組み合わせない方が結果を厳しくする。「外部電源喪失」、「原子炉冷却材流量の部分喪失」及び「原子炉冷却材流量の喪失」は外乱発生後早期に原子炉トリップする事象であり、他の外乱が同時に生じた場合でも事象進展に大きな影響を受けないため、単一事象で代表できる。</p> <p>「原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き」は原子炉起動時を想定している事象であるため、原子炉運転中を想定している他の外乱との組合せは考慮する必要がない。また、外乱発生後早期に原子炉トリップする事象であり、他の外乱が同時に生じた場合でも事象進展に大きな影響を受けないことから他の外乱との組合せは考慮する必要がない。</p> <p>以上の分析の結果、二つの事象の重畳を考慮した場合に厳しくなる事象の組合せが複数同定されたため、評価パラメータごとに更なる重畳を検討した結果を第3-8 表に示す。</p> <p>原子炉圧力の観点では、抽出された事象のうち、「負荷の喪失」が単一事象として最も厳しい事象である。ここで、「蒸気発生器への過剰給水」及び「原子炉冷却材系の異常な減圧」は原子炉圧力を低下させる外乱であり、圧力上昇の観点で厳しくならないため、組合せを考慮しない。「出力運転中の制御棒の異常な引き抜き」及び「主給水流量喪失」は1次冷却材温度の上昇により原子炉圧力上昇をもたらすため、組合せを考慮する。なお、「原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈」は反応度添加率 (約 $2 \times 10^{-5} (\Delta k/k)/s$) が「出力運転中の制御棒の異常な引き抜き」で想定する反応度添加率の範囲 ($\sim 8.6 \times 10^{-4} (\Delta k/k)/s$) に包絡されるため、「出力運転中の制御棒の異常な引き抜き」に代表される。</p> <p>DNBR の観点では、抽出された事象のうち、「出力運転中の制御棒の異常な引き抜き」が単一事象として最も厳しい事象である。ここで、「負荷の喪失」は原子炉圧力が上昇すること、及び、早期に原子炉トリップすることから、DNBR 低下の観点で厳しくならないため、組合せを考慮しない。</p>	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>女川では、弁の閉止速度、スクラム信号の発生のタイミングを事象ごとに比較して厳しい事象、重畳事象を選定しているが、泊では1次冷却材の温度、圧力、反応度添加率を事象ごとに比較して厳しい事象、重畳事象を選定している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>b. タービン建屋における代表事象の重畳</p> <p>第3.2表に抽出した重畳を考慮すべき事象について、スクラムのタイミング、隔離弁の閉止のタイミング等について第3.5表に整理する。</p> <p>この整理した結果を踏まえ、プラント挙動の観点から抽出した事象の重畳の可否について検討を行った。この検討の結果を第3.7表に示す。</p> <p>以下に第3.7表に記載の分析結果について示す。</p>	<p>なお、「蒸気発生器への過剰給水」の反応度添加率（最大で$2 \times 10^{-5}(\Delta k/k)/s$程度）、及び、「原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈」の反応度添加率（約$2.0 \times 10^{-5}(\Delta k/k)/s$）は、「出力運転中の制御棒の異常な引き抜き」で想定する反応度添加率の範囲（$\sim 8.6 \times 10^{-4}(\Delta k/k)/s$）に包絡されるため、「出力運転中の制御棒の異常な引き抜き」に代表される。</p> <p>以上より、1次系建屋火災発生時に想定する重畳事象の評価ケースを第3-10表に示す。</p> <p>b. 2次系建屋における代表事象の重畳</p> <p>第3-2表に抽出した重畳を考慮すべき事象について、原子炉トリップのタイミング等について第3-5表に整理する。</p> <p>この整理した結果を踏まえ、プラント挙動の観点から抽出した事象の重畳考慮の可否について検討を行った。この検討の結果を第3-7表に示す。</p> <p>以下に第3-7表に記載の分析結果について示す。</p>	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>女川では、弁の閉止速度、スクラム信号の発生時のタイミングを事象ごとに比較して厳しい事象、重畳事象を選定しているが、泊では1次冷却材の温度、圧力、反応度添加率を事象ごとに比較して厳しい事象、重畳事象を選定している。</p> <p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>女川は、「タービン建屋」で評価しているが、泊は「2次系建屋」として、タービン建屋で評価している。</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>女川は蒸気遮断のタイミング等も重畳事象の分析に使っているが、泊は使っていない（PWRは1次系と2次系に分かれており蒸気遮断（タービントリップ機能）のタイミングが事象進展及び判断基準に関連するパラメータ（主に原子炉圧力）に与える影響がBWRに比べて大きくならないことから考慮する必要はない）。</p>

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表 r.4.0

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 参考資料1 泊発電所3号炉における内部火災により想定される事象の確認結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>「②負荷の喪失」、「③主蒸気隔離弁の誤閉止」及び「④給水制御系の故障 (流量増加)」はいずれも主要弁の閉止を伴う圧力上昇事象である。</p> <p>「④給水制御系の故障 (流量増加)」と「③主蒸気隔離弁の誤閉止」を比較すると、「④給水制御系の故障 (流量増加)」の方が厳しい結果となる。また、「④給水制御系の故障 (流量増加)」と「②負荷の喪失」を比較すると、タービンバイパス弁の不作動を仮定した場合、「④給水制御系の故障 (流量増加)」の方が弁閉止時の出力が高くなるため厳しい結果となる。</p> <p>これらの事象のうち、「④給水制御系の故障 (流量増加)」が最もスクラム信号発生が遅い事象であるため、「②負荷の喪失」と「③主蒸気隔離弁の誤閉止」とは組み合わせない方が結果を厳しくする。</p> <p>「④給水制御系の故障 (流量増加)」と「①給水加熱喪失」は事象開始時に同時に発生すると、「④給水制御系の故障 (流量増加)」が単独で発生した場合よりは出力が高い状態でタービントリップに至ると考えられる。</p> <p>以上より、第3.7表に示すとおり、タービン建屋における内部火災を想定した場合、発生し得る過渡事象として4つの事象を抽出したが、「給水制御系の故障」及び「給水加熱喪失」の重畳事象が原子炉に与える影響としては最も厳しいことから、ここでは2つの事象の組合せを考慮することとした。</p>	<p>「蒸気負荷の異常な増加」及び「蒸気発生器への過剰給水」は蒸気発生器による除熱が過大となり1次冷却材温度が低下する事象であり、「主給水流量喪失」及び「負荷の喪失」は蒸気発生器による除熱が喪失して1次冷却材温度が上昇する事象である。これらの外乱が同時に生じた場合、温度低下又は上昇を緩和する働きをするため、組み合わせない方が結果を厳しくする。</p> <p>「外部電源喪失」は外乱発生後早期に原子炉トリップする事象であり、他の外乱が同時に生じた場合でも事象進展に大きな影響を受けないため、単独事象で代表できる。</p> <p>「原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き」及び「2次冷却系の異常な減圧」は原子炉起動時又は停止時を想定している事象であるため、原子炉の出力運転中を想定している他の外乱との組合せは考慮する必要がない。</p> <p>以上の分析の結果、二つの事象の重畳を考慮した場合に厳しくなる事象の組合せが複数同定されたため、評価パラメータごとに更なる重畳を検討した結果を第3-9表に示す。</p> <p>原子炉圧力の観点では、抽出された事象のうち、「負荷の喪失」が単独事象として最も厳しい事象である。ここで、「蒸気負荷の異常な増加」及び「蒸気発生器への過剰給水」は原子炉圧力を低下させる外乱であり、圧力上昇の観点で厳しくならないため、組合せを考慮しない。「出力運転中の制御棒の異常な引き抜き」及び「主給水流量喪失」は1次冷却材温度の上昇により原子炉圧力上昇をもたらすため、組合せを考慮する。</p> <p>DNBRの観点では、抽出された事象のうち、「出力運転中の制御棒の異常な引き抜き」が単独事象として最も厳しい事象である。ここで、「負荷の喪失」は原子炉圧力が上昇すること、及び、早期に原子炉トリップすることから、DNBR低下の観点で厳しくならないため、組合せを考慮しない。なお、「蒸気負荷の異常な増加」の反応度添加率 (最大で$3 \times 10^{-5} (\Delta k/k)/s$ 程度) 及び「蒸気発生器への過剰給水」による反応度添加率 (最大で$2 \times 10^{-5} (\Delta k/k)/s$ 程度) は、「出力運転中の制御棒の異常な引き抜き」で想定する反応度添加率の範囲 ($\sim 8.6 \times 10^{-4} (\Delta k/k)/s$) に包絡されるため、「出力運転中の制御棒の異常な引き抜き」に代表される。</p> <p>以上より、2次系建屋火災発生時に想定する重畳事象の評価ケースを第3-11表に示す。なお、抽出された重畳事象は1次系建屋火災発生時に想定する重畳事象に包絡されるため、評価は不要である。</p>	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>女川では、弁の閉止速度、スクラム信号の発生タイミングを事象ごとに比較して厳しい事象、重畳事象を選定しているが、泊では1次冷却材の温度、圧力、反応度添加率を事象ごとに比較して厳しい事象、重畳事象を選定している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																					
	<p>第3.4表 想定される代表事象 (単独事象) の解析結果 (原子炉建屋火災発生時を想定)</p> <table border="1" data-bbox="721 183 1240 1150"> <thead> <tr> <th>スクラム タイミング</th> <th>蒸気遮断タイミン グ及び 弁の閉止速度</th> <th>蒸気遮断時 の出力</th> <th>原子炉圧力 ピーク値</th> <th>中性子束 ピーク値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉冷却材流量制 御系の誤作動</td> <td>原子炉停止手順に従い隔離</td> <td>—</td> <td>約6.82MPa[gage]</td> <td>約127%</td> </tr> <tr> <td>給水流量の全喪失 タービントリップ*</td> <td>TBトリップ (MSV閉)</td> <td>0.1秒</td> <td>約7.79MPa[gage]</td> <td>約118%</td> </tr> <tr> <td>主蒸気隔離弁 の誤閉止</td> <td>0秒後 (MSIV閉(誤閉止))</td> <td>約105%</td> <td>約7.84MPa[gage]</td> <td>初期値 を超えない</td> </tr> <tr> <td>給水制御系の故障 (流量増加)</td> <td>約9秒後 (MSV閉)</td> <td>約113%</td> <td>約7.81MPa[gage]</td> <td>約131%</td> </tr> </tbody> </table> <p>RCIC 誤起動に伴う給水流量の増加は 2%程度であり、給水制御系の故障時の流量増加分(36%)と比べると影響は小さいため、重畳を考慮しない。</p> <p>※ タービントリップが単独で発生した場合とは同様の事象となるため、負荷の喪失事象の解析結果を参考に記載</p>	スクラム タイミング	蒸気遮断タイミン グ及び 弁の閉止速度	蒸気遮断時 の出力	原子炉圧力 ピーク値	中性子束 ピーク値	原子炉冷却材流量制 御系の誤作動	原子炉停止手順に従い隔離	—	約6.82MPa[gage]	約127%	給水流量の全喪失 タービントリップ*	TBトリップ (MSV閉)	0.1秒	約7.79MPa[gage]	約118%	主蒸気隔離弁 の誤閉止	0秒後 (MSIV閉(誤閉止))	約105%	約7.84MPa[gage]	初期値 を超えない	給水制御系の故障 (流量増加)	約9秒後 (MSV閉)	約113%	約7.81MPa[gage]	約131%	<p>第3-4表：想定される代表事象 (単独事象) の解析結果 (1次系強制火災発生時を想定)</p> <table border="1" data-bbox="1352 194 1944 1091"> <thead> <tr> <th>原子炉トリップアップタイ ミング</th> <th>原子炉圧力 ピーク値</th> <th>DNER 最小値</th> <th>燃料エンタルピ ピーク値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蒸気発生器への過剰給水</td> <td>約56秒後 (蒸気発生器水位異常高によるター ビントリップ)</td> <td>約2.03</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材中のほう素の異常 な希釈</td> <td>原子炉トリップしない</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>原子炉起動時における制御棒の 異常な引き抜き</td> <td>約9.5秒後 (出力制限中中性子束高(低設定))</td> <td>約17.4MPa[gage]</td> <td>約344kJ/kg</td> </tr> <tr> <td>出力運転中の開閉棒の異常な引 き抜き</td> <td>約60秒後 (過大温度ΔT高)</td> <td>圧力上昇幅 約0.8MPa</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>主給水流量喪失</td> <td>約27秒後 (原子炉圧力高)</td> <td>約17.3MPa[gage]</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>外部電源喪失</td> <td>「主給水流量喪失」、 「原子炉冷却材流量の喪失」</td> <td>「原子炉冷却材流量の喪失」</td> <td>「原子炉冷却材流量の喪失」</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材流量の部分喪失</td> <td>約2.7秒後 (1次冷却材流量低)</td> <td>圧力上昇幅 約0.3MPa</td> <td>約1.99</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材流量の喪失</td> <td>約1.8秒後 (1次冷却材ポンプ電源電圧低)</td> <td>圧力上昇幅 約0.6MPa</td> <td>約1.75</td> </tr> <tr> <td>負荷の喪失</td> <td>約8秒後 (原子炉圧力高)</td> <td>約17.8MPa[gage]</td> <td>約2.02</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材系の異常な減圧</td> <td>約64秒後 (原子炉圧力低)</td> <td>—</td> <td>約1.86</td> </tr> </tbody> </table>	原子炉トリップアップタイ ミング	原子炉圧力 ピーク値	DNER 最小値	燃料エンタルピ ピーク値	蒸気発生器への過剰給水	約56秒後 (蒸気発生器水位異常高によるター ビントリップ)	約2.03	—	原子炉冷却材中のほう素の異常 な希釈	原子炉トリップしない	—	—	原子炉起動時における制御棒の 異常な引き抜き	約9.5秒後 (出力制限中中性子束高(低設定))	約17.4MPa[gage]	約344kJ/kg	出力運転中の開閉棒の異常な引 き抜き	約60秒後 (過大温度ΔT高)	圧力上昇幅 約0.8MPa	—	主給水流量喪失	約27秒後 (原子炉圧力高)	約17.3MPa[gage]	—	外部電源喪失	「主給水流量喪失」、 「原子炉冷却材流量の喪失」	「原子炉冷却材流量の喪失」	「原子炉冷却材流量の喪失」	原子炉冷却材流量の部分喪失	約2.7秒後 (1次冷却材流量低)	圧力上昇幅 約0.3MPa	約1.99	原子炉冷却材流量の喪失	約1.8秒後 (1次冷却材ポンプ電源電圧低)	圧力上昇幅 約0.6MPa	約1.75	負荷の喪失	約8秒後 (原子炉圧力高)	約17.8MPa[gage]	約2.02	原子炉冷却材系の異常な減圧	約64秒後 (原子炉圧力低)	—	約1.86	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>女川は蒸気遮断のタイ ミング等も重量事象の 分析に使っているが、泊 は使っていない (PWRは 1次系と2次系に分か れており蒸気遮断(ター ビントリップ機能)のタイ ミングが事象進展及 び判断基準に関連する パラメータ(主に原子炉 圧力)に与える影響が BWRに比べて大きくな らないことから考慮する 必要はない。</p>
スクラム タイミング	蒸気遮断タイミン グ及び 弁の閉止速度	蒸気遮断時 の出力	原子炉圧力 ピーク値	中性子束 ピーク値																																																																				
原子炉冷却材流量制 御系の誤作動	原子炉停止手順に従い隔離	—	約6.82MPa[gage]	約127%																																																																				
給水流量の全喪失 タービントリップ*	TBトリップ (MSV閉)	0.1秒	約7.79MPa[gage]	約118%																																																																				
主蒸気隔離弁 の誤閉止	0秒後 (MSIV閉(誤閉止))	約105%	約7.84MPa[gage]	初期値 を超えない																																																																				
給水制御系の故障 (流量増加)	約9秒後 (MSV閉)	約113%	約7.81MPa[gage]	約131%																																																																				
原子炉トリップアップタイ ミング	原子炉圧力 ピーク値	DNER 最小値	燃料エンタルピ ピーク値																																																																					
蒸気発生器への過剰給水	約56秒後 (蒸気発生器水位異常高によるター ビントリップ)	約2.03	—																																																																					
原子炉冷却材中のほう素の異常 な希釈	原子炉トリップしない	—	—																																																																					
原子炉起動時における制御棒の 異常な引き抜き	約9.5秒後 (出力制限中中性子束高(低設定))	約17.4MPa[gage]	約344kJ/kg																																																																					
出力運転中の開閉棒の異常な引 き抜き	約60秒後 (過大温度ΔT高)	圧力上昇幅 約0.8MPa	—																																																																					
主給水流量喪失	約27秒後 (原子炉圧力高)	約17.3MPa[gage]	—																																																																					
外部電源喪失	「主給水流量喪失」、 「原子炉冷却材流量の喪失」	「原子炉冷却材流量の喪失」	「原子炉冷却材流量の喪失」																																																																					
原子炉冷却材流量の部分喪失	約2.7秒後 (1次冷却材流量低)	圧力上昇幅 約0.3MPa	約1.99																																																																					
原子炉冷却材流量の喪失	約1.8秒後 (1次冷却材ポンプ電源電圧低)	圧力上昇幅 約0.6MPa	約1.75																																																																					
負荷の喪失	約8秒後 (原子炉圧力高)	約17.8MPa[gage]	約2.02																																																																					
原子炉冷却材系の異常な減圧	約64秒後 (原子炉圧力低)	—	約1.86																																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																													
	<p style="text-align: center;">第3.5表 想定される代表事象 (単独事象) の解析結果 (タービン建屋火災発生時を想定)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>スクラム タイミング</th> <th>蒸気遮断タイミング 及び 弁の閉止速度</th> <th>蒸気遮断時 の出力</th> <th>原子炉圧力 ピーク値</th> <th>中性子束 ピーク値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>約92秒 (TVM)</td> <td>原子炉停止手順に従い隔離</td> <td>—</td> <td>約7.11MPa[gage]</td> <td>約122%</td> </tr> <tr> <td>約0.1秒 (蒸気加減弁急速閉)</td> <td>負荷遮断 (蒸気加減弁急速閉)</td> <td>約105%</td> <td>約7.79MPa[gage]</td> <td>約118%</td> </tr> <tr> <td>約0.3秒後 (MSIV閉)</td> <td>0秒後 (MSIV閉(蒸閉止))</td> <td>約105%</td> <td>約7.8MPa[gage]</td> <td>初期値 を顕えない</td> </tr> <tr> <td>約9秒後 (MSV閉)</td> <td>約9秒後 (MSV閉 (LB TBトリップ))</td> <td>約113%</td> <td>約7.81MPa[gage]</td> <td>約131%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 給水加熱器1段の喪失を想定。複数段の機能喪失時には、炉心入口サブコールドの増加量が大きくなり、スクラム時刻は早くなるが、スクラムする出力点は変わらず、スクラム後の評価は同様となると考えられる。</p>	スクラム タイミング	蒸気遮断タイミング 及び 弁の閉止速度	蒸気遮断時 の出力	原子炉圧力 ピーク値	中性子束 ピーク値	約92秒 (TVM)	原子炉停止手順に従い隔離	—	約7.11MPa[gage]	約122%	約0.1秒 (蒸気加減弁急速閉)	負荷遮断 (蒸気加減弁急速閉)	約105%	約7.79MPa[gage]	約118%	約0.3秒後 (MSIV閉)	0秒後 (MSIV閉(蒸閉止))	約105%	約7.8MPa[gage]	初期値 を顕えない	約9秒後 (MSV閉)	約9秒後 (MSV閉 (LB TBトリップ))	約113%	約7.81MPa[gage]	約131%	<p style="text-align: center;">第3-5表：想定される代表事象 (単独事象) の解析結果 (2次系建屋火災発生時を想定)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>原子炉トリップタイミング</th> <th>原子炉圧力 ピーク値</th> <th>DNBR 最小値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蒸気負荷の異常な増加</td> <td>原子炉トリップしない</td> <td>圧力上昇幅 約0.2MPa</td> <td>約1.88</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器への過剰給水</td> <td>約56秒後 (蒸気発生器水位異常高によるタービ ントリップ)</td> <td>圧力上昇幅 約0.2MPa</td> <td>約2.03</td> </tr> <tr> <td>原子炉起動時における制御棒の異 常な引き抜き</td> <td>約9.5秒後 (出力領域中性子東高 (低設定))</td> <td>約17.4MPa[gage]</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>出力運転中の制御棒の異常な引き 抜き</td> <td>約60秒後 (過大温度ΔT高)</td> <td>圧力上昇幅 約0.8MPa</td> <td>約1.56</td> </tr> <tr> <td>2次冷却系の異常な減圧</td> <td>— (高温停止状態)</td> <td>—</td> <td>臨界に至らない</td> </tr> <tr> <td>主給水流速喪失</td> <td>約27秒後 (原子炉圧力高)</td> <td>約17.3MPa[gage]</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>外部電源喪失</td> <td>「主給水流速喪失」, 「原子炉冷却材流量の喪失 (第3-4表)」解析で包含される</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>負荷の喪失</td> <td>約8秒後 (原子炉圧力高)</td> <td>約17.8MPa[gage]</td> <td>約2.02</td> </tr> </tbody> </table>		原子炉トリップタイミング	原子炉圧力 ピーク値	DNBR 最小値	蒸気負荷の異常な増加	原子炉トリップしない	圧力上昇幅 約0.2MPa	約1.88	蒸気発生器への過剰給水	約56秒後 (蒸気発生器水位異常高によるタービ ントリップ)	圧力上昇幅 約0.2MPa	約2.03	原子炉起動時における制御棒の異 常な引き抜き	約9.5秒後 (出力領域中性子東高 (低設定))	約17.4MPa[gage]	—	出力運転中の制御棒の異常な引き 抜き	約60秒後 (過大温度ΔT高)	圧力上昇幅 約0.8MPa	約1.56	2次冷却系の異常な減圧	— (高温停止状態)	—	臨界に至らない	主給水流速喪失	約27秒後 (原子炉圧力高)	約17.3MPa[gage]	—	外部電源喪失	「主給水流速喪失」, 「原子炉冷却材流量の喪失 (第3-4表)」解析で包含される			負荷の喪失	約8秒後 (原子炉圧力高)	約17.8MPa[gage]	約2.02	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>女川は蒸気遮断のタイ ミング等も重量事象の 分析に使っているが、泊 は使っていない (PWRは 1次系と2次系に分か れており蒸気遮断(ター ビントリップ機能)のタ イミングが事象進展及 び判断基準に関連する パラメータ (主に原子炉 圧力) に与える影響が BWRに比べて大きくな らないことから考慮する 必要はない。</p>
スクラム タイミング	蒸気遮断タイミング 及び 弁の閉止速度	蒸気遮断時 の出力	原子炉圧力 ピーク値	中性子束 ピーク値																																																												
約92秒 (TVM)	原子炉停止手順に従い隔離	—	約7.11MPa[gage]	約122%																																																												
約0.1秒 (蒸気加減弁急速閉)	負荷遮断 (蒸気加減弁急速閉)	約105%	約7.79MPa[gage]	約118%																																																												
約0.3秒後 (MSIV閉)	0秒後 (MSIV閉(蒸閉止))	約105%	約7.8MPa[gage]	初期値 を顕えない																																																												
約9秒後 (MSV閉)	約9秒後 (MSV閉 (LB TBトリップ))	約113%	約7.81MPa[gage]	約131%																																																												
	原子炉トリップタイミング	原子炉圧力 ピーク値	DNBR 最小値																																																													
蒸気負荷の異常な増加	原子炉トリップしない	圧力上昇幅 約0.2MPa	約1.88																																																													
蒸気発生器への過剰給水	約56秒後 (蒸気発生器水位異常高によるタービ ントリップ)	圧力上昇幅 約0.2MPa	約2.03																																																													
原子炉起動時における制御棒の異 常な引き抜き	約9.5秒後 (出力領域中性子東高 (低設定))	約17.4MPa[gage]	—																																																													
出力運転中の制御棒の異常な引き 抜き	約60秒後 (過大温度ΔT高)	圧力上昇幅 約0.8MPa	約1.56																																																													
2次冷却系の異常な減圧	— (高温停止状態)	—	臨界に至らない																																																													
主給水流速喪失	約27秒後 (原子炉圧力高)	約17.3MPa[gage]	—																																																													
外部電源喪失	「主給水流速喪失」, 「原子炉冷却材流量の喪失 (第3-4表)」解析で包含される																																																															
負荷の喪失	約8秒後 (原子炉圧力高)	約17.8MPa[gage]	約2.02																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第3.6表 重畳事象の分析 (原子炉建屋火災発生時)

	①原子炉格納容器の動作	②給水設備の全喪失 タービントリップ	③主蒸気隔離弁の全閉止	④給水制御系の故障 (復旧時間)
①原子炉格納容器の動作	○	×	×	×
②給水設備の全喪失 タービントリップ	○	×	×	×
③主蒸気隔離弁の全閉止	○	×	×	×
④給水制御系の故障 (復旧時間)	○	×	×	×

○：重畳事象が小さい。×：重畳事象が大きい。

第3-6表：重畳事象の分析 (1次系統炉火災発生時) (1/5)

	①原子炉格納容器の動作	②給水設備の全喪失 タービントリップ	③主蒸気隔離弁の全閉止	④給水制御系の故障 (復旧時間)	⑤原子炉格納容器の動作	⑥給水設備の全喪失 タービントリップ	⑦主蒸気隔離弁の全閉止	⑧給水制御系の故障 (復旧時間)
①原子炉格納容器の動作	○	×	×	×	○	×	×	×
②給水設備の全喪失 タービントリップ	○	×	×	×	○	×	×	×
③主蒸気隔離弁の全閉止	○	×	×	×	○	×	×	×
④給水制御系の故障 (復旧時間)	○	×	×	×	○	×	×	×

【女川】
 ■記載方針の相違
 女川はBWRの特徴を踏まえて重畳分析を行っているが、泊はBWRの特徴を踏まえて重畳分析を行った。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
① 蒸気発生器への生蒸気への蒸気給水		① 原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器		① 原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器		
② 原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器		② 原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器		② 原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器		
③ 原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器		③ 原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器		③ 原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器		
④ 出力運転中の原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器		④ 出力運転中の原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器		④ 出力運転中の原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器		
⑤ 主給水系統		⑤ 主給水系統		⑤ 主給水系統		
⑥ 外部電源喪失		⑥ 外部電源喪失		⑥ 外部電源喪失		
⑦ 原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器		⑦ 原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器		⑦ 原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器		
⑧ 原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器		⑧ 原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器		⑧ 原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器		
⑨ 負荷の喪失		⑨ 負荷の喪失		⑨ 負荷の喪失		
⑩ 原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器		⑩ 原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器		⑩ 原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器		

① 出力運転中の原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器	② 出力運転中の原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器	③ 出力運転中の原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器	④ 出力運転中の原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器	⑤ 出力運転中の原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器	⑥ 出力運転中の原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器	⑦ 出力運転中の原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器	⑧ 出力運転中の原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器	⑨ 出力運転中の原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器	⑩ 出力運転中の原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器
① 出力運転中の原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器	② 出力運転中の原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器	③ 出力運転中の原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器	④ 出力運転中の原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器	⑤ 出力運転中の原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器	⑥ 出力運転中の原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器	⑦ 出力運転中の原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器	⑧ 出力運転中の原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器	⑨ 出力運転中の原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器	⑩ 出力運転中の原子炉冷却材中のほろろ中の蒸気発生器

【女川】

■記載方針の相違

女川はBWRの特徴を踏まえて重畳分析を行っているが、泊はPWRの特徴を踏まえて重畳分析を行った。

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																																	
				<p>第3-6表：重畳事象の分析 (1次系建屋火災発生時) (3/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>①原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</th> <th>②原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</th> <th>③原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</th> <th>④原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</th> <th>⑤原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</th> <th>⑥原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			①原子炉冷却材中のほう素の異常な電位	②原子炉冷却材中のほう素の異常な電位	③原子炉冷却材中のほう素の異常な電位	④原子炉冷却材中のほう素の異常な電位	⑤原子炉冷却材中のほう素の異常な電位	⑥原子炉冷却材中のほう素の異常な電位	①原子炉冷却材中のほう素の異常な電位							②原子炉冷却材中のほう素の異常な電位							③原子炉冷却材中のほう素の異常な電位							④原子炉冷却材中のほう素の異常な電位							⑤原子炉冷却材中のほう素の異常な電位							⑥原子炉冷却材中のほう素の異常な電位							
	①原子炉冷却材中のほう素の異常な電位	②原子炉冷却材中のほう素の異常な電位	③原子炉冷却材中のほう素の異常な電位	④原子炉冷却材中のほう素の異常な電位	⑤原子炉冷却材中のほう素の異常な電位	⑥原子炉冷却材中のほう素の異常な電位																																																	
①原子炉冷却材中のほう素の異常な電位																																																							
②原子炉冷却材中のほう素の異常な電位																																																							
③原子炉冷却材中のほう素の異常な電位																																																							
④原子炉冷却材中のほう素の異常な電位																																																							
⑤原子炉冷却材中のほう素の異常な電位																																																							
⑥原子炉冷却材中のほう素の異常な電位																																																							
				<p>⑦原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>⑧原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>⑨原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>⑩原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>⑪原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>⑫原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>⑬原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>⑭原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>⑮原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>⑯原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>⑰原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>⑱原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>⑲原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>⑳原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㉑原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㉒原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㉓原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㉔原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㉕原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㉖原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㉗原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㉘原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㉙原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㉚原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㉛原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㉜原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㉝原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㉞原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㉟原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㊱原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㊲原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㊳原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㊴原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㊵原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㊶原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㊷原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㊸原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㊹原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㊺原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㊻原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㊼原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㊽原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㊾原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p> <p>㊿原子炉冷却材中のほう素の異常な電位</p>																																																			

【女川】
 ■記載方針の相違
 女川はBWRの特徴を踏まえて重畳分析を行っているが、泊はPWRの特徴を踏まえて重畳分析を行った。

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表 r.4.0

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 参考資料1 泊発電所3号炉における内部火災により想定される事象の確認結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
		<p style="text-align: center;">第3-6表：重畳事象の分析 (1次系建屋火災発生時) (4/6)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">①原子炉冷却材 系統の異常な減圧</th> <th style="width: 5%;">②原子炉冷却材 系統の異常な減圧</th> <th style="width: 5%;">③原子炉冷却材 系統の異常な減圧</th> <th style="width: 5%;">④原子炉冷却材 系統の異常な減圧</th> <th style="width: 5%;">⑤原子炉冷却材 系統の異常な減圧</th> <th style="width: 5%;">⑥原子炉冷却材 系統の異常な減圧</th> <th style="width: 5%;">⑦原子炉冷却材 系統の異常な減圧</th> <th style="width: 5%;">⑧原子炉冷却材 系統の異常な減圧</th> <th style="width: 5%;">⑨原子炉冷却材 系統の異常な減圧</th> <th style="width: 5%;">⑩原子炉冷却材 系統の異常な減圧</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table> <p>①は②の部品を ③は④の部品を ⑤は⑥の部品を ⑦は⑧の部品を ⑨は⑩の部品を</p>	①原子炉冷却材 系統の異常な減圧	②原子炉冷却材 系統の異常な減圧	③原子炉冷却材 系統の異常な減圧	④原子炉冷却材 系統の異常な減圧	⑤原子炉冷却材 系統の異常な減圧	⑥原子炉冷却材 系統の異常な減圧	⑦原子炉冷却材 系統の異常な減圧	⑧原子炉冷却材 系統の異常な減圧	⑨原子炉冷却材 系統の異常な減圧	⑩原子炉冷却材 系統の異常な減圧	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	<p>【女川】 ■記載方針の相違 女川はBWRの特徴を踏まえて重畳分析を行っているが、泊はPWRの特徴を踏まえて重畳分析を行った。</p>
①原子炉冷却材 系統の異常な減圧	②原子炉冷却材 系統の異常な減圧	③原子炉冷却材 系統の異常な減圧	④原子炉冷却材 系統の異常な減圧	⑤原子炉冷却材 系統の異常な減圧	⑥原子炉冷却材 系統の異常な減圧	⑦原子炉冷却材 系統の異常な減圧	⑧原子炉冷却材 系統の異常な減圧	⑨原子炉冷却材 系統の異常な減圧	⑩原子炉冷却材 系統の異常な減圧														
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×														

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
		<p>第3-6表：重畳事象の分析（1次系建屋火災発生時）(5/5)</p> <table border="1"> <tr> <td>①蒸気発生器への通熱給水</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>②原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>③原子炉起動時に及ぼされる制御棒の異常な引き抜き</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>④出力運転中の制御棒の異常な引き抜き</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>⑤主給水流量喪失</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>⑥外部電源喪失</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>⑦原子炉冷却材流量の部分喪失</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>⑧原子炉冷却材流量の喪失</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>⑨負荷の喪失</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>⑩原子炉冷却材系の異常な減圧</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>○：重畳事象が厳しい ×：単独事象が厳しい</p>	①蒸気発生器への通熱給水	-	-	-	②原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈	-	-	-	③原子炉起動時に及ぼされる制御棒の異常な引き抜き	-	-	-	④出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	-	-	-	⑤主給水流量喪失	-	-	-	⑥外部電源喪失	-	-	-	⑦原子炉冷却材流量の部分喪失	-	-	-	⑧原子炉冷却材流量の喪失	-	-	-	⑨負荷の喪失	-	-	-	⑩原子炉冷却材系の異常な減圧	-	-	-	<p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>女川はBWRの特徴を踏まえて重畳分析を行っているが、泊はPWRの特徴を踏まえて重畳分析を行った。</p>
①蒸気発生器への通熱給水	-	-	-																																								
②原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈	-	-	-																																								
③原子炉起動時に及ぼされる制御棒の異常な引き抜き	-	-	-																																								
④出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	-	-	-																																								
⑤主給水流量喪失	-	-	-																																								
⑥外部電源喪失	-	-	-																																								
⑦原子炉冷却材流量の部分喪失	-	-	-																																								
⑧原子炉冷却材流量の喪失	-	-	-																																								
⑨負荷の喪失	-	-	-																																								
⑩原子炉冷却材系の異常な減圧	-	-	-																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
		<p style="text-align: center;">第3-7表：重畳事象の分析 (2次系建屋火災発生時) (2/4)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;">①蒸気昇降の異常な増加</th> <th style="width: 10%;">②蒸気昇降への過剰給水</th> <th style="width: 10%;">③原子炉起動時に、おける制御棒の異常な引き抜き</th> <th style="width: 10%;">④出力運転中の制御棒の異常な引き抜き</th> <th style="width: 10%;">⑤出力運転中の制御棒の異常な引き抜き</th> <th style="width: 10%;">⑥2次系母管の異常な減圧</th> <th style="width: 10%;">⑦主給水流断喪失</th> <th style="width: 10%;">⑧外部電源喪失</th> <th style="width: 10%;">⑨負荷の喪失</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;">③原子炉起動時に、おける制御棒の異常な引き抜き</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="vertical-align: top;"> ③は起動時を想定としており、想定するアラート状態が④と異なるため、重畳は考慮しない。 【抽出事象：-】 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">④出力運転中の制御棒の異常な引き抜き</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="vertical-align: top;"> ④は出力運転中に想定としており、想定するアラート状態が⑤と異なるため、重畳は考慮しない。 【抽出事象：-】 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">⑤出力運転中の制御棒の異常な引き抜き</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="vertical-align: top;"> ⑤は出力運転中に想定としており、想定するアラート状態が⑥と異なるため、重畳は考慮しない。 【抽出事象：-】 </td> </tr> </tbody> </table>		①蒸気昇降の異常な増加	②蒸気昇降への過剰給水	③原子炉起動時に、おける制御棒の異常な引き抜き	④出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	⑤出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	⑥2次系母管の異常な減圧	⑦主給水流断喪失	⑧外部電源喪失	⑨負荷の喪失	③原子炉起動時に、おける制御棒の異常な引き抜き	-	-	×	×	×	×	×	×	③は起動時を想定としており、想定するアラート状態が④と異なるため、重畳は考慮しない。 【抽出事象：-】	④出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	-	-	×	×	×	×	×	×	④は出力運転中に想定としており、想定するアラート状態が⑤と異なるため、重畳は考慮しない。 【抽出事象：-】	⑤出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	-	-	×	×	×	×	×	×	⑤は出力運転中に想定としており、想定するアラート状態が⑥と異なるため、重畳は考慮しない。 【抽出事象：-】	<p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>女川はBWRの特徴を踏まえて重畳分析を行っているが、泊はPWRの特徴を踏まえて重畳分析を行った。</p>
	①蒸気昇降の異常な増加	②蒸気昇降への過剰給水	③原子炉起動時に、おける制御棒の異常な引き抜き	④出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	⑤出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	⑥2次系母管の異常な減圧	⑦主給水流断喪失	⑧外部電源喪失	⑨負荷の喪失																																		
③原子炉起動時に、おける制御棒の異常な引き抜き	-	-	×	×	×	×	×	×	③は起動時を想定としており、想定するアラート状態が④と異なるため、重畳は考慮しない。 【抽出事象：-】																																		
④出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	-	-	×	×	×	×	×	×	④は出力運転中に想定としており、想定するアラート状態が⑤と異なるため、重畳は考慮しない。 【抽出事象：-】																																		
⑤出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	-	-	×	×	×	×	×	×	⑤は出力運転中に想定としており、想定するアラート状態が⑥と異なるため、重畳は考慮しない。 【抽出事象：-】																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
		<p style="text-align: center;">第3-7表：重畳事象の分析（2次系建屋火災発生時）(3/4)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">①蒸気負荷の異常な増加</th> <th style="width: 10%;">②蒸気発生部への蒸気戻水</th> <th style="width: 10%;">③原子炉起動時に、おける周回駆動の異常な引き抜き</th> <th style="width: 10%;">④出力運転中の周回駆動の異常な引き抜き</th> <th style="width: 10%;">⑤2次系建屋の異常な漏洩</th> <th style="width: 10%;">⑥主給水設備の異常な停止</th> <th style="width: 10%;">⑦外部電源設備の異常な停止</th> <th style="width: 10%;">⑧停電の発生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">⑤2次系建屋の異常な漏洩</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">X ⑤は停電発生を想定しており、想定するプラント状態が⑤と異なるため、重畳は考慮しない。 【抽出事象：①】</td> <td style="text-align: center;">X ⑤により1次系建屋の異常な停止を引き起こすため、重畳は考慮しない。 【抽出事象：①】</td> <td style="text-align: center;">X ⑤は停電発生を想定しており、想定するプラント状態が⑤と異なるため、重畳は考慮しない。 【抽出事象：①】</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">⑥主給水設備の異常な停止</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">X ⑤は⑥の発生を想定しており、プラント状態として影響が大きい。 重畳事象は⑤により引き起こされるため、重畳事象である⑥で代表できる。 【抽出事象：⑤】</td> <td style="text-align: center;">X ⑥は⑥の発生を想定しており、プラント状態として影響が大きい。 重畳事象は⑤により引き起こされるため、重畳事象である⑥で代表できる。 【抽出事象：⑤】</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">⑦外部電源設備の異常な停止</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">X ⑥は⑥の発生を想定しており、プラント状態として影響が大きい。 重畳事象は⑤により引き起こされるため、重畳事象である⑥で代表できる。 【抽出事象：⑤】</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">⑧停電の発生</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">X ⑥は⑥の発生を想定しており、プラント状態として影響が大きい。 重畳事象は⑤により引き起こされるため、重畳事象である⑥で代表できる。 【抽出事象：⑤】</td> </tr> </tbody> </table>	①蒸気負荷の異常な増加	②蒸気発生部への蒸気戻水	③原子炉起動時に、おける周回駆動の異常な引き抜き	④出力運転中の周回駆動の異常な引き抜き	⑤2次系建屋の異常な漏洩	⑥主給水設備の異常な停止	⑦外部電源設備の異常な停止	⑧停電の発生	⑤2次系建屋の異常な漏洩	-	-	-	-	X ⑤は停電発生を想定しており、想定するプラント状態が⑤と異なるため、重畳は考慮しない。 【抽出事象：①】	X ⑤により1次系建屋の異常な停止を引き起こすため、重畳は考慮しない。 【抽出事象：①】	X ⑤は停電発生を想定しており、想定するプラント状態が⑤と異なるため、重畳は考慮しない。 【抽出事象：①】	⑥主給水設備の異常な停止	-	-	-	-	-	X ⑤は⑥の発生を想定しており、プラント状態として影響が大きい。 重畳事象は⑤により引き起こされるため、重畳事象である⑥で代表できる。 【抽出事象：⑤】	X ⑥は⑥の発生を想定しており、プラント状態として影響が大きい。 重畳事象は⑤により引き起こされるため、重畳事象である⑥で代表できる。 【抽出事象：⑤】	⑦外部電源設備の異常な停止	-	-	-	-	-	-	X ⑥は⑥の発生を想定しており、プラント状態として影響が大きい。 重畳事象は⑤により引き起こされるため、重畳事象である⑥で代表できる。 【抽出事象：⑤】	⑧停電の発生	-	-	-	-	-	-	X ⑥は⑥の発生を想定しており、プラント状態として影響が大きい。 重畳事象は⑤により引き起こされるため、重畳事象である⑥で代表できる。 【抽出事象：⑤】	<p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違 女川はBWRの特徴を踏まえて重畳分析を行っているが、泊はPWRの特徴を踏まえて重畳分析を行った。</p>
①蒸気負荷の異常な増加	②蒸気発生部への蒸気戻水	③原子炉起動時に、おける周回駆動の異常な引き抜き	④出力運転中の周回駆動の異常な引き抜き	⑤2次系建屋の異常な漏洩	⑥主給水設備の異常な停止	⑦外部電源設備の異常な停止	⑧停電の発生																																				
⑤2次系建屋の異常な漏洩	-	-	-	-	X ⑤は停電発生を想定しており、想定するプラント状態が⑤と異なるため、重畳は考慮しない。 【抽出事象：①】	X ⑤により1次系建屋の異常な停止を引き起こすため、重畳は考慮しない。 【抽出事象：①】	X ⑤は停電発生を想定しており、想定するプラント状態が⑤と異なるため、重畳は考慮しない。 【抽出事象：①】																																				
⑥主給水設備の異常な停止	-	-	-	-	-	X ⑤は⑥の発生を想定しており、プラント状態として影響が大きい。 重畳事象は⑤により引き起こされるため、重畳事象である⑥で代表できる。 【抽出事象：⑤】	X ⑥は⑥の発生を想定しており、プラント状態として影響が大きい。 重畳事象は⑤により引き起こされるため、重畳事象である⑥で代表できる。 【抽出事象：⑤】																																				
⑦外部電源設備の異常な停止	-	-	-	-	-	-	X ⑥は⑥の発生を想定しており、プラント状態として影響が大きい。 重畳事象は⑤により引き起こされるため、重畳事象である⑥で代表できる。 【抽出事象：⑤】																																				
⑧停電の発生	-	-	-	-	-	-	X ⑥は⑥の発生を想定しており、プラント状態として影響が大きい。 重畳事象は⑤により引き起こされるため、重畳事象である⑥で代表できる。 【抽出事象：⑤】																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																
		<p style="text-align: center;">第3-7表：重畳事象の分析（2次系建屋火災発生時）（4/4）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>①蒸気気圧の異常な増加</td> <td>○</td> <td>②蒸気発生器への過剰給水</td> <td>○</td> <td>③原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き</td> <td>○</td> <td>④出力運転中の制御棒の異常な引き抜き</td> <td>○</td> <td>⑤2次冷却系の異常な減圧</td> <td>○</td> <td>⑥主給水流路異常</td> <td>○</td> <td>⑦外部電源喪失</td> <td>○</td> <td>⑧負荷の喪失</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>○：重畳事象が厳しい ×：単独事象が厳しい</p>	①蒸気気圧の異常な増加	○	②蒸気発生器への過剰給水	○	③原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き	○	④出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	○	⑤2次冷却系の異常な減圧	○	⑥主給水流路異常	○	⑦外部電源喪失	○	⑧負荷の喪失	○	<p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>女川はBWRの特徴を踏まえて重畳分析を行っているが、泊はPWRの特徴を踏まえて重畳分析を行った。</p>
①蒸気気圧の異常な増加	○	②蒸気発生器への過剰給水	○	③原子炉起動時における制御棒の異常な引き抜き	○	④出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	○	⑤2次冷却系の異常な減圧	○	⑥主給水流路異常	○	⑦外部電源喪失	○	⑧負荷の喪失	○				

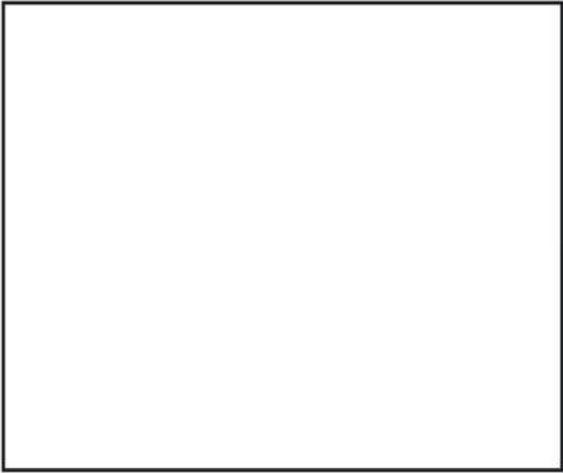
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																									
		<p>第3-8表：重量を考慮した場合に厳しくなる事象の組合せ (1次系建屋火災発生時)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>組合せを考慮する事象</th> <th>圧力</th> <th>DNBR</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蒸気発生器への過剰給水</td> <td>—</td> <td>—※1</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈</td> <td>—※1</td> <td>—※1</td> </tr> <tr> <td>出力運転中の制御棒の異常な引き抜き</td> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>主給水流量喪失</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>負荷の喪失</td> <td>◎</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材系の異常な減圧</td> <td>—</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：反応度添加率の観点で「出力運転中の制御棒の異常な引き抜き」に代表される ◎：評価パラメータの観点で最も厳しい事象 ○：重量を考慮した場合に評価パラメータを厳しくする事象 —：重量を考慮しない事象</p> <p>第3-9表：重量を考慮した場合に厳しくなる事象の組合せ (2次系建屋火災発生時)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>組合せを考慮する事象</th> <th>圧力</th> <th>DNBR</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蒸気負荷の異常な増加</td> <td>—</td> <td>—※1</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器への過剰給水</td> <td>—</td> <td>—※1</td> </tr> <tr> <td>出力運転中の制御棒の異常な引き抜き</td> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>主給水流量喪失</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>負荷の喪失</td> <td>◎</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：反応度添加率の観点で「出力運転中の制御棒の異常な引き抜き」に代表される ◎：評価パラメータの観点で最も厳しい事象 ○：重量を考慮した場合に評価パラメータを厳しくする事象 —：重量を考慮しない事象</p> <p>第3-10表：抽出された重量事象 (1次系建屋火災発生時)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>重量事象</th> <th>評価項目</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケース：1次系建屋-I 出力運転中の制御棒の異常な引き抜き 主給水流量喪失 負荷の喪失</td> <td>圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケース：1次系建屋-II 出力運転中の制御棒の異常な引き抜き 主給水流量喪失 原子炉冷却材系の異常な減圧</td> <td>DNBR</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>第3-11表：抽出された重量事象 (2次系建屋火災発生時)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>重量事象</th> <th>評価項目</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケース：2次系建屋-I 出力運転中の制御棒の異常な引き抜き 負荷の喪失 主給水流量喪失</td> <td>圧力</td> <td>1次系建屋-Iと同一条件となる。</td> </tr> <tr> <td>ケース：2次系建屋-II 出力運転中の制御棒の異常な引き抜き 主給水流量喪失</td> <td>DNBR</td> <td>1次系の減圧によるDNBR悪化の観点で1次系建屋-IIに包絡される (1次系建屋-IIのケースで代表する)。</td> </tr> </tbody> </table>	組合せを考慮する事象	圧力	DNBR	蒸気発生器への過剰給水	—	—※1	原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈	—※1	—※1	出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	○	◎	主給水流量喪失	○	○	負荷の喪失	◎	—	原子炉冷却材系の異常な減圧	—	○	組合せを考慮する事象	圧力	DNBR	蒸気負荷の異常な増加	—	—※1	蒸気発生器への過剰給水	—	—※1	出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	○	◎	主給水流量喪失	○	○	負荷の喪失	◎	—	重量事象	評価項目	備考	ケース：1次系建屋-I 出力運転中の制御棒の異常な引き抜き 主給水流量喪失 負荷の喪失	圧力		ケース：1次系建屋-II 出力運転中の制御棒の異常な引き抜き 主給水流量喪失 原子炉冷却材系の異常な減圧	DNBR		重量事象	評価項目	備考	ケース：2次系建屋-I 出力運転中の制御棒の異常な引き抜き 負荷の喪失 主給水流量喪失	圧力	1次系建屋-Iと同一条件となる。	ケース：2次系建屋-II 出力運転中の制御棒の異常な引き抜き 主給水流量喪失	DNBR	1次系の減圧によるDNBR悪化の観点で1次系建屋-IIに包絡される (1次系建屋-IIのケースで代表する)。	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>女川では3つ以上の事象の重量がなかったが、泊では3つ以上の事象の重量があったため、評価パラメータの観点で最も厳しい事象を選定し、その結果を示した。</p>
組合せを考慮する事象	圧力	DNBR																																																										
蒸気発生器への過剰給水	—	—※1																																																										
原子炉冷却材中のほう素の異常な希釈	—※1	—※1																																																										
出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	○	◎																																																										
主給水流量喪失	○	○																																																										
負荷の喪失	◎	—																																																										
原子炉冷却材系の異常な減圧	—	○																																																										
組合せを考慮する事象	圧力	DNBR																																																										
蒸気負荷の異常な増加	—	—※1																																																										
蒸気発生器への過剰給水	—	—※1																																																										
出力運転中の制御棒の異常な引き抜き	○	◎																																																										
主給水流量喪失	○	○																																																										
負荷の喪失	◎	—																																																										
重量事象	評価項目	備考																																																										
ケース：1次系建屋-I 出力運転中の制御棒の異常な引き抜き 主給水流量喪失 負荷の喪失	圧力																																																											
ケース：1次系建屋-II 出力運転中の制御棒の異常な引き抜き 主給水流量喪失 原子炉冷却材系の異常な減圧	DNBR																																																											
重量事象	評価項目	備考																																																										
ケース：2次系建屋-I 出力運転中の制御棒の異常な引き抜き 負荷の喪失 主給水流量喪失	圧力	1次系建屋-Iと同一条件となる。																																																										
ケース：2次系建屋-II 出力運転中の制御棒の異常な引き抜き 主給水流量喪失	DNBR	1次系の減圧によるDNBR悪化の観点で1次系建屋-IIに包絡される (1次系建屋-IIのケースで代表する)。																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>4. 内部火災発生時に期待できる緩和系の整理【ステップ6】</p> <p>4.1. 内部火災による緩和設備に対する機能維持状態</p> <p>除熱機能の2区分のうち、1区分は機能を維持するよう対策を実施しているものの、「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に除熱機能（残留熱除去系原子炉停止時冷却モード）が喪失した場合、さらに、単一故障を想定すると、除熱機能が喪失する可能性がある。</p> <p>このため、残留熱除去系の制御系から実際の機器配置場所までを以下の区画及び建屋を対象に調査することで「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に除熱機能が同時に喪失する状況にあるかについて系統分離の考え方とともに網羅的に確認した。</p> <p>(1) 中央制御室</p> <p>(2) ケーブル処理室及び電気品室</p> <p>(3) 中央制御室外原子炉停止装置（RSS）盤室</p> <p>(4) 建屋内（原子炉建屋/タービン建屋）火災</p> <p>(1) 中央制御室</p> <p>a. 中央制御室における火災防護上の設計の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中央制御室の制御盤は、スイッチ、配線等の構成部品に単一火災を想定しても、近接する他構成部品に影響が波及しないことを確認した実証試験の知見に基づく分離設計を行っているため、制御盤間の延焼が生じることはない。 ● 火災により中央制御室の制御盤1区画（面）の安全機能が喪失したとしても、他区画の制御盤の運転操作及び現場操作により、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持できる。 ● 中央制御室においては常駐する運転員により火災の早期感知・消火が可能であるため、制御盤にて火災が発生した場合であっても火災による影響は限定的である。 <p>第4.1.1図において、残留熱除去系の関連制御盤の配置状況を示す。</p>	<p>4. 内部火災発生時に期待できる緩和系の整理【ステップ6】</p>	<p>[女川]</p> <p>■設計の相違</p> <p>女川では「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に除熱機能が喪失した場合、さらに、単一故障を想定すると、除熱機能が喪失する可能性があるため、個別に確認を行っている。泊では、期待できる緩和系については、全て単一故障を想定し、評価を実施している。以下、p53まで同様</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="712 193 1308 719" style="border: 2px solid red; padding: 10px;">  <p data-bbox="808 692 1227 711">第4.1.1図 残留熱除去系関連制御盤の状況 (中央制御室)</p> </div> <p data-bbox="748 767 1200 786">b. 中央制御室の火災による残留熱除去系への影響</p> <p data-bbox="770 802 1323 959">中央制御室における単一火災において、「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と残留熱除去系の機能喪失(操作手段の一部喪失)の関係について整理した。第4.1.1表に整理結果を示す。また、各盤における火災により、発生のある故障について第4.1.2表に示す。</p> <p data-bbox="748 975 1323 1062">評価の結果、「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に残留熱除去系の操作手段が一部喪失する事象があることを確認した。</p> <p data-bbox="770 1078 1323 1126">このため、以下に示す他の操作手段により、残留熱除去系の機能維持が可能であることを確認した。</p>		<p data-bbox="1980 156 2024 175">[女川]</p> <p data-bbox="1980 188 2085 207">■設計の相違</p> <p data-bbox="1980 220 2159 651">女川では「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に除熱機能が喪失した場合、さらに、単一故障を想定すると、除熱機能が喪失する可能性があるため、個別に確認を行っている。泊では、期待できる緩和系については、全て単一故障を想定し、評価を実施している。以下、p53まで同様</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(a) 中央制御室外原子炉停止制御盤 (H21-P055) によるRSS 操作への切替え</p> <p>中央制御室における単一火災において、残留熱除去系の操作手段が一部喪失した場合においても、RSS 操作への切替えを行うことにより、RSS 盤室において残留熱除去系を操作可能である。</p> <p>例えば、「RHR(A) ポンプスイッチ」、「RHR(A) 系停止時冷却注入隔離弁スイッチ」が使用できなくなる場合においても、現場の機器は健全であることから、中央制御室外原子炉停止制御盤 (H21-P055) において、「中央」から「RSS」に操作を切り替えることで、残留熱除去系原子炉停止時冷却モードにより、原子炉の低温停止が可能である。</p> <p>(b) 「他の中央制御盤でのジャンパ/リフト対応」、「現場MCC等電気盤におけるジャンパ/リフト対応」による信号入力</p> <p>a. と同様に中央制御室の当該盤を使用した残留熱除去系の操作ができない場合においても、「他の中央制御盤でのジャンパ/リフト対応」、「現場MCC等電気盤におけるジャンパ/リフト対応」による信号入力が可能である。</p> <p>例えば、「RHR(A) ポンプスイッチ」が使用できない場合においても、当該制御盤 (H11-P601-1) ではなく、他の中央制御盤 (H11-P617) にて起動指令をジャンパすることでRHR(A) ポンプを起動可能である。さらに、同様の操作を現場MCC等電気盤において実施することで対応が可能となる。</p> <p>「現場MCC等電気盤におけるジャンパ/リフト対応による信号入力」の例を第4.1.2 図に示す。</p> <p>以上より、中央制御室における単一火災において、残留熱除去系原子炉停止時冷却モードにより、原子炉の低温停止が可能である。</p>		<p>[女川]</p> <p>■設計の相違</p> <p>女川では「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に除熱機能が喪失した場合、さらに、単一故障を想定すると、除熱機能が喪失する可能性があるため、個別に確認を行っている。泊では、期待できる緩和系については、全て単一故障を想定し、評価を実施している。以下、p53 まで同様</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																															
	<p>第4.1.1表 中央制御室火災により発生する事象と残留熱除去系への影響確認結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>電話番号</th> <th>起因となる故障</th> <th>発生の可能性が ある事象</th> <th>RHR 関連機器</th> <th>別原への 影響</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">C-4-1</td> <td>H11-P501-1</td> <td>RCCの誤起動 逃がし弁閉鎖等 誤発生 等</td> <td>RCCの誤起動 逃がし弁安全弁誤開放 等</td> <td>RHR 冷却ポンプ 停止等</td> <td></td> <td rowspan="15">中央制御室での 操作ができない 可能性有 ※4.又はもによ り、対応可能</td> </tr> <tr> <td>H11-P501-2</td> <td>速度制御増速 要求信号誤発生 等</td> <td>原子炉冷却材循環系 の誤動作 等</td> <td>RHR A系統上 の冷却ポンプ停止 等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H11-P603</td> <td>原子炉給水制御 系増信号誤発生 等</td> <td>給水系統の故障 等</td> <td>RHR A系統上 の冷却ポンプ停止 等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H11-P513-1</td> <td>RCCの誤起動</td> <td>RCCの誤起動</td> <td>RHR 冷却ポンプ 停止</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H11-P513-2</td> <td>RCCの誤起動</td> <td>RCCの誤起動</td> <td>RHR 冷却ポンプ 停止</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H11-P622</td> <td>速度制御増速 要求信号誤発生 等</td> <td>原子炉冷却材循環系 の誤動作 等</td> <td>RHR A系統上 の冷却ポンプ停止 等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H11-P623</td> <td>速度制御増速 要求信号誤発生 等</td> <td>原子炉冷却材循環系 の誤動作 等</td> <td>RHR A系統上 の冷却ポンプ停止 等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H11-P520-1</td> <td>主蒸気隔離弁の 閉止</td> <td>主蒸気隔離弁の誤開 止</td> <td>RHR A系統上 の冷却ポンプ停止 等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H11-P520-2</td> <td>主蒸気隔離弁の 閉止</td> <td>主蒸気隔離弁の誤開 止</td> <td>RHR B系統上 の冷却ポンプ停止 等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H11-P520-3</td> <td>主蒸気隔離弁の 閉止</td> <td>主蒸気隔離弁の誤開 止</td> <td>RHR A系統上 の冷却ポンプ停止 等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H11-P520-4</td> <td>主蒸気隔離弁の 閉止</td> <td>主蒸気隔離弁の誤開 止</td> <td>RHR B系統上 の冷却ポンプ停止 等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H11-P531-1</td> <td>RCCの誤起動 逃がし弁閉鎖等 誤発生</td> <td>RCCの誤起動 逃がし弁安全弁誤開放 等</td> <td>RHR B系統上 の冷却ポンプ停止 等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H11-P531-2</td> <td>RCCの誤起動 逃がし弁閉鎖等 誤発生</td> <td>RCCの誤起動 等</td> <td>RHR B系統上 の冷却ポンプ停止 等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H11-P709</td> <td>逃がし弁閉鎖等 誤発生</td> <td>逃がし弁安全弁誤開放 等</td> <td>RHR ヘッドス タート仕入機 等</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ a. 中央制御室外原子炉停止制御盤 (H21-P055) によるRSS操作への代替 b. 「他の中央制御室でのジャンパ/リフト対応」、「現場MCC等電気盤におけるジャンパ/リフト対応」による信号入力</p>	場所	電話番号	起因となる故障	発生の可能性が ある事象	RHR 関連機器	別原への 影響	備考	C-4-1	H11-P501-1	RCCの誤起動 逃がし弁閉鎖等 誤発生 等	RCCの誤起動 逃がし弁安全弁誤開放 等	RHR 冷却ポンプ 停止等		中央制御室での 操作ができない 可能性有 ※4.又はもによ り、対応可能	H11-P501-2	速度制御増速 要求信号誤発生 等	原子炉冷却材循環系 の誤動作 等	RHR A系統上 の冷却ポンプ停止 等		H11-P603	原子炉給水制御 系増信号誤発生 等	給水系統の故障 等	RHR A系統上 の冷却ポンプ停止 等		H11-P513-1	RCCの誤起動	RCCの誤起動	RHR 冷却ポンプ 停止		H11-P513-2	RCCの誤起動	RCCの誤起動	RHR 冷却ポンプ 停止		H11-P622	速度制御増速 要求信号誤発生 等	原子炉冷却材循環系 の誤動作 等	RHR A系統上 の冷却ポンプ停止 等		H11-P623	速度制御増速 要求信号誤発生 等	原子炉冷却材循環系 の誤動作 等	RHR A系統上 の冷却ポンプ停止 等		H11-P520-1	主蒸気隔離弁の 閉止	主蒸気隔離弁の誤開 止	RHR A系統上 の冷却ポンプ停止 等		H11-P520-2	主蒸気隔離弁の 閉止	主蒸気隔離弁の誤開 止	RHR B系統上 の冷却ポンプ停止 等		H11-P520-3	主蒸気隔離弁の 閉止	主蒸気隔離弁の誤開 止	RHR A系統上 の冷却ポンプ停止 等		H11-P520-4	主蒸気隔離弁の 閉止	主蒸気隔離弁の誤開 止	RHR B系統上 の冷却ポンプ停止 等		H11-P531-1	RCCの誤起動 逃がし弁閉鎖等 誤発生	RCCの誤起動 逃がし弁安全弁誤開放 等	RHR B系統上 の冷却ポンプ停止 等		H11-P531-2	RCCの誤起動 逃がし弁閉鎖等 誤発生	RCCの誤起動 等	RHR B系統上 の冷却ポンプ停止 等		H11-P709	逃がし弁閉鎖等 誤発生	逃がし弁安全弁誤開放 等	RHR ヘッドス タート仕入機 等			<p>[女川] ■設計の相違 女川では「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に除熱機能が喪失した場合、さらに、単一故障を想定すると、除熱機能が喪失する可能性があるため、個別に確認を行っている。泊では、期待できる緩和系については、全て単一故障を想定し、評価を実施している。以下、p53まで同様</p>
場所	電話番号	起因となる故障	発生の可能性が ある事象	RHR 関連機器	別原への 影響	備考																																																																												
C-4-1	H11-P501-1	RCCの誤起動 逃がし弁閉鎖等 誤発生 等	RCCの誤起動 逃がし弁安全弁誤開放 等	RHR 冷却ポンプ 停止等		中央制御室での 操作ができない 可能性有 ※4.又はもによ り、対応可能																																																																												
	H11-P501-2	速度制御増速 要求信号誤発生 等	原子炉冷却材循環系 の誤動作 等	RHR A系統上 の冷却ポンプ停止 等																																																																														
	H11-P603	原子炉給水制御 系増信号誤発生 等	給水系統の故障 等	RHR A系統上 の冷却ポンプ停止 等																																																																														
	H11-P513-1	RCCの誤起動	RCCの誤起動	RHR 冷却ポンプ 停止																																																																														
	H11-P513-2	RCCの誤起動	RCCの誤起動	RHR 冷却ポンプ 停止																																																																														
	H11-P622	速度制御増速 要求信号誤発生 等	原子炉冷却材循環系 の誤動作 等	RHR A系統上 の冷却ポンプ停止 等																																																																														
	H11-P623	速度制御増速 要求信号誤発生 等	原子炉冷却材循環系 の誤動作 等	RHR A系統上 の冷却ポンプ停止 等																																																																														
	H11-P520-1	主蒸気隔離弁の 閉止	主蒸気隔離弁の誤開 止	RHR A系統上 の冷却ポンプ停止 等																																																																														
	H11-P520-2	主蒸気隔離弁の 閉止	主蒸気隔離弁の誤開 止	RHR B系統上 の冷却ポンプ停止 等																																																																														
	H11-P520-3	主蒸気隔離弁の 閉止	主蒸気隔離弁の誤開 止	RHR A系統上 の冷却ポンプ停止 等																																																																														
	H11-P520-4	主蒸気隔離弁の 閉止	主蒸気隔離弁の誤開 止	RHR B系統上 の冷却ポンプ停止 等																																																																														
	H11-P531-1	RCCの誤起動 逃がし弁閉鎖等 誤発生	RCCの誤起動 逃がし弁安全弁誤開放 等	RHR B系統上 の冷却ポンプ停止 等																																																																														
	H11-P531-2	RCCの誤起動 逃がし弁閉鎖等 誤発生	RCCの誤起動 等	RHR B系統上 の冷却ポンプ停止 等																																																																														
	H11-P709	逃がし弁閉鎖等 誤発生	逃がし弁安全弁誤開放 等	RHR ヘッドス タート仕入機 等																																																																														

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表 r.4.0

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 参考資料1 泊発電所3号炉における内部火災により想定される事象の確認結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第4.1.2表 残留熱除去系停止時冷却機能関連と発生の可能性のある「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の整理結果</p>		<p>[女川] ■設計の相違 女川では「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に除熱機能が喪失した場合、さらに、単一故障を想定すると、除熱機能が喪失する可能性があるため、個別に確認を行っている。泊では、期待できる緩和系については、全て単一故障を想定し、評価を実施している。以下、p53まで同様</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="712 199 1281 710" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="790 627 1160 654">第4.1.2図 誤信号の解除操作例</p> <p data-bbox="712 767 1323 1029"> (2) ケーブル処理室及び電気品室 a. ケーブル処理室及び電気品室における火災防護上の設計の考え方 第4.1.3図に示すとおり、ケーブル処理室及び電気品室は常用系区分及び安全系区分ごとに分離配置されており、それぞれ別の火災区画となっている。 このことから、ケーブル処理室及び電気品室において、単一火災によって複数の区分が同時に機能喪失することはない。 </p> <div data-bbox="752 1086 1281 1430" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="837 1409 1189 1426">第4.1.3図 ケーブル処理室及び電気品室における分離状況</p>		<p data-bbox="1977 156 2024 175">[女川]</p> <p data-bbox="1977 188 2085 207">■設計の相違</p> <p data-bbox="1977 220 2159 651"> 女川では「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に除熱機能が喪失した場合、さらに、単一故障を想定すると、除熱機能が喪失する可能性があるため、個別に確認を行っている。泊では、期待できる緩和系については、全て単一故障を想定し、評価を実施している。以下、p53まで同様 </p>

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表 r.4.0

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 参考資料1 泊発電所3号炉における内部火災により想定される事象の確認結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>b. ケーブル処理室及び電気品室の火災による残留熱除去系への影響</p> <p>ケーブル処理室及び電気品室における単一火災において、「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と残留熱除去系の機能喪失の関係について整理した。第4.1.3表に整理結果を示す。以下に(a)ケーブル処理室、(b)電気品室における整理結果を示す。</p> <p>(a) ケーブル処理室</p> <p>ケーブル処理室においては、「RHR 関連機器」、「運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故の起因となる機器」及び動力ケーブルは配置されていないため、第4.1.3表に機器は記載されていない。</p> <p>ケーブル処理室における火災発生時には、火災が発生した区分と別区分の残留熱除去系は健全である。加えて、火災が発生した区分の残留熱除去系の機能についても、「現場MCC等電気盤におけるジャンパ/リフト対応による信号入力」操作により、その機能は維持されるため、原子炉の低温停止が可能である。</p>		<p>[女川]</p> <p>■設計の相違</p> <p>女川では「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に除熱機能が喪失した場合、さらに、単一故障を想定すると、除熱機能が喪失する可能性があるため、個別に確認を行っている。泊では、期待できる緩和系については、全て単一故障を想定し、評価を実施している。以下、p53まで同様</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
	<p>(b) 電気品室</p> <p>評価の結果、非常用母線 (A, B 系) の動力用電源盤のうち「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の起因となる系統の設備が存在する盤 (460V R/B MCC2C-4, 460V R/B MCC 2D-4) を抽出した。</p> <p>抽出した盤において、原子炉に有意な影響を与える主要な要因に対応する故障を発生させるような機器として、「原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁」、「原子炉再循環ポンプ(B)吐出弁」等が抽出され、これらの機器の機能喪失により、「運転時の異常な過渡変化」の1つである「原子炉冷却材系流量の部分喪失」が発生することとなる。しかしながら、本事象は原子炉スクラムには至らない事象であるため、「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と残留熱除去系の機能喪失の重畳を考慮する必要はない。</p> <p>以上より、ケーブル処理室及び電気品室における火災において、単一故障を想定した場合においても残留熱除去系原子炉停止時冷却モードにより、原子炉の低温停止が可能であることを確認した。</p> <div data-bbox="719 836 1317 1198" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">第4.1.3表 ケーブル処理室及び電気品室火災により発生する事象と残留熱除去系への影響確認結果^{※1}</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>盤番号</th> <th>起因となる機器</th> <th>発生の可能性がある事象</th> <th>知照関連機器</th> <th>知照の同時機能喪失^{※2}</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R-6-28</td> <td>MCC 2C-4</td> <td>原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁 原子炉再循環ポンプ(A)戻込弁</td> <td>原子炉冷却材流量の部分喪失</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>R-6-34</td> <td>MCC 2D-4</td> <td>原子炉再循環ポンプ(B)吐出弁 原子炉再循環ポンプ(B)戻込弁</td> <td>原子炉冷却材流量の部分喪失</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 ケーブル処理室については、「知照関連機器」及び「起因となる機器」がないため、リストへの記載なし。 ※2 ○：機能喪失無、×：機能喪失有</p> </div> <p>(3) 中央制御室外原子炉停止装置 (RSS) 盤室</p> <p>a. 中央制御室外原子炉停止装置 (RSS) 盤室における火災防護上の設計の考え方</p> <p>(a) 1時間以上の耐火能力を有する隔壁</p> <p>同一火災区画内で異なる安全区分の制御盤間に、1時間耐火能力を有する「耐火材 (トンネライト、ハイラック)」を、互いの制御盤が直視できないよう設置する。</p>	場所	盤番号	起因となる機器	発生の可能性がある事象	知照関連機器	知照の同時機能喪失 ^{※2}	備考	R-6-28	MCC 2C-4	原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁 原子炉再循環ポンプ(A)戻込弁	原子炉冷却材流量の部分喪失	-	○	-	R-6-34	MCC 2D-4	原子炉再循環ポンプ(B)吐出弁 原子炉再循環ポンプ(B)戻込弁	原子炉冷却材流量の部分喪失	-	○	-		<p>[女川]</p> <p>■設計の相違</p> <p>女川では「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に除熱機能が喪失した場合、さらに、単一故障を想定すると、除熱機能が喪失する可能性があるため、個別に確認を行っている。泊では、期待できる緩和系については、全て単一故障を想定し、評価を実施している。以下、p53まで同様</p>
場所	盤番号	起因となる機器	発生の可能性がある事象	知照関連機器	知照の同時機能喪失 ^{※2}	備考																		
R-6-28	MCC 2C-4	原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁 原子炉再循環ポンプ(A)戻込弁	原子炉冷却材流量の部分喪失	-	○	-																		
R-6-34	MCC 2D-4	原子炉再循環ポンプ(B)吐出弁 原子炉再循環ポンプ(B)戻込弁	原子炉冷却材流量の部分喪失	-	○	-																		

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(b)火災感知設備</p> <p>発信箇所が特定でき、異なる種類の信号を有する火災感知器を火災区画内に設置し、火災の発生を常時監視する。</p> <p>(c)自動消火設備</p> <p>当該火災区画の全域を消火範囲としたハロン自動消火設備を設置する。</p> <p>第4.1.4 図及び第4.1.5 図において、残留熱除去系の関連制御盤の配置状況を示す。</p> <div data-bbox="752 911 1285 1362" style="border: 2px solid red; padding: 10px; margin: 10px 0;">  </div> <p>第4.1.4 図 残留熱除去系関連制御盤の配置状況 (R S S 盤室)</p>		<p>[女川]</p> <p>■設計の相違</p> <p>女川では「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に除熱機能が喪失した場合、さらに、単一故障を想定すると、除熱機能が喪失する可能性があるため、個別に確認を行っている。泊では、期待できる緩和系については、全て単一故障を想定し、評価を実施している。以下、p53 まで同様</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第4.1.5図 中央制御室外原子炉停止装置の系統分離</p> <p>b. 中央制御室外原子炉停止装置 (RSS) 盤室の火災による残留熱除去系への影響</p> <p>R S S 盤室における火災発生時においては、中央制御室制御盤における火災発生時の対応と同様に「現場MCC 等電気盤におけるジャンパ/リフト対応」により信号を入力することで対応が可能である。</p> <p>また、第4.1.5 図に示したとおり、R S S 盤室については、1時間以上の耐火能力を有する隔壁により、残留熱除去系操作機能が両系統喪失することはない。</p> <p>したがって、R S S 盤室において火災が発生した場合についても安全停止上の問題は発生しない。</p>		<p>[女川]</p> <p>■設計の相違</p> <p>女川では「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に除熱機能が喪失した場合、さらに、単一故障を想定すると、除熱機能が喪失する可能性があるため、個別に確認を行っている。泊では、期待できる緩和系については、全て単一故障を想定し、評価を実施している。以下、p53 まで同様</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(4) 建屋内 (原子炉建屋/タービン建屋)</p> <p>a. 建屋内 (原子炉建屋/タービン建屋) における火災防護上の設計の考え方</p> <p>建屋内 (原子炉建屋/タービン建屋) の各区画については、火災源となる系統があり、また、火災影響を受ける隣接区画からの火災による影響の可能性があるため、「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に緩和設備である除熱機能が喪失することがないか確認する。</p> <p>第4.1.4 表に残留熱除去系による原子炉低温停止の可否を確認する観点から、残留熱除去系の機能のうち、原子炉停止時冷却モードに必要となる主要なフロント系及びサポート系機器を抽出した。</p> <p>第4.1.6~4.1.18 図において、火災防護区画の設定の状況を示す。</p> <p>b. 建屋内 (原子炉建屋/タービン建屋) の火災による残留熱除去系への影響</p> <p>第4.1.5 表に火災により発生のある事象を抽出し、事象発生の起因となりうる設備及びその設置場所 (火災防護区画) を整理し、火災防護区画における「残留熱除去系関連機器」の設置有無を確認することで、「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に残留熱除去系の機能喪失が発生することがなく、加えて、残留熱除去系に単一故障を想定した場合においても、低温停止が可能であることを確認した。</p> <p>事象発生の起因となりうる設備と「残留熱除去系関連機器」が同一区画に存在する場合もあるが、個別に発生する事象の詳細確認を行い、スクラムしない事象であること、PCV 内はプラント運転中は、窒素で置換されており、火災は発生しないことから、低温停止に対して影響はない。</p> <p>以上より、「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に残留熱除去系が機能喪失する事象がないことを確認した。この結果より、主要建屋における火災において、単一故障を想定した場合においても残留熱除去系原子炉停止時冷却モードにより、原子炉の低温停止が可能であることを確認した。</p>		<p>[女川]</p> <p>■設計の相違</p> <p>女川では「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に除熱機能が喪失した場合、さらに、単一故障を想定すると、除熱機能が喪失する可能性があるため、個別に確認を行っている。泊では、期待できる緩和系については、全て単一故障を想定し、評価を実施している。以下、p53 まで同様</p>

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表 r.4.0

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 参考資料1 泊発電所3号炉における内部火災により想定される事象の確認結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																		
	<p style="text-align: center;">第4.1.4表 残留熱除去系フロント系及びサポート系機器 (1/4)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">系統</th> <th style="width: 60%;">機器</th> <th style="width: 30%;">設置場所*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20">フロント系</td><td>RHR A系 S/C スプレイ隔離弁</td><td>R-1-1</td></tr> <tr><td>RHR B系 S/C スプレイ隔離弁</td><td>R-1-1</td></tr> <tr><td>RHR A系試験用調整弁</td><td>R-1-1</td></tr> <tr><td>RHR B系試験用調整弁</td><td>R-1-1</td></tr> <tr><td>RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁</td><td>R-1-1</td></tr> <tr><td>RHR B系停止時冷却吸込第二隔離弁</td><td>R-1-1</td></tr> <tr><td>RHR A系停止時冷却注入隔離弁</td><td>R-1-1</td></tr> <tr><td>RHR B系停止時冷却注入隔離弁</td><td>R-1-1</td></tr> <tr><td>RHR ポンプ(A)ミニマムフロー弁</td><td>R-1-1</td></tr> <tr><td>RHR ポンプ(B)ミニマムフロー弁</td><td>R-1-1</td></tr> <tr><td>RHR A系 RW 連絡第一弁</td><td>R-1-1</td></tr> <tr><td>RHR B系 RW 連絡第一弁</td><td>R-1-1</td></tr> <tr><td>RHR A系系統暖機弁</td><td>R-1-1</td></tr> <tr><td>RHR B系系統暖機弁</td><td>R-1-1</td></tr> <tr><td>残留熱除去系ポンプ(B)</td><td>R-1-2</td></tr> <tr><td>RHR ポンプ(B)/S/C 吸込弁</td><td>R-1-2</td></tr> <tr><td>RHR ポンプ(B)停止時冷却吸込弁</td><td>R-1-2</td></tr> <tr><td>残留熱除去系ポンプ(A)</td><td>R-1-3</td></tr> <tr><td>RHR ポンプ(A)/S/C 吸込弁</td><td>R-1-3</td></tr> <tr><td>RHR ポンプ(A)停止時冷却吸込弁</td><td>R-1-3</td></tr> <tr><td>RHR ポンプ(A)出口流量</td><td>R-3-2</td></tr> <tr><td>RHR ポンプ(B)出口流量</td><td>R-3-9</td></tr> <tr><td>RHR A系 LPCI 注入隔離弁</td><td>R-6-12</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※別添1 資料10 添付1に記載の火災区画番号</p>	系統	機器	設置場所*	フロント系	RHR A系 S/C スプレイ隔離弁	R-1-1	RHR B系 S/C スプレイ隔離弁	R-1-1	RHR A系試験用調整弁	R-1-1	RHR B系試験用調整弁	R-1-1	RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁	R-1-1	RHR B系停止時冷却吸込第二隔離弁	R-1-1	RHR A系停止時冷却注入隔離弁	R-1-1	RHR B系停止時冷却注入隔離弁	R-1-1	RHR ポンプ(A)ミニマムフロー弁	R-1-1	RHR ポンプ(B)ミニマムフロー弁	R-1-1	RHR A系 RW 連絡第一弁	R-1-1	RHR B系 RW 連絡第一弁	R-1-1	RHR A系系統暖機弁	R-1-1	RHR B系系統暖機弁	R-1-1	残留熱除去系ポンプ(B)	R-1-2	RHR ポンプ(B)/S/C 吸込弁	R-1-2	RHR ポンプ(B)停止時冷却吸込弁	R-1-2	残留熱除去系ポンプ(A)	R-1-3	RHR ポンプ(A)/S/C 吸込弁	R-1-3	RHR ポンプ(A)停止時冷却吸込弁	R-1-3	RHR ポンプ(A)出口流量	R-3-2	RHR ポンプ(B)出口流量	R-3-9	RHR A系 LPCI 注入隔離弁	R-6-12		<p>[女川]</p> <p>■設計の相違</p> <p>女川では「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に除熱機能が喪失した場合、さらに、単一故障を想定すると、除熱機能が喪失する可能性があるため、個別に確認を行っている。泊では、期待できる緩和系については、全て単一故障を想定し、評価を実施している。以下、p53 まで同様</p>
系統	機器	設置場所*																																																			
フロント系	RHR A系 S/C スプレイ隔離弁	R-1-1																																																			
	RHR B系 S/C スプレイ隔離弁	R-1-1																																																			
	RHR A系試験用調整弁	R-1-1																																																			
	RHR B系試験用調整弁	R-1-1																																																			
	RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁	R-1-1																																																			
	RHR B系停止時冷却吸込第二隔離弁	R-1-1																																																			
	RHR A系停止時冷却注入隔離弁	R-1-1																																																			
	RHR B系停止時冷却注入隔離弁	R-1-1																																																			
	RHR ポンプ(A)ミニマムフロー弁	R-1-1																																																			
	RHR ポンプ(B)ミニマムフロー弁	R-1-1																																																			
	RHR A系 RW 連絡第一弁	R-1-1																																																			
	RHR B系 RW 連絡第一弁	R-1-1																																																			
	RHR A系系統暖機弁	R-1-1																																																			
	RHR B系系統暖機弁	R-1-1																																																			
	残留熱除去系ポンプ(B)	R-1-2																																																			
	RHR ポンプ(B)/S/C 吸込弁	R-1-2																																																			
	RHR ポンプ(B)停止時冷却吸込弁	R-1-2																																																			
	残留熱除去系ポンプ(A)	R-1-3																																																			
	RHR ポンプ(A)/S/C 吸込弁	R-1-3																																																			
	RHR ポンプ(A)停止時冷却吸込弁	R-1-3																																																			
RHR ポンプ(A)出口流量	R-3-2																																																				
RHR ポンプ(B)出口流量	R-3-9																																																				
RHR A系 LPCI 注入隔離弁	R-6-12																																																				

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表 r.4.0

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 参考資料1 泊発電所3号炉における内部火災により想定される事象の確認結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																															
	<p style="text-align: center;">第4.1.4表 残留熱除去系フロント系及びサポート系機器 (2/4)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">系統</th> <th style="width: 60%;">機器</th> <th style="width: 30%;">設置場所^②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="14">フロント系</td><td rowspan="14">RHR</td><td>RHR B系 LPCI 注入隔離弁</td><td>R-6-11</td></tr> <tr><td>RHR A系格納容器スプレイ流量調整弁</td><td>R-6-12</td></tr> <tr><td>RHR B系格納容器スプレイ流量調整弁</td><td>R-6-11</td></tr> <tr><td>RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁</td><td>R-6-12</td></tr> <tr><td>RHR 熱交換器(A)バイパス弁</td><td>R-7-14</td></tr> <tr><td>RHR 熱交換器(B)バイパス弁</td><td>R-7-52</td></tr> <tr><td>RHR 熱交換器(A)出口弁</td><td>R-7-14</td></tr> <tr><td>RHR 熱交換器(B)出口弁</td><td>R-7-52</td></tr> <tr><td>RHR A系試料採取第一弁</td><td>R-7-14</td></tr> <tr><td>RHR B系試料採取第一弁</td><td>R-7-52</td></tr> <tr><td>事故後 RHR サンプリング第一弁</td><td>R-7-14</td></tr> <tr><td>RHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁</td><td>PCV 内</td></tr> <tr><td>RHR B系停止時冷却吸込第一隔離弁</td><td>PCV 内</td></tr> <tr><td rowspan="14">サポート系</td><td rowspan="14">RCW</td><td>原子炉補機冷却水ポンプ(A)</td><td>R-1-39</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水ポンプ(C)</td><td>R-1-39</td></tr> <tr><td>RCW 熱交換器(A)冷却水出口弁</td><td>R-1-39</td></tr> <tr><td>RCW 熱交換器(C)冷却水出口弁</td><td>R-1-39</td></tr> <tr><td>RCW 常用冷却水供給側分継弁(A)</td><td>R-1-39</td></tr> <tr><td>RCW A系 冷却水供給圧力</td><td>R-1-39</td></tr> <tr><td>RCW 冷却水供給温度熱交換器(A)側調節弁</td><td>R-1-39</td></tr> <tr><td>RCW 冷却水供給温度ポンプ(A)側調節弁</td><td>R-1-39</td></tr> <tr><td>RCW A系 冷却水供給温度</td><td>R-1-39</td></tr> <tr><td>非常用 D/G(A)冷却水出口弁(A)</td><td>R-5-29</td></tr> <tr><td>非常用 D/G(A)冷却水出口弁(C)</td><td>R-5-29</td></tr> <tr><td>RHR 熱交換器(A)冷却水出口弁</td><td>R-7-14</td></tr> <tr><td>HECW 冷凍機(A)冷却水圧力調節弁</td><td>R-9-29</td></tr> <tr><td>HECW 冷凍機(C)冷却水圧力調節弁</td><td>R-9-29</td></tr> <tr><td>RCW サーージタンク(A)水位</td><td>R-11-1</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※別添1 資料10 添付1に記載の火災区画番号</p>	系統	機器	設置場所 ^②	フロント系	RHR	RHR B系 LPCI 注入隔離弁	R-6-11	RHR A系格納容器スプレイ流量調整弁	R-6-12	RHR B系格納容器スプレイ流量調整弁	R-6-11	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁	R-6-12	RHR 熱交換器(A)バイパス弁	R-7-14	RHR 熱交換器(B)バイパス弁	R-7-52	RHR 熱交換器(A)出口弁	R-7-14	RHR 熱交換器(B)出口弁	R-7-52	RHR A系試料採取第一弁	R-7-14	RHR B系試料採取第一弁	R-7-52	事故後 RHR サンプリング第一弁	R-7-14	RHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁	PCV 内	RHR B系停止時冷却吸込第一隔離弁	PCV 内	サポート系	RCW	原子炉補機冷却水ポンプ(A)	R-1-39	原子炉補機冷却水ポンプ(C)	R-1-39	RCW 熱交換器(A)冷却水出口弁	R-1-39	RCW 熱交換器(C)冷却水出口弁	R-1-39	RCW 常用冷却水供給側分継弁(A)	R-1-39	RCW A系 冷却水供給圧力	R-1-39	RCW 冷却水供給温度熱交換器(A)側調節弁	R-1-39	RCW 冷却水供給温度ポンプ(A)側調節弁	R-1-39	RCW A系 冷却水供給温度	R-1-39	非常用 D/G(A)冷却水出口弁(A)	R-5-29	非常用 D/G(A)冷却水出口弁(C)	R-5-29	RHR 熱交換器(A)冷却水出口弁	R-7-14	HECW 冷凍機(A)冷却水圧力調節弁	R-9-29	HECW 冷凍機(C)冷却水圧力調節弁	R-9-29	RCW サーージタンク(A)水位	R-11-1		<p>[女川]</p> <p>■設計の相違</p> <p>女川では「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に除熱機能が喪失した場合、さらに、単一故障を想定すると、除熱機能が喪失する可能性があるため、個別に確認を行っている。泊では、期待できる緩和系については、全て単一故障を想定し、評価を実施している。以下、p53まで同様</p>
系統	機器	設置場所 ^②																																																																
フロント系	RHR	RHR B系 LPCI 注入隔離弁	R-6-11																																																															
		RHR A系格納容器スプレイ流量調整弁	R-6-12																																																															
		RHR B系格納容器スプレイ流量調整弁	R-6-11																																																															
		RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁	R-6-12																																																															
		RHR 熱交換器(A)バイパス弁	R-7-14																																																															
		RHR 熱交換器(B)バイパス弁	R-7-52																																																															
		RHR 熱交換器(A)出口弁	R-7-14																																																															
		RHR 熱交換器(B)出口弁	R-7-52																																																															
		RHR A系試料採取第一弁	R-7-14																																																															
		RHR B系試料採取第一弁	R-7-52																																																															
		事故後 RHR サンプリング第一弁	R-7-14																																																															
		RHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁	PCV 内																																																															
		RHR B系停止時冷却吸込第一隔離弁	PCV 内																																																															
		サポート系	RCW	原子炉補機冷却水ポンプ(A)	R-1-39																																																													
原子炉補機冷却水ポンプ(C)	R-1-39																																																																	
RCW 熱交換器(A)冷却水出口弁	R-1-39																																																																	
RCW 熱交換器(C)冷却水出口弁	R-1-39																																																																	
RCW 常用冷却水供給側分継弁(A)	R-1-39																																																																	
RCW A系 冷却水供給圧力	R-1-39																																																																	
RCW 冷却水供給温度熱交換器(A)側調節弁	R-1-39																																																																	
RCW 冷却水供給温度ポンプ(A)側調節弁	R-1-39																																																																	
RCW A系 冷却水供給温度	R-1-39																																																																	
非常用 D/G(A)冷却水出口弁(A)	R-5-29																																																																	
非常用 D/G(A)冷却水出口弁(C)	R-5-29																																																																	
RHR 熱交換器(A)冷却水出口弁	R-7-14																																																																	
HECW 冷凍機(A)冷却水圧力調節弁	R-9-29																																																																	
HECW 冷凍機(C)冷却水圧力調節弁	R-9-29																																																																	
RCW サーージタンク(A)水位	R-11-1																																																																	

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表 r.4.0



第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 参考資料1 泊発電所3号炉における内部火災により想定される事象の確認結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																
	<p>第4.1.4表 残留熱除去系フロント系及びサポート系機器 (3/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器</th> <th>設置場所*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="14">RCW</td><td>原子炉補機冷却水ポンプ(B)</td><td>R-1-8</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水ポンプ(D)</td><td>R-1-8</td></tr> <tr><td>RCW 熱交換器(B)冷却水出口弁</td><td>R-1-7</td></tr> <tr><td>RCW 熱交換器(D)冷却水出口弁</td><td>R-1-7</td></tr> <tr><td>RCW 常用冷却水供給側分継弁(B)</td><td>R-1-7</td></tr> <tr><td>RCW B系 冷却水供給圧力</td><td>R-1-7</td></tr> <tr><td>RCW 冷却水供給温度熱交換器(B)側調節弁</td><td>R-1-7</td></tr> <tr><td>RCW 冷却水供給温度ポンプ(B)側調節弁</td><td>R-1-7</td></tr> <tr><td>RCW B系 冷却水供給温度</td><td>R-1-7</td></tr> <tr><td>非常用 DG(B)冷却水出口弁(B)</td><td>R-5-33</td></tr> <tr><td>非常用 DG(B)冷却水出口弁(D)</td><td>R-5-33</td></tr> <tr><td>RHR 熱交換器(B)冷却水出口弁</td><td>R-7-52</td></tr> <tr><td>HECW 冷凍機(B)冷却水圧力調節弁</td><td>R-9-28</td></tr> <tr><td>HECW 冷凍機(D)冷却水圧力調節弁</td><td>R-9-28</td></tr> <tr><td>サポート系</td><td>RCW サージタンク (B)水位</td><td>R-11-1</td></tr> <tr><td rowspan="14">RSW</td><td>RSW ストレーナ(A)フロー弁</td><td>R-1-39</td></tr> <tr><td>RSW ストレーナ(B)フロー弁</td><td>R-1-7</td></tr> <tr><td>RSW ストレーナ(C)フロー弁</td><td>R-1-39</td></tr> <tr><td>RSW ストレーナ(D)フロー弁</td><td>R-1-7</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却海水ポンプ(A)</td><td>Y-1-1</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却海水ポンプ(B)</td><td>Y-1-4</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却海水ポンプ(C)</td><td>Y-1-1</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却海水ポンプ(D)</td><td>Y-1-4</td></tr> <tr><td>RSW ポンプ(A)吐出弁</td><td>Y-1-1</td></tr> <tr><td>RSW ポンプ(B)吐出弁</td><td>Y-1-4</td></tr> <tr><td>RSW ポンプ(C)吐出弁</td><td>Y-1-1</td></tr> <tr><td>RSW ポンプ(D)吐出弁</td><td>Y-1-4</td></tr> <tr><td>RSW ポンプ吐出連絡管(A)止め弁</td><td>Y-1-1</td></tr> <tr><td>RSW ポンプ吐出連絡管(B)止め弁</td><td>Y-1-4</td></tr> </tbody> </table> <p>※別添1資料10 添付1に記載の火災区画番号</p>	系統	機器	設置場所*	RCW	原子炉補機冷却水ポンプ(B)	R-1-8	原子炉補機冷却水ポンプ(D)	R-1-8	RCW 熱交換器(B)冷却水出口弁	R-1-7	RCW 熱交換器(D)冷却水出口弁	R-1-7	RCW 常用冷却水供給側分継弁(B)	R-1-7	RCW B系 冷却水供給圧力	R-1-7	RCW 冷却水供給温度熱交換器(B)側調節弁	R-1-7	RCW 冷却水供給温度ポンプ(B)側調節弁	R-1-7	RCW B系 冷却水供給温度	R-1-7	非常用 DG(B)冷却水出口弁(B)	R-5-33	非常用 DG(B)冷却水出口弁(D)	R-5-33	RHR 熱交換器(B)冷却水出口弁	R-7-52	HECW 冷凍機(B)冷却水圧力調節弁	R-9-28	HECW 冷凍機(D)冷却水圧力調節弁	R-9-28	サポート系	RCW サージタンク (B)水位	R-11-1	RSW	RSW ストレーナ(A)フロー弁	R-1-39	RSW ストレーナ(B)フロー弁	R-1-7	RSW ストレーナ(C)フロー弁	R-1-39	RSW ストレーナ(D)フロー弁	R-1-7	原子炉補機冷却海水ポンプ(A)	Y-1-1	原子炉補機冷却海水ポンプ(B)	Y-1-4	原子炉補機冷却海水ポンプ(C)	Y-1-1	原子炉補機冷却海水ポンプ(D)	Y-1-4	RSW ポンプ(A)吐出弁	Y-1-1	RSW ポンプ(B)吐出弁	Y-1-4	RSW ポンプ(C)吐出弁	Y-1-1	RSW ポンプ(D)吐出弁	Y-1-4	RSW ポンプ吐出連絡管(A)止め弁	Y-1-1	RSW ポンプ吐出連絡管(B)止め弁	Y-1-4		<p>[女川]</p> <p>■設計の相違</p> <p>女川では「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に除熱機能が喪失した場合、さらに、単一故障を想定すると、除熱機能が喪失する可能性があるため、個別に確認を行っている。泊では、期待できる緩和系については、全て単一故障を想定し、評価を実施している。以下、p53まで同様</p>
系統	機器	設置場所*																																																																	
RCW	原子炉補機冷却水ポンプ(B)	R-1-8																																																																	
	原子炉補機冷却水ポンプ(D)	R-1-8																																																																	
	RCW 熱交換器(B)冷却水出口弁	R-1-7																																																																	
	RCW 熱交換器(D)冷却水出口弁	R-1-7																																																																	
	RCW 常用冷却水供給側分継弁(B)	R-1-7																																																																	
	RCW B系 冷却水供給圧力	R-1-7																																																																	
	RCW 冷却水供給温度熱交換器(B)側調節弁	R-1-7																																																																	
	RCW 冷却水供給温度ポンプ(B)側調節弁	R-1-7																																																																	
	RCW B系 冷却水供給温度	R-1-7																																																																	
	非常用 DG(B)冷却水出口弁(B)	R-5-33																																																																	
	非常用 DG(B)冷却水出口弁(D)	R-5-33																																																																	
	RHR 熱交換器(B)冷却水出口弁	R-7-52																																																																	
	HECW 冷凍機(B)冷却水圧力調節弁	R-9-28																																																																	
	HECW 冷凍機(D)冷却水圧力調節弁	R-9-28																																																																	
サポート系	RCW サージタンク (B)水位	R-11-1																																																																	
RSW	RSW ストレーナ(A)フロー弁	R-1-39																																																																	
	RSW ストレーナ(B)フロー弁	R-1-7																																																																	
	RSW ストレーナ(C)フロー弁	R-1-39																																																																	
	RSW ストレーナ(D)フロー弁	R-1-7																																																																	
	原子炉補機冷却海水ポンプ(A)	Y-1-1																																																																	
	原子炉補機冷却海水ポンプ(B)	Y-1-4																																																																	
	原子炉補機冷却海水ポンプ(C)	Y-1-1																																																																	
	原子炉補機冷却海水ポンプ(D)	Y-1-4																																																																	
	RSW ポンプ(A)吐出弁	Y-1-1																																																																	
	RSW ポンプ(B)吐出弁	Y-1-4																																																																	
	RSW ポンプ(C)吐出弁	Y-1-1																																																																	
	RSW ポンプ(D)吐出弁	Y-1-4																																																																	
	RSW ポンプ吐出連絡管(A)止め弁	Y-1-1																																																																	
	RSW ポンプ吐出連絡管(B)止め弁	Y-1-4																																																																	
	<p>第4.1.4表 残留熱除去系フロント系及びサポート系機器 (4/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器</th> <th>設置場所*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="2">HVAC</td><td>RHR ポンプ(A)室空調機</td><td>R-1-3</td></tr> <tr><td>RHR ポンプ(B)室空調機</td><td>R-1-2</td></tr> <tr><td rowspan="10">サポート系</td><td>460V R/B MCC 2C-1</td><td>R-5-28</td></tr> <tr><td>460V R/B MCC 2D-1</td><td>R-5-34</td></tr> <tr><td>460V P/C 4-2C</td><td>R-5-28</td></tr> <tr><td>460V P/C 4-2D</td><td>R-5-32</td></tr> <tr><td>6.9kV メタケラ 6-2C</td><td>R-5-28</td></tr> <tr><td>6.9kV メタケラ 6-2D</td><td>R-5-32</td></tr> <tr><td>125V 直流分電盤 2A-1</td><td>C-2-5</td></tr> <tr><td>125V 直流分電盤 2B-1</td><td>C-2-1</td></tr> </tbody> </table> <p>※別添1資料10 添付1に記載の火災区画番号</p>	系統	機器	設置場所*	HVAC	RHR ポンプ(A)室空調機	R-1-3	RHR ポンプ(B)室空調機	R-1-2	サポート系	460V R/B MCC 2C-1	R-5-28	460V R/B MCC 2D-1	R-5-34	460V P/C 4-2C	R-5-28	460V P/C 4-2D	R-5-32	6.9kV メタケラ 6-2C	R-5-28	6.9kV メタケラ 6-2D	R-5-32	125V 直流分電盤 2A-1	C-2-5	125V 直流分電盤 2B-1	C-2-1																																									
系統	機器	設置場所*																																																																	
HVAC	RHR ポンプ(A)室空調機	R-1-3																																																																	
	RHR ポンプ(B)室空調機	R-1-2																																																																	
サポート系	460V R/B MCC 2C-1	R-5-28																																																																	
	460V R/B MCC 2D-1	R-5-34																																																																	
	460V P/C 4-2C	R-5-28																																																																	
	460V P/C 4-2D	R-5-32																																																																	
	6.9kV メタケラ 6-2C	R-5-28																																																																	
	6.9kV メタケラ 6-2D	R-5-32																																																																	
	125V 直流分電盤 2A-1	C-2-5																																																																	
	125V 直流分電盤 2B-1	C-2-1																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 参考資料1 泊発電所3号炉における内部火災により想定される事象の確認結果）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="779 188 1258 550" style="border: 2px solid red; padding: 10px; margin-bottom: 20px;">  <p style="text-align: center; font-size: small;">第4.1.6節 火災区域又は火災区域の設定（原子炉建屋 中の1）</p> </div> <div data-bbox="779 770 1258 1133" style="border: 2px solid red; padding: 10px;">  <p style="text-align: center; font-size: small;">第4.1.7節 火災区域又は火災区域の設定（原子炉建屋 中の2）</p> </div>		<p>[女川]</p> <p>■設計の相違</p> <p>女川では「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に除熱機能が喪失した場合、さらに、単一故障を想定すると、除熱機能が喪失する可能性があるため、個別に確認を行っている。泊では、期待できる緩和系については、全て単一故障を想定し、評価を実施している。以下、p53 まで同様</p>

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表 r.4.0

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 参考資料1 泊発電所3号炉における内部火災により想定される事象の確認結果)



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="779 193 1256 549" style="border: 2px solid red; padding: 10px; margin-bottom: 20px;">  <p style="font-size: small; text-align: center;">第4.1.9項 火災区画又は火災区画の設定 (原子炉建屋 その1)</p> </div> <div data-bbox="786 711 1249 1054" style="border: 2px solid red; padding: 10px;">  <p style="font-size: small; text-align: center;">第4.1.9項 火災区画又は火災区画の設定 (原子炉建屋 その1)</p> </div>		<p>[女川]</p> <p>■設計の相違</p> <p>女川では「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に除熱機能が喪失した場合、さらに、単一故障を想定すると、除熱機能が喪失する可能性があるため、個別に確認を行っている。泊では、期待できる緩和系については、全て単一故障を想定し、評価を実施している。以下、p53 まで同様</p>

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表 r.4.0

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 参考資料1 泊発電所3号炉における内部火災により想定される事象の確認結果)

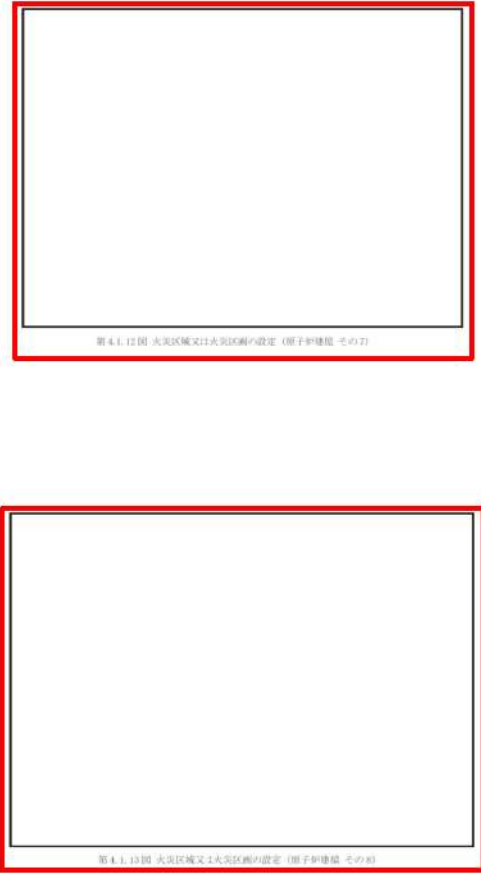
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="786 188 1249 550" style="border: 2px solid red; padding: 10px; margin-bottom: 20px;">  <p style="text-align: center; font-size: small;">第4.1.10節 火災区域又は火災区域の設定 (原子炉建屋 その3)</p> </div> <div data-bbox="786 703 1249 1066" style="border: 2px solid red; padding: 10px;">  <p style="text-align: center; font-size: small;">第4.1.11節 火災区域又は火災区域の設定 (原子炉建屋 その4)</p> </div>		<p>[女川]</p> <p>■設計の相違</p> <p>女川では「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に除熱機能が喪失した場合、さらに、単一故障を想定すると、除熱機能が喪失する可能性があるため、個別に確認を行っている。泊では、期待できる緩和系については、全て単一故障を想定し、評価を実施している。以下、p53 まで同様</p>

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表 r.4.0

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 参考資料1 泊発電所3号炉における内部火災により想定される事象の確認結果)



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>[女川]</p> <p>■設計の相違</p> <p>女川では「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に除熱機能が喪失した場合、さらに、単一故障を想定すると、除熱機能が喪失する可能性があるため、個別に確認を行っている。泊では、期待できる緩和系については、全て単一故障を想定し、評価を実施している。以下、p53 まで同様</p>

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表 r.4.0

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 参考資料1 泊発電所3号炉における内部火災により想定される事象の確認結果)



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="779 188 1256 552" style="border: 2px solid red; padding: 10px; margin-bottom: 20px;">  <p style="text-align: center; font-size: small;">第4.1.14節 火災区域又は火災区画の設定 (原子炉建屋 その他)</p> </div> <div data-bbox="779 699 1256 1062" style="border: 2px solid red; padding: 10px;">  <p style="text-align: center; font-size: small;">第4.1.15節 火災区域又は火災区画の設定 (原子炉建屋 その他)</p> </div>		<p>[女川]</p> <p>■設計の相違</p> <p>女川では「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に除熱機能が喪失した場合、さらに、単一故障を想定すると、除熱機能が喪失する可能性があるため、個別に確認を行っている。泊では、期待できる緩和系については、全て単一故障を想定し、評価を実施している。以下、p53 まで同様</p>

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表 r.4.0

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 参考資料1 泊発電所3号炉における内部火災により想定される事象の確認結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="855 531 1133 545">第4.1.14図 火災区域又は火災区域の設定 (原子炉建屋 2号炉)</p>  <p data-bbox="855 1046 1155 1061">第4.1.15図 火災区域又は火災区域の設定 (原子炉建屋 2号炉)</p>		<p>[女川]</p> <p>■設計の相違</p> <p>女川では「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に除熱機能が喪失した場合、さらに、単一故障を想定すると、除熱機能が喪失する可能性があるため、個別に確認を行っている。泊では、期待できる緩和系については、全て単一故障を想定し、評価を実施している。以下、p53 まで同様</p>

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表 r.4.0

第8条 火災による損傷の防止 (別添1 資料10 参考資料1 泊発電所3号炉における内部火災により想定される事象の確認結果)

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																									
<p>第4.1.5表 「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」発生の可能性がある機器とRHR関連機器の関係(3/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>機器の機能</th> <th>機器の構成</th> <th>機器の仕様</th> <th>機器の相違</th> <th>機器の相違</th> <th>機器の相違</th> <th>機器の相違</th> <th>機器の相違</th> <th>機器の相違</th> <th>機器の相違</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>注1</td> <td>注2</td> <td>注3</td> <td>注4</td> <td>注5</td> <td>注6</td> <td>注7</td> <td>注8</td> <td>注9</td> <td>注10</td> <td>注11</td> </tr> <tr> <td>注12</td> <td>注13</td> <td>注14</td> <td>注15</td> <td>注16</td> <td>注17</td> <td>注18</td> <td>注19</td> <td>注20</td> <td>注21</td> <td>注22</td> </tr> <tr> <td>注23</td> <td>注24</td> <td>注25</td> <td>注26</td> <td>注27</td> <td>注28</td> <td>注29</td> <td>注30</td> <td>注31</td> <td>注32</td> <td>注33</td> </tr> <tr> <td>注34</td> <td>注35</td> <td>注36</td> <td>注37</td> <td>注38</td> <td>注39</td> <td>注40</td> <td>注41</td> <td>注42</td> <td>注43</td> <td>注44</td> </tr> <tr> <td>注45</td> <td>注46</td> <td>注47</td> <td>注48</td> <td>注49</td> <td>注50</td> <td>注51</td> <td>注52</td> <td>注53</td> <td>注54</td> <td>注55</td> </tr> <tr> <td>注56</td> <td>注57</td> <td>注58</td> <td>注59</td> <td>注60</td> <td>注61</td> <td>注62</td> <td>注63</td> <td>注64</td> <td>注65</td> <td>注66</td> </tr> <tr> <td>注67</td> <td>注68</td> <td>注69</td> <td>注70</td> <td>注71</td> <td>注72</td> <td>注73</td> <td>注74</td> <td>注75</td> <td>注76</td> <td>注77</td> </tr> <tr> <td>注78</td> <td>注79</td> <td>注80</td> <td>注81</td> <td>注82</td> <td>注83</td> <td>注84</td> <td>注85</td> <td>注86</td> <td>注87</td> <td>注88</td> </tr> <tr> <td>注89</td> <td>注90</td> <td>注91</td> <td>注92</td> <td>注93</td> <td>注94</td> <td>注95</td> <td>注96</td> <td>注97</td> <td>注98</td> <td>注99</td> </tr> <tr> <td>注100</td> <td>注101</td> <td>注102</td> <td>注103</td> <td>注104</td> <td>注105</td> <td>注106</td> <td>注107</td> <td>注108</td> <td>注109</td> <td>注110</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 ○：機能喪失 Ⅹ：機能喪失有 ※2 PW内はブランク-運転中は、常套で置換されていることから、水災は発生しない ※3 本調査事象は、スクラムしない事象である。加えてRCICポンプ駆動用タービン制御流量制御器のみが火災影響を受けても再起動は起こらない ※4 本調査事象は、スクラムしない事象である。加えてRCIC注入弁のみが火災影響を受けても再起動は起こらない</p>			機器	機器の機能	機器の構成	機器の仕様	機器の相違	機器の相違	機器の相違	機器の相違	機器の相違	機器の相違	機器の相違	注1	注2	注3	注4	注5	注6	注7	注8	注9	注10	注11	注12	注13	注14	注15	注16	注17	注18	注19	注20	注21	注22	注23	注24	注25	注26	注27	注28	注29	注30	注31	注32	注33	注34	注35	注36	注37	注38	注39	注40	注41	注42	注43	注44	注45	注46	注47	注48	注49	注50	注51	注52	注53	注54	注55	注56	注57	注58	注59	注60	注61	注62	注63	注64	注65	注66	注67	注68	注69	注70	注71	注72	注73	注74	注75	注76	注77	注78	注79	注80	注81	注82	注83	注84	注85	注86	注87	注88	注89	注90	注91	注92	注93	注94	注95	注96	注97	注98	注99	注100	注101	注102	注103	注104	注105	注106	注107	注108	注109	注110	<p>[女川] ■設計の相違 女川では「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に除熱機能が喪失した場合、さらに、単一故障を想定すると、除熱機能が喪失する可能性があるため、個別に確認を行っている。泊では、期待できる緩和系については、全て単一故障を想定し、評価を実施している。以下、p53まで同様</p>
機器	機器の機能	機器の構成	機器の仕様	機器の相違	機器の相違	機器の相違	機器の相違	機器の相違	機器の相違	機器の相違																																																																																																																		
注1	注2	注3	注4	注5	注6	注7	注8	注9	注10	注11																																																																																																																		
注12	注13	注14	注15	注16	注17	注18	注19	注20	注21	注22																																																																																																																		
注23	注24	注25	注26	注27	注28	注29	注30	注31	注32	注33																																																																																																																		
注34	注35	注36	注37	注38	注39	注40	注41	注42	注43	注44																																																																																																																		
注45	注46	注47	注48	注49	注50	注51	注52	注53	注54	注55																																																																																																																		
注56	注57	注58	注59	注60	注61	注62	注63	注64	注65	注66																																																																																																																		
注67	注68	注69	注70	注71	注72	注73	注74	注75	注76	注77																																																																																																																		
注78	注79	注80	注81	注82	注83	注84	注85	注86	注87	注88																																																																																																																		
注89	注90	注91	注92	注93	注94	注95	注96	注97	注98	注99																																																																																																																		
注100	注101	注102	注103	注104	注105	注106	注107	注108	注109	注110																																																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																														
<p>第4.1.5表 「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」発生の可能性がある機器とRHR関連機器の関係 (5/6)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>機器名</th> <th>RHR関連機器</th> <th>RHRの作用機</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">自由空間内機器の減少 (自由空間内機器の減少) 自由空間内機器の減少</td> <td>タービン駆動機</td> <td>タービン駆動機</td> <td>タービン駆動機</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>タービン発電機</td> <td>タービン発電機</td> <td>タービン発電機</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>タービン発電機</td> <td>タービン発電機</td> <td>タービン発電機</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>タービン発電機</td> <td>タービン発電機</td> <td>タービン発電機</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>タービン発電機</td> <td>タービン発電機</td> <td>タービン発電機</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>タービン発電機</td> <td>タービン発電機</td> <td>タービン発電機</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>タービン発電機</td> <td>タービン発電機</td> <td>タービン発電機</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>タービン発電機</td> <td>タービン発電機</td> <td>タービン発電機</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>タービン発電機</td> <td>タービン発電機</td> <td>タービン発電機</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>タービン発電機</td> <td>タービン発電機</td> <td>タービン発電機</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>				項目	機器名	RHR関連機器	RHRの作用機	備考	自由空間内機器の減少 (自由空間内機器の減少) 自由空間内機器の減少	タービン駆動機	タービン駆動機	タービン駆動機	—	タービン発電機	タービン発電機	タービン発電機	—	タービン発電機	タービン発電機	タービン発電機	—	タービン発電機	タービン発電機	タービン発電機	—	タービン発電機	タービン発電機	タービン発電機	—	タービン発電機	タービン発電機	タービン発電機	—	タービン発電機	タービン発電機	タービン発電機	—	タービン発電機	タービン発電機	タービン発電機	—	タービン発電機	タービン発電機	タービン発電機	—	タービン発電機	タービン発電機	タービン発電機	—
項目	機器名	RHR関連機器	RHRの作用機	備考																																													
自由空間内機器の減少 (自由空間内機器の減少) 自由空間内機器の減少	タービン駆動機	タービン駆動機	タービン駆動機	—																																													
	タービン発電機	タービン発電機	タービン発電機	—																																													
	タービン発電機	タービン発電機	タービン発電機	—																																													
	タービン発電機	タービン発電機	タービン発電機	—																																													
	タービン発電機	タービン発電機	タービン発電機	—																																													
	タービン発電機	タービン発電機	タービン発電機	—																																													
	タービン発電機	タービン発電機	タービン発電機	—																																													
	タービン発電機	タービン発電機	タービン発電機	—																																													
	タービン発電機	タービン発電機	タービン発電機	—																																													
	タービン発電機	タービン発電機	タービン発電機	—																																													
<p>※1 ○：機能喪失無、×：機能喪失有 ※2 PCW内はプラント運転中は、密閉で置換されていることから、火災は発生しない</p>																																																	

[女川]
 ■設計の相違
 女川では「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に除熱機能が喪失した場合、さらに、単一故障を想定すると、除熱機能が喪失する可能性があるため、個別に確認を行っている。泊では、期待できる緩和系については、全て単一故障を想定し、評価を実施している。以下、p53 まで同様

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
	<p>第4.1.5表 「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」発生の可能性がある機器とRHR関連機器の関係(④/⑥)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>機器の機能</th> <th>機器の位置</th> <th>機器の電源</th> <th>機器の動作</th> <th>機器の動作時間</th> <th>機器の動作条件</th> <th>機器の動作モード</th> <th>機器の動作モード切替</th> <th>機器の動作モード切替条件</th> <th>機器の動作モード切替モード</th> <th>機器の動作モード切替モード切替条件</th> <th>機器の動作モード切替モード切替モード</th> <th>機器の動作モード切替モード切替モード切替条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td>原子炉建屋の冷却</td> <td>原子炉建屋</td> <td>原子炉建屋</td> <td>原子炉建屋</td> <td>原子炉建屋</td> <td>原子炉建屋</td> <td>原子炉建屋</td> <td>原子炉建屋</td> <td>原子炉建屋</td> <td>原子炉建屋</td> <td>原子炉建屋</td> <td>原子炉建屋</td> <td>原子炉建屋</td> </tr> <tr> <td>タービン建屋</td> <td>タービン建屋の冷却</td> <td>タービン建屋</td> <td>タービン建屋</td> <td>タービン建屋</td> <td>タービン建屋</td> <td>タービン建屋</td> <td>タービン建屋</td> <td>タービン建屋</td> <td>タービン建屋</td> <td>タービン建屋</td> <td>タービン建屋</td> <td>タービン建屋</td> <td>タービン建屋</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 ○：機能喪失、×：機能喪失有 ※2 PV内はプリント基板中は、著書で訓練されていることから、火災は発生しない ※3 本過渡事象は、スクラムしない事象である。加えて加圧入弁のみの火災影響を受けても起動は起こらない ※4 本過渡事象は、スクラムしない事象である。加えて加圧入弁のみの火災影響を受けても起動は起こらない</p>	機器名	機器の機能	機器の位置	機器の電源	機器の動作	機器の動作時間	機器の動作条件	機器の動作モード	機器の動作モード切替	機器の動作モード切替条件	機器の動作モード切替モード	機器の動作モード切替モード切替条件	機器の動作モード切替モード切替モード	機器の動作モード切替モード切替モード切替条件	原子炉建屋	原子炉建屋の冷却	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	タービン建屋	タービン建屋の冷却	タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋		<p>[女川] ■設計の相違 女川では「運転時の異常な過渡変化」又は「設計基準事故」の発生と同時に除熱機能が喪失した場合、さらに、単一故障を想定すると、除熱機能が喪失する可能性があるため、個別に確認を行っている。泊では、期待できる緩和系については、全て単一故障を想定し、評価を実施している。以下、p53まで同様</p>
機器名	機器の機能	機器の位置	機器の電源	機器の動作	機器の動作時間	機器の動作条件	機器の動作モード	機器の動作モード切替	機器の動作モード切替条件	機器の動作モード切替モード	機器の動作モード切替モード切替条件	機器の動作モード切替モード切替モード	機器の動作モード切替モード切替モード切替条件																																
原子炉建屋	原子炉建屋の冷却	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋	原子炉建屋																																
タービン建屋	タービン建屋の冷却	タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋	タービン建屋																																
	<p>4.2. 内部火災発生時に期待できる緩和設備</p> <p>原子炉建屋又はタービン建屋における内部火災において、動作を期待できる緩和機能を第4.2.1表に示す。</p>	<p>1次系建屋又は2次系建屋における内部火災において、動作を期待できる緩和機能を第4-1表に示す。</p>	<p>[女川] ■記載方針の相違 女川は、「原子炉建屋」と「タービン建屋」間で影響を及ぼさないこととしており、泊は「1次系建屋」と「2次系建屋」間で影響を及ぼさないこととした。</p>																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																												
	<p>第4.2.1表 内部火災発生時に期待できる緩和系</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R/B 火災発生時</th> <th>T/B 火災発生時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MS-1 機能</td> <td>原子炉保護系 (中性子束高等のスクラム機能は多重化され、かつ2区分機能維持できる設計としている。また、T/B側RPSは機能喪失しない)</td> <td>原子炉保護系 (R/B側RPS)</td> </tr> <tr> <td>炉心冷却機能</td> <td>RCIC及びECCS (3区分に多重化されており、1区分火災で機能喪失しても2区分は機能維持される)</td> <td>RCIC及びECCS (3区分とも機能維持)</td> </tr> <tr> <td>その他機能</td> <td>主蒸気隔離弁 逃がし安全弁 (安全弁機能)</td> <td>主蒸気隔離弁 逃がし安全弁 (安全弁機能)</td> </tr> <tr> <td>MS-3 機能</td> <td>タービンバイパス弁</td> <td>逃がし安全弁 (逃がし弁機能)</td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 解析における機能喪失の仮定</p> <p>(1) 内部火災影響による機能喪失の仮定</p> <p>4.2.で示した動作を期待できる緩和機能を前提に、火災影響により解析において機能喪失を仮定する緩和系を第5.1表に示す。MS-3機能については、内部火災が発生する建屋ごとに機能喪失を仮定する。タービン系の原子炉保護系(RPS)(主蒸気止め弁閉スクラム・蒸気加減弁急速閉スクラム)については、タービン建屋における内部火災に対して機能喪失すると仮定する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">第5.1表 火災影響により機能喪失を仮定する緩和系</th> </tr> <tr> <th></th> <th>R/B 火災発生時</th> <th>T/B 火災発生時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MS-1 機能</td> <td>—</td> <td>タービン系RPS</td> </tr> <tr> <td>MS-3 機能</td> <td>逃がし安全弁 (逃がし弁機能) 再循環ポンプトリップ機能</td> <td>再循環ポンプトリップ機能 タービンバイパス弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 単一故障の仮定【ステップ7】</p> <p>安全評価審査指針に従い、想定した事象の解析を行うに際して、原子炉停止、炉心冷却及び放射能閉じ込めの各基本的安全機能別に、解析の結果を厳しくする機器の単一故障を仮定する。具体的な単一故障の仮定と解析への影響を第5.2表に示す。また、原子炉建屋及びタービン建屋での代表事象発生時に期待する緩和系を第5.3表に示す。</p> <p>なお、火災を想定しても安全停止に必要な機能を維持できるように系統分離対策を講じている。この詳細については、「女川原子力発電所2号炉 火災防護について」資料7に示している。</p>		R/B 火災発生時	T/B 火災発生時	MS-1 機能	原子炉保護系 (中性子束高等のスクラム機能は多重化され、かつ2区分機能維持できる設計としている。また、T/B側RPSは機能喪失しない)	原子炉保護系 (R/B側RPS)	炉心冷却機能	RCIC及びECCS (3区分に多重化されており、1区分火災で機能喪失しても2区分は機能維持される)	RCIC及びECCS (3区分とも機能維持)	その他機能	主蒸気隔離弁 逃がし安全弁 (安全弁機能)	主蒸気隔離弁 逃がし安全弁 (安全弁機能)	MS-3 機能	タービンバイパス弁	逃がし安全弁 (逃がし弁機能)	第5.1表 火災影響により機能喪失を仮定する緩和系				R/B 火災発生時	T/B 火災発生時	MS-1 機能	—	タービン系RPS	MS-3 機能	逃がし安全弁 (逃がし弁機能) 再循環ポンプトリップ機能	再循環ポンプトリップ機能 タービンバイパス弁	<p>第4-1表：内部火災発生時に期待できる緩和系</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能</th> <th>系統及び機器 (すべて1次系建屋に設置)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">MS-1</td> <td rowspan="2">原子炉停止機能</td> <td>原子炉の緊急停止機能</td> <td>制御棒クラスタ及び制御棒駆動装置 (トリップ機能)</td> </tr> <tr> <td>未臨界維持機能</td> <td>制御棒 非常用炉心冷却設備 (高圧注入系)</td> </tr> <tr> <td>工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能</td> <td>安全保護系</td> </tr> <tr> <td>炉心冷却機能</td> <td>原子炉停止後の除熱機能</td> <td>補助給水設備 主蒸気安全弁</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリの加圧防止機能</td> <td>加圧器安全弁 (開機能)</td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 解析における機能喪失の仮定</p> <p>(1) 内部火災による機能喪失の仮定</p> <p>火災影響による解析において事象収束に期待する緩和系は、4.で示すとおり健全であり、緩和系の機能喪失を考慮する必要はない。</p> <p>(2) 単一故障の仮定【ステップ7】</p> <p>安全評価審査指針に従い、想定した事象の解析を行うに際して、原子炉停止、炉心冷却及び放射能閉じ込めの各基本的安全機能別に、解析の結果を厳しくする機器の単一故障を仮定する。具体的な単一故障の仮定と解析への影響を第5-1表に示す。</p> <p>なお、火災を想定しても原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持できるように系統分離対策を講じている。この詳細については、「泊発電所3号炉 火災防護について」資料7に示している。</p>	分類	機能	系統及び機器 (すべて1次系建屋に設置)	MS-1	原子炉停止機能	原子炉の緊急停止機能	制御棒クラスタ及び制御棒駆動装置 (トリップ機能)	未臨界維持機能	制御棒 非常用炉心冷却設備 (高圧注入系)	工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	安全保護系	炉心冷却機能	原子炉停止後の除熱機能	補助給水設備 主蒸気安全弁	その他	原子炉冷却材圧力バウンダリの加圧防止機能	加圧器安全弁 (開機能)	<p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違 女川はBWRの緩和機能を整理しており、泊はPWRの緩和機能を整理した。</p> <p>【女川】</p> <p>■設計の相違 女川では、MS-3設備について機能喪失を仮定しているが、泊はMS-3設備に火災影響による解析において事象収束に期待する緩和系がないため、仮定は不要である。</p> <p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違 泊は表4.1で整理済み</p> <p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違 ■設備名称の相違</p>
	R/B 火災発生時	T/B 火災発生時																																													
MS-1 機能	原子炉保護系 (中性子束高等のスクラム機能は多重化され、かつ2区分機能維持できる設計としている。また、T/B側RPSは機能喪失しない)	原子炉保護系 (R/B側RPS)																																													
炉心冷却機能	RCIC及びECCS (3区分に多重化されており、1区分火災で機能喪失しても2区分は機能維持される)	RCIC及びECCS (3区分とも機能維持)																																													
その他機能	主蒸気隔離弁 逃がし安全弁 (安全弁機能)	主蒸気隔離弁 逃がし安全弁 (安全弁機能)																																													
MS-3 機能	タービンバイパス弁	逃がし安全弁 (逃がし弁機能)																																													
第5.1表 火災影響により機能喪失を仮定する緩和系																																															
	R/B 火災発生時	T/B 火災発生時																																													
MS-1 機能	—	タービン系RPS																																													
MS-3 機能	逃がし安全弁 (逃がし弁機能) 再循環ポンプトリップ機能	再循環ポンプトリップ機能 タービンバイパス弁																																													
分類	機能	系統及び機器 (すべて1次系建屋に設置)																																													
MS-1	原子炉停止機能	原子炉の緊急停止機能	制御棒クラスタ及び制御棒駆動装置 (トリップ機能)																																												
		未臨界維持機能	制御棒 非常用炉心冷却設備 (高圧注入系)																																												
	工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	安全保護系																																													
炉心冷却機能	原子炉停止後の除熱機能	補助給水設備 主蒸気安全弁																																													
その他	原子炉冷却材圧力バウンダリの加圧防止機能	加圧器安全弁 (開機能)																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																															
	<p>第5.2表 単一故障の仮定と解析への影響</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単一故障を仮定する機能</th> <th>解析への影響</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉停止機能</td> <td>・安全保護系に単一故障を仮定する。 ・安全保護系は多重化されているため影響はない。</td> </tr> <tr> <td>炉心冷却機能</td> <td>・内部火災により1区分、単一故障により更に1区分の炉心冷却機能が喪失したとしても、残りの区分により炉心冷却が可能であるため解析には影響しない。</td> </tr> <tr> <td>放射能閉じ込め機能</td> <td>・評価事象において燃料は破損しない。</td> </tr> </tbody> </table> <p>第5.3表 代表事象発生時に期待する緩和機能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>スクラム</th> <th>注水</th> <th>減圧</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R/B</td> <td>給水制御系の故障 (流量の増加)</td> <td>主蒸気 止め弁閉止</td> <td>HPCS×1 RCIC×1 LPCI×3 LPCS×1</td> <td>逃がし安全弁 ・安全弁機能 ・手動減圧機能</td> </tr> <tr> <td>T/B</td> <td>給水制御系の故障 (流量の増加) + 給水加熱喪失</td> <td>中性子束高</td> <td>(多重性又は 多様性及び 独立性を確保)</td> <td>逃がし安全弁 ・安全弁機能 ・逃がし弁機能 ・手動減圧機能</td> </tr> </tbody> </table>	単一故障を仮定する機能	解析への影響	原子炉停止機能	・安全保護系に単一故障を仮定する。 ・安全保護系は多重化されているため影響はない。	炉心冷却機能	・内部火災により1区分、単一故障により更に1区分の炉心冷却機能が喪失したとしても、残りの区分により炉心冷却が可能であるため解析には影響しない。	放射能閉じ込め機能	・評価事象において燃料は破損しない。			スクラム	注水	減圧	R/B	給水制御系の故障 (流量の増加)	主蒸気 止め弁閉止	HPCS×1 RCIC×1 LPCI×3 LPCS×1	逃がし安全弁 ・安全弁機能 ・手動減圧機能	T/B	給水制御系の故障 (流量の増加) + 給水加熱喪失	中性子束高	(多重性又は 多様性及び 独立性を確保)	逃がし安全弁 ・安全弁機能 ・逃がし弁機能 ・手動減圧機能	<p>第5-1表：単一故障の仮定と解析への影響</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単一故障を仮定する機能</th> <th>解析への影響</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉停止機能</td> <td>・安全保護系に単一故障を仮定 (多重化されているため影響なし)</td> </tr> <tr> <td>炉心冷却機能</td> <td>・補助給水に単一故障を仮定する</td> </tr> <tr> <td>放射能閉じ込め機能</td> <td>・評価事象において燃料は破損しない</td> </tr> </tbody> </table>	単一故障を仮定する機能	解析への影響	原子炉停止機能	・安全保護系に単一故障を仮定 (多重化されているため影響なし)	炉心冷却機能	・補助給水に単一故障を仮定する	放射能閉じ込め機能	・評価事象において燃料は破損しない	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>女川は、炉心冷却機能として3区分あるが、泊は炉心冷却機能として補助給水系に期待しているため、補助給水系の単一故障を仮定した。</p> <p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>泊は表4.1で整理済み</p>
単一故障を仮定する機能	解析への影響																																	
原子炉停止機能	・安全保護系に単一故障を仮定する。 ・安全保護系は多重化されているため影響はない。																																	
炉心冷却機能	・内部火災により1区分、単一故障により更に1区分の炉心冷却機能が喪失したとしても、残りの区分により炉心冷却が可能であるため解析には影響しない。																																	
放射能閉じ込め機能	・評価事象において燃料は破損しない。																																	
		スクラム	注水	減圧																														
R/B	給水制御系の故障 (流量の増加)	主蒸気 止め弁閉止	HPCS×1 RCIC×1 LPCI×3 LPCS×1	逃がし安全弁 ・安全弁機能 ・手動減圧機能																														
T/B	給水制御系の故障 (流量の増加) + 給水加熱喪失	中性子束高	(多重性又は 多様性及び 独立性を確保)	逃がし安全弁 ・安全弁機能 ・逃がし弁機能 ・手動減圧機能																														
単一故障を仮定する機能	解析への影響																																	
原子炉停止機能	・安全保護系に単一故障を仮定 (多重化されているため影響なし)																																	
炉心冷却機能	・補助給水に単一故障を仮定する																																	
放射能閉じ込め機能	・評価事象において燃料は破損しない																																	
	<p>6. 解析の実施【ステップ8】</p> <p>(1) 主要な解析条件</p> <p>解析に当たっては、第6.1表に示すとおり、設置許可申請解析において使用しているプラント動特性解析コード (REDY) 及び単チャンネル熱水力解析コード (SCAT) を使用している。</p> <p>また、解析条件については、プラントの初期状態等を設計基準事象である過渡事象における前提条件を踏襲する。主な解析条件を第6.2表に示す。</p>	<p>6. 解析の実施</p> <p>(1) 主要な解析条件</p> <p>解析に当たっては、第6-1表に示すとおり、設置許可申請解析において使用しているプラント動特性解析コード (MARVEL) を使用している。</p> <p>また、解析条件については、プラントの初期状態等を設計基準事象である過渡事象における前提条件を踏襲する。主な解析条件を第6-2表に示す。</p>	<p>【女川】</p> <p>■設計の相違</p> <p>安全解析における解析項目の違いによる解析コードの相違</p>																															
	<p>第6.1表 解析コード</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>解析項目</th> <th>コード名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プラント動特性挙動 ・中性子束 ・原子炉圧力 ・原子炉冷却材圧力/バウンダリ圧力</td> <td>REDY</td> </tr> <tr> <td>単チャンネル熱水力挙動 ・燃料被覆管温度</td> <td>SCAT</td> </tr> </tbody> </table>	解析項目	コード名	プラント動特性挙動 ・中性子束 ・原子炉圧力 ・原子炉冷却材圧力/バウンダリ圧力	REDY	単チャンネル熱水力挙動 ・燃料被覆管温度	SCAT	<p>第6-1表：解析コード</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>解析項目</th> <th>コード名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プラント動特性挙動 ・中性子束 ・1次冷却材温度 ・原子炉圧力</td> <td>MARVEL</td> </tr> </tbody> </table>	解析項目	コード名	プラント動特性挙動 ・中性子束 ・1次冷却材温度 ・原子炉圧力	MARVEL																						
解析項目	コード名																																	
プラント動特性挙動 ・中性子束 ・原子炉圧力 ・原子炉冷却材圧力/バウンダリ圧力	REDY																																	
単チャンネル熱水力挙動 ・燃料被覆管温度	SCAT																																	
解析項目	コード名																																	
プラント動特性挙動 ・中性子束 ・1次冷却材温度 ・原子炉圧力	MARVEL																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																											
	<div data-bbox="725 193 1308 373" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">第6.2表 主な解析条件</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">項目</th> <th style="width: 50%;">解析条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉出力</td> <td>2,540 MW</td> </tr> <tr> <td>炉心入口流量</td> <td>30.3×10^3 t/h</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> <td>7.03 MPa [gage]</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位</td> <td>通常水位</td> </tr> <tr> <td>外部電源</td> <td>あり</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>(2) 判断基準 内部火災を起因として発生する可能性のある過渡的な事象に対して、単一故障を想定しても、影響緩和系により事象は収束し、原子炉が安全停止を維持できることを確認する。</p> <p>(3) 解析結果 解析を実施する事象について、解析結果を第6.3表～第6.4表及び第6.1図～第6.4図、第6.6図～第6.9図に、事象の推移を第6.5図及び第6.10図に示す。</p>	項目	解析条件	原子炉出力	2,540 MW	炉心入口流量	30.3×10^3 t/h	原子炉圧力	7.03 MPa [gage]	原子炉水位	通常水位	外部電源	あり	<div data-bbox="1357 181 1939 588" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">第6-2表：主な解析条件</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">解析条件</th> </tr> <tr> <th>DNBR評価</th> <th>圧力評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">初期条件</td> <td>原子炉出力</td> <td>2660MWt (100%)</td> <td>2660MWt (100%) +2%</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材平均温度</td> <td>306.6℃</td> <td>306.6℃+2.2℃</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">外乱条件</td> <td>原子炉圧力</td> <td>15.41MPa [gage]</td> <td>15.41MPa [gage] -0.21MPa</td> </tr> <tr> <td>制御棒の異常な引き抜き</td> <td>$8.6 \times 10^{-4} (\Delta k/k) / s$ を最大反応度添加率とし、結果が最も厳しくなる値を考慮</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材系の異常な減圧</td> <td>加圧器速がし弁1弁誤開</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>主給水流量喪失</td> <td>すべての蒸気発生器への給水停止</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>負荷の喪失</td> <td>—</td> <td>蒸気タービンへの蒸気流量がゼロ</td> </tr> <tr> <td>外部電源</td> <td>あり</td> <td>あり</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>(2) 判断基準 内部火災を起因として発生する可能性のある過渡的な事象に対して、単一故障を想定しても、影響緩和系により事象は収束し、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持できることを確認する。</p> <p>(3) 解析結果 解析を実施する事象について、解析結果を第6-3表～第6-4表及び第6-1図、第6-3図に、事象の推移を第6-2図及び第6-4図に示す。</p>	項目	解析条件		DNBR評価	圧力評価	初期条件	原子炉出力	2660MWt (100%)	2660MWt (100%) +2%	1次冷却材平均温度	306.6℃	306.6℃+2.2℃	外乱条件	原子炉圧力	15.41MPa [gage]	15.41MPa [gage] -0.21MPa	制御棒の異常な引き抜き	$8.6 \times 10^{-4} (\Delta k/k) / s$ を最大反応度添加率とし、結果が最も厳しくなる値を考慮	同左	原子炉冷却材系の異常な減圧	加圧器速がし弁1弁誤開	—	主給水流量喪失	すべての蒸気発生器への給水停止	同左	負荷の喪失	—	蒸気タービンへの蒸気流量がゼロ	外部電源	あり	あり	<p>【女川】 ■設計の相違 BWRとPWRの解析条件の相違</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違</p>
項目	解析条件																																													
原子炉出力	2,540 MW																																													
炉心入口流量	30.3×10^3 t/h																																													
原子炉圧力	7.03 MPa [gage]																																													
原子炉水位	通常水位																																													
外部電源	あり																																													
項目	解析条件																																													
	DNBR評価	圧力評価																																												
初期条件	原子炉出力	2660MWt (100%)	2660MWt (100%) +2%																																											
	1次冷却材平均温度	306.6℃	306.6℃+2.2℃																																											
外乱条件	原子炉圧力	15.41MPa [gage]	15.41MPa [gage] -0.21MPa																																											
	制御棒の異常な引き抜き	$8.6 \times 10^{-4} (\Delta k/k) / s$ を最大反応度添加率とし、結果が最も厳しくなる値を考慮	同左																																											
	原子炉冷却材系の異常な減圧	加圧器速がし弁1弁誤開	—																																											
	主給水流量喪失	すべての蒸気発生器への給水停止	同左																																											
	負荷の喪失	—	蒸気タービンへの蒸気流量がゼロ																																											
	外部電源	あり	あり																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>a. 原子炉建屋での内部火災に起因する事象</p> <p>(a) 給水制御系の故障</p> <p>i. 原子炉停止状態 給水流量の増加による炉心入口サブクール線の増加によってボイドが減少し、原子炉出力が上昇する。原子炉水位が上昇し、約9秒後原子炉水位高(レベル8)に達するとタービントリップし、主蒸気止め弁閉信号が発生する。主蒸気止め弁の閉止により、原子炉はスクラムする。中性子束は定格値の約146%に達する。逃がし安全弁(安全弁機能)の作動により、原子炉圧力(ドーム部)は約8.02MPa[gage](原子炉冷却材圧力バウンダリ圧力ピーク値:8.29MPa[gage])に抑えられる。</p> <p>ii. 炉心冷却状態 原子炉水位高(レベル8)到達により、給水ポンプがトリップするため、原子炉水位は徐々に低下するが、高圧炉心スプレイ系等により注水は維持される。また、原子炉圧力はタービントリップに伴う主蒸気止め弁閉止とともに上昇するが、逃がし安全弁(安全弁機能)の作動により抑制が可能。</p> <p>iii. 安全停止状態 原子炉スクラム及び炉心冷却により原子炉の安全停止の維持は可能である。</p>	<p>a. 1次系建屋での内部火災に起因する事象</p> <p>1次系建屋での内部火災に起因する事象の解析結果について以下に示す。</p> <p>(a) 圧力評価(負荷の喪失+出力運転中の制御棒の異常な引き抜き+主給水流量喪失)</p> <p>i. 原子炉停止状態 制御棒の引き抜きにより原子炉出力が上昇し、主給水流量喪失及び負荷の喪失による2次側除熱の悪化も相まって、1次冷却材温度、原子炉圧力も上昇する。原子炉圧力が上昇し、「原子炉圧力高」の設定値に到達して原子炉トリップする。</p> <p>ii. 炉心冷却状態 原子炉トリップにより原子炉出力が低下し、主蒸気安全弁作動による2次側除熱促進により1次冷却材温度、原子炉圧力は低下に転じる。解析上は仮定していないが、その後補助給水ポンプが起動し、炉心崩壊熱を除熱し炉心冷却を継続する。</p> <p>iii. 安全停止状態 原子炉トリップ及び炉心冷却により原子炉の安全停止の維持は可能である。</p>	<p>【女川】 ■記載方針の相違 女川は、「原子炉建屋」で評価しているが、泊は「1次系建屋」として、原子炉建屋及び原子炉補助建屋で評価している。</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違</p> <p>【女川】 ■記載方針の相違 重畳事象が異なるため解析結果に相違があるが、原子炉の安全停止の維持は可能であることに相違はない。</p> <p>【女川】 ■記載方針の相違 重畳事象が異なるため解析結果に相違があるが、原子炉の安全停止の維持は可能であることに相違はない。</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添1 資料10 参考資料1 泊発電所3号炉における内部火災により想定される事象の確認結果）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(b) DNBR 評価（出力運転中の制御棒の異常な引き抜き+主給水流量喪失+原子炉冷却材系の異常な減圧）</p> <p>i. 原子炉停止状態</p> <p>制御棒の引き抜きにより原子炉出力が上昇し、主給水流量喪失による2次側除熱の悪化も相まって、1次冷却材温度も上昇する。また、原子炉冷却材系の異常な減圧により、1次冷却材温度上昇による圧力上昇効果を打ち消して、原子炉圧力は低下する。原子炉出力及び1次冷却材温度が上昇し、「過大温度ΔT高」の設定値に到達すると原子炉トリップする。</p> <p>ii. 炉心冷却状態</p> <p>原子炉トリップにより原子炉出力が低下し、1次冷却材温度は低下に転じる。解析上は仮定していないが、その後補助給水ポンプが起動し、炉心崩壊熱を除熱し炉心冷却を継続する。</p> <p>(c) 安全停止状態</p> <p>原子炉トリップ及び炉心冷却により原子炉の安全停止の維持は可能である。</p>	<p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>重畳事象が異なるため解析結果に相違があるが、原子炉の安全停止の維持は可能であることに相違はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>b. タービン建屋での内部火災に起因する事象</p> <p>(a) 給水加熱喪失+給水制御系の故障</p> <p>i. 原子炉停止状態</p> <p>給水流量の増加と給水加熱喪失による炉心入口サブクールの増加によってボイドが減少し、原子炉出力が上昇する。また、給水流量の増加により原子炉水位が上昇し、約9秒後に原子炉水位高(レベル8)に達するとタービントリップし、主蒸気止め弁閉信号が発生するが、タービン系RPSの機能喪失を仮定するため、この時点ではスクラムしない。主蒸気止め弁の閉止により原子炉圧力が上昇し、炉心内のボイドの減少により原子炉出力が上昇するため、約9秒後に中性子束高信号が発生し、原子炉はスクラムする。中性子束は定格値の約369%に達する。逃がし安全弁(逃がし弁機能)の作動により、原子炉圧力(ドーム部)は約8.09MPa[gage](原子炉冷却材圧力バウンダリ圧力ピーク値:8.38MPa[gage])に抑えられる。</p> <p>ii. 炉心冷却状態</p> <p>原子炉水位高(レベル8)到達により、給水ポンプがトリップするため、原子炉水位は徐々に低下するが、高圧炉心スプレイ系等により注水は維持される。また、原子炉圧力はタービントリップに伴う主蒸気止め弁閉止とともに上昇するが、逃がし安全弁(逃がし弁機能)の作動により抑制が可能。</p> <p>iii. 安全停止状態</p> <p>原子炉スクラム及び炉心冷却により原子炉の安全停止の維持は可能である。</p>	<p>b. 2次系建屋での内部火災に起因する事象</p> <p>2次系建屋での内部火災に起因する事象は1次系建屋での内部火災に起因する事象で代表できる。</p>	<p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>女川は、「タービン建屋」で評価しているが、泊は「2次系建屋」として、タービン建屋で評価している。</p> <p>【女川】</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>泊は表3.11で2次系建屋での内部火災に起因する事象は1次系建屋での内部火災に起因する事象で代表できることを示したため、記載しない。</p>

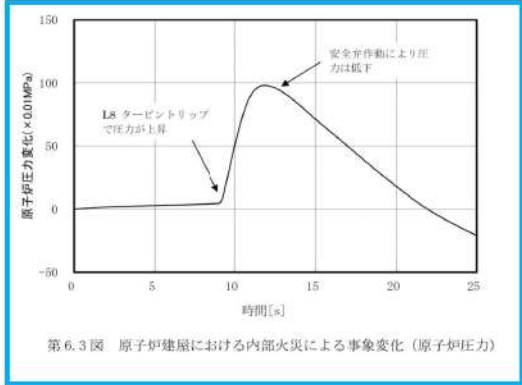
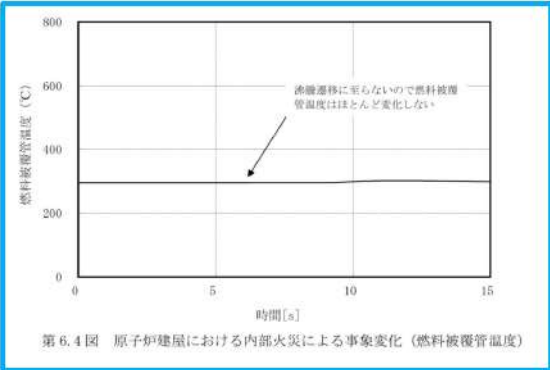
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																														
	<p>以上より、内部火災を起因として発生する可能性のある過渡的な事象に対して、単一故障を想定しても、影響緩和系により事象は収束し、原子炉が安全停止を維持できることを確認した。</p> <p>以上</p> <div data-bbox="725 387 1310 727" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>第6.3表 解析結果まとめ表（原子炉建屋）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>重畳事象</th> <th>項目</th> <th>解析結果 ()内は判断目安</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">給水制御系の故障（主蒸気止め弁閉スクラム）</td> <td>中性子束 (%)</td> <td>146 (-)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (MPa[gage])</td> <td>8.29 (10.34)</td> </tr> <tr> <td>燃料被覆管温度 (°C)</td> <td>沸騰遷移しない (1200)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">発生事象</td> <td>時刻 (秒)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">給水制御系故障発生</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">原子炉スクラム（主蒸気止め弁閉）</td> <td>9.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">安全弁開開始</td> <td>10.8</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="725 1015 1310 1361" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>第6.4表 解析結果まとめ表（タービン建屋）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>重畳事象</th> <th>項目</th> <th>解析結果 ()内は判断目安</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">給水加熱喪失+給水制御系の故障</td> <td>中性子束 (%)</td> <td>369 (-)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (MPa[gage])</td> <td>8.38 (10.34)</td> </tr> <tr> <td>燃料被覆管温度 (°C)</td> <td>615 (1200)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">発生事象</td> <td>時刻 (秒)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">給水加熱喪失+給水制御系の故障発生</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">原子炉水位LS（給水ポンプトリップ）</td> <td>9.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">原子炉スクラム（中性子束高）</td> <td>9.4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">逃がし弁開開始</td> <td>9.8</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>	重畳事象	項目	解析結果 ()内は判断目安	給水制御系の故障（主蒸気止め弁閉スクラム）	中性子束 (%)	146 (-)	原子炉圧力 (MPa[gage])	8.29 (10.34)	燃料被覆管温度 (°C)	沸騰遷移しない (1200)	発生事象		時刻 (秒)	給水制御系故障発生		0	原子炉スクラム（主蒸気止め弁閉）		9.0	安全弁開開始		10.8	重畳事象	項目	解析結果 ()内は判断目安	給水加熱喪失+給水制御系の故障	中性子束 (%)	369 (-)	原子炉圧力 (MPa[gage])	8.38 (10.34)	燃料被覆管温度 (°C)	615 (1200)	発生事象		時刻 (秒)	給水加熱喪失+給水制御系の故障発生		0	原子炉水位LS（給水ポンプトリップ）		9.0	原子炉スクラム（中性子束高）		9.4	逃がし弁開開始		9.8	<p>以上より、内部火災を起因として発生する可能性のある過渡的な事象に対して、プラントパラメータの悪化を顕著にする傾向があるものの、パラメータ悪化を検知して影響緩和系が自動動作し、単一故障を想定しても、影響緩和系により事象は収束し、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持できることを確認した。</p> <div data-bbox="1346 395 1957 919" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>第6-3表：解析結果まとめ表（1次系建屋/2次系建屋共通 圧力評価）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>重畳事象</th> <th>項目</th> <th>解析結果 ()内は判断目安</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負荷の喪失 +出力運転中の制御棒の異常な引き抜き +主給水流量喪失</td> <td>原子炉圧力 (MPa[gage])</td> <td>17.91 (20.592)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事象発生</td> <td>時刻 (秒)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">負荷の喪失 制御棒引き抜き^{※1} 主給水流量喪失</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「原子炉圧力高」原子炉トリップ限界値到達</td> <td>5.3</td> </tr> <tr> <td colspan="2">加圧器安全弁作動</td> <td>6.5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「出力領域中性子束高」原子炉トリップ限界値到達</td> <td>6.9</td> </tr> <tr> <td colspan="2">制御棒クラスト落下開始</td> <td>7.3</td> </tr> <tr> <td colspan="2">原子炉出力最大（約118%）</td> <td>7.3</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主蒸気安全弁作動</td> <td>8.4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">原子炉圧力最大（約17.91MPa[gage]）</td> <td>8.6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1次冷却材平均温度最大（約317.2°C）</td> <td>10.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 反応度添加率：2.2×10⁻⁴(Δk/k)/s</p> <div data-bbox="1357 1010 1946 1434" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>第6-4表：解析結果まとめ表（1次系建屋/2次系建屋共通 DNB評価）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>重畳事象</th> <th>項目</th> <th>解析結果 ()内は判断目安</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出力運転中の制御棒の異常な引き抜き +原子炉冷却材系の異常な減圧 +主給水流量喪失</td> <td>最小-DNBR</td> <td>1.53 (1.42)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事象発生</td> <td>時刻 (秒)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">制御棒引き抜き^{※1} 主給水流量喪失 加圧器逃がし弁1個全開</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「過大温度ΔT高」原子炉トリップ限界値到達</td> <td>18.6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">原子炉出力最大（約118%）</td> <td>24.6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">制御棒クラスト落下開始</td> <td>24.6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">DNBR最小（約1.53）</td> <td>24.7</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1次冷却材平均温度最大（約313.2°C）</td> <td>26.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2 反応度添加率：5.4×10⁻⁴(Δk/k)/s</p> </div> </div>	重畳事象	項目	解析結果 ()内は判断目安	負荷の喪失 +出力運転中の制御棒の異常な引き抜き +主給水流量喪失	原子炉圧力 (MPa[gage])	17.91 (20.592)	事象発生		時刻 (秒)	負荷の喪失 制御棒引き抜き ^{※1} 主給水流量喪失		0	「原子炉圧力高」原子炉トリップ限界値到達		5.3	加圧器安全弁作動		6.5	「出力領域中性子束高」原子炉トリップ限界値到達		6.9	制御棒クラスト落下開始		7.3	原子炉出力最大（約118%）		7.3	主蒸気安全弁作動		8.4	原子炉圧力最大（約17.91MPa[gage]）		8.6	1次冷却材平均温度最大（約317.2°C）		10.2	重畳事象	項目	解析結果 ()内は判断目安	出力運転中の制御棒の異常な引き抜き +原子炉冷却材系の異常な減圧 +主給水流量喪失	最小-DNBR	1.53 (1.42)	事象発生		時刻 (秒)	制御棒引き抜き ^{※1} 主給水流量喪失 加圧器逃がし弁1個全開		0	「過大温度ΔT高」原子炉トリップ限界値到達		18.6	原子炉出力最大（約118%）		24.6	制御棒クラスト落下開始		24.6	DNBR最小（約1.53）		24.7	1次冷却材平均温度最大（約313.2°C）		26.9	<p>【女川】 ■記載方針の相違 泊はプラントパラメータの挙動に対して考察した内容を追記した。</p> <p>【女川】 ■記載方針の相違 女川は建屋ごとに解析結果を示したが、泊は評価項目ごとに解析結果を示す。</p> <p>【女川】 ■記載方針の相違 女川は建屋ごとに解析結果を示したが、泊は評価項目ごとに解析結果を示す。</p>
重畳事象	項目	解析結果 ()内は判断目安																																																																																																															
給水制御系の故障（主蒸気止め弁閉スクラム）	中性子束 (%)	146 (-)																																																																																																															
	原子炉圧力 (MPa[gage])	8.29 (10.34)																																																																																																															
	燃料被覆管温度 (°C)	沸騰遷移しない (1200)																																																																																																															
発生事象		時刻 (秒)																																																																																																															
給水制御系故障発生		0																																																																																																															
原子炉スクラム（主蒸気止め弁閉）		9.0																																																																																																															
安全弁開開始		10.8																																																																																																															
重畳事象	項目	解析結果 ()内は判断目安																																																																																																															
給水加熱喪失+給水制御系の故障	中性子束 (%)	369 (-)																																																																																																															
	原子炉圧力 (MPa[gage])	8.38 (10.34)																																																																																																															
	燃料被覆管温度 (°C)	615 (1200)																																																																																																															
発生事象		時刻 (秒)																																																																																																															
給水加熱喪失+給水制御系の故障発生		0																																																																																																															
原子炉水位LS（給水ポンプトリップ）		9.0																																																																																																															
原子炉スクラム（中性子束高）		9.4																																																																																																															
逃がし弁開開始		9.8																																																																																																															
重畳事象	項目	解析結果 ()内は判断目安																																																																																																															
負荷の喪失 +出力運転中の制御棒の異常な引き抜き +主給水流量喪失	原子炉圧力 (MPa[gage])	17.91 (20.592)																																																																																																															
事象発生		時刻 (秒)																																																																																																															
負荷の喪失 制御棒引き抜き ^{※1} 主給水流量喪失		0																																																																																																															
「原子炉圧力高」原子炉トリップ限界値到達		5.3																																																																																																															
加圧器安全弁作動		6.5																																																																																																															
「出力領域中性子束高」原子炉トリップ限界値到達		6.9																																																																																																															
制御棒クラスト落下開始		7.3																																																																																																															
原子炉出力最大（約118%）		7.3																																																																																																															
主蒸気安全弁作動		8.4																																																																																																															
原子炉圧力最大（約17.91MPa[gage]）		8.6																																																																																																															
1次冷却材平均温度最大（約317.2°C）		10.2																																																																																																															
重畳事象	項目	解析結果 ()内は判断目安																																																																																																															
出力運転中の制御棒の異常な引き抜き +原子炉冷却材系の異常な減圧 +主給水流量喪失	最小-DNBR	1.53 (1.42)																																																																																																															
事象発生		時刻 (秒)																																																																																																															
制御棒引き抜き ^{※1} 主給水流量喪失 加圧器逃がし弁1個全開		0																																																																																																															
「過大温度ΔT高」原子炉トリップ限界値到達		18.6																																																																																																															
原子炉出力最大（約118%）		24.6																																																																																																															
制御棒クラスト落下開始		24.6																																																																																																															
DNBR最小（約1.53）		24.7																																																																																																															
1次冷却材平均温度最大（約313.2°C）		26.9																																																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="763 181 1274 555"> <p>第6.1図 原子炉建屋における内部火災による事象変化 (中性子束)</p> </div> <div data-bbox="763 595 1274 968"> <p>第6.2図 原子炉建屋における内部火災による事象変化 (原子炉水位)</p> </div>	<div data-bbox="1350 181 1951 571"> </div> <div data-bbox="1350 595 1951 1050"> <p>第6-1図：1次系建屋/2次系建屋における火災による事象変化 (圧力評価)</p> </div>	<p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>女川は建屋ごとに解析結果を示したが、泊は評価項目ごとに解析結果を示す。</p>

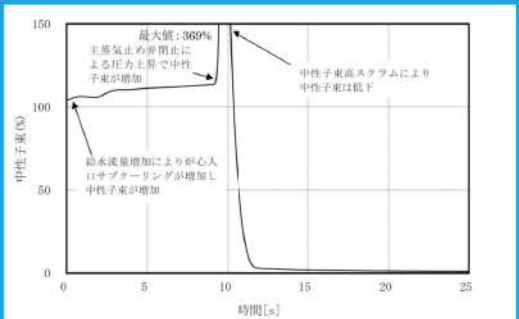
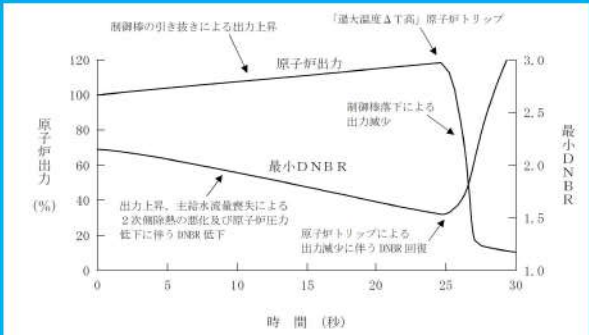
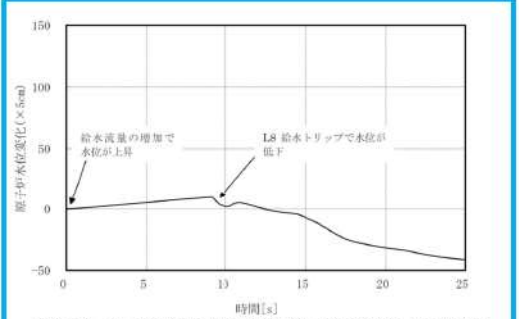
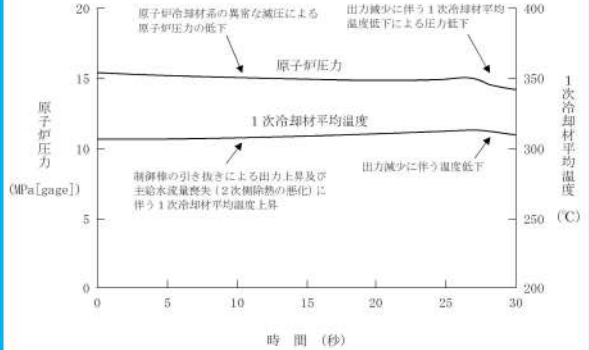
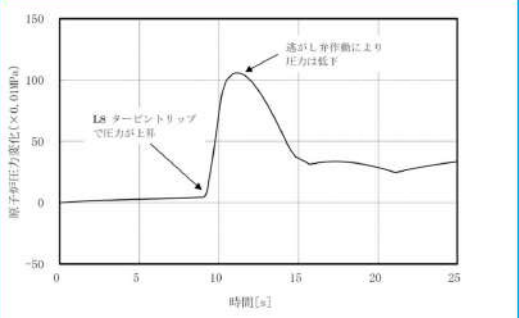
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第6.3図 原子炉建屋における内部火災による事象変化 (原子炉圧力)</p>		<p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>女川は建屋ごとに解析結果を示したが、泊は評価項目ごとに解析結果を示す。</p>
	 <p>第6.4図 原子炉建屋における内部火災による事象変化 (燃料被覆管温度)</p>		<p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>女川は建屋ごとに解析結果を示したが、泊は評価項目ごとに解析結果を示す。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第6.5図 原子炉建屋における事象推移のフローチャート</p>	<p>第6-2図：1次系建屋/2次系建屋における事象推移のフローチャート (圧力評価)</p>	<p>【女川】 ■記載方針の相違 重要事象の相違により 事象推移が異なる。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第6.6図 タービン建屋における内部火災による事象変化 (中性子束)</p>	 <p>第6-3図：1次系建屋/2次系建屋における火災による事象変化 (DNR評価)</p>	<p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>女川は建屋ごとに解析結果を示したが、泊は評価項目ごとに解析結果を示す。</p>
	 <p>第6.7図 タービン建屋における内部火災による事象変化 (原子炉水位)</p>	 <p>第6-3図：1次系建屋/2次系建屋における火災による事象変化 (DNR評価)</p>	<p>【女川】</p> <p>■記載方針の相違</p> <p>女川は建屋ごとに解析結果を示したが、泊は評価項目ごとに解析結果を示す。</p>
	 <p>第6.8図 タービン建屋における内部火災による事象変化 (原子炉圧力)</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第6.9図 タービン建屋における内部火災による事象変化（燃料被覆管温度）</p>		<p>【女川】 ■記載方針の相違 女川は建屋ごとに解析結果を示したが、泊は評価項目ごとに解析結果を示す。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第6.10図 タービン建屋における事象推移のフローチャート</p>	<p>第6-4図：1次系建屋/2次系建屋における事象推移のフローチャート (DORR 評価)</p>	<p>【女川】 ■記載方針の相違 重要事象の相違により 事象推移が異なる。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添2 本文 運用、手順能力説明資料火災による損傷の防止）

大飯発電所3/4号炉 別添資料—2 大飯発電所3号炉及び4号炉 技術的能力説明資料 火災による損傷の防止	女川原子力発電所2号炉 別添2 女川原子力発電所2号炉 運用、手順能力説明資料 火災による損傷の防止	泊発電所3号炉 別添2 泊発電所3号炉 運用、手順説明資料 火災による損傷の防止 8条 内部火災	相違理由 【女川・大飯】 ■設備名称の相違 【大飯】 ■記載方針の相違 （女川実績の反映） 【女川】 ■記載方針の相違 【女川・大飯】 ■記載表現の相違 記載表現の相違はあるが、実質的な相違なし （以降の相違理由も同様）
	<p>第8条 火災による損傷の防止(1/6)</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添2 本文 運用, 手順能力説明資料火災による損傷の防止)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>8条 内部火災(4/5)</p> <p>内部火災</p> <p>火災の影響軽減</p> <p>火災の防止・消火</p> <p>配線経路対策</p> <p>電気室</p> <p>断電対策</p> <p>ポンプ室</p> <p>中火制御室等</p> <p>火災防壁計画</p> <p>火災防壁計画</p> <p>ハード対応項目 ソフト対応項目</p> <p>使用燃料貯蔵設備及び新燃料貯蔵設備</p> <p>放射性能劣化阻害設備及び放射性廃棄物貯蔵設備</p> <p>配線経路対策 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計</p> <p>電気室 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計</p> <p>断電対策 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計</p> <p>ポンプ室 ○ポンプ室は、自動消火設備又は手動操作による固定式消火設備等を設置する設計とするが、固定式消火設備等により十分な消火活動も考慮し、煙を排気できる可燃性の排煙扇を設置する設計とする</p> <p>中火制御室等 ○中火制御室を含む火災区域の熱気空室設備には、防火ダンパを設置する設計 ○中火制御室の扉面には、防火性能を確保する設計</p>	<p>第8条 火災による損傷の防止(4/6)</p> <p>火災の影響軽減</p> <p>火災の防止・消火</p> <p>配線経路対策</p> <p>電気室</p> <p>断電対策</p> <p>ポンプ室</p> <p>中火制御室等</p> <p>火災防壁計画</p> <p>火災防壁計画</p> <p>ハード対応項目 ソフト対応項目</p> <p>使用燃料貯蔵設備及び新燃料貯蔵設備</p> <p>放射性能劣化阻害設備及び放射性廃棄物貯蔵設備</p> <p>配線経路対策 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計</p> <p>電気室 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計</p> <p>断電対策 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計</p> <p>ポンプ室 ○ポンプ室は、自動消火設備又は手動操作による固定式消火設備等を設置する設計とするが、固定式消火設備等により十分な消火活動も考慮し、煙を排気できる可燃性の排煙扇を設置する設計とする</p> <p>中火制御室等 ○中火制御室を含む火災区域の熱気空室設備には、防火ダンパを設置する設計 ○中火制御室の扉面には、防火性能を確保する設計</p>	<p>火災の影響軽減</p> <p>火災の防止・消火</p> <p>配線経路対策</p> <p>電気室</p> <p>断電対策</p> <p>ポンプ室</p> <p>中火制御室等</p> <p>火災防壁計画</p> <p>火災防壁計画</p> <p>ハード対応項目 ソフト対応項目</p> <p>使用燃料貯蔵設備及び新燃料貯蔵設備</p> <p>放射性能劣化阻害設備及び放射性廃棄物貯蔵設備</p> <p>配線経路対策 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計</p> <p>電気室 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計</p> <p>断電対策 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計</p> <p>ポンプ室 ○ポンプ室は、自動消火設備又は手動操作による固定式消火設備等を設置する設計とするが、固定式消火設備等により十分な消火活動も考慮し、煙を排気できる可燃性の排煙扇を設置する設計とする</p> <p>中火制御室等 ○中火制御室を含む火災区域の熱気空室設備には、防火ダンパを設置する設計 ○中火制御室の扉面には、防火性能を確保する設計</p>	<p>相違理由</p> <p>火災の影響軽減</p> <p>火災の防止・消火</p> <p>配線経路対策</p> <p>電気室</p> <p>断電対策</p> <p>ポンプ室</p> <p>中火制御室等</p> <p>火災防壁計画</p> <p>火災防壁計画</p> <p>ハード対応項目 ソフト対応項目</p> <p>使用燃料貯蔵設備及び新燃料貯蔵設備</p> <p>放射性能劣化阻害設備及び放射性廃棄物貯蔵設備</p> <p>配線経路対策 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計</p> <p>電気室 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計</p> <p>断電対策 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計 ○放射線透過性のある配線経路は、放射線透過性の低い材料を使用する設計</p> <p>ポンプ室 ○ポンプ室は、自動消火設備又は手動操作による固定式消火設備等を設置する設計とするが、固定式消火設備等により十分な消火活動も考慮し、煙を排気できる可燃性の排煙扇を設置する設計とする</p> <p>中火制御室等 ○中火制御室を含む火災区域の熱気空室設備には、防火ダンパを設置する設計 ○中火制御室の扉面には、防火性能を確保する設計</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添2 本文 運用、手順能力説明資料火災による損傷の防止）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">(1) 火災予防</p> <p style="text-align: center;">火災防護計画</p> <p style="text-align: center;">火災防護対策並びに火災防護対策を実施するための必要な手順、組織及び職員の体制を定める火災防護計画を定めること。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>火災防護計画に、安全機能を有する構造物、系統及び機器の防火から防護するための火災防護対策及び計画を定めること。</p> <p>火災防護計画に、安全機能を有する構造物、系統及び機器の防火から防護するための火災防護対策及び計画を定めること。</p> <p>火災防護計画に、安全機能を有する構造物、系統及び機器の防火から防護するための火災防護対策及び計画を定めること。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>火災防護計画に、安全機能を有する構造物、系統及び機器の防火から防護するための火災防護対策及び計画を定めること。</p> <p>火災防護計画に、安全機能を有する構造物、系統及び機器の防火から防護するための火災防護対策及び計画を定めること。</p> <p>火災防護計画に、安全機能を有する構造物、系統及び機器の防火から防護するための火災防護対策及び計画を定めること。</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">火災防護計画の概要</p>	<p style="text-align: center;">(2) 火災防護計画</p> <p style="text-align: center;">原子力施設設置者が、火災防護対策を適切に実施するための火災防護計画を策定</p> <p>火災防護計画に、安全機能を有する構造物、系統及び機器の防火から防護するための火災防護対策及び計画を定めること。</p> <p>火災防護計画に、安全機能を有する構造物、系統及び機器の防火から防護するための火災防護対策及び計画を定めること。</p> <p>火災防護計画に、安全機能を有する構造物、系統及び機器の防火から防護するための火災防護対策及び計画を定めること。</p>	<p>相違理由</p> <p>○火災防護対策及び計画を実施するために必要な手順、組織体制について定める</p> <p>○火災防護対策を実施するための組織における責任と権限を定める</p> <p>○火災防護対策を実施するための運用管理及び必要な要員を確保し（要員に対する訓練を含む）配置することを定める</p> <p>○構造物管理、火災作業管理等の火災の発生防止に対する対策について定める</p> <p>○火災の早期感知及び消火活動について定める</p> <p>○火災防護対策を実施するための組織とその運用管理及び必要な要員を確保し（要員に対する訓練を含む）配置することを定める</p> <p>○火災の発生を防止する</p> <p>○火災の早期感知により、建やかに消火し消火</p> <p>○消火活動により、建やかに鎮火しない事態においても、原子炉の高圧停止及び低圧停止の機能が確保されるように、当該安全機能を有する構造物、系統及び機器を防護する</p> <p>○火災防護計画が以下に示すとおりとなっていることを確認する</p> <p>○火災防護計画が以下に示すとおりとなっていることを確認する</p> <p>○火災防護計画が以下に示すとおりとなっていることを確認する</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添2 本文 運用、手順能力説明資料火災による損傷の防止）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																		
	<p>第1表：運用、手順に係る対策等（設計基準）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象項目</th> <th>区分</th> <th>運用対策等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">○水素感知時の対応手順 ○蓄電池室の換気設備停止時の対応手順</td> <td>運用・手順</td> <td>・水素感知時の対応手順(手順整備含む) ・蓄電池室の換気設備停止時の対応手順</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>・(運転員の当直体制)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○火災区域、火災区域毎の制限発熱量を超過しないよう可燃物の管理を実施 ○火災区域、火災区域における溶接等の作業において火気作業の計画算定、消火器等の配備、監視人の配置等を実施</td> <td>運用・手順</td> <td>・運転員による運転操作等の訓練 ・持込可燃物の管理手順(手順整備含む) ・火気作業の管理手順(手順整備含む)</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>・(運転員の当直体制)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○火災受信機盤の監視・監視</td> <td>運用・手順</td> <td>・火災受信機盤の監視・監視(手順整備含む)</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>・(運転員の当直体制)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○故障警報発報時の対応手順</td> <td>運用・手順</td> <td>・運転員による運転操作等の教育 ・故障警報発報時の対応手順(手順整備含む)</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>・(運転員の当直体制)</td> </tr> <tr> <td>設置許可基準規則対象条文</td> <td></td> <td>・運転員による運転操作等の訓練</td> </tr> </tbody> </table>	対象項目	区分	運用対策等	○水素感知時の対応手順 ○蓄電池室の換気設備停止時の対応手順	運用・手順	・水素感知時の対応手順(手順整備含む) ・蓄電池室の換気設備停止時の対応手順	体制	・(運転員の当直体制)	○火災区域、火災区域毎の制限発熱量を超過しないよう可燃物の管理を実施 ○火災区域、火災区域における溶接等の作業において火気作業の計画算定、消火器等の配備、監視人の配置等を実施	運用・手順	・運転員による運転操作等の訓練 ・持込可燃物の管理手順(手順整備含む) ・火気作業の管理手順(手順整備含む)	体制	・(運転員の当直体制)	○火災受信機盤の監視・監視	運用・手順	・火災受信機盤の監視・監視(手順整備含む)	体制	・(運転員の当直体制)	○故障警報発報時の対応手順	運用・手順	・運転員による運転操作等の教育 ・故障警報発報時の対応手順(手順整備含む)	体制	・(運転員の当直体制)	設置許可基準規則対象条文		・運転員による運転操作等の訓練	<p>表1 運用、手順に係る運用対策等（設計基準）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象項目</th> <th>区分</th> <th>運用対策等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">●火災発生防止 ○ドレンパン等の設置による漏えいを防止、拡大防止する設計 ○免燃可燃物が施設の安全機能を損なわないよう壁等の設置及び隔離による配置上の考慮を行う設計 ○機械換気、自然換気による換気をする設計 ○機器の接続構造等により油や水素の漏えいを防止し、爆発性雰囲気とならない設計</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○金属製の本体内に収納する等の対策により、設備外部に出た火花が着火源となる許容を設計しない設計</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○充電時に水素を発生するおそれのある蓄電池室に水素濃度検知器を設置</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○充電時に水素を発生するおそれのある蓄電池室に水素濃度検知器を設置</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○水素感知時の対応手順</td> <td>運用・手順</td> <td>・水素感知時の対応手順</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○水素感知時の対応手順</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○水素感知時の対応手順</td> <td>運用・手順</td> <td>・水素感知時の対応手順</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	対象項目	区分	運用対策等	●火災発生防止 ○ドレンパン等の設置による漏えいを防止、拡大防止する設計 ○免燃可燃物が施設の安全機能を損なわないよう壁等の設置及び隔離による配置上の考慮を行う設計 ○機械換気、自然換気による換気をする設計 ○機器の接続構造等により油や水素の漏えいを防止し、爆発性雰囲気とならない設計	運用・手順	—	体制	—	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修	○金属製の本体内に収納する等の対策により、設備外部に出た火花が着火源となる許容を設計しない設計	運用・手順	—	体制	—	○充電時に水素を発生するおそれのある蓄電池室に水素濃度検知器を設置	運用・手順	—	体制	—	○充電時に水素を発生するおそれのある蓄電池室に水素濃度検知器を設置	運用・手順	—	体制	—	○水素感知時の対応手順	運用・手順	・水素感知時の対応手順	体制	—	○水素感知時の対応手順	運用・手順	—	体制	—	○水素感知時の対応手順	運用・手順	・水素感知時の対応手順	体制	—	
対象項目	区分	運用対策等																																																																			
○水素感知時の対応手順 ○蓄電池室の換気設備停止時の対応手順	運用・手順	・水素感知時の対応手順(手順整備含む) ・蓄電池室の換気設備停止時の対応手順																																																																			
	体制	・(運転員の当直体制)																																																																			
○火災区域、火災区域毎の制限発熱量を超過しないよう可燃物の管理を実施 ○火災区域、火災区域における溶接等の作業において火気作業の計画算定、消火器等の配備、監視人の配置等を実施	運用・手順	・運転員による運転操作等の訓練 ・持込可燃物の管理手順(手順整備含む) ・火気作業の管理手順(手順整備含む)																																																																			
	体制	・(運転員の当直体制)																																																																			
○火災受信機盤の監視・監視	運用・手順	・火災受信機盤の監視・監視(手順整備含む)																																																																			
	体制	・(運転員の当直体制)																																																																			
○故障警報発報時の対応手順	運用・手順	・運転員による運転操作等の教育 ・故障警報発報時の対応手順(手順整備含む)																																																																			
	体制	・(運転員の当直体制)																																																																			
設置許可基準規則対象条文		・運転員による運転操作等の訓練																																																																			
対象項目	区分	運用対策等																																																																			
●火災発生防止 ○ドレンパン等の設置による漏えいを防止、拡大防止する設計 ○免燃可燃物が施設の安全機能を損なわないよう壁等の設置及び隔離による配置上の考慮を行う設計 ○機械換気、自然換気による換気をする設計 ○機器の接続構造等により油や水素の漏えいを防止し、爆発性雰囲気とならない設計	運用・手順	—																																																																			
	体制	—																																																																			
	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修																																																																			
○金属製の本体内に収納する等の対策により、設備外部に出た火花が着火源となる許容を設計しない設計	運用・手順	—																																																																			
	体制	—																																																																			
○充電時に水素を発生するおそれのある蓄電池室に水素濃度検知器を設置	運用・手順	—																																																																			
	体制	—																																																																			
○充電時に水素を発生するおそれのある蓄電池室に水素濃度検知器を設置	運用・手順	—																																																																			
	体制	—																																																																			
○水素感知時の対応手順	運用・手順	・水素感知時の対応手順																																																																			
	体制	—																																																																			
○水素感知時の対応手順	運用・手順	—																																																																			
	体制	—																																																																			
○水素感知時の対応手順	運用・手順	・水素感知時の対応手順																																																																			
	体制	—																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添2 本文 運用、手順能力説明資料火災による損傷の防止）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																														
<p>設置許可基準規則対象条文</p> <p>第8条 内部火災</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="725 161 770 564">対象項目</th> <th data-bbox="725 564 770 660">区分</th> <th data-bbox="725 660 770 1251">運用対策等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="770 161 875 564">○火災感知器等作動時の対応手順</td> <td data-bbox="770 564 875 660">運用・手順 体制 保守・点検</td> <td data-bbox="770 660 875 1251">・火災感知器作動時の対応手順(手順整備含む) ・(運転員の当直体制)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="875 161 981 564">○消火設備作動時及び使用時の対応手順</td> <td data-bbox="875 564 981 660">教育・訓練 運用・手順 体制 保守・点検</td> <td data-bbox="875 660 981 1251">・運転員による運転操作等の教育 ・消火設備作動時及び使用時の対応手順(手順整備含む) ・(運転員の当直体制)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="981 161 1308 564">【原子炉格納容器の火災の影響軽減対策】 ○可能な限り離隔による分散配置 ○低温停止中及び起動中の火災感知器設置 ○低温停止中の原子炉格納容器の各入口への消火器設置 ○火気作業実施時の消火器の配備 ○火災時の対応手順</td> <td data-bbox="981 564 1308 660">運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練</td> <td data-bbox="981 660 1308 1251">・火災防護に関する教育 ・火災感知器作動時の対応手順(手順整備含む) ・消火要員等による消火器及び消火栓を用いた消火手順(手順整備含む) ・原子炉の安全停止操作の手順(手順整備含む) ・(運転員の当直体制) ・消防要員等による体制 ・(自衛消防組織) ・設備の点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 ・運転員による運転操作等の訓練 ・消防要員等による総合的な訓練 ・所員による消防訓練</td> </tr> </tbody> </table>	対象項目	区分	運用対策等	○火災感知器等作動時の対応手順	運用・手順 体制 保守・点検	・火災感知器作動時の対応手順(手順整備含む) ・(運転員の当直体制)	○消火設備作動時及び使用時の対応手順	教育・訓練 運用・手順 体制 保守・点検	・運転員による運転操作等の教育 ・消火設備作動時及び使用時の対応手順(手順整備含む) ・(運転員の当直体制)	【原子炉格納容器の火災の影響軽減対策】 ○可能な限り離隔による分散配置 ○低温停止中及び起動中の火災感知器設置 ○低温停止中の原子炉格納容器の各入口への消火器設置 ○火気作業実施時の消火器の配備 ○火災時の対応手順	運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練	・火災防護に関する教育 ・火災感知器作動時の対応手順(手順整備含む) ・消火要員等による消火器及び消火栓を用いた消火手順(手順整備含む) ・原子炉の安全停止操作の手順(手順整備含む) ・(運転員の当直体制) ・消防要員等による体制 ・(自衛消防組織) ・設備の点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 ・運転員による運転操作等の訓練 ・消防要員等による総合的な訓練 ・所員による消防訓練	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1352 153 1644 169">対象項目</th> <th data-bbox="1644 153 1733 169">区分</th> <th data-bbox="1733 153 1957 169">運用対策等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1352 233 1644 248">○故障回路を早期に遮断する設計</td> <td data-bbox="1644 169 1733 233">運用・手順 体制</td> <td data-bbox="1733 169 1957 233">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 248 1644 296">○防火可燃物の管理 ○火気作業時の管理</td> <td data-bbox="1644 233 1733 296">運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練</td> <td data-bbox="1733 233 1957 296">・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 ・持込可燃物の管理手順 ・火気作業時の管理手順</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 424 1644 504">○安全機能を有する構造物、系統及び機器の支持構造物のうち、主要な構造材料は、ステンレス鋼等の金属材料又は、コンクリートを使用する設計</td> <td data-bbox="1644 296 1733 360">運用・手順 体制</td> <td data-bbox="1733 296 1957 360">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 504 1644 552">○安全機能を有する構造物、系統及び機器の支持構造物のうち、炭素鋼及び鋳鉄には、筋線鉄を内蔵していないものを採用する設計</td> <td data-bbox="1644 360 1733 424">運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練</td> <td data-bbox="1733 360 1957 424">・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 679 1644 727">○安全機能を有する構造物、系統及び機器の支持構造物のうち、炭素鋼ケーブルを使用する設計 ○核計装用ケーブル等は、専用の電線管に収納し、電線管の両端は、難燃性の耐熱ケーブルにより処置する設計</td> <td data-bbox="1644 424 1733 488">運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練</td> <td data-bbox="1733 424 1957 488">・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育</td> </tr> </tbody> </table>	対象項目	区分	運用対策等	○故障回路を早期に遮断する設計	運用・手順 体制	-	○防火可燃物の管理 ○火気作業時の管理	運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 ・持込可燃物の管理手順 ・火気作業時の管理手順	○安全機能を有する構造物、系統及び機器の支持構造物のうち、主要な構造材料は、ステンレス鋼等の金属材料又は、コンクリートを使用する設計	運用・手順 体制	-	○安全機能を有する構造物、系統及び機器の支持構造物のうち、炭素鋼及び鋳鉄には、筋線鉄を内蔵していないものを採用する設計	運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育	○安全機能を有する構造物、系統及び機器の支持構造物のうち、炭素鋼ケーブルを使用する設計 ○核計装用ケーブル等は、専用の電線管に収納し、電線管の両端は、難燃性の耐熱ケーブルにより処置する設計	運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育	
対象項目	区分	運用対策等																															
○火災感知器等作動時の対応手順	運用・手順 体制 保守・点検	・火災感知器作動時の対応手順(手順整備含む) ・(運転員の当直体制)																															
○消火設備作動時及び使用時の対応手順	教育・訓練 運用・手順 体制 保守・点検	・運転員による運転操作等の教育 ・消火設備作動時及び使用時の対応手順(手順整備含む) ・(運転員の当直体制)																															
【原子炉格納容器の火災の影響軽減対策】 ○可能な限り離隔による分散配置 ○低温停止中及び起動中の火災感知器設置 ○低温停止中の原子炉格納容器の各入口への消火器設置 ○火気作業実施時の消火器の配備 ○火災時の対応手順	運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練	・火災防護に関する教育 ・火災感知器作動時の対応手順(手順整備含む) ・消火要員等による消火器及び消火栓を用いた消火手順(手順整備含む) ・原子炉の安全停止操作の手順(手順整備含む) ・(運転員の当直体制) ・消防要員等による体制 ・(自衛消防組織) ・設備の点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 ・運転員による運転操作等の訓練 ・消防要員等による総合的な訓練 ・所員による消防訓練																															
対象項目	区分	運用対策等																															
○故障回路を早期に遮断する設計	運用・手順 体制	-																															
○防火可燃物の管理 ○火気作業時の管理	運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 ・持込可燃物の管理手順 ・火気作業時の管理手順																															
○安全機能を有する構造物、系統及び機器の支持構造物のうち、主要な構造材料は、ステンレス鋼等の金属材料又は、コンクリートを使用する設計	運用・手順 体制	-																															
○安全機能を有する構造物、系統及び機器の支持構造物のうち、炭素鋼及び鋳鉄には、筋線鉄を内蔵していないものを採用する設計	運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育																															
○安全機能を有する構造物、系統及び機器の支持構造物のうち、炭素鋼ケーブルを使用する設計 ○核計装用ケーブル等は、専用の電線管に収納し、電線管の両端は、難燃性の耐熱ケーブルにより処置する設計	運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添2 本文 運用、手順能力説明資料火災による損傷の防止）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="757 1362 1276 1551">運用対策等</th> <th data-bbox="757 1117 1276 1362">区分</th> <th data-bbox="757 702 1276 1117">対象項目</th> <th data-bbox="757 478 1276 702">設置許可基準規則対象条文</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="757 1053 1276 1362"> <ul style="list-style-type: none"> ・火災感知器作動時の対応手順(手順整備含む) ・運転員による二酸化炭素消火器を用いた消火手順(手順整備含む) ・原子炉の安全停止操作の手順(手順整備含む) ・(運転員の当直体制) ・(消防要員等による体制) ・設備の点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 ・運転員による運転操作等の教育 ・消防要員等による総合的な訓練 ・排煙装置による排煙の手順(手順整備含む) ・(運転員の当直体制) ・(消防要員等による体制) ・火災防護に関する教育 ・運転員による運転操作等の訓練 ・消防要員等による総合的な訓練 </td> <td data-bbox="757 702 1276 1053"> <ul style="list-style-type: none"> 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 </td> <td data-bbox="757 478 1276 702"> <p>【中央制御室内の火災の影響軽減対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○離隔距離等による分離 ○運転員による二酸化炭素消火器を用いた消火を実施 ○中央制御室内火災時の原子炉の高圧停止・低圧停止の運成及び維持 </td> <td data-bbox="757 478 1276 702"> <p>第8条 内部火災</p> </td> </tr> </tbody> </table>	運用対策等	区分	対象項目	設置許可基準規則対象条文	<ul style="list-style-type: none"> ・火災感知器作動時の対応手順(手順整備含む) ・運転員による二酸化炭素消火器を用いた消火手順(手順整備含む) ・原子炉の安全停止操作の手順(手順整備含む) ・(運転員の当直体制) ・(消防要員等による体制) ・設備の点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 ・運転員による運転操作等の教育 ・消防要員等による総合的な訓練 ・排煙装置による排煙の手順(手順整備含む) ・(運転員の当直体制) ・(消防要員等による体制) ・火災防護に関する教育 ・運転員による運転操作等の訓練 ・消防要員等による総合的な訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 	<p>【中央制御室内の火災の影響軽減対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○離隔距離等による分離 ○運転員による二酸化炭素消火器を用いた消火を実施 ○中央制御室内火災時の原子炉の高圧停止・低圧停止の運成及び維持 	<p>第8条 内部火災</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1352 1362 1635 1551">対象項目</th> <th data-bbox="1352 1117 1635 1362">区分</th> <th data-bbox="1352 702 1635 1117">運用対策等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1352 1053 1635 1362"> <ul style="list-style-type: none"> ○安全機能を有する構造物、系統及び機器を設置する火災区域及び火災区域の換気空調設備のフィルタは、ダマールフィルタを除き、難燃性のフィルタを使用する設計 </td> <td data-bbox="1352 702 1635 1053"> <ul style="list-style-type: none"> 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 </td> <td data-bbox="1352 478 1635 702"> <ul style="list-style-type: none"> - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 702 1635 1053"> <ul style="list-style-type: none"> ○安全機能を有する構造物、系統及び機器に対する保護材料は、不燃材料を使用する設計 </td> <td data-bbox="1352 478 1635 702"> <ul style="list-style-type: none"> 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 </td> <td data-bbox="1352 175 1635 478"> <ul style="list-style-type: none"> - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 1053 1635 1362"> <ul style="list-style-type: none"> ○安全機能を有する構造物、系統及び機器を設置する建物の内装材は、建築基準法等に基づく不燃材料又はこれと同等の性能を有することを試験により確認した材料を使用する設計 </td> <td data-bbox="1352 702 1635 1053"> <ul style="list-style-type: none"> 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 </td> <td data-bbox="1352 478 1635 702"> <ul style="list-style-type: none"> - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 1053 1635 1362"> <ul style="list-style-type: none"> ○使用原子炉施設内の構造物、系統及び機器は、普通による火災も防止するための耐火構造を確保 ○送電線は、故障時間を早期に遮断する設計 </td> <td data-bbox="1352 702 1635 1053"> <ul style="list-style-type: none"> 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 </td> <td data-bbox="1352 478 1635 702"> <ul style="list-style-type: none"> - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 1053 1635 1362"> <ul style="list-style-type: none"> ○安全機能を有する構造物、系統及び機器は、前面ガラスに比べて十分な支持性能を持つ構造に設計するとともに、自らが破損又は脱落することによる火災の発生を防止する設計 </td> <td data-bbox="1352 702 1635 1053"> <ul style="list-style-type: none"> 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 </td> <td data-bbox="1352 478 1635 702"> <ul style="list-style-type: none"> - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 </td> </tr> </tbody> </table>	対象項目	区分	運用対策等	<ul style="list-style-type: none"> ○安全機能を有する構造物、系統及び機器を設置する火災区域及び火災区域の換気空調設備のフィルタは、ダマールフィルタを除き、難燃性のフィルタを使用する設計 	<ul style="list-style-type: none"> 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 	<ul style="list-style-type: none"> - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 	<ul style="list-style-type: none"> ○安全機能を有する構造物、系統及び機器に対する保護材料は、不燃材料を使用する設計 	<ul style="list-style-type: none"> 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 	<ul style="list-style-type: none"> - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 	<ul style="list-style-type: none"> ○安全機能を有する構造物、系統及び機器を設置する建物の内装材は、建築基準法等に基づく不燃材料又はこれと同等の性能を有することを試験により確認した材料を使用する設計 	<ul style="list-style-type: none"> 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 	<ul style="list-style-type: none"> - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 	<ul style="list-style-type: none"> ○使用原子炉施設内の構造物、系統及び機器は、普通による火災も防止するための耐火構造を確保 ○送電線は、故障時間を早期に遮断する設計 	<ul style="list-style-type: none"> 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 	<ul style="list-style-type: none"> - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 	<ul style="list-style-type: none"> ○安全機能を有する構造物、系統及び機器は、前面ガラスに比べて十分な支持性能を持つ構造に設計するとともに、自らが破損又は脱落することによる火災の発生を防止する設計 	<ul style="list-style-type: none"> 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 	<ul style="list-style-type: none"> - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 	
運用対策等	区分	対象項目	設置許可基準規則対象条文																										
<ul style="list-style-type: none"> ・火災感知器作動時の対応手順(手順整備含む) ・運転員による二酸化炭素消火器を用いた消火手順(手順整備含む) ・原子炉の安全停止操作の手順(手順整備含む) ・(運転員の当直体制) ・(消防要員等による体制) ・設備の点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 ・運転員による運転操作等の教育 ・消防要員等による総合的な訓練 ・排煙装置による排煙の手順(手順整備含む) ・(運転員の当直体制) ・(消防要員等による体制) ・火災防護に関する教育 ・運転員による運転操作等の訓練 ・消防要員等による総合的な訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 	<p>【中央制御室内の火災の影響軽減対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○離隔距離等による分離 ○運転員による二酸化炭素消火器を用いた消火を実施 ○中央制御室内火災時の原子炉の高圧停止・低圧停止の運成及び維持 	<p>第8条 内部火災</p>																										
対象項目	区分	運用対策等																											
<ul style="list-style-type: none"> ○安全機能を有する構造物、系統及び機器を設置する火災区域及び火災区域の換気空調設備のフィルタは、ダマールフィルタを除き、難燃性のフィルタを使用する設計 	<ul style="list-style-type: none"> 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 	<ul style="list-style-type: none"> - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 																											
<ul style="list-style-type: none"> ○安全機能を有する構造物、系統及び機器に対する保護材料は、不燃材料を使用する設計 	<ul style="list-style-type: none"> 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 	<ul style="list-style-type: none"> - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 																											
<ul style="list-style-type: none"> ○安全機能を有する構造物、系統及び機器を設置する建物の内装材は、建築基準法等に基づく不燃材料又はこれと同等の性能を有することを試験により確認した材料を使用する設計 	<ul style="list-style-type: none"> 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 	<ul style="list-style-type: none"> - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 																											
<ul style="list-style-type: none"> ○使用原子炉施設内の構造物、系統及び機器は、普通による火災も防止するための耐火構造を確保 ○送電線は、故障時間を早期に遮断する設計 	<ul style="list-style-type: none"> 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 	<ul style="list-style-type: none"> - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 																											
<ul style="list-style-type: none"> ○安全機能を有する構造物、系統及び機器は、前面ガラスに比べて十分な支持性能を持つ構造に設計するとともに、自らが破損又は脱落することによる火災の発生を防止する設計 	<ul style="list-style-type: none"> 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 	<ul style="list-style-type: none"> - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 - - - ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添2 本文 運用、手順能力説明資料火災による損傷の防止）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="808 1447 972 1447">設置許可基準規則対象条文</th> <th data-bbox="972 1447 1223 1447">対象項目</th> <th data-bbox="808 743 972 1447">区分</th> <th data-bbox="808 158 972 743">運用対策等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1025 1241 1055 1370">第8条 内部火災</td> <td data-bbox="972 743 1223 1241"> 【火災発生時の対応手順】 ○火災感知設備作動時の対応手順 ○自動消火設備作動時の対応手順 ○消火要員等による消火活動 ○原子炉格納容器内の消火活動 ○原子炉の安全停止操作 </td> <td data-bbox="972 743 1223 1241"> 運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練 </td> <td data-bbox="808 158 972 743"> ・火災感知器作動時の対応手順(手順整備含む) ・消火要員による消火器及び消火栓を用いた消火手順(手順整備含む) ・原子炉の安全停止操作の手順(手順整備含む) ・(運転員の当直体制) ・(消防要員等による体制) ・(自衛消防組織) ・設備の点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 ・運転員による運転操作等の訓練 ・消防要員等による総合的な訓練 ・所員による消防訓練 </td> </tr> </tbody> </table>	設置許可基準規則対象条文	対象項目	区分	運用対策等	第8条 内部火災	【火災発生時の対応手順】 ○火災感知設備作動時の対応手順 ○自動消火設備作動時の対応手順 ○消火要員等による消火活動 ○原子炉格納容器内の消火活動 ○原子炉の安全停止操作	運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練	・火災感知器作動時の対応手順(手順整備含む) ・消火要員による消火器及び消火栓を用いた消火手順(手順整備含む) ・原子炉の安全停止操作の手順(手順整備含む) ・(運転員の当直体制) ・(消防要員等による体制) ・(自衛消防組織) ・設備の点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 ・運転員による運転操作等の訓練 ・消防要員等による総合的な訓練 ・所員による消防訓練	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1346 1447 1637 1447">対象項目</th> <th data-bbox="1637 1447 1727 1447">区分</th> <th data-bbox="1727 1447 1955 1447">運用対策等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1346 185 1637 209">●火災の通知、消火</td> <td data-bbox="1637 185 1727 209">運用・手順</td> <td data-bbox="1727 185 1955 209">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 209 1637 233"></td> <td data-bbox="1637 209 1727 233">体制</td> <td data-bbox="1727 209 1955 233">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 233 1637 336">○火災感知器は、放射線、取付高さ等の環境条件や、火災の性質を考慮して設計</td> <td data-bbox="1637 233 1727 336">保守・点検</td> <td data-bbox="1727 233 1955 336"> ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 336 1637 360"></td> <td data-bbox="1637 336 1727 360">教育・訓練</td> <td data-bbox="1727 336 1955 360">火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 360 1637 384">○現在の信りを基とする火災感知器多設置</td> <td data-bbox="1637 360 1727 384">運用・手順</td> <td data-bbox="1727 360 1955 384">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 384 1637 408"></td> <td data-bbox="1637 384 1727 408">体制</td> <td data-bbox="1727 384 1955 408">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 408 1637 512">○火災感知器動作時の対応手順</td> <td data-bbox="1637 408 1727 512">保守・点検</td> <td data-bbox="1727 408 1955 512"> ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 512 1637 536"></td> <td data-bbox="1637 512 1727 536">教育・訓練</td> <td data-bbox="1727 512 1955 536">火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 536 1637 560">○火災感知器動作時の対応手順</td> <td data-bbox="1637 536 1727 560">運用・手順</td> <td data-bbox="1727 536 1955 560">火災感知器動作時の対応手順</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 560 1637 584"></td> <td data-bbox="1637 560 1727 584">体制</td> <td data-bbox="1727 560 1955 584">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 584 1637 608">○火災感知設備の火災受信機調整、中央制御室に設置し、火災感知器を常時監視できる設計</td> <td data-bbox="1637 584 1727 608">保守・点検</td> <td data-bbox="1727 584 1955 608"> ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 608 1637 632"></td> <td data-bbox="1637 608 1727 632">教育・訓練</td> <td data-bbox="1727 608 1955 632">火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 632 1637 655">○外部電源喪失においても火災の感知が可能となるように蓄電池を設置する設計</td> <td data-bbox="1637 632 1727 655">運用・手順</td> <td data-bbox="1727 632 1955 655">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 655 1637 679"></td> <td data-bbox="1637 655 1727 679">体制</td> <td data-bbox="1727 655 1955 679">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 679 1637 783">○原子炉の安全停止に必要な機器等を設置する火災区域又は火災区域の火災感知設備については、非常用電源からの受電も可能な設計</td> <td data-bbox="1637 679 1727 783">保守・点検</td> <td data-bbox="1727 679 1955 783"> ・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 783 1637 807"></td> <td data-bbox="1637 783 1727 807">教育・訓練</td> <td data-bbox="1727 783 1955 807">火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 807 1637 831">○原子炉の安全停止に必要な機器等を設置する火災区域又は火災区域の火災感知設備については、非常用電源からの受電も可能な設計</td> <td data-bbox="1637 807 1727 831">運用・手順</td> <td data-bbox="1727 807 1955 831">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1346 831 1637 855"></td> <td data-bbox="1637 831 1727 855">体制</td> <td data-bbox="1727 831 1955 855">-</td> </tr> </tbody> </table>	対象項目	区分	運用対策等	●火災の通知、消火	運用・手順	-		体制	-	○火災感知器は、放射線、取付高さ等の環境条件や、火災の性質を考慮して設計	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修		教育・訓練	火災防護に関する教育	○現在の信りを基とする火災感知器多設置	運用・手順	-		体制	-	○火災感知器動作時の対応手順	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修		教育・訓練	火災防護に関する教育	○火災感知器動作時の対応手順	運用・手順	火災感知器動作時の対応手順		体制	-	○火災感知設備の火災受信機調整、中央制御室に設置し、火災感知器を常時監視できる設計	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修		教育・訓練	火災防護に関する教育	○外部電源喪失においても火災の感知が可能となるように蓄電池を設置する設計	運用・手順	-		体制	-	○原子炉の安全停止に必要な機器等を設置する火災区域又は火災区域の火災感知設備については、非常用電源からの受電も可能な設計	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修		教育・訓練	火災防護に関する教育	○原子炉の安全停止に必要な機器等を設置する火災区域又は火災区域の火災感知設備については、非常用電源からの受電も可能な設計	運用・手順	-		体制	-	
設置許可基準規則対象条文	対象項目	区分	運用対策等																																																																	
第8条 内部火災	【火災発生時の対応手順】 ○火災感知設備作動時の対応手順 ○自動消火設備作動時の対応手順 ○消火要員等による消火活動 ○原子炉格納容器内の消火活動 ○原子炉の安全停止操作	運用・手順 体制 保守・点検 教育・訓練	・火災感知器作動時の対応手順(手順整備含む) ・消火要員による消火器及び消火栓を用いた消火手順(手順整備含む) ・原子炉の安全停止操作の手順(手順整備含む) ・(運転員の当直体制) ・(消防要員等による体制) ・(自衛消防組織) ・設備の点検 ・設備の故障時の補修 ・火災防護に関する教育 ・運転員による運転操作等の訓練 ・消防要員等による総合的な訓練 ・所員による消防訓練																																																																	
対象項目	区分	運用対策等																																																																		
●火災の通知、消火	運用・手順	-																																																																		
	体制	-																																																																		
○火災感知器は、放射線、取付高さ等の環境条件や、火災の性質を考慮して設計	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修																																																																		
	教育・訓練	火災防護に関する教育																																																																		
○現在の信りを基とする火災感知器多設置	運用・手順	-																																																																		
	体制	-																																																																		
○火災感知器動作時の対応手順	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修																																																																		
	教育・訓練	火災防護に関する教育																																																																		
○火災感知器動作時の対応手順	運用・手順	火災感知器動作時の対応手順																																																																		
	体制	-																																																																		
○火災感知設備の火災受信機調整、中央制御室に設置し、火災感知器を常時監視できる設計	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修																																																																		
	教育・訓練	火災防護に関する教育																																																																		
○外部電源喪失においても火災の感知が可能となるように蓄電池を設置する設計	運用・手順	-																																																																		
	体制	-																																																																		
○原子炉の安全停止に必要な機器等を設置する火災区域又は火災区域の火災感知設備については、非常用電源からの受電も可能な設計	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修																																																																		
	教育・訓練	火災防護に関する教育																																																																		
○原子炉の安全停止に必要な機器等を設置する火災区域又は火災区域の火災感知設備については、非常用電源からの受電も可能な設計	運用・手順	-																																																																		
	体制	-																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添2 本文 運用、手順能力説明資料火災による損傷の防止）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1346 188 1637 212">対象項目</th> <th data-bbox="1637 188 1727 212">区分</th> <th data-bbox="1727 188 1955 212">運用対策等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">○未火の早期発見、早期消火を行うことで、火災二次的悪化である安全機能を有する構造物、系統及び機器への延焼を防止する設計</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">○想定火災の性質に応じた消火剤の容量を保有する設計</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の検査</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">○移動式消火設備は、化学消防自動車(1台)及び水罐付消防ポンプ自動車(1台)を配備する設計</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の検査</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">○ろ過水タンクに、2時間の最低水量を確保する設計</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の検査</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">○消火用水供給系は、飲料水系、雨内用水系等から漏れ出来るように漏れ弁を設置する設計</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の検査</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> </tbody> </table>	対象項目	区分	運用対策等	○未火の早期発見、早期消火を行うことで、火災二次的悪化である安全機能を有する構造物、系統及び機器への延焼を防止する設計	運用・手順	—	体制	—	保守・点検	—	教育・訓練	・火災防護に関する教育	○想定火災の性質に応じた消火剤の容量を保有する設計	運用・手順	—	体制	—	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の検査	教育・訓練	・火災防護に関する教育	○移動式消火設備は、化学消防自動車(1台)及び水罐付消防ポンプ自動車(1台)を配備する設計	運用・手順	—	体制	—	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の検査	教育・訓練	・火災防護に関する教育	○ろ過水タンクに、2時間の最低水量を確保する設計	運用・手順	—	体制	—	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の検査	教育・訓練	・火災防護に関する教育	○消火用水供給系は、飲料水系、雨内用水系等から漏れ出来るように漏れ弁を設置する設計	運用・手順	—	体制	—	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の検査	教育・訓練	・火災防護に関する教育	
対象項目	区分	運用対策等																																																	
○未火の早期発見、早期消火を行うことで、火災二次的悪化である安全機能を有する構造物、系統及び機器への延焼を防止する設計	運用・手順	—																																																	
	体制	—																																																	
	保守・点検	—																																																	
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																																	
○想定火災の性質に応じた消火剤の容量を保有する設計	運用・手順	—																																																	
	体制	—																																																	
	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の検査																																																	
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																																	
○移動式消火設備は、化学消防自動車(1台)及び水罐付消防ポンプ自動車(1台)を配備する設計	運用・手順	—																																																	
	体制	—																																																	
	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の検査																																																	
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																																	
○ろ過水タンクに、2時間の最低水量を確保する設計	運用・手順	—																																																	
	体制	—																																																	
	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の検査																																																	
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																																	
○消火用水供給系は、飲料水系、雨内用水系等から漏れ出来るように漏れ弁を設置する設計	運用・手順	—																																																	
	体制	—																																																	
	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の検査																																																	
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添2 本文 運用、手順能力説明資料火災による損傷の防止）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1346 185 1641 209">対象項目</th> <th data-bbox="1641 185 1720 209">区分</th> <th data-bbox="1720 185 1955 209">運用対策等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">□閉鎖時の手順</td> <td>運用・手順</td> <td>・閉鎖時の対応手順</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・運用、手順に関する教育</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">□消火ポンプ、二酸化炭素消火設備等の消火設備は、制御盤等の故障警報を中央制御室に発する設計</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の確認 ・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">□故障警報を伝送の対応手順</td> <td>運用・手順</td> <td>・故障警報発信時の対応手順</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・運用、手順に関する教育</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">□各消火設備は、外部電源喪失時にも作動に必要な電線を蓄電池により確保する設計</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の確認 ・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">□消火栓は、全ての火災区域の消火活動に対応できるように配置</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の確認</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> </tbody> </table>	対象項目	区分	運用対策等	□閉鎖時の手順	運用・手順	・閉鎖時の対応手順	体制	—	保守・点検	—	教育・訓練	・運用、手順に関する教育	□消火ポンプ、二酸化炭素消火設備等の消火設備は、制御盤等の故障警報を中央制御室に発する設計	運用・手順	—	体制	—	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の確認 ・火災防護に関する教育	□故障警報を伝送の対応手順	運用・手順	・故障警報発信時の対応手順	体制	—	保守・点検	—	教育・訓練	・運用、手順に関する教育	□各消火設備は、外部電源喪失時にも作動に必要な電線を蓄電池により確保する設計	運用・手順	—	体制	—	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の確認 ・火災防護に関する教育	教育・訓練	・火災防護に関する教育	□消火栓は、全ての火災区域の消火活動に対応できるように配置	運用・手順	—	体制	—	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の確認	教育・訓練	・火災防護に関する教育	
対象項目	区分	運用対策等																																															
□閉鎖時の手順	運用・手順	・閉鎖時の対応手順																																															
	体制	—																																															
	保守・点検	—																																															
	教育・訓練	・運用、手順に関する教育																																															
□消火ポンプ、二酸化炭素消火設備等の消火設備は、制御盤等の故障警報を中央制御室に発する設計	運用・手順	—																																															
	体制	—																																															
	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の確認 ・火災防護に関する教育																																															
□故障警報を伝送の対応手順	運用・手順	・故障警報発信時の対応手順																																															
	体制	—																																															
	保守・点検	—																																															
	教育・訓練	・運用、手順に関する教育																																															
□各消火設備は、外部電源喪失時にも作動に必要な電線を蓄電池により確保する設計	運用・手順	—																																															
	体制	—																																															
	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の確認 ・火災防護に関する教育																																															
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																															
□消火栓は、全ての火災区域の消火活動に対応できるように配置	運用・手順	—																																															
	体制	—																																															
	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の確認																																															
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添2 本文 運用、手順能力説明資料火災による損傷の防止）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象項目</th> <th>区分</th> <th>運用対策等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">○固定式ガス炉火設備は、作動前に所員等の退出ができるように警報を発生する設計</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日定点検 ・設備の定置点検 ・設備の故障時の補修</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">○管轄区域内で放出した雨水は、液体廃棄物処理設備で処理する設計</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日定点検 ・設備の定置点検 ・設備の故障時の補修</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">○屋内消火栓、消火設備集積場の設置場所及び設置場所への経路には、蓄電池を内蔵する形別器具を設置する設計</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日定点検 ・設備の定置点検 ・設備の故障時の補修</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">○屋外の消火配管は凍結回避より深く埋設することを基本とし、地上化された消火配管は、保護材等により凍結しない設計とする。</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日定点検 ・設備の定置点検 ・設備の故障時の補修</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">○雨水用供給系の消火ポンプ等は、風水害により性能が阻害されることのないよう、地盤内に設置する設計</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日定点検 ・設備の定置点検 ・設備の故障時の補修</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> </tbody> </table>	対象項目	区分	運用対策等	○固定式ガス炉火設備は、作動前に所員等の退出ができるように警報を発生する設計	運用・手順	—	体制	—	保守・点検	・設備の日定点検 ・設備の定置点検 ・設備の故障時の補修	教育・訓練	・火災防護に関する教育	○管轄区域内で放出した雨水は、液体廃棄物処理設備で処理する設計	運用・手順	—	体制	—	保守・点検	・設備の日定点検 ・設備の定置点検 ・設備の故障時の補修	教育・訓練	・火災防護に関する教育	○屋内消火栓、消火設備集積場の設置場所及び設置場所への経路には、蓄電池を内蔵する形別器具を設置する設計	運用・手順	—	体制	—	保守・点検	・設備の日定点検 ・設備の定置点検 ・設備の故障時の補修	教育・訓練	・火災防護に関する教育	○屋外の消火配管は凍結回避より深く埋設することを基本とし、地上化された消火配管は、保護材等により凍結しない設計とする。	運用・手順	—	体制	—	保守・点検	・設備の日定点検 ・設備の定置点検 ・設備の故障時の補修	教育・訓練	・火災防護に関する教育	○雨水用供給系の消火ポンプ等は、風水害により性能が阻害されることのないよう、地盤内に設置する設計	運用・手順	—	体制	—	保守・点検	・設備の日定点検 ・設備の定置点検 ・設備の故障時の補修	教育・訓練	・火災防護に関する教育	
対象項目	区分	運用対策等																																																	
○固定式ガス炉火設備は、作動前に所員等の退出ができるように警報を発生する設計	運用・手順	—																																																	
	体制	—																																																	
	保守・点検	・設備の日定点検 ・設備の定置点検 ・設備の故障時の補修																																																	
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																																	
○管轄区域内で放出した雨水は、液体廃棄物処理設備で処理する設計	運用・手順	—																																																	
	体制	—																																																	
	保守・点検	・設備の日定点検 ・設備の定置点検 ・設備の故障時の補修																																																	
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																																	
○屋内消火栓、消火設備集積場の設置場所及び設置場所への経路には、蓄電池を内蔵する形別器具を設置する設計	運用・手順	—																																																	
	体制	—																																																	
	保守・点検	・設備の日定点検 ・設備の定置点検 ・設備の故障時の補修																																																	
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																																	
○屋外の消火配管は凍結回避より深く埋設することを基本とし、地上化された消火配管は、保護材等により凍結しない設計とする。	運用・手順	—																																																	
	体制	—																																																	
	保守・点検	・設備の日定点検 ・設備の定置点検 ・設備の故障時の補修																																																	
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																																	
○雨水用供給系の消火ポンプ等は、風水害により性能が阻害されることのないよう、地盤内に設置する設計	運用・手順	—																																																	
	体制	—																																																	
	保守・点検	・設備の日定点検 ・設備の定置点検 ・設備の故障時の補修																																																	
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象項目</th> <th>区分</th> <th>運用対策等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">○火災区域又は火災区域の火災感知設備及び消火設備は、安全機能を有する構造物、系統及び機器の耐震クラスに応じて、機能を維持できる設計</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日定点検 ・設備の定置点検 ・設備の故障時の補修</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">○消火配管は、地震時における地震変位対策として、耐震継手を採用し、地震変位の影響を直接受けにくいよう設計する設計</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> </tbody> </table>	対象項目	区分	運用対策等	○火災区域又は火災区域の火災感知設備及び消火設備は、安全機能を有する構造物、系統及び機器の耐震クラスに応じて、機能を維持できる設計	運用・手順	—	体制	—	保守・点検	・設備の日定点検 ・設備の定置点検 ・設備の故障時の補修	教育・訓練	・火災防護に関する教育	○消火配管は、地震時における地震変位対策として、耐震継手を採用し、地震変位の影響を直接受けにくいよう設計する設計	運用・手順	—	体制	—	保守・点検	—	教育・訓練	・火災防護に関する教育																												
対象項目	区分	運用対策等																																																	
○火災区域又は火災区域の火災感知設備及び消火設備は、安全機能を有する構造物、系統及び機器の耐震クラスに応じて、機能を維持できる設計	運用・手順	—																																																	
	体制	—																																																	
	保守・点検	・設備の日定点検 ・設備の定置点検 ・設備の故障時の補修																																																	
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																																	
○消火配管は、地震時における地震変位対策として、耐震継手を採用し、地震変位の影響を直接受けにくいよう設計する設計	運用・手順	—																																																	
	体制	—																																																	
	保守・点検	—																																																	
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象項目</th> <th>区分</th> <th>運用対策等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">○全廠がスウェーデンが設備の経路等により消火剤が放出されたとしても、設置される設備に対して、影響はない設計</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> </tbody> </table>	対象項目	区分	運用対策等	○全廠がスウェーデンが設備の経路等により消火剤が放出されたとしても、設置される設備に対して、影響はない設計	運用・手順	—	体制	—	保守・点検	—	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																					
対象項目	区分	運用対策等																																																	
○全廠がスウェーデンが設備の経路等により消火剤が放出されたとしても、設置される設備に対して、影響はない設計	運用・手順	—																																																	
	体制	—																																																	
	保守・点検	—																																																	
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																																	

赤字: 設備, 運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字: 記載表現, 設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象項目</th> <th>区分</th> <th>運用対策等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">●火災の影響軽減 ○火災区域は、3時間以上の耐火能力を有するコンクリート壁等によって、他の火災区域から分離する設計</td> <td>運用・手続</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の維持</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">【3時間以上の耐火能力を有する隔壁等による影響軽減対策】 ○3時間以上の耐火能力を有する隔壁等による分離する設計 ○火災区域の目録には、他の火災区域又は火災区域からの煙突入防止のため、煙等の流入防止装置を設置</td> <td>運用・手続</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の維持</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">【距離による影響軽減対策】 ○互いに相違する系列の火災防護対象機器等は、位置させるものを含めて可燃性物質のない水平距離6m以上確保する設計 ○自動消火設備を稼働させるための火災感知設備、ハロゲン化物抑制設備の自動消火設備を設置</td> <td>運用・手続</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の維持</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">【1時間耐火性能等による影響軽減対策】 ○隔壁等は、火災発生試験により1時間の耐火性能を有することを確認する設計 ○自動消火設備を稼働させるための火災感知設備、ハロゲン化物抑制設備の自動消火設備を設置</td> <td>運用・手続</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の維持</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> </tbody> </table>	対象項目	区分	運用対策等	●火災の影響軽減 ○火災区域は、3時間以上の耐火能力を有するコンクリート壁等によって、他の火災区域から分離する設計	運用・手続	—	体制	—	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の維持	教育・訓練	・火災防護に関する教育	【3時間以上の耐火能力を有する隔壁等による影響軽減対策】 ○3時間以上の耐火能力を有する隔壁等による分離する設計 ○火災区域の目録には、他の火災区域又は火災区域からの煙突入防止のため、煙等の流入防止装置を設置	運用・手続	—	体制	—	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の維持	教育・訓練	・火災防護に関する教育	【距離による影響軽減対策】 ○互いに相違する系列の火災防護対象機器等は、位置させるものを含めて可燃性物質のない水平距離6m以上確保する設計 ○自動消火設備を稼働させるための火災感知設備、ハロゲン化物抑制設備の自動消火設備を設置	運用・手続	—	体制	—	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の維持	教育・訓練	・火災防護に関する教育	【1時間耐火性能等による影響軽減対策】 ○隔壁等は、火災発生試験により1時間の耐火性能を有することを確認する設計 ○自動消火設備を稼働させるための火災感知設備、ハロゲン化物抑制設備の自動消火設備を設置	運用・手続	—	体制	—	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の維持	教育・訓練	・火災防護に関する教育	
対象項目	区分	運用対策等																																								
●火災の影響軽減 ○火災区域は、3時間以上の耐火能力を有するコンクリート壁等によって、他の火災区域から分離する設計	運用・手続	—																																								
	体制	—																																								
	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の維持																																								
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																								
【3時間以上の耐火能力を有する隔壁等による影響軽減対策】 ○3時間以上の耐火能力を有する隔壁等による分離する設計 ○火災区域の目録には、他の火災区域又は火災区域からの煙突入防止のため、煙等の流入防止装置を設置	運用・手続	—																																								
	体制	—																																								
	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の維持																																								
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																								
【距離による影響軽減対策】 ○互いに相違する系列の火災防護対象機器等は、位置させるものを含めて可燃性物質のない水平距離6m以上確保する設計 ○自動消火設備を稼働させるための火災感知設備、ハロゲン化物抑制設備の自動消火設備を設置	運用・手続	—																																								
	体制	—																																								
	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の維持																																								
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																								
【1時間耐火性能等による影響軽減対策】 ○隔壁等は、火災発生試験により1時間の耐火性能を有することを確認する設計 ○自動消火設備を稼働させるための火災感知設備、ハロゲン化物抑制設備の自動消火設備を設置	運用・手続	—																																								
	体制	—																																								
	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の維持																																								
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象項目</th> <th>区分</th> <th>運用対策等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">【中央制御室の火災の影響軽減対策】 ○煙隔扉等による系統分離を行う設計 ○中央制御室内に煙感知及び熱感知器を設置 ○中央制御室内に煙感知器を設置 ○二層北炭素消火器を配備 ○中央制御室内火災時の原子炉の高圧停止・低圧停止の達成及び維持が可能を設計</td> <td>運用・手続</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の維持</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">【原子炉格納容器の火災の影響軽減対策】 ○ケーブルトレイへの垂れ流しによる分離を行う設計 ○煙感知及び熱感知器を設置 ○消火器の配備又は消火後の撤去 ○原子炉格納容器スプレイ設備の設置</td> <td>運用・手続</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の維持</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">火災時の対応手続 ○火災感知設備動作時の対応手続 (火災の感知、消火の項に同じ) ○自動消火設備動作時の対応手続 (火災の感知、消火の項に同じ) ○消火要員による消火活動の手続 ○格納容器スプレイによる消火活動手続</td> <td>運用・手続</td> <td>・火災感知設備動作時の対応手続 ・自動消火設備動作時の対応手続 ・消火要員による消火活動の手続 ・格納容器スプレイによる消火活動手続</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>・初期消火体制</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・運用、手続に関する教育</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">○放射線遮蔽物の野縁又は別に認められる構造を有する隔壁等設置する火災区域は、3時間以上の耐火能力を有するコンクリート壁等によって、他の火災区域から分離する設計</td> <td>運用・手続</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の維持</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> </tbody> </table>	対象項目	区分	運用対策等	【中央制御室の火災の影響軽減対策】 ○煙隔扉等による系統分離を行う設計 ○中央制御室内に煙感知及び熱感知器を設置 ○中央制御室内に煙感知器を設置 ○二層北炭素消火器を配備 ○中央制御室内火災時の原子炉の高圧停止・低圧停止の達成及び維持が可能を設計	運用・手続	—	体制	—	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の維持	教育・訓練	・火災防護に関する教育	【原子炉格納容器の火災の影響軽減対策】 ○ケーブルトレイへの垂れ流しによる分離を行う設計 ○煙感知及び熱感知器を設置 ○消火器の配備又は消火後の撤去 ○原子炉格納容器スプレイ設備の設置	運用・手続	—	体制	—	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の維持	教育・訓練	・火災防護に関する教育	火災時の対応手続 ○火災感知設備動作時の対応手続 (火災の感知、消火の項に同じ) ○自動消火設備動作時の対応手続 (火災の感知、消火の項に同じ) ○消火要員による消火活動の手続 ○格納容器スプレイによる消火活動手続	運用・手続	・火災感知設備動作時の対応手続 ・自動消火設備動作時の対応手続 ・消火要員による消火活動の手続 ・格納容器スプレイによる消火活動手続	体制	・初期消火体制	保守・点検	—	教育・訓練	・運用、手続に関する教育	○放射線遮蔽物の野縁又は別に認められる構造を有する隔壁等設置する火災区域は、3時間以上の耐火能力を有するコンクリート壁等によって、他の火災区域から分離する設計	運用・手続	—	体制	—	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の維持	教育・訓練	・火災防護に関する教育	
対象項目	区分	運用対策等																																								
【中央制御室の火災の影響軽減対策】 ○煙隔扉等による系統分離を行う設計 ○中央制御室内に煙感知及び熱感知器を設置 ○中央制御室内に煙感知器を設置 ○二層北炭素消火器を配備 ○中央制御室内火災時の原子炉の高圧停止・低圧停止の達成及び維持が可能を設計	運用・手続	—																																								
	体制	—																																								
	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の維持																																								
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																								
【原子炉格納容器の火災の影響軽減対策】 ○ケーブルトレイへの垂れ流しによる分離を行う設計 ○煙感知及び熱感知器を設置 ○消火器の配備又は消火後の撤去 ○原子炉格納容器スプレイ設備の設置	運用・手続	—																																								
	体制	—																																								
	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の維持																																								
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																								
火災時の対応手続 ○火災感知設備動作時の対応手続 (火災の感知、消火の項に同じ) ○自動消火設備動作時の対応手続 (火災の感知、消火の項に同じ) ○消火要員による消火活動の手続 ○格納容器スプレイによる消火活動手続	運用・手続	・火災感知設備動作時の対応手続 ・自動消火設備動作時の対応手続 ・消火要員による消火活動の手続 ・格納容器スプレイによる消火活動手続																																								
	体制	・初期消火体制																																								
	保守・点検	—																																								
	教育・訓練	・運用、手続に関する教育																																								
○放射線遮蔽物の野縁又は別に認められる構造を有する隔壁等設置する火災区域は、3時間以上の耐火能力を有するコンクリート壁等によって、他の火災区域から分離する設計	運用・手続	—																																								
	体制	—																																								
	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の維持																																								
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添2 本文 運用、手順能力説明資料火災による損傷の防止）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象項目</th> <th>区分</th> <th>運用対策等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">○安全機能を有する構造物、系統及び機器を設置する火災区域に隣接する換気設備には、他の火災区域又は火災区域への火、熱又は煙の影響が及ばないよう、防火ダンパを直置</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の異常時の確認</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">○運転員が常駐する中央制御室の火災発生時の態を律気するため、建築基準法に準拠した容易の排煙設備を配備</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の異常時の確認</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td>運用・手順</td> <td>・排煙設備の起動手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">○排煙設備の起動手順</td> <td>体制</td> <td>・初期消火体制</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・運用、手順に関する教育</td> </tr> <tr> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">○火災区域又は火災区域に設置される計タンクは、換気空調設備による排気又はベント管により屋外へ排気する設計</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の異常時の確認</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	対象項目	区分	運用対策等	○安全機能を有する構造物、系統及び機器を設置する火災区域に隣接する換気設備には、他の火災区域又は火災区域への火、熱又は煙の影響が及ばないよう、防火ダンパを直置	運用・手順	—	体制	—	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の異常時の確認	教育・訓練	・火災防護に関する教育	運用・手順	—	○運転員が常駐する中央制御室の火災発生時の態を律気するため、建築基準法に準拠した容易の排煙設備を配備	運用・手順	—	体制	—	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の異常時の確認	教育・訓練	・火災防護に関する教育	運用・手順	・排煙設備の起動手順	○排煙設備の起動手順	体制	・初期消火体制	保守・点検	—	教育・訓練	・運用、手順に関する教育	運用・手順	—	体制	—	○火災区域又は火災区域に設置される計タンクは、換気空調設備による排気又はベント管により屋外へ排気する設計	運用・手順	—	体制	—	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の異常時の確認	教育・訓練	・火災防護に関する教育	運用・手順	—														
対象項目	区分	運用対策等																																																													
○安全機能を有する構造物、系統及び機器を設置する火災区域に隣接する換気設備には、他の火災区域又は火災区域への火、熱又は煙の影響が及ばないよう、防火ダンパを直置	運用・手順	—																																																													
	体制	—																																																													
	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の異常時の確認																																																													
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																																													
	運用・手順	—																																																													
○運転員が常駐する中央制御室の火災発生時の態を律気するため、建築基準法に準拠した容易の排煙設備を配備	運用・手順	—																																																													
	体制	—																																																													
	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の異常時の確認																																																													
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																																													
	運用・手順	・排煙設備の起動手順																																																													
○排煙設備の起動手順	体制	・初期消火体制																																																													
	保守・点検	—																																																													
	教育・訓練	・運用、手順に関する教育																																																													
	運用・手順	—																																																													
	体制	—																																																													
○火災区域又は火災区域に設置される計タンクは、換気空調設備による排気又はベント管により屋外へ排気する設計	運用・手順	—																																																													
	体制	—																																																													
	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の異常時の確認																																																													
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																																													
	運用・手順	—																																																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象項目</th> <th>区分</th> <th>運用対策等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">●個別の火災区域又は火災区域における留意事項 ○安全補機用回路は、電線回路のみを使用する設計</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○蓄電池室には、蓄電池のみを設置し、直流閉鎖装置やインバータは設置しない設計</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">○蓄電池室の換気空調設備は、蓄電池室内の水素濃度を2 vol%以下に維持するため、水素ガスの排気に必要な換気量以上となるよう設計</td> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の異常時の確認</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td>運用・手順</td> <td>・水素感知時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">○蓄電池室の換気空調設備が停止した場合には、中央制御室に警報を発する設計</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○水素感知時の対応手順 (火災発生防止の項に同じ)</td> <td>教育・訓練</td> <td>・運用、手順に関する教育</td> </tr> <tr> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">○煙を排気できる可搬式の排風機を設置できる設計</td> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の異常時の確認</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">○排風機の起動手順</td> <td>運用・手順</td> <td>・排風機の起動手順</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>・初期消火体制</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・運用、手順に関する教育</td> </tr> <tr> <td>運用・手順</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	対象項目	区分	運用対策等	●個別の火災区域又は火災区域における留意事項 ○安全補機用回路は、電線回路のみを使用する設計	運用・手順	—	体制	—	保守・点検	—	教育・訓練	・火災防護に関する教育	運用・手順	—	○蓄電池室には、蓄電池のみを設置し、直流閉鎖装置やインバータは設置しない設計	運用・手順	—	体制	—	○蓄電池室の換気空調設備は、蓄電池室内の水素濃度を2 vol%以下に維持するため、水素ガスの排気に必要な換気量以上となるよう設計	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の異常時の確認	教育・訓練	・火災防護に関する教育	運用・手順	・水素感知時の対応手順	○蓄電池室の換気空調設備が停止した場合には、中央制御室に警報を発する設計	運用・手順	—	体制	—	保守・点検	—	○水素感知時の対応手順 (火災発生防止の項に同じ)	教育・訓練	・運用、手順に関する教育	運用・手順	—	○煙を排気できる可搬式の排風機を設置できる設計	運用・手順	—	体制	—	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の異常時の確認	教育・訓練	・火災防護に関する教育	運用・手順	—	○排風機の起動手順	運用・手順	・排風機の起動手順	体制	・初期消火体制	保守・点検	—	教育・訓練	・運用、手順に関する教育	運用・手順	—	
対象項目	区分	運用対策等																																																													
●個別の火災区域又は火災区域における留意事項 ○安全補機用回路は、電線回路のみを使用する設計	運用・手順	—																																																													
	体制	—																																																													
	保守・点検	—																																																													
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																																													
	運用・手順	—																																																													
○蓄電池室には、蓄電池のみを設置し、直流閉鎖装置やインバータは設置しない設計	運用・手順	—																																																													
	体制	—																																																													
○蓄電池室の換気空調設備は、蓄電池室内の水素濃度を2 vol%以下に維持するため、水素ガスの排気に必要な換気量以上となるよう設計	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の異常時の確認																																																													
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																																													
	運用・手順	・水素感知時の対応手順																																																													
○蓄電池室の換気空調設備が停止した場合には、中央制御室に警報を発する設計	運用・手順	—																																																													
	体制	—																																																													
	保守・点検	—																																																													
○水素感知時の対応手順 (火災発生防止の項に同じ)	教育・訓練	・運用、手順に関する教育																																																													
	運用・手順	—																																																													
○煙を排気できる可搬式の排風機を設置できる設計	運用・手順	—																																																													
	体制	—																																																													
	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の異常時の確認																																																													
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																																													
	運用・手順	—																																																													
○排風機の起動手順	運用・手順	・排風機の起動手順																																																													
	体制	・初期消火体制																																																													
	保守・点検	—																																																													
	教育・訓練	・運用、手順に関する教育																																																													
	運用・手順	—																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添2 本文 運用、手順能力説明資料火災による損傷の防止）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象項目</th> <th>区分</th> <th>運用対策等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">○中央制御室を含む火災区域の換気空調設備には、防火ダンパを設 置</td> <td>運用・手配</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○中央制御室の床面には、防炎性を有するカーペットを使用する設 計</td> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td>運用・手配</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">○柱間換気用行蔵設備は、雨水が流入しても床面等となるように 使用済燃料を配置する設計</td> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">○新燃料貯蔵庫設備は、雨水が噴霧されても床面とならないよう、 新燃料を保管するラックが一定のラック間隔を有する設計</td> <td>運用・手配</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">○換気空調設備は、塵埃への放射性物質の放出を防ぐために、排気 筒に繋がるダンパを閉止し開閉できる設計</td> <td>運用・手配</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○放射性物質を含んだ使用済イオン交換樹脂、チャコールフィルタ 及び用紙フィルターは、固体放射性物質として処理を行うまでの間、金 属製の容器や専用シートに包んで保管する設計</td> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td>運用・手配</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>○前線熱による火災の発生を考慮する放射性物質を貯蔵しない設計</td> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> </tbody> </table>	対象項目	区分	運用対策等	○中央制御室を含む火災区域の換気空調設備には、防火ダンパを設 置	運用・手配	—	体制	—	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修	○中央制御室の床面には、防炎性を有するカーペットを使用する設 計	教育・訓練	・火災防護に関する教育	運用・手配	—	○柱間換気用行蔵設備は、雨水が流入しても床面等となるように 使用済燃料を配置する設計	体制	—	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修	教育・訓練	・火災防護に関する教育	○新燃料貯蔵庫設備は、雨水が噴霧されても床面とならないよう、 新燃料を保管するラックが一定のラック間隔を有する設計	運用・手配	—	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修	教育・訓練	・火災防護に関する教育	○換気空調設備は、塵埃への放射性物質の放出を防ぐために、排気 筒に繋がるダンパを閉止し開閉できる設計	運用・手配	—	体制	—	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修	○放射性物質を含んだ使用済イオン交換樹脂、チャコールフィルタ 及び用紙フィルターは、固体放射性物質として処理を行うまでの間、金 属製の容器や専用シートに包んで保管する設計	教育・訓練	・火災防護に関する教育	運用・手配	—	○前線熱による火災の発生を考慮する放射性物質を貯蔵しない設計	教育・訓練	・火災防護に関する教育	
対象項目	区分	運用対策等																																													
○中央制御室を含む火災区域の換気空調設備には、防火ダンパを設 置	運用・手配	—																																													
	体制	—																																													
	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修																																													
○中央制御室の床面には、防炎性を有するカーペットを使用する設 計	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																													
	運用・手配	—																																													
○柱間換気用行蔵設備は、雨水が流入しても床面等となるように 使用済燃料を配置する設計	体制	—																																													
	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修																																													
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																													
○新燃料貯蔵庫設備は、雨水が噴霧されても床面とならないよう、 新燃料を保管するラックが一定のラック間隔を有する設計	運用・手配	—																																													
	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修																																													
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																													
○換気空調設備は、塵埃への放射性物質の放出を防ぐために、排気 筒に繋がるダンパを閉止し開閉できる設計	運用・手配	—																																													
	体制	—																																													
	保守・点検	・設備の日常点検 ・設備の定期点検 ・設備の故障時の補修																																													
○放射性物質を含んだ使用済イオン交換樹脂、チャコールフィルタ 及び用紙フィルターは、固体放射性物質として処理を行うまでの間、金 属製の容器や専用シートに包んで保管する設計	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																													
	運用・手配	—																																													
○前線熱による火災の発生を考慮する放射性物質を貯蔵しない設計	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象項目</th> <th>区分</th> <th>運用対策等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●火災防護計画</td> <td>運用・手配</td> <td>・対象項目のとおり</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○火災防護対策及び計画を実施するために必要な手順、組織体制に ついて定める</td> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>○火災防護対策を実施するための組織における責任と権限を定める</td> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td>○火災防護対策を実施するための組織とその運用管理及び必要な要 員を確保し、(要員に対する訓練を含む) 配置することを定める</td> <td>運用・手配</td> <td>・対象項目のとおり</td> </tr> <tr> <td>○防災可搬物等。火災作業等の際の火災の発生防止に係る対策に ついて定める</td> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>○火災の早期感知及び消火活動について定める</td> <td>保守・点検</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>○発電用原子炉施設の安全機能を有する構造物、系統及び機器を火 災から防護するため、火災の発生防止、火災の感知及び消火並び に火災の影響範囲の3つの段階防護の概念に基づいて、火災防護 対策を行うことを定める</td> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> <tr> <td>○発電用原子炉施設全体を対象とする火災防護計画であることを定 める</td> <td>運用・手配</td> <td>・対象項目のとおり</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○発電用原子炉施設の安全機能を有する構造物、系統及び機器を火 災から防護するため、火災の発生防止、火災の感知及び消火並び に火災の影響範囲の3つの段階防護の概念に基づいて、火災防護 対策を行うことを定める</td> <td>体制</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保守・点検</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>教育・訓練</td> <td>・火災防護に関する教育</td> </tr> </tbody> </table>	対象項目	区分	運用対策等	●火災防護計画	運用・手配	・対象項目のとおり	○火災防護対策及び計画を実施するために必要な手順、組織体制に ついて定める	体制	—	保守・点検	—	○火災防護対策を実施するための組織における責任と権限を定める	教育・訓練	・火災防護に関する教育	○火災防護対策を実施するための組織とその運用管理及び必要な要 員を確保し、(要員に対する訓練を含む) 配置することを定める	運用・手配	・対象項目のとおり	○防災可搬物等。火災作業等の際の火災の発生防止に係る対策に ついて定める	体制	—	○火災の早期感知及び消火活動について定める	保守・点検	—	○発電用原子炉施設の安全機能を有する構造物、系統及び機器を火 災から防護するため、火災の発生防止、火災の感知及び消火並び に火災の影響範囲の3つの段階防護の概念に基づいて、火災防護 対策を行うことを定める	教育・訓練	・火災防護に関する教育	○発電用原子炉施設全体を対象とする火災防護計画であることを定 める	運用・手配	・対象項目のとおり	○発電用原子炉施設の安全機能を有する構造物、系統及び機器を火 災から防護するため、火災の発生防止、火災の感知及び消火並び に火災の影響範囲の3つの段階防護の概念に基づいて、火災防護 対策を行うことを定める	体制	—	保守・点検	—		教育・訓練	・火災防護に関する教育								
対象項目	区分	運用対策等																																													
●火災防護計画	運用・手配	・対象項目のとおり																																													
○火災防護対策及び計画を実施するために必要な手順、組織体制に ついて定める	体制	—																																													
	保守・点検	—																																													
○火災防護対策を実施するための組織における責任と権限を定める	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																													
○火災防護対策を実施するための組織とその運用管理及び必要な要 員を確保し、(要員に対する訓練を含む) 配置することを定める	運用・手配	・対象項目のとおり																																													
○防災可搬物等。火災作業等の際の火災の発生防止に係る対策に ついて定める	体制	—																																													
○火災の早期感知及び消火活動について定める	保守・点検	—																																													
○発電用原子炉施設の安全機能を有する構造物、系統及び機器を火 災から防護するため、火災の発生防止、火災の感知及び消火並び に火災の影響範囲の3つの段階防護の概念に基づいて、火災防護 対策を行うことを定める	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																													
○発電用原子炉施設全体を対象とする火災防護計画であることを定 める	運用・手配	・対象項目のとおり																																													
○発電用原子炉施設の安全機能を有する構造物、系統及び機器を火 災から防護するため、火災の発生防止、火災の感知及び消火並び に火災の影響範囲の3つの段階防護の概念に基づいて、火災防護 対策を行うことを定める	体制	—																																													
	保守・点検	—																																													
	教育・訓練	・火災防護に関する教育																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添3 本文 火災防護に係る等価時間算出プロセスについて）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">別添資料—3</p> <p style="text-align: center;">大飯発電所3号炉及び4号炉</p> <p style="text-align: center;">火災防護に係る等価時間算出プロセスについて</p>	<p style="text-align: center;">別添3</p> <p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉</p> <p style="text-align: center;">火災防護に係る等価時間算出プロセスについて</p> <p>1. 概要 「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」（以下「火災防護審査基準」という。）では、原子炉施設が火災によりその安全性が損なわれないよう、必要な火災防護対策を要求しており、「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」（以下「内部火災影響評価ガイド」という。）では、これらの要求に基づく火災防護対策により、原子炉施設内で火災が発生しても、原子炉の安全停止に係る安全機能が確保されることを確認するために実施する内部火災影響評価の手順の一例が示されている。 本資料は、女川原子力発電所2号炉に対して「内部火災影響評価ガイド」を参照して内部火災影響評価を行う際のインプット情報となる等価時間の算出プロセスについて、その概要をまとめたものである。</p>	<p style="text-align: center;">別添3</p> <p style="text-align: center;">泊発電所3号炉</p> <p style="text-align: center;">火災防護に係る等価時間算出プロセスについて</p> <p>1. 概要 「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準」（以下「火災防護審査基準」という。）では、原子炉施設が火災によりその安全性が損なわれないよう、必要な火災防護対策を要求しており、「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」（以下「内部火災影響評価ガイド」という。）では、これらの要求に基づく火災防護対策により、原子炉施設内で火災が発生しても、原子炉の安全停止に係る安全機能が確保されることを確認するために実施する内部火災影響評価の手順の一例が示されている。 本資料は、泊発電所3号炉に対して「内部火災影響評価ガイド」を参照して内部火災影響評価を行う際のインプット情報となる等価時間の算出プロセスについて、その概要をまとめたものである。</p>	<p>【大飯】 ■記載方針の相違 （女川実績の反映）</p>
<p>1. 基準要求</p>	<p>2. 火災影響評価における要求事項 内部火災影響評価は、「火災防護審査基準」の「2.3 火災の影響軽減 2.3.2」に基づき実施することが要求されている。</p>	<p>2. 火災影響評価における要求事項 内部火災影響評価は、「火災防護審査基準」の「2.3 火災の影響軽減 2.3.2」に基づき実施することが要求されている。</p>	<p>【大飯】 （女川実績の反映：着色せず）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添3 本文 火災防護に係る等価時間算出プロセスについて）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【第8条】設置許可基準第8条（火災による損傷の防止）にて、発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の発生を防止することができ、かつ、早期に火災発生を感知する設備及び消火を行う設備並びに火災の影響を軽減する機能を有するものでなければならないと要求されている。また解釈により「実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準に適合するものであること」と規定されている。</p> <p>当該基準要求を満足するにあたっては、火災発生時においても原子炉の高温停止及び低温停止が達成できることを、火災影響評価により確認することが要求されている。具体的な手法としては、「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」に基づき、可燃性物質の火災荷重（単位面積当たりの発熱量）と燃焼率から、等価時間を求め、耐火壁の耐火能力を評価し、原子炉の安全停止が可能であることを確認する。</p>	<p>実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準（抜粋）</p> <p>2.3.2 原子炉施設内のいかなる火災によっても、安全保護系及び原子炉停止系の作動が要求される場合には、火災による影響を考慮しても、多重化されたそれぞれの系統が同時に機能を失うことなく、原子炉を高温停止及び低温停止できる設計であること。</p> <p>また、原子炉の高温停止及び低温停止が達成できることを、火災影響評価により確認すること。 （火災影響評価の具体的手法は「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」による。）</p> <p>（参考） 「高温停止及び低温停止できる」とは、想定される火災の原子炉への影響を考慮して、高温停止状態及び低温停止状態の達成、維持に必要な系統及び機器がその機能を果たすことができることをいう。</p> <p>また、いかなる火災によっても原子炉を高温停止及び低温停止できる設計であることを確認する際、原子炉の安全確保の観点により、内部火災影響評価ガイドにおいて要求される以下の事項を考慮する。</p> <p>「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」（抜粋）</p> <p>4. 火災時の原子炉の安全確保 3. に想定する火災に対して、 ・原子炉の安全停止に必要な機能を有する系統が、その安全機能を失わないこと（信頼性要求に基づき独立性が確保され、多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）。 内部火災により原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その影響（火災）を考慮し、安全評価指針に基づき安全解析を行う必要がある。</p>	<p>実用発電用原子炉及びその附属施設の火災防護に係る審査基準（抜粋）</p> <p>2.3.2 原子炉施設内のいかなる火災によっても、安全保護系及び原子炉停止系の作動が要求される場合には、火災による影響を考慮しても、多重化されたそれぞれの系統が同時に機能を失うことなく、原子炉を高温停止及び低温停止できる設計であること。</p> <p>また、原子炉の高温停止及び低温停止が達成できることを、火災影響評価により確認すること。 （火災影響評価の具体的手法は「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」による。）</p> <p>（参考） 「高温停止及び低温停止できる」とは、想定される火災の原子炉への影響を考慮して、高温停止状態及び低温停止状態の達成、維持に必要な系統及び機器がその機能を果たすことができることをいう。</p> <p>また、いかなる火災によっても原子炉を高温停止及び低温停止できる設計であることを確認する際、原子炉の安全確保の観点により、内部火災影響評価ガイドにおいて要求される以下の事項を考慮する。</p> <p>「原子力発電所の内部火災影響評価ガイド」（抜粋）</p> <p>4. 火災時の原子炉の安全確保 3. に想定する火災に対して、 ・原子炉の安全停止に必要な機能を有する系統が、その安全機能を失わないこと（信頼性要求に基づき独立性が確保され、多重性又は多様性を有する系統が同時にその機能を失わないこと）。 内部火災により原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その影響（火災）を考慮し、安全評価指針に基づき安全解析を行う必要がある。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添3 本文 火災防護に係る等価時間算出プロセスについて）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2. 現場確認項目及び内容</p> <p>火災影響評価を実施し、原子炉の安全停止が可能であることを確認するためには、等価時間を算出する必要がある。具体的には下記(1)～(5)のプロセス（フローは添付資料1参照）により等価時間を算出するが、当該時間算出にあたっては、現場の可燃物等について調査を実施する必要がある、現場及び図面等にて確認を行った。</p> <p>(1) 火災区域（区画）の設定</p> <p>原子炉の安全停止に必要な設備が設置されている建屋等において、これら設備の設置状況や隔壁、貫通部及び扉の設置状況を考慮し、火災区域（区画）を設定した。</p> <p>(2) 火災区域（区画）内の可燃物の選定</p> <p>火災区域（区画）内で、可燃物として抽出すべき対象物をあらかじめ選定した。具体的には、原子力発電所内で使用されている可燃物として、潤滑油、グリース、フィルタ、電気盤、ケーブルの他、現場で保管・管理している資機材（持込可燃物）について、不燃性材料以外の難燃性材料も含め、可燃物として選定した。</p>	<p>内部火災影響評価ガイドでは、「火災影響評価は、『火災区域／火災区画の設定』、『情報及びデータの収集、整理』、『スクリーニング』、『火災伝播評価』というステップで実施する」ということが示されている。（第1図参照）</p> <p>等価時間は、「情報及びデータの収集・整理」において設定した火災区画の耐火壁の耐火能力を評価するための指標であり、火災区画内の可燃性物質の量と火災区画の面積から算出される火災の継続時間に相当する。</p> <p>3. 等価時間の算出について</p> <p>等価時間の算出は、以下の手順で行う。</p> <p>(1) 火災区域及び火災区画の設定</p> <p>原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するために必要な構築物、系統及び機器（具体的には、機器、配管、弁、ダクト、ケーブル、トレイ、電線管、盤等）が設置される火災区画の設定にあたっては、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するために必要な構築物、系統及び機器の設置箇所、建屋の間取り、障壁、貫通部、扉の設置状況、機器やケーブル等の配置、耐火壁の能力、系統分離基準等を総合的に勘案し設定した。</p> <p>(2) 火災区画内の可燃物の選定</p> <p>a. 可燃物量調査範囲について</p> <p>可燃物量調査範囲は、火災影響評価の信頼性向上を図るため建屋内の全ての場所について網羅的に把握する観点から、下記のとおりとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋全域 ・タービン建屋全域 ・制御建屋全域 <p>b. 可燃物量調査対象について</p> <p>可燃物量調査対象は、上記a.の範囲の全ての可燃物を対象とする。</p> <p>ただし、除外する可燃物については以下のとおりとする。</p>	<p>内部火災影響評価ガイドでは、「火災影響評価は、『火災区域／火災区画の設定』、『情報及びデータの収集、整理』、『スクリーニング』、『火災伝播評価』というステップで実施する」ということが示されている。（第1図参照）</p> <p>等価時間は、「情報及びデータの収集・整理」において設定した火災区画の耐火壁の耐火能力を評価するための指標であり、火災区画内の可燃性物質の量と火災区画の面積から算出される火災の継続時間に相当する。</p> <p>3. 等価時間の算出について</p> <p>等価時間の算出は、以下の手順で行う。</p> <p>(1) 火災区域及び火災区画の設定</p> <p>原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するために必要な構築物、系統及び機器（具体的には、機器、配管、弁、ダクト、ケーブル、トレイ、電線管、盤等）が設置される火災区画の設定にあたっては、原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するために必要な構築物、系統及び機器の設置箇所、建屋の間取り、障壁、貫通部、扉の設置状況、機器やケーブル等の配置、耐火壁の能力、系統分離基準等を総合的に勘案し設定した。</p> <p>(2) 火災区画内の可燃物の選定</p> <p>a. 可燃物量調査範囲について</p> <p>可燃物量調査範囲は、火災影響評価の信頼性向上を図るため建屋内のすべての場所について網羅的に把握する観点から、下記のとおりとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋全域 ・原子炉補助建屋全域 ・循環水ポンプ建屋全域 ・ディーゼル発電機建屋全域 <p>b. 可燃物量調査対象について</p> <p>可燃物量調査対象は、上記a.の範囲のすべての可燃物を対象とする。</p> <p>ただし、除外する可燃物については以下のとおりとする。</p>	<p>【大飯】 ■記載方針の相違 （女川実績の反映：着色せず）</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 （女川実績の反映：着色せず）</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 （女川実績の反映：着色せず） 【女川】 ■記載表現の相違 【女川】 ■設計の相違 原子炉の原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するために必要な構築物、系統及び機器が設置される建屋の相違 【女川】 ■記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添3 本文 火災防護に係る等価時間算出プロセスについて）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3) 火災区域（区画）内の可燃物の調査 (2) で選定した可燃物の種類、量、寸法及び火災区域（区画）の面積等について現場調査及び図面等により調査した。</p> <p>(5) 等価時間の算出 【図面等による調査】 (2) で選定した可燃物のうち、ポンプや電動機等で使用される潤滑油、グリース、火災区域（区画）の面積については、QMS図書として維持管理されている図面等の確認により調査した。 また、新規基準への適合のための火災防護対策の検討に伴い、火災区域（区画）の見直しが発生した場合には、都度、図面等と現場を照合し、新しい火災区域（区画）における機器の配置等を確認した。</p>	<p>(a) 表示板、バッキン、塗料及び計器内の可燃物、工具棚、本設機器付属品（弁のキャップ）、ページング、保安電話、拡声器、PHS アンテナ等は、発火の可能性が極めて低いこと、可燃物量としては少量であり、油等を加えた総熱量に対してその影響が小さいことから除外する。</p> <p>(b) 電線管内のケーブルは、酸素の供給が不十分で継続的な燃焼とならないので除外する。</p> <p>(c) 仮置き資機材については定期検査期間中の一時的な持ち込みであること、持ち込み可燃物管理にて管理すべきものであることから除外とする。また、長期設置資機材（発電用資材として保管している潤滑油等は除く）については、足場材や治工具等の鋼材が主であることから(a)と同様な理由から除外する。</p> <p>(3) 火災区画内の可燃物量調査 火災区画の可燃物量調査については、図面等の設計図書による図書調査、プラントワークダウンによる現場調査を基本とする。 ただし、火災影響評価に用いる可燃物については本設備の可燃物であり、増減が生じる場合は改造工事に起因するものであることから、工事主管箇所への聞き取り等による調査も考慮する。 なお、火災区画の面積については、設計図書から算定した。</p> <p>a. 図書調査 上記(2)で選定した可燃物のうち、ポンプや電動機等で使用される潤滑油、グリース、ケーブルの物量については、設計図面等を用いて調査した。 また、新規基準対応への適合のための火災防護対策の検討に伴い、火災区画の見直しが発生した場合には、都度、図面等と現場を照合し、新しい火災区画における機器の配置等を確認し、可燃物の増減を評価する。</p>	<p>(a) 表示板、バッキン、塗料及び計器内の可燃物、工具棚、本設機器付属品（弁のキャップ）、ページング、保安電話、拡声器、保安電話（携帯）アンテナ等は、発火の可能性が極めて低いこと、可燃物量としては少量であり、油等を加えた総熱量に対してその影響が小さいことから除外する。</p> <p>(b) 電線管内のケーブルは、酸素の供給が不十分で継続的な燃焼とならないので除外する。</p> <p>(c) 仮置き資機材については定期検査期間中の一時的な持ち込みであること、持ち込み可燃物管理にて管理すべきものであることから除外とする。また、長期設置資機材（発電用資材として保管している潤滑油等は除く）については、足場材や治工具等の鋼材が主であることから(a)と同様な理由から除外する。</p> <p>(3) 火災区画内の可燃物量調査 火災区画の可燃物量調査については、図面等の設計図書による図書調査、プラントワークダウンによる現場調査を基本とする。 ただし、火災影響評価に用いる可燃物については本設備の可燃物であり、増減が生じる場合は改造工事に起因するものであることから、工事主管箇所への聞き取り等による調査も考慮する。 なお、火災区画の面積については、設計図書から算定した。</p> <p>a. 図書調査 上記(2)で選定した可燃物のうち、ポンプや電動機等で使用される潤滑油、グリース、ケーブルの物量については、設計図面等を用いて調査した。 また、新規基準対応への適合のための火災防護対策の検討に伴い、火災区画の見直しが発生した場合には、都度、図面等と現場を照合し、新しい火災区画における機器の配置等を確認し、可燃物の増減を評価する。</p>	<p>【女川】 ■設備名称の相違 第35条通信連絡設備にて電力保安通信用電話設備として、女川は「PHS 端末」としている設備を泊は「保安電話（携帯）」としていて、設備名称が相違している。</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 （女川実績の反映：着色せず）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添3 本文 火災防護に係る等価時間算出プロセスについて）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【現場調査】</p> <p>(2) で選定した可燃物のうち、火災区域（区画）に保管・管理されている恒設機器や資機材（持込可燃物）について、現場ワークダウンにより調査した。</p> <p>具体的には、現場の恒設機器は、実際に各火災区域（区画）を全て調査し、物量、寸法等の確認を実施した。恒設機器の調査結果のサンプルを添付資料2に示す。</p> <p>さらに、資機材（持込可燃物）は、保守・点検等で必要であり、各火災区域（区画）で保管・管理している点検用の資機材を抽出し、その資機材が保管・管理されている各火災区域（区画）にて、各資機材の物量の調査を実施した。</p> <p>資機材（持込可燃物）の調査結果のサンプルを添付資料3に示す。</p> <p>(4) 発熱量の積み上げ</p> <p>可燃物の種類及び物量の調査結果から、各可燃物の発熱量を、NFPA (National Fire Protection Association)ハンドブック等から引用した熱含有率 (kcal/kg) を乗じて、算出した。</p> <p>可燃物毎に発熱量を算出したものを全て積み上げ、火災区域（区画）毎の総発熱量を求めた。</p> <p>(5) 等価時間の算出</p> <p>火災区域（区画）毎に積み上げた総発熱量を面積及び燃焼率※1で割ることで等価時間を算出した。算出式については、以下の通りである。（内部火災影響評価ガイドより抜粋）</p>	<p>b. 現場調査</p> <p>上記(2)で選定した可燃物のうち、火災区画にケーブルトレイ、電源盤、油内包機器について、現場ワークダウンにより調査した。</p> <p>具体的には、各火災区画に設置されているケーブルトレイの布設状態の確認、油内包機器の種類・数量、現場の各種電気盤の面数及び寸法の確認を実施した。</p> <p>(4) 可燃物の単位発熱量及び可燃物量調査結果に対する考慮</p> <p>可燃物に係る単位発熱量については、最新の知見及び最も広く使用されている実績のあるNFPA Fire Protection Handbook 最新版 (20th Edition) を原則として使用する。</p> <p>火災影響評価に用いる火災区画の総可燃物量の算出に際しては、図書調査、現場調査における可燃物量の不確かさを考慮し、調査した総可燃物量に裕度を持たせることとする。</p> <p>具体的には、調査結果を基に算出した総発熱量に安全率 20%を加味する。</p> <p>(5) 等価時間の算出</p> <p>等価時間の算出については、火災区画に存在する可燃物の総発熱量を算出し、各火災区画の単位床面積あたりの発熱量である火災荷重を、下式により算定する。（内部火災影響評価ガイドと同様）</p>	<p>b. 現場調査</p> <p>上記(2)で選定した可燃物のうち、火災区画にケーブルトレイ、電源盤、油内包機器について、現場ワークダウンにより調査した。</p> <p>具体的には、各火災区画に設置されているケーブルトレイの布設状態の確認、油内包機器の種類・数量、現場の各種電気盤の面数及び寸法の確認を実施した。</p> <p>(4) 可燃物の単位発熱量及び可燃物量調査結果に対する考慮</p> <p>可燃物に係る単位発熱量については、最新の知見及び最も広く使用されている実績のあるNFPA Fire Protection Handbook 最新版 (20th Edition) を原則として使用する。</p> <p>火災影響評価に用いる火災区画の総可燃物量の算出に際しては、図書調査、現場調査における可燃物量の不確かさを考慮し、調査した総可燃物量に裕度を持たせることとする。</p> <p>具体的には、調査結果を基に算出した総発熱量に安全率 20%を加味する。</p> <p>(5) 等価時間の算出</p> <p>等価時間の算出については、火災区画に存在する可燃物の総発熱量を算出し、各火災区画の単位床面積あたりの発熱量である火災荷重を下式により算定する。（内部火災影響評価ガイドと同様）</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 （女川実績の反映：着色せず）</p> <p>【大飯】 ■記載方針の相違 （女川実績の反映：着色せず）</p> <p>【女川】 ■記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添3 本文 火災防護に係る等価時間算出プロセスについて）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>◆等価時間 (h) = 火災荷重 / 燃焼率 = 発熱量 / 火災区域 (区画) の面積 / 燃焼率</p> <p>ここで、 火災荷重 = 発熱量 / 火災区画の面積 燃焼率 : 単位時間単位面積当たりの燃焼量 (908,095kJ/m²/h) 発熱量 : 火災区画内の総発熱量 (kJ) = 可燃性物質の量 × 熱含有量 可燃性物質の量 : 火災区画内の各種可燃性物質の量 (m³ または kg)</p> <p>火災区画の面積 : 火災区画の床面積 (m²)</p> <p>※1 : 燃焼率としては、NFPAハンドブックの Fire Protection Handbook Section/Chapter18, "Confinement of Fire in Buildings Association" の標準火災曲線のうち最も厳しい燃焼クラスである CLASS E の値である 908,095kJ/m²/hr を用いる。</p> <p>3. 記録の取り扱い 最終的に、火災区域 (区画) の可燃物の総発熱量をまとめた「火災荷重管理表」を作成した。火災区域 (区画) や可燃物量の変更が生じれば、適宜見直しを実施する予定である。 火災荷重管理表で算出した等価時間を元に、内部火災影響評価における隣接区域 (区画) の火災の影響を評価した。 火災荷重管理表のサンプルを添付資料4に示す。</p> <p>4. 今後の対応 (1) 「火災荷重管理表」による火災荷重・等価時間の管理 今後、改造工事等により火災区域 (区画) の状況 (設定範囲、恒設設備の追加・撤去) が変更となる場合は、その変更が火災荷重、等価時間に影響を及ぼす影響について、「火災荷重管理表」を元に維持・管理し、継続的に改善していく。</p>	<p>等価時間 (h) = 火災荷重 / 燃焼率 = 発熱量 / 火災区域及び火災区画の面積 / 燃焼率</p> <p>ここで、 火災荷重 = 発熱量 / 火災区画の面積 燃焼率 : 単位時間単位面積あたりの燃焼量 (908,095kJ/m²/h) 発熱量 : 火災区画内の総発熱量 (kJ) = 可燃性物質の量 × 熱含有量 可燃性物質の量 : 火災区画内の各種可燃性物質の量 (m³ または kg) 火災区画の面積 : 火災区画の床面積 (m²)</p> <p>※1 : 燃焼率としては、NFPAハンドブックの Fire Protection HandbookSection/Chapter18, "Confinement of Fire in Buildings Association" の標準火災曲線のうち、最も厳しい燃焼クラスである CLASS E の値である 908,095kJ/m²/hr を用いる。</p> <p>(6) 火災区画特性表の作成 可燃物量の調査結果は、火災区画特性表として整理した。火災区画特性表の代表例を添付資料1に示す。 各火災区画の可燃物量の調査結果については、火災区画特性表IIにまとめるとともに、火災影響評価のデータシートとして火災区画の部屋毎に設置機器や可燃物量を整理したデータシートを作成した。 改造工事等の設備更新を行う場合は、設計管理の中で可燃物量の増減の確認し、その結果をデータシートに反映する。</p> <p>(7) 今後の対応 a. 「火災区画特性表」による火災荷重・等価時間の管理 火災荷重・等価時間の管理については、「火災区画特性表」を用いて内部火災影響評価の一環として実施する。等価時間の算出手順を含めた内部火災影響評価の手順及び実施頻度については、火災防護計画で定める。 また、改造工事等の設備更新を行う場合は、設計管理の中で可燃物量の増減の確認、既存の内部火災影響評価結果に影響を与えないことを確認することを火災防護計画で定める。</p>	<p>等価時間 (h) = 火災荷重 / 燃焼率 = 発熱量 / 火災区域及び火災区画の面積 / 燃焼率</p> <p>ここで、 火災荷重 = 発熱量 / 火災区画の面積 燃焼率 : 単位時間単位面積あたりの燃焼量 (908,095kJ/m²/h) 発熱量 : 火災区画内の総発熱量 (kJ) = 可燃性物質の量 × 熱含有量 可燃性物質の量 : 火災区画内の各種可燃性物質の量 (m³ または kg) 火災区画の面積 : 火災区画の床面積 (m²)</p> <p>※1 : 燃焼率としては、NFPAハンドブックの Fire Protection HandbookSection/Chapter18, "Confinement of Fire in Buildings Association" の標準火災曲線のうち、最も厳しい燃焼クラスである CLASS E の値である 908,095kJ/m²/hr を用いる。</p> <p>(6) 火災区画特性表の作成 可燃物量の調査結果は、火災区画特性表として整理した。火災区画特性表の代表例を添付資料1に示す。 各火災区画の可燃物量の調査結果については、火災区画特性表IIにまとめるとともに、火災影響評価のデータシートとして火災区画ごとに設置機器や可燃物量を整理したデータシートを作成した。 改造工事等の設備更新を行う場合は、設計管理の中で可燃物量の増減の確認し、その結果をデータシートに反映する。</p> <p>(7) 今後の対応 a. 「火災区画特性表」による火災荷重・等価時間の管理 火災荷重・等価時間の管理については、「火災区画特性表」を用いて内部火災影響評価の一環として実施する。等価時間の算出手順を含めた内部火災影響評価の手順及び実施頻度については、火災防護計画で定める。 また、改造工事等の設備更新を行う場合は、設計管理の中で可燃物量の増減の確認、既存の内部火災影響評価結果に影響を与えないことを確認することを火災防護計画で定める。</p>	<p>【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映：着色せず) 【女川】 ■運用の相違 泊は、大飯と同様に火災区画を構成する各部屋毎ではなく、火災区画単位で整理している。 【女川】 記載表現の相違 【大飯】 ■記載方針の相違 (女川実績の反映：着色せず)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添3 本文 火災防護に係る等価時間算出プロセスについて）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 持込可燃物の管理</p> <p>保守・点検等で日常的に変化する火災荷重についても、火災荷重管理表を元に、現場へ持込む可燃物を制限するための管理を実施する。</p>	<p>b. 持込み可燃物管理</p> <p>持込み可燃物の管理は、火災発生防止及び火災発生時の規模の局限化、影響軽減を目的として実施する。持込み可燃物の運用管理手順には、発電所の通常運転に関する可燃物、保守や改造に使用するために持ち込まれる可燃物（一時的に持ち込まれる可燃物を含む）の管理を含む。</p> <p>具体的には、原子炉施設内の各火災区画（部屋）の耐火障壁の耐火能力、設置されている火災感知器、消火設備の情報から管理基準を定め、火災区画（部屋）に持ち込まれ1日以上仮置きされる可燃物と火災区画（部屋）の既存の可燃物の火災荷重の総和を評価し、その管理基準を超過しないよう持込み可燃物を管理する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	<p>b. 持込み可燃物管理</p> <p>持込み可燃物の管理は、火災発生防止及び火災発生時の規模の局限化、影響軽減を目的として実施する。持込み可燃物の運用管理手順には、発電所の通常運転に関する可燃物、保守や改造に使用するために持ち込まれる可燃物（一時的に持ち込まれる可燃物を含む）の管理を含む。</p> <p>具体的には、原子炉施設内の各火災区画の耐火障壁の耐火能力、設置されている火災感知器、消火設備の情報から管理基準を定め、火災区画に持ち込まれ1日以上仮置きされる可燃物と火災区画の既存の可燃物の火災荷重の総和を評価し、その管理基準を超過しないよう持込み可燃物を管理する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	<p>【女川】</p> <p>■運用の相違</p> <p>泊は、大飯と同様に火災区画を構成する各部屋毎ではなく、火災区画単位で管理している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添3 本文 火災防護に係る等価時間算出プロセスについて）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料1</p> <p style="text-align: center;">第1図：等価時間の算出フロー</p>	<p style="text-align: center;">第1図：等価時間の算出フロー</p>	<p style="text-align: center;">第1図：等価時間の算出フロー</p>	<p>【大飯】 ■記載方針の相違 （女川実績の反映）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添3 添付資料1 火災区画特性表の例）

大飯発電所3/4号炉

添付資料2

大飯3号機 恒設機器及びケーブル物量および区画毎の火災荷重（サンプル）

大飯 R/B1-4 (B安全補機室) 恒設機器及びケーブルの発熱量

Table with columns: No., 区画名称, 設備名称, 区画, 設備, 設備物量, 発熱量, 備考. Includes sub-tables for fire load and heat generation.

女川原子力発電所2号炉

添付資料1

女川原子力発電所2号炉の
火災区画特性表の例

火災区画特性表 1. 大飯区画特性表のまとめ. Table with columns: プラント, 炉号, 設備, 原子炉補助建屋, 火災区画番号, 表 4-402-2. Includes detailed fire load and equipment data.

泊発電所3号炉

添付資料1

泊発電所3号炉の
火災区画特性表の例

火災区画特性表 1. 大飯区画特性表のまとめ. Table with columns: プラント, 炉号, 設備, 原子炉補助建屋, 火災区画番号, 表 4-402-2. Includes detailed fire load and equipment data.

相違理由
【大飯】
■記載方針の相違
(女川実績の反映：着色せず)
【女川】
■設備名称の相違

【女川】
■系統、設備の相違
炉型の違いによる系統、
設備構成の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添3 添付資料1 火災区画特性表の例)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
<p style="text-align: center;">添付資料3</p> <p style="text-align: center;">大飯3号機 持込可燃物の区画毎の火災荷重 (サンプル)</p> <p>大飯 R/B1-4 (B安全補償室) 借受仮置き物の発熱量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>数量</th> <th>単位</th> <th>発熱量 (MJ)</th> <th>等価時間 (h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td></tr> </tbody> </table> <p>大飯 R/B1-4 (B安全補償室) 倉庫の可燃物量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>数量</th> <th>単位</th> <th>発熱量 (MJ)</th> <th>等価時間 (h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td><td>...</td></tr> </tbody> </table>	品名	数量	単位	発熱量 (MJ)	等価時間 (h)	品名	数量	単位	発熱量 (MJ)	等価時間 (h)	<p style="text-align: center;">火災区画特性表Ⅱ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">フロント</th> <th colspan="2">O-2</th> <th colspan="2">火災区画番号</th> <th colspan="2">R1-A</th> <th>1/1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>火災区画内の階層名称</td> <td>床面積 (m²)</td> <td>発熱量 (MJ/m²)</td> <td>火災荷重 (MJ/m²)</td> <td>等価時間 (h)</td> <td>火災検知器</td> <td>主要消火設備</td> <td>消火方法</td> <td>隣接区画へのバックアップ (h)(41)</td> </tr> <tr> <td>1 5F 南側通路</td> <td>114</td> <td>4755</td> <td>305</td> <td>0.34</td> <td>感熱型</td> <td>100%ハロゲン化炭素</td> <td>自動</td> <td>粉末消火器</td> </tr> <tr> <td>2 5F-14 電気ケーブルトンネル室</td> <td>119</td> <td>2845</td> <td>242</td> <td>0.27</td> <td>感熱型</td> <td>100%ハロゲン化炭素</td> <td>自動</td> <td>粉末消火器</td> </tr> <tr> <td>3 5F-13 神神機之天窓室</td> <td>80</td> <td>15547</td> <td>130</td> <td>0.15</td> <td>感熱型</td> <td>100%ハロゲン化炭素</td> <td>自動</td> <td>粉末消火器</td> </tr> <tr> <td>4 5F-12 神神天窓室ラック室</td> <td>42</td> <td>611</td> <td>14</td> <td>0.02</td> <td>感熱型</td> <td>100%ハロゲン化炭素</td> <td>自動</td> <td>粉末消火器</td> </tr> <tr> <td>5 5F-13 5F-13 南側通路</td> <td>304</td> <td>33542</td> <td>230</td> <td>0.30</td> <td>感熱型</td> <td>100%ハロゲン化炭素</td> <td>自動</td> <td>粉末消火器</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>17</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>18</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>19</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>21</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>22</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>23</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>24</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>25</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>26</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>27</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>28</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>29</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>火災区画全体のまとめ</td> <td>370</td> <td>114110</td> <td>230</td> <td>0.27</td> <td>100%ハロゲン化炭素</td> <td>100%ハロゲン化炭素</td> <td>自動</td> <td>粉末消火器</td> </tr> <tr> <td>特記事項</td> <td colspan="8">*1 他の火災区画との境界の耐火時間を示す。</td> </tr> </tbody> </table>	フロント		O-2		火災区画番号		R1-A		1/1	火災区画内の階層名称	床面積 (m ²)	発熱量 (MJ/m ²)	火災荷重 (MJ/m ²)	等価時間 (h)	火災検知器	主要消火設備	消火方法	隣接区画へのバックアップ (h)(41)	1 5F 南側通路	114	4755	305	0.34	感熱型	100%ハロゲン化炭素	自動	粉末消火器	2 5F-14 電気ケーブルトンネル室	119	2845	242	0.27	感熱型	100%ハロゲン化炭素	自動	粉末消火器	3 5F-13 神神機之天窓室	80	15547	130	0.15	感熱型	100%ハロゲン化炭素	自動	粉末消火器	4 5F-12 神神天窓室ラック室	42	611	14	0.02	感熱型	100%ハロゲン化炭素	自動	粉末消火器	5 5F-13 5F-13 南側通路	304	33542	230	0.30	感熱型	100%ハロゲン化炭素	自動	粉末消火器	6									7									8									9									10									11									12									13									14									15									16									17									18									19									20									21									22									23									24									25									26									27									28									29									火災区画全体のまとめ	370	114110	230	0.27	100%ハロゲン化炭素	100%ハロゲン化炭素	自動	粉末消火器	特記事項	*1 他の火災区画との境界の耐火時間を示す。								<p style="text-align: center;">火災区画特性表Ⅱ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">フロント</th> <th colspan="2">O-2</th> <th colspan="2">火災区画番号</th> <th colspan="2">R1-A</th> <th>1/1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>火災区画内の火災ハザード及び防火設備</td> <td colspan="2">O-2</td> <td colspan="2">R1-A</td> <td colspan="4">1/1</td> </tr> <tr> <td>火災区画名称</td> <td colspan="2">O-2</td> <td colspan="2">R1-A</td> <td colspan="4">1/1</td> </tr> <tr> <td>火災区画面積 (m²)</td> <td>114.8</td> <td>1389</td> <td>94</td> <td>0.11</td> <td>熱感知器</td> <td>全域ハロゲン化炭素消火設備</td> <td>自動</td> <td>粉末消火器</td> </tr> <tr> <td>発熱量 (MJ)</td> <td>1389</td> <td>94</td> <td>0.11</td> <td></td> <td>感熱感知器</td> <td></td> <td></td> <td>屋内消火栓</td> </tr> <tr> <td>火災荷重 (MJ/m²)</td> <td colspan="8">= 床面積 (m²) / 発熱量 (MJ)</td> </tr> <tr> <td>等価時間 (h)</td> <td colspan="8">= 火災荷重 (MJ/m²) / 燃焼率 (908,000 MJ/m²/h)</td> </tr> <tr> <td>特記事項</td> <td colspan="8">*1 火災区画内の隔壁の耐火時間を示す。</td> </tr> </tbody> </table>	フロント		O-2		火災区画番号		R1-A		1/1	火災区画内の火災ハザード及び防火設備	O-2		R1-A		1/1				火災区画名称	O-2		R1-A		1/1				火災区画面積 (m ²)	114.8	1389	94	0.11	熱感知器	全域ハロゲン化炭素消火設備	自動	粉末消火器	発熱量 (MJ)	1389	94	0.11		感熱感知器			屋内消火栓	火災荷重 (MJ/m ²)	= 床面積 (m ²) / 発熱量 (MJ)								等価時間 (h)	= 火災荷重 (MJ/m ²) / 燃焼率 (908,000 MJ/m ² /h)								特記事項	*1 火災区画内の隔壁の耐火時間を示す。								<p>【女川】 ■設計の相違 泊は火災区画単位で評価、対策を確認するため、火災区画単位で記載し、火災区画内の隔壁情報を記載している。</p>
品名	数量	単位	発熱量 (MJ)	等価時間 (h)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
...																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
品名	数量	単位	発熱量 (MJ)	等価時間 (h)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
...																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
フロント		O-2		火災区画番号		R1-A		1/1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
火災区画内の階層名称	床面積 (m ²)	発熱量 (MJ/m ²)	火災荷重 (MJ/m ²)	等価時間 (h)	火災検知器	主要消火設備	消火方法	隣接区画へのバックアップ (h)(41)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
1 5F 南側通路	114	4755	305	0.34	感熱型	100%ハロゲン化炭素	自動	粉末消火器																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
2 5F-14 電気ケーブルトンネル室	119	2845	242	0.27	感熱型	100%ハロゲン化炭素	自動	粉末消火器																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
3 5F-13 神神機之天窓室	80	15547	130	0.15	感熱型	100%ハロゲン化炭素	自動	粉末消火器																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
4 5F-12 神神天窓室ラック室	42	611	14	0.02	感熱型	100%ハロゲン化炭素	自動	粉末消火器																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
5 5F-13 5F-13 南側通路	304	33542	230	0.30	感熱型	100%ハロゲン化炭素	自動	粉末消火器																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
13																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
17																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
18																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
19																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
21																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
22																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
23																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
24																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
26																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
27																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
28																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
29																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
火災区画全体のまとめ	370	114110	230	0.27	100%ハロゲン化炭素	100%ハロゲン化炭素	自動	粉末消火器																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
特記事項	*1 他の火災区画との境界の耐火時間を示す。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
フロント		O-2		火災区画番号		R1-A		1/1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
火災区画内の火災ハザード及び防火設備	O-2		R1-A		1/1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
火災区画名称	O-2		R1-A		1/1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
火災区画面積 (m ²)	114.8	1389	94	0.11	熱感知器	全域ハロゲン化炭素消火設備	自動	粉末消火器																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
発熱量 (MJ)	1389	94	0.11		感熱感知器			屋内消火栓																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
火災荷重 (MJ/m ²)	= 床面積 (m ²) / 発熱量 (MJ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
等価時間 (h)	= 火災荷重 (MJ/m ²) / 燃焼率 (908,000 MJ/m ² /h)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
特記事項	*1 火災区画内の隔壁の耐火時間を示す。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添3 添付資料1 火災区画特性表の例)

大飯発電所3/4号炉

添付資料4

大飯3号機 火災荷重管理表 (サンプル)

隣接する火災区画	発熱量 (MJ)	床面積 (m ²)	火災荷重 (MJ/m ²)	等価火災時間 (h)0.5h刻み※1
R/B1-1	約 27,703	334.9	82.72	0.5
R/B1-2	約 27,938	334.9	83.42	0.5
R/B1-3	約 775,123	287.9	2,692.34	3.0
R/B1-4	約 46,401	447.5	103.69	0.5
R/B1-5	約 38,320	437.8	87.53	0.5
R/B1-6	約 777,062	265.2	2,930.10	3.5
R/B1-7	約 18,777	33.6	558.85	1.0
R/B1-8	約 46	33.6	1.36	0.5
R/B1-21	約 625,126	334.9	1,866.80	2.5
R/B1-22	約 21,724	334.9	64.87	0.5
R/B1-23	約 796,739	287.9	2,767.42	3.5
R/B1-24	約 56,394	447.5	126.02	0.5
R/B1-25	約 42,541	437.8	97.17	0.5
R/B1-26	約 777,274	265.2	2,930.90	3.5
R/B1-27	約 18,943	33.6	563.79	1.0
R/B1-28	約 46	33.6	1.36	0.5
R/B2-1	約 89,979	542.3	160.39	0.5
R/B2-2	約 68,120	532.3	127.97	0.5
R/B2-3	約 1,981	58.6	33.81	0.5
R/B2-4	約 4,176	53.6	77.91	0.5
R/B2-5	約 283,613	1,208.6	234.66	0.5
R/B2-6	約 52,106	70.4	740.15	1.0
R/B2-7	約 33,374	70.4	474.07	1.0
R/B2-8	約 107,195	639.7	167.57	0.5
R/B2-9	約 738	171.2	4.31	0.5
R/B2-10	約 16,155	42.5	380.12	0.5
R/B2-21	約 130,909	542.3	241.40	0.5
R/B2-22	約 111,259	532.3	209.02	0.5
R/B2-23	約 3,132	58.6	53.44	0.5
R/B2-24	約 5,337	53.6	99.57	0.5
R/B2-25	約 18,451	594.5	32.69	0.5
R/B2-26	約 1,024,215	1,039.9	984.92	1.5
R/B2-27	約 27,680	70.4	393.32	0.5
R/B2-28	約 50,562	70.4	718.21	1.0
R/B2-29	約 15,748	42.5	370.53	0.5
R/B2-30	約 557	171.2	3.25	0.5
R/B2-31	約 167,062	284.2	587.83	1.0
R/B3-1	0	286.4	0.00	0.5
R/B3-3	約 17,313	173.6	99.73	0.5
R/B3-4	約 82,146	176	466.74	1.0
R/B3-5	約 4,309	29.4	146.55	0.5
R/B3-6	約 7,613	191.4	39.77	0.5

女川原子力発電所2号炉

火災区画特性表

火災区画に隣接する火災区画(距離)と伝播経路					1/2	
プラン	D-2	火災区画番号	伝播の伝達能力 (0.4)	伝播形態の 伝達形式	伝播の可能性	
No.	隣接火災区画の別称番号	隣接火災区画内の別称番号 隣接火災区画内の別称名称	火災伝播経路	隣接の伝達能力 (0.4)	伝播形態の 伝達形式	伝播の可能性
1	R-1-10	R-1-12 R-1-13 R-1-14 R-1-15 R-1-16 R-1-17 R-1-18 R-1-19 R-1-20 R-1-21 R-1-22 R-1-23 R-1-24 R-1-25 R-1-26 R-1-27 R-1-28 R-1-29 R-1-30 R-1-31 R-1-32 R-1-33 R-1-34 R-1-35 R-1-36 R-1-37 R-1-38 R-1-39 R-1-40 R-1-41 R-1-42 R-1-43 R-1-44 R-1-45 R-1-46 R-1-47 R-1-48 R-1-49 R-1-50 R-1-51 R-1-52 R-1-53 R-1-54 R-1-55 R-1-56 R-1-57 R-1-58 R-1-59 R-1-60 R-1-61 R-1-62 R-1-63 R-1-64 R-1-65 R-1-66 R-1-67 R-1-68 R-1-69 R-1-70 R-1-71 R-1-72 R-1-73 R-1-74 R-1-75 R-1-76 R-1-77 R-1-78 R-1-79 R-1-80 R-1-81 R-1-82 R-1-83 R-1-84 R-1-85 R-1-86 R-1-87 R-1-88 R-1-89 R-1-90 R-1-91 R-1-92 R-1-93 R-1-94 R-1-95 R-1-96 R-1-97 R-1-98 R-1-99 R-1-100	真鍮孔ノボ	開放	粉塵消火器	有
2	R-1-10	R-1-53	真鍮孔ノボ	開放	粉塵消火器	有
3	R-1-10	R-2-A	真鍮孔ノボ	開放	ハロゲン化物滅火剤	有
4	R-1-10	R-2-A	真鍮孔ノボ	開放	ハロゲン化物滅火剤	有
5	R-1-10	R-3-26	壁	3	粉塵消火器	無
6	R-1-10	R-3-31	真鍮孔ノボ	開放	粉塵消火器	有
7	R-1-10	R-1-41	真鍮孔ノボ	開放	粉塵消火器	有
8	R-1-10	R-1-41	真鍮孔ノボ	開放	ハロゲン化物滅火剤	有
9	R-1-10	R-1-42	真鍮孔ノボ	開放	粉塵消火器	有
10	R-1-10	R-1-43	真鍮孔ノボ	開放	粉塵消火器	有
11	R-1-10	R-1-49	真鍮孔ノボ	開放	粉塵消火器	有
12	R-1-14	R-1-53	壁	3	粉塵消火器	無
13	R-1-14	R-1-11	真鍮孔ノボ	開放	粉塵消火器	有
14	R-1-14	R-1-15	真鍮孔ノボ	開放	粉塵消火器	有
15	R-1-14	R-1-14	壁	3	粉塵消火器	無
16	R-1-14	R-1-14	真鍮孔ノボ	開放	粉塵消火器	有
17	R-1-14	R-3-29	真鍮孔ノボ	開放	粉塵消火器	有
18	R-1-2	R-1-11	真鍮孔ノボ	開放	粉塵消火器	有
19	R-1-2	R-1-19	壁	3	粉塵消火器	無
20	R-1-2	R-1-20	真鍮孔ノボ	開放	粉塵消火器	有
21	R-1-2	R-1-24	壁	3	粉塵消火器	無
22	R-1-2	R-2-15	壁	3	粉塵消火器	無
23	R-1-2	R-3-30	壁	3	粉塵消火器	無
24	R-1-2	R-3-30	壁	3	粉塵消火器	無
25	R-1-2	R-3-30	壁	3	粉塵消火器	無
26	R-1-2	R-1-11	真鍮孔ノボ	開放	粉塵消火器	有
27	R-1-2	R-1-11	真鍮孔ノボ	開放	ハロゲン化物滅火剤	有
28	R-1-2	R-1-11	壁	3	粉塵消火器	無
29	R-1-2	R-3-30	壁	3	粉塵消火器	無
30	R-1-2	R-3-30	壁	3	粉塵消火器	無
31	R-1-2	R-1-52	真鍮孔ノボ	開放	粉塵消火器	有

*1: 他の火災区画との境界の耐火時間を示す。

泊発電所3号炉

火災区画特性表

火災区画に隣接する火災区画(距離)と伝播経路					1/1	
プラン	D13号機	火災区画番号	A/B	A/B	A/B	
No.	隣接火災区画の別称番号	隣接火災区画内の別称番号 隣接火災区画内の別称名称	伝播の伝達能力 (0.4)	伝播形態の 伝達形式	伝播の可能性	
1	A/B 3-01-1	原子炉建屋(0.3m)部	壁	1	全滅(ハロゲン化物滅火剤)	
2	A/B 3-01-1	原子炉建屋(0.3m)部(管理区域)	壁	1	全滅(ハロゲン化物滅火剤)	
3	A/B 3-02-1	A-ほう機ポンプ室	壁	1	全滅(ハロゲン化物滅火剤)	
4	A/B 3-01-3	プロセス計算機室	壁	1	全滅(ハロゲン化物滅火剤)	

*1: 他の火災区画との境界の耐火時間を示す。

【女川】
 ■設計の相違
 泊は火災区画単位で評価、対策を確認するため、火災区画単位で記載している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添3 添付資料1 火災区画特性表の例)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	<p style="text-align: center;">火災区画特性表Ⅲ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="5">火災により影響を受ける設備</th> <th>1/2</th> </tr> <tr> <th>フロント</th> <th colspan="2">O-1</th> <th colspan="2">火災区画番号</th> <th>R1-A</th> </tr> <tr> <th>No.</th> <th>設備名</th> <th>種別番号</th> <th>備註</th> <th>安全区分</th> <th>影響を受ける種別名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R-1-2</td><td>RH</td><td>E11-C001A</td><td>遮断機停止弁(弁A)</td><td>1</td><td>LPD-4B94-A、CSD-3949-A、LS-9494</td></tr> <tr><td>2</td><td>R-1-2</td><td>RH</td><td>E11-FT000A</td><td>排気ファン出口流量</td><td>1</td><td>LPD-4B94-A、CSD-3949-A、LS-9494</td></tr> <tr><td>3</td><td>R-1-2</td><td>RH</td><td>E11-FT000B</td><td>排気ファン出口流量</td><td>0</td><td>LPD-4B94-B、CSD-3949-B、LS-9494</td></tr> <tr><td>4</td><td>R-1-3</td><td>RH</td><td>E11-MO-F001A</td><td>停炉弁(止)出口流量</td><td>1</td><td>LPD-4B94-A、CSD-3949-A、LS-9494</td></tr> <tr><td>5</td><td>R-1-3</td><td>RH</td><td>E11-MO-F001A</td><td>停炉弁(止)停止弁制御弁</td><td>1</td><td>LPD-4B94-A、CSD-3949-A、LS-9494</td></tr> <tr><td>6</td><td>R-1-3</td><td>RH</td><td>E11-MO-F000</td><td>代替循環冷却ポンプ駆込弁</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>R-1-3</td><td>RH</td><td>E11-MO-F002</td><td>代替循環冷却ポンプ流量調整弁</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>R-1-14</td><td>RCO</td><td>E51-AG-F020</td><td>RCOタービン出口蒸気ライン第一弁</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>R-1-14</td><td>RCO</td><td>E51-AG-F030</td><td>RCO真空ポンプ吐出ライン第一弁</td><td></td><td>RCO</td></tr> <tr><td>10</td><td>R-1-14</td><td>RCO</td><td>E51-AG-F030</td><td>RCO真空ポンプ吐出ライン第二弁</td><td></td><td>RCO</td></tr> <tr><td>11</td><td>R-1-14</td><td>RCO</td><td>E51-C001</td><td>原子炉隔離時冷却系ポンプ</td><td></td><td>RCO</td></tr> <tr><td>12</td><td>R-1-14</td><td>RCO</td><td>E51-C002</td><td>原子炉隔離時冷却系ポンプ</td><td></td><td>RCO</td></tr> <tr><td>13</td><td>R-1-14</td><td>RCO</td><td>E51-C003</td><td>原子炉隔離時冷却系ポンプ</td><td></td><td>RCO</td></tr> <tr><td>14</td><td>R-1-14</td><td>RCO</td><td>E51-C004</td><td>原子炉隔離時冷却系真空ポンプ</td><td></td><td>RCO</td></tr> <tr><td>15</td><td>R-1-14</td><td>RCO</td><td>E51-FT004</td><td>RCOファン出口流量</td><td>1</td><td>RCO</td></tr> <tr><td>16</td><td>R-1-14</td><td>RCO</td><td>E51-MO-F012</td><td>RCO高圧加減弁</td><td></td><td>RCO</td></tr> <tr><td>17</td><td>R-1-14</td><td>RCO</td><td>E51-LT020</td><td>RCO真空タンク水位</td><td>1</td><td>RCO</td></tr> <tr><td>18</td><td>R-1-14</td><td>RCO</td><td>E51-MO-F001</td><td>RCOポンプ(止)駆込弁</td><td>1</td><td>RCO</td></tr> <tr><td>19</td><td>R-1-14</td><td>RCO</td><td>E51-MO-F001</td><td>RCOポンプ(止)駆込弁</td><td>1</td><td>RCO</td></tr> <tr><td>20</td><td>R-1-14</td><td>RCO</td><td>E51-MO-F009</td><td>RCOタービン止め弁</td><td>1</td><td>RCO</td></tr> <tr><td>21</td><td>R-1-14</td><td>RCO</td><td>E51-MO-F010</td><td>RCO第一試験用調整弁</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td>R-1-14</td><td>RCO</td><td>E51-MO-F010</td><td>RCO第二試験用調整弁</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>23</td><td>R-1-14</td><td>RCO</td><td>E51-MO-F011</td><td>RCO冷却ライン止め弁</td><td>1</td><td>RCO</td></tr> <tr><td>24</td><td>R-1-14</td><td>RCO</td><td>E51-MO-F011</td><td>RCO冷却ライン止め弁</td><td>1</td><td>RCO</td></tr> <tr><td>25</td><td>R-1-3</td><td>AC</td><td>T48-LT020</td><td>圧力制御室水位</td><td>NON</td><td>その他の種別番号</td></tr> <tr> <td>特記事項</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	火災により影響を受ける設備					1/2	フロント	O-1		火災区画番号		R1-A	No.	設備名	種別番号	備註	安全区分	影響を受ける種別名	1	R-1-2	RH	E11-C001A	遮断機停止弁(弁A)	1	LPD-4B94-A、CSD-3949-A、LS-9494	2	R-1-2	RH	E11-FT000A	排気ファン出口流量	1	LPD-4B94-A、CSD-3949-A、LS-9494	3	R-1-2	RH	E11-FT000B	排気ファン出口流量	0	LPD-4B94-B、CSD-3949-B、LS-9494	4	R-1-3	RH	E11-MO-F001A	停炉弁(止)出口流量	1	LPD-4B94-A、CSD-3949-A、LS-9494	5	R-1-3	RH	E11-MO-F001A	停炉弁(止)停止弁制御弁	1	LPD-4B94-A、CSD-3949-A、LS-9494	6	R-1-3	RH	E11-MO-F000	代替循環冷却ポンプ駆込弁			7	R-1-3	RH	E11-MO-F002	代替循環冷却ポンプ流量調整弁			8	R-1-14	RCO	E51-AG-F020	RCOタービン出口蒸気ライン第一弁	1		9	R-1-14	RCO	E51-AG-F030	RCO真空ポンプ吐出ライン第一弁		RCO	10	R-1-14	RCO	E51-AG-F030	RCO真空ポンプ吐出ライン第二弁		RCO	11	R-1-14	RCO	E51-C001	原子炉隔離時冷却系ポンプ		RCO	12	R-1-14	RCO	E51-C002	原子炉隔離時冷却系ポンプ		RCO	13	R-1-14	RCO	E51-C003	原子炉隔離時冷却系ポンプ		RCO	14	R-1-14	RCO	E51-C004	原子炉隔離時冷却系真空ポンプ		RCO	15	R-1-14	RCO	E51-FT004	RCOファン出口流量	1	RCO	16	R-1-14	RCO	E51-MO-F012	RCO高圧加減弁		RCO	17	R-1-14	RCO	E51-LT020	RCO真空タンク水位	1	RCO	18	R-1-14	RCO	E51-MO-F001	RCOポンプ(止)駆込弁	1	RCO	19	R-1-14	RCO	E51-MO-F001	RCOポンプ(止)駆込弁	1	RCO	20	R-1-14	RCO	E51-MO-F009	RCOタービン止め弁	1	RCO	21	R-1-14	RCO	E51-MO-F010	RCO第一試験用調整弁			22	R-1-14	RCO	E51-MO-F010	RCO第二試験用調整弁			23	R-1-14	RCO	E51-MO-F011	RCO冷却ライン止め弁	1	RCO	24	R-1-14	RCO	E51-MO-F011	RCO冷却ライン止め弁	1	RCO	25	R-1-3	AC	T48-LT020	圧力制御室水位	NON	その他の種別番号	特記事項						<p style="text-align: center;">火災区画特性表Ⅳ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="5">火災により影響を受ける設備</th> <th>1/1</th> </tr> <tr> <th>フロント</th> <th>炉内号機</th> <th colspan="2">火災区画番号</th> <th>A/B/C/D/E</th> </tr> <tr> <th>火災区画名称</th> <th>非-ほう動ポンプ室</th> <th colspan="3"></th> </tr> <tr> <th>No.</th> <th>設備名</th> <th>種別番号</th> <th>機器名称</th> <th>安全区分</th> <th>影響を受ける種別名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>CVCS</td><td>3次冷却</td><td>非-ほう動ポンプ</td><td>B</td><td>CVCS</td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>18</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>21</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>23</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>24</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>特記事項</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	火災により影響を受ける設備					1/1	フロント	炉内号機	火災区画番号		A/B/C/D/E	火災区画名称	非-ほう動ポンプ室				No.	設備名	種別番号	機器名称	安全区分	影響を受ける種別名	1	CVCS	3次冷却	非-ほう動ポンプ	B	CVCS	2						3						4						5						6						7						8						9						10						11						12						13						14						15						16						17						18						19						20						21						22						23						24						25						特記事項						<p>【女川】 ■設計の相違 泊は火災区画単位で評価、対策を確認するため、火災区画単位で記載している。</p>
火災により影響を受ける設備					1/2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
フロント	O-1		火災区画番号		R1-A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
No.	設備名	種別番号	備註	安全区分	影響を受ける種別名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1	R-1-2	RH	E11-C001A	遮断機停止弁(弁A)	1	LPD-4B94-A、CSD-3949-A、LS-9494																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
2	R-1-2	RH	E11-FT000A	排気ファン出口流量	1	LPD-4B94-A、CSD-3949-A、LS-9494																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
3	R-1-2	RH	E11-FT000B	排気ファン出口流量	0	LPD-4B94-B、CSD-3949-B、LS-9494																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
4	R-1-3	RH	E11-MO-F001A	停炉弁(止)出口流量	1	LPD-4B94-A、CSD-3949-A、LS-9494																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
5	R-1-3	RH	E11-MO-F001A	停炉弁(止)停止弁制御弁	1	LPD-4B94-A、CSD-3949-A、LS-9494																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
6	R-1-3	RH	E11-MO-F000	代替循環冷却ポンプ駆込弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
7	R-1-3	RH	E11-MO-F002	代替循環冷却ポンプ流量調整弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
8	R-1-14	RCO	E51-AG-F020	RCOタービン出口蒸気ライン第一弁	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
9	R-1-14	RCO	E51-AG-F030	RCO真空ポンプ吐出ライン第一弁		RCO																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
10	R-1-14	RCO	E51-AG-F030	RCO真空ポンプ吐出ライン第二弁		RCO																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
11	R-1-14	RCO	E51-C001	原子炉隔離時冷却系ポンプ		RCO																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
12	R-1-14	RCO	E51-C002	原子炉隔離時冷却系ポンプ		RCO																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
13	R-1-14	RCO	E51-C003	原子炉隔離時冷却系ポンプ		RCO																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
14	R-1-14	RCO	E51-C004	原子炉隔離時冷却系真空ポンプ		RCO																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
15	R-1-14	RCO	E51-FT004	RCOファン出口流量	1	RCO																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
16	R-1-14	RCO	E51-MO-F012	RCO高圧加減弁		RCO																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
17	R-1-14	RCO	E51-LT020	RCO真空タンク水位	1	RCO																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
18	R-1-14	RCO	E51-MO-F001	RCOポンプ(止)駆込弁	1	RCO																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
19	R-1-14	RCO	E51-MO-F001	RCOポンプ(止)駆込弁	1	RCO																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
20	R-1-14	RCO	E51-MO-F009	RCOタービン止め弁	1	RCO																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
21	R-1-14	RCO	E51-MO-F010	RCO第一試験用調整弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
22	R-1-14	RCO	E51-MO-F010	RCO第二試験用調整弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
23	R-1-14	RCO	E51-MO-F011	RCO冷却ライン止め弁	1	RCO																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
24	R-1-14	RCO	E51-MO-F011	RCO冷却ライン止め弁	1	RCO																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
25	R-1-3	AC	T48-LT020	圧力制御室水位	NON	その他の種別番号																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
火災により影響を受ける設備					1/1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
フロント	炉内号機	火災区画番号		A/B/C/D/E																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
火災区画名称	非-ほう動ポンプ室																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
No.	設備名	種別番号	機器名称	安全区分	影響を受ける種別名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1	CVCS	3次冷却	非-ほう動ポンプ	B	CVCS																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
13																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
17																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
18																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
19																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
21																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
22																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
23																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
24																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止（別添3 添付資料1 火災区画特性表の例）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="5" style="text-align: center;">火災区画特性表Ⅴ</th> </tr> <tr> <th colspan="5" style="text-align: center;">火災により影響を受けるテーブル</th> </tr> <tr> <th colspan="4"></th> <th style="text-align: right;">1/1</th> </tr> <tr> <th>フリント</th> <th>0-2</th> <th>火災区画番号</th> <th colspan="2">01-A</th> </tr> <tr> <th>No.</th> <th>火災区画内の部屋番号</th> <th>火災区画内の部屋名称</th> <th>0-2要件有 り 否 付 数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R-1-10</td><td>R2F 潤滑油路</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>R-1-14</td><td>R2F0タービンポンプ室</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>R-1-3</td><td>R2F0ポンプ室</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>R-3-2</td><td>R2F0A計装ワッパ室</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>R-3-9</td><td>R2F 潤滑油路</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>18</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>21</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>23</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>24</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>26</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>27</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>28</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>29</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>30</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td colspan="2">特記事項</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>	火災区画特性表Ⅴ					火災により影響を受けるテーブル									1/1	フリント	0-2	火災区画番号	01-A		No.	火災区画内の部屋番号	火災区画内の部屋名称	0-2要件有 り 否 付 数	備考	1	R-1-10	R2F 潤滑油路	○		2	R-1-14	R2F0タービンポンプ室	○		3	R-1-3	R2F0ポンプ室	○		4	R-3-2	R2F0A計装ワッパ室	○		5	R-3-9	R2F 潤滑油路	○		6					7					8					9					10					11					12					13					14					15					16					17					18					19					20					21					22					23					24					25					26					27					28					29					30					特記事項					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="5" style="text-align: center;">火災区画特性表Ⅴ</th> </tr> <tr> <th colspan="5" style="text-align: center;">火災により影響を受けるテーブル</th> </tr> <tr> <th colspan="4"></th> <th style="text-align: right;">1/1</th> </tr> <tr> <th>フリント</th> <th>泊3号機</th> <th>火災区画番号</th> <th colspan="2">3/3 4-02-2</th> </tr> <tr> <th colspan="2">火災区画名称</th> <th>R-13ラジエポンプ室</th> <th>01-A</th> <th>有</th> </tr> <tr> <td colspan="2">特記事項</td> <td colspan="3"></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">特記事項</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>	火災区画特性表Ⅴ					火災により影響を受けるテーブル									1/1	フリント	泊3号機	火災区画番号	3/3 4-02-2		火災区画名称		R-13ラジエポンプ室	01-A	有	特記事項					特記事項					<p>【女川】 ■設計の相違 泊は火災区画単位で評価、対策を確認するため、火災区画単位で記載している。</p>
火災区画特性表Ⅴ																																																																																																																																																																																																																										
火災により影響を受けるテーブル																																																																																																																																																																																																																										
				1/1																																																																																																																																																																																																																						
フリント	0-2	火災区画番号	01-A																																																																																																																																																																																																																							
No.	火災区画内の部屋番号	火災区画内の部屋名称	0-2要件有 り 否 付 数	備考																																																																																																																																																																																																																						
1	R-1-10	R2F 潤滑油路	○																																																																																																																																																																																																																							
2	R-1-14	R2F0タービンポンプ室	○																																																																																																																																																																																																																							
3	R-1-3	R2F0ポンプ室	○																																																																																																																																																																																																																							
4	R-3-2	R2F0A計装ワッパ室	○																																																																																																																																																																																																																							
5	R-3-9	R2F 潤滑油路	○																																																																																																																																																																																																																							
6																																																																																																																																																																																																																										
7																																																																																																																																																																																																																										
8																																																																																																																																																																																																																										
9																																																																																																																																																																																																																										
10																																																																																																																																																																																																																										
11																																																																																																																																																																																																																										
12																																																																																																																																																																																																																										
13																																																																																																																																																																																																																										
14																																																																																																																																																																																																																										
15																																																																																																																																																																																																																										
16																																																																																																																																																																																																																										
17																																																																																																																																																																																																																										
18																																																																																																																																																																																																																										
19																																																																																																																																																																																																																										
20																																																																																																																																																																																																																										
21																																																																																																																																																																																																																										
22																																																																																																																																																																																																																										
23																																																																																																																																																																																																																										
24																																																																																																																																																																																																																										
25																																																																																																																																																																																																																										
26																																																																																																																																																																																																																										
27																																																																																																																																																																																																																										
28																																																																																																																																																																																																																										
29																																																																																																																																																																																																																										
30																																																																																																																																																																																																																										
特記事項																																																																																																																																																																																																																										
火災区画特性表Ⅴ																																																																																																																																																																																																																										
火災により影響を受けるテーブル																																																																																																																																																																																																																										
				1/1																																																																																																																																																																																																																						
フリント	泊3号機	火災区画番号	3/3 4-02-2																																																																																																																																																																																																																							
火災区画名称		R-13ラジエポンプ室	01-A	有																																																																																																																																																																																																																						
特記事項																																																																																																																																																																																																																										
特記事項																																																																																																																																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第8条 火災による損傷の防止 (別添3 添付資料1 火災区画特性表の例)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="5" style="text-align: center;">添付資料-1</th> </tr> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">火災影響評価のシートシート 目次</th> <th style="text-align: right;">1/1</th> </tr> <tr> <th>シート</th> <th>0-2</th> <th>火災区画番号</th> <th colspan="2">R1-A</th> </tr> <tr> <th>No.</th> <th>火災区画内の設置番号</th> <th>火災区画内の設置名称</th> <th>○: 適合 △: 適合</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R-1-10</td><td>B/F 南側通路</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>R-1-14</td><td>RDCラーベンポンプ室</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>R-1-3</td><td>RH貯水タンク室</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>R-2-2</td><td>RH貯水タンク室</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>R-2-8</td><td>B/F 南側通路</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>18</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>21</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>23</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>24</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>26</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>27</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>28</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>29</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>30</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td colspan="2">特記事項</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>	添付資料-1					火災影響評価のシートシート 目次				1/1	シート	0-2	火災区画番号	R1-A		No.	火災区画内の設置番号	火災区画内の設置名称	○: 適合 △: 適合	備考	1	R-1-10	B/F 南側通路	○		2	R-1-14	RDCラーベンポンプ室	○		3	R-1-3	RH貯水タンク室	○		4	R-2-2	RH貯水タンク室	○		5	R-2-8	B/F 南側通路	○		6					7					8					9					10					11					12					13					14					15					16					17					18					19					20					21					22					23					24					25					26					27					28					29					30					特記事項					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="5" style="text-align: center;">添付資料-1</th> </tr> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">火災影響評価のシートシート 目次</th> <th style="text-align: right;">1/1</th> </tr> <tr> <th>シート</th> <th>0-2</th> <th>火災区画番号</th> <th colspan="2">A/B 4-02-2</th> </tr> <tr> <th>No.</th> <th>火災区画名称</th> <th>火災区画番号</th> <th>設計</th> <th>有</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>ホ-ほう館ポンプ室</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">特記事項</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>	添付資料-1					火災影響評価のシートシート 目次				1/1	シート	0-2	火災区画番号	A/B 4-02-2		No.	火災区画名称	火災区画番号	設計	有		ホ-ほう館ポンプ室				特記事項					<p>【女川】 ■設計の相違 泊は火災区画単位で評価、対策を確認するため、火災区画単位で記載している。</p>
添付資料-1																																																																																																																																																																																																																
火災影響評価のシートシート 目次				1/1																																																																																																																																																																																																												
シート	0-2	火災区画番号	R1-A																																																																																																																																																																																																													
No.	火災区画内の設置番号	火災区画内の設置名称	○: 適合 △: 適合	備考																																																																																																																																																																																																												
1	R-1-10	B/F 南側通路	○																																																																																																																																																																																																													
2	R-1-14	RDCラーベンポンプ室	○																																																																																																																																																																																																													
3	R-1-3	RH貯水タンク室	○																																																																																																																																																																																																													
4	R-2-2	RH貯水タンク室	○																																																																																																																																																																																																													
5	R-2-8	B/F 南側通路	○																																																																																																																																																																																																													
6																																																																																																																																																																																																																
7																																																																																																																																																																																																																
8																																																																																																																																																																																																																
9																																																																																																																																																																																																																
10																																																																																																																																																																																																																
11																																																																																																																																																																																																																
12																																																																																																																																																																																																																
13																																																																																																																																																																																																																
14																																																																																																																																																																																																																
15																																																																																																																																																																																																																
16																																																																																																																																																																																																																
17																																																																																																																																																																																																																
18																																																																																																																																																																																																																
19																																																																																																																																																																																																																
20																																																																																																																																																																																																																
21																																																																																																																																																																																																																
22																																																																																																																																																																																																																
23																																																																																																																																																																																																																
24																																																																																																																																																																																																																
25																																																																																																																																																																																																																
26																																																																																																																																																																																																																
27																																																																																																																																																																																																																
28																																																																																																																																																																																																																
29																																																																																																																																																																																																																
30																																																																																																																																																																																																																
特記事項																																																																																																																																																																																																																
添付資料-1																																																																																																																																																																																																																
火災影響評価のシートシート 目次				1/1																																																																																																																																																																																																												
シート	0-2	火災区画番号	A/B 4-02-2																																																																																																																																																																																																													
No.	火災区画名称	火災区画番号	設計	有																																																																																																																																																																																																												
	ホ-ほう館ポンプ室																																																																																																																																																																																																															
特記事項																																																																																																																																																																																																																

